ゴールドFFX
ユーザーガイド

バージョン1

GoldFFX

2024

目次

用語の解説 4
ゴールドFFXのユーザーガイドについて 5
アプリケーションについて 6
ログインページについて 8
機能メーターについて 12
ユーザーツアーとガイダンス 13
ヘルプとサポートについて 18
ケムウォッチのサポートチームについて 22
サポートチームのご紹介 22
サポートチームにEメールを送信する 23
1.0 導入 25
1.1 モジュール 25
2.0 製品の簡易検索 28
2.1 製品名を使用して検索を実行する 32
2.2 主な文書／代替文書およびラベルを表示する 33
2.3 製品を検索し、ゴールドSDSを表示する 37
2.3.1 ゴールドSDSに優先ベンダーを表示する 43
2.4 製品を検索し、ベンダーSDSを表示する 45
2.5 製品を検索し、ミニSDSを表示する 46
2.6 製品を検索し、ラベルを表示する 47
3.0 製品の詳細検索 50
3.1 CAS番号を用いて、製品を検索する 52
3.2 CW番号（ケムウォッチ番号）を用いて、製品を検索する 53
3.3 CAS番号（成分）を用いて、製品を検索する 54
3.4 危険物クラスで製品を検索する 56
3.6 ベンダーで製品を検索する 58
3.6 国連番号を用いて製品を検索する 59
4.0 マニフェストを作成する 61
4.1 マニフェストの構成要素の概要 62
4.1.1 自己フォルダからベンダー文書を閲覧する 65
4.1.2 自己フォルダからケムウォッチのゴールドSDSを表示する 67
4.1.3 自己フォルダからミニSDSを表示する 69
4.1.4 自己フォルダの製品の表示ラベルを表示する 71
4.1.5 自己フォルダの製品のリスクアセスメントレポートを表示する 73
4.1.6 危険有害性評価を表示／理解する 75
4.2 システム内のマニフェストとは？ 78
4.2.1 フォルダの種類とプロパティ 80
4.2.2 親フォルダ（エリア）を作成する 83
4.2.3 サブフォルダを作成する（セクション） 85
4.2.4 保管場所のフォルダを作成する（保管場所） 87

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.2.5 新しいフォルダを作成し、フォルダの種類を設定する 89
4.2.6 フォルダメニューとプロパティの編集 90
4.2.7 フォルダに製品を追加する 109
4.2.8 製品のコピー／移動／削除 114
4.2.9 製品に体積／重量を追加する 119
4.3 危険有害性フィルタ 122
4.3.1 危険有害性（全て）で製品をフィルタにかける 124
4.3.2 発がん性で製品をフィルタにかける 126
4.3.3 混触危険性レポートで製品をフィルタにかける 128
4.4 シンプルモード - 製品リストのフィルタリングと並べ替えリスト 131
4.4.1 製品名で製品をフィルタにかける 132
4.4.2 危険有害性で製品をフィルタにかける 133
4.4.3 危険物(PKG)で製品をフィルタにかける 134
4.4.4 規制負担で製品をフィルタにかける 136
4.4.5 製品名列ヘッダーでリストを並べ替える 139
4.4.6 化学品の保存先フォルダを追跡 141
4.4.7 製品に注釈を追加する 142
5.0 テンプレートを作成して、レポートを出力する 146
5.1 基本テンプレートを使用して、レポートを生成する 148
5.2 詳細タブでテンプレートを作成して、レポートを出力する 150
5.2.1 テンプレートを作成して、データを生成する 152
5.2.2 画像が入ったレポートを出力する 155
5.3 生成したレポートに、スタイルを適用する 158
6.0 リスクアセスメント 161
6.1 健康リスクアセスメントを実行する 175
6.1.1 リスクアセスメントの承認 180
6.1.2 リスクアセスメントレポートを印刷する 183
6.1.3 リスクアセスメントレポートの共有（メール） 186
6.2 危険物のリスクアセスメントの実行 187
6.2.1 危険物リスクアセスメントレポートの印刷手順 194
6.2.2 リスクアセスメントのジョブを生成する 197
6.3 リスクアセスメントグリッドの化学物質名に対する右クリック機能 199
6.3.1 リスクアセスメントを別のフォルダにコピーする 201
6.3.2 リスクアセスメントを別のフォルダに移動する 202
6.3.3 リスクアセスメント資料をアーカイブする 203
ユーザーがリスクアセスメントのアーカイブを管理するために必要な権限 204
6.3.4 リスクアセスメントを削除する 206
7.0 混合物を入力する 207
7.1 混合物の分類 213
7.2 その他のCredo機能 218
8.0 優先名と製造番号 221
8.1 優先名の作成 222

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

優先名を管理する権限を持つユーザーは、新しい優先名を作成したり、既存の優先名を編集することができます。以下の手順は、製品に対して優先名を作成する方法を示しています。 222
8.2 優先名で製品を検索する 223
8.3 製品番号の作成 224
付録 226
SDSの概要構成 226
GHSピクトグラムおよび危険物（DG）ダイヤモンド 229
NFPAダイヤモンド 231
ケムウォッチのEラーニング 233

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

用語の解説

ADM	貴社のケムウォッチシステムのドメイン管理者
ADG	オーストラリア危険物規則 (Australian Dangerous Goods Code)
AuthorITe	SDS作成支援モジュール（オーソリティ）
CAS	ケミカルアブストラクツサービス
CHEMTOURAGE	ケムウォッチのサポートチーム
COBRA	コントロールバンディング・リスクアセスメント
COSHH	健康に有害な物質の管理（Control of Substances Hazardous to Health）
CREDITE	混合物作成モジュール
CW No	ケムウォッチ番号
DE	データ抽出（Data Extraction）
DET	ケムウォッチシステムの、データ抽出ツール
DG	危険物（Dangerous Goods）
DGEN	ラベルモジュール用の文書生成機能
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー（European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances）
GHS	化学品の分類および表示に関する世界調和システム（Globally Harmonised System for the Classification of Hazardous Chemicals and Labelling）
IFC	米国国際防火基準（International Fire Code）
ILO	国際労働機関（International Labour Organisation）
NFPA	全米防火協会
OEL	職業曝露限度
PKG	危険物の容器等級
PLANFIX	ケムウォッチのCRMシステム
PTN	プロジェクト追跡番号（Project Tracking Number）
RA	リスクアセスメント
SDM	貴社のケムウォッチシステムのサブ管理者
SI	国際単位系（International System of Units）
SMARTERSUITE	スマートベンダー、ゴールド、ミニSDS、緊急対応モバイルアプリ
SR	危険物のサブリスク（副次危険性）
SUSMP	豪州の医薬品および毒物の統一スケジューリングに関する基準（Standard for Uniform Scheduling of Medicines and Poisons）
UGD	ユーザーゴールド・データ
UI	表示画面
UN	国際連合
VGD	ベンダーゴールド・データ

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ゴールドFFXのユーザーガイドについて

ゴールドFFXのユーザーガイドは、ケムウォッチの最新の化学品管理システムである新しいマイクロサービスのシステム用のガイドです。ゴールドFFXに含まれる、さまざまなモジュールについて、ご利用方法を詳しく解説しています。

このガイドでは、アイコンやボタンを使用し、モジュールや機能を表現しています。また、作業手順をステップ・バイ・ステップ方式で提供されており、システムのご利用方法を学ぶ参考としていただけます。

モジュール

ホーム コアモジュール	リスクアセスメント
ラベルデザイナー	クレド AuthorITeはオプション
設定 アドミン設定	リクエスト オプション
分析	

機能

タグ	マニフェスト＆ハザード
フォームビルダ	クエリビルダ
レポート生成機能	印刷
機能メーター	フォルダ管理
ライブヘルプチャット	アウトバック オプション

参考情報

情報アイコン の箇所では、各トピックやセクションについての詳細情報をご確認いただけます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

アプリケーションについて

ゴールドFFXは、以下に挙げる一般的なブラウザに対応している、ケムウォッチのウェブアプリケーションです。この最新のシステムは、化学品管理スイートの最新版であり、ユーザー体験を向上させるために、よりシンプルで直感的な操作が可能となるよう設計されています。企業や組織でご利用いただくと、作業、健康、安全の要件に従って、化学物質の在庫管理や安全データシート（SDS）の管理がが可能となります。このシステムではマイクロサービスを採用しており、調和のとれた小規模なアプリやサービスが連携して、化学品管理に関するニーズを満たすソリューションを提供します。AWSのコンピューティングパワーを利用することで、システムは高い拡張性と信頼性を備えています。システムの一ヶ所に不具合が出ても、他の箇所に影響を与えないため、中断のないご利用を保証いたします。重要な利点の一つは、優れた速度と応答性です。

さらに、システムコンポーネントの独立した展開により、変更やデータの更新が迅速に実施できるようになり、安全性や互換性の観点から、特定の地域からのみのデータのアクセスを許容できるようになりました。

一般的なブラウザ

ウェブブラウザ	ブラウザの条件	お勧め度
Google Chrome	最新版のグーグルChrome	★★★★★
Firefox	最新版のモジラFirefox	★★★★☆
Edge	最新版のマイクロソフトEdge	★★★★☆
Safari	最新版のSafari	★★★★☆

作業にご利用いただく承認済みブラウザの詳細については、ドメイン管理者またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

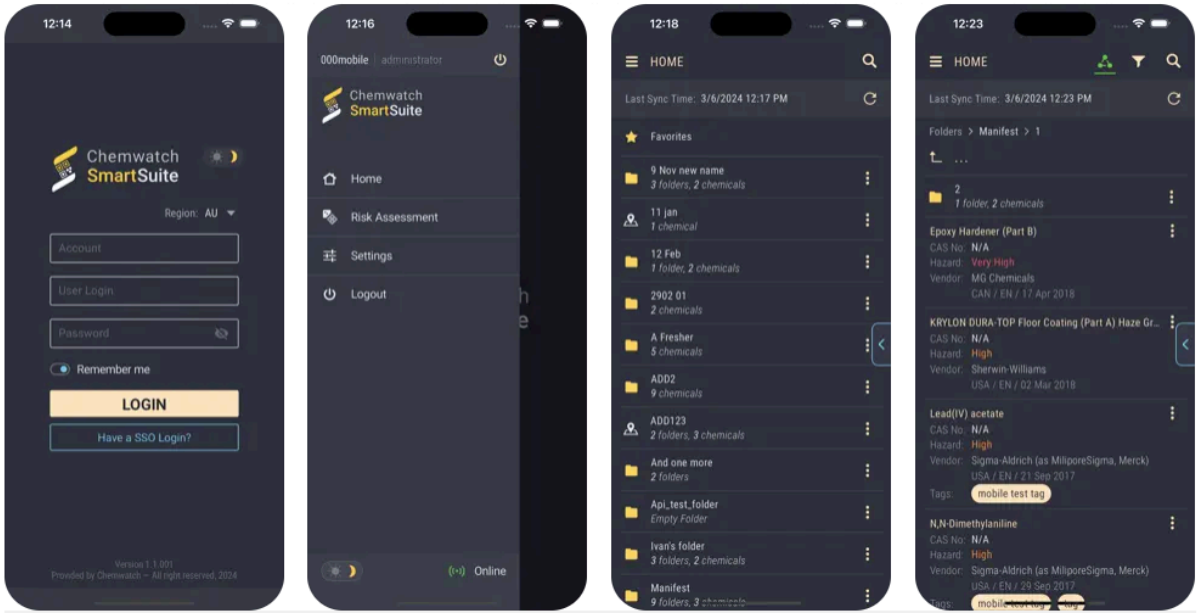
このウェブアプリケーションは、WindowsおよびMacのPCでご利用いただけますが、インターネットへの接続が必要です。また、スマートフォンやタブレットでのご利用には、完全には対応しておりません。

スマートスイート・モバイルアプリ

ケムウォッチは、iOSおよびAndroid向けの別々のモバイルアプリを、標準ライセンスに付属できる追加サービスとして提供しています。これはスマートスイートと呼ばれる最新のモバイルアプリで、リスクアセスメントやバーコードを使った化学品の在庫管理など、広範な健康と安全に関する情報に一か所からアクセスするための、「ワンストップショップ」としてご利用いただけます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

モバイルアプリ	機能	
スマートスイートアプリの 化学品管理モード	● スマートベンダー	ベンダーSDS
	● スマートゴールド	ケムウォッチSDS
	● スマートミニ	ハザード概要SDS
	● スマート緊急対応	緊急対応レポート
	● スマートコブラ	リスクアセスメント
	● スマートラベル	表示ラベル
スマートスイートアプリの 在庫管理モード	● 検索＆閲覧	検索エンジン
	● インベントリ	マニフェストリスト
	● 調整	在庫の調整
	● 設定	機能とモバイル設定



スマートアプリの詳細については、japan@chemwatch.net までお尋ねください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ログインページについて

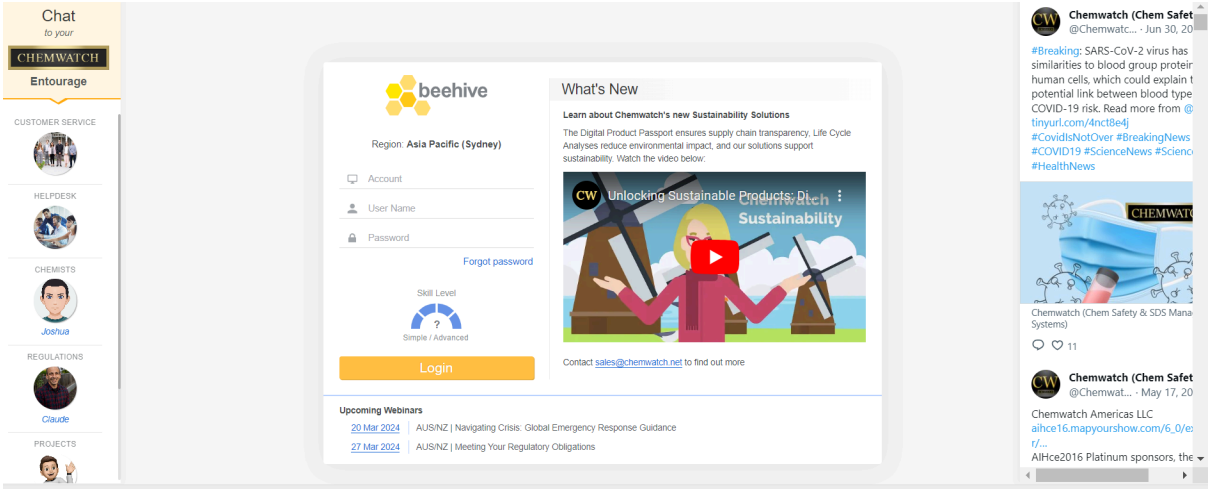
ケムウォッチシステムには、以下のウェブアドレスからオンラインでアクセスしていただけます。

https://beehive.chemwatch.net/login [1]

ログインページ

ログインページには、以下の要素が含まれています：

- サポートチーム
- ログインフィールド：アカウント、ユーザー名およびパスワード
- お知らせ
- ケムウォッチX（旧Twitter）欄



要素	機能	概要
次回から自動ログイン ☑ Remember me	ログイン情報を記憶するためのチェックボックス	チェックボックスが選択されている場合には、ブラウザが前回のログイン情報を記憶します。
Forgot password	パスワードの変更	こちらをご利用いただくと、ケムウォッチからパスワードをリセットするための自動メールを送信します。そちらから、新しいパスワードを設定していただけます。
Register	登録用リンク	こちらリンクをクリックすると、ウェビナーへの登録フォームが開きます。
	機能メーター	システムの基本機能から高度な機能まで、ご利用いただきたいレベルを指定します。

[1] ケムウォッチシステムのURLは、地域により異なる場合があります。詳細はアドミンユーザーにご確認ください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

要素	機能	概要
Chat	ライブチャット	左端の欄には、サポートチームの担当者が表示されています。部署ごとに指定されている御社担当のスタッフが、オンラインで年中無休でご質問等に対応いたします。
X (Twitter)	X-ケムウォッチ	ケムウォッチがX（旧Twitter）で配信している情報が表示されます。

シングルサインオン（SSO）

シングルサインオン（**SSO**）が有効化されているアカウントでは、ログインページはスキップされます。SSOのログイン方法がわからない場合には、アカウント管理者までお問い合わせください。

ウェビナーへの登録

ログインページから、今後開催されるケムウォッチのウェビナーに登録していただけます。ログインページの下部にある「登録」リンクをクリックし、必要な情報を入力して、登録してください。

ユーザーの役割、権限、表示画面設定、およびフォルダのアクセス権

管理者はシステム全体への完全なアクセス管理権を持ち、ユーザーのアクセス権などの権限を管理することができます。管理の内容には、ユーザー管理、表示画面設定、SDS設定、その他のモジュール設定が含まれます。システム設定の「ユーザー管理」より、ユーザーやグループおよびそれらの役割を作成・変更し、フォルダのアクセス権を設定してください。付与されている役割により、各ユーザーがアクセスできる機能の種類が決定する場合があります。自動／手動のログイン認証の設定も、管理者が担当することとなります。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ユーザーには通常、システムの各機能に対して、閲覧のみ、または閲覧／編集の権限が付与されます。これにより、製品・SDSの追加や、重要な情報の編集や削除の、適切な管理が可能となります。

下の表にある役割と機能の説明を使用して、ドメイン管理者から提供されたログイン情報に該当するユーザーの種類をご確認ください。ユーザーの役割や権限が不明な場合は、組織内のドメイン管理者ご確認いただくか、サポートが必要な場合は、japan@chemwatch.netまでEメールでお問い合わせください。

ドメイン管理者、上級ユーザーおよび一般ユーザー向けの、推奨されるユーザーの権限については、以下の表をご確認ください。

役割	特徴	概要	権限
ドメイン管理者	管理者の代表者	システムへのフルアクセス	システム全体に対して完全な読み取り／書き込み権を持ち、ユーザーを作成したり、その権限を管理することが可能です。
管理者	フォルダとインベントリの管理レベル（読み取り／書き込み）	フォルダ、在庫およびマニフェストの管理	フォルダや製品およびユーザーの役割を編集する機能を持ち、レポート生成機能、ダッシュボード、文書フィルタツールなどの、数多くの機能を使用することができます。
一般	一般のユーザー（読み取り専用）	一般的な使用、読み取り専用アクセス、制限有り	データを閲覧したり、製品を検索したり、ドメイン管理者がアクセスを許可した文書を閲覧することができます。

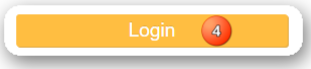
組織内のドメイン管理者が、システムへのアクセス設定を担当します。特定の機能へのアクセスに関するご質問がある場合には、御社の担当者までお問い合わせいただくか、チャット機能を通じてチケットを発行してください。

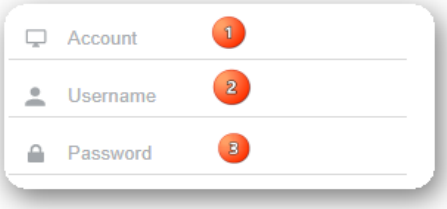
手動ログイン

新しいユーザーには、システムにアクセスするためのリンクと、ログイン情報および仮のパスワードが記載されたウェルカムメールが届きます。ログイン後すぐに、パスワードの変更が促されますので、変更期限までに新しいパスワードを設定してください。

手順：手動ログインの方法

1. アカウント名を入力します。
2. ユーザー名を入力します。
3. パスワードを入力します。
4. ログインボタンをクリックします。



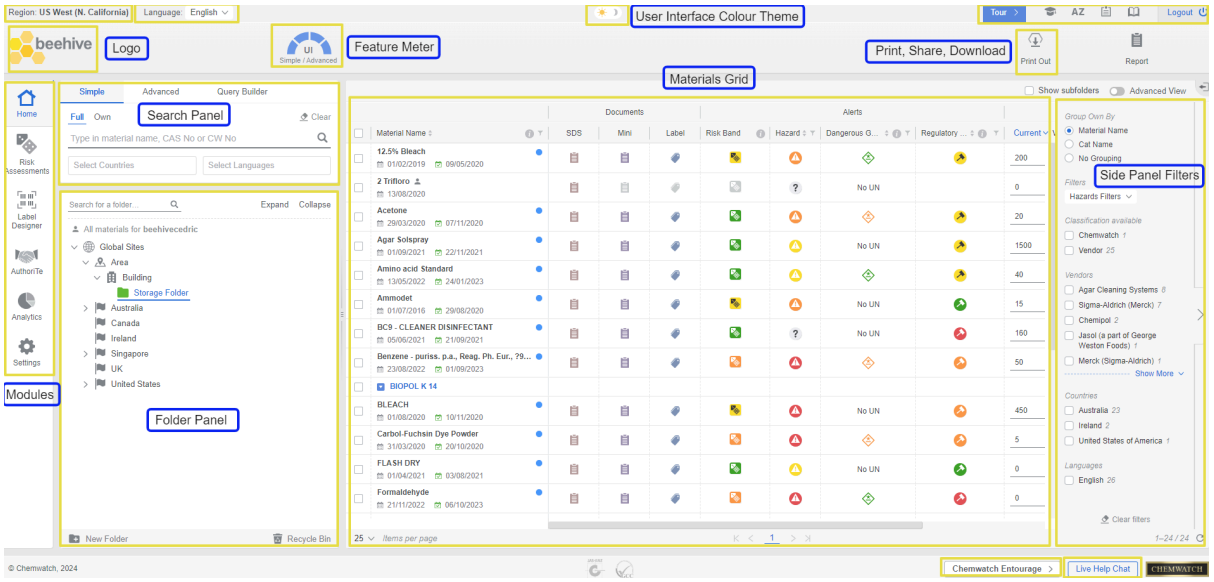


ログインに成功すると、ホーム モジュールが表示され、ドメイン管理者が付与したユーザー設定に基づく機能をご利用いただけます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

メイン画面の構成

機能メーターが最高レベルに設定ている場合、上級ユーザーの画面には、下のようなモジュールや機能が表示されます。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

機能メーターについて

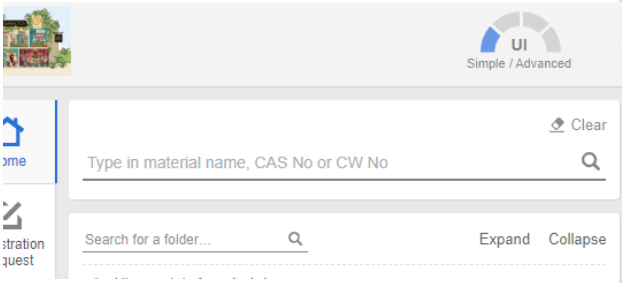
機能メーターでは、ユーザーのスキルレベルに応じて、表示画面の複雑さを簡易から上級モードまで調節していただけます。基本モードでは機能が制限され、上級モードではより多くの高度な機能がご利用可能となります。

「機能メーター」とは？

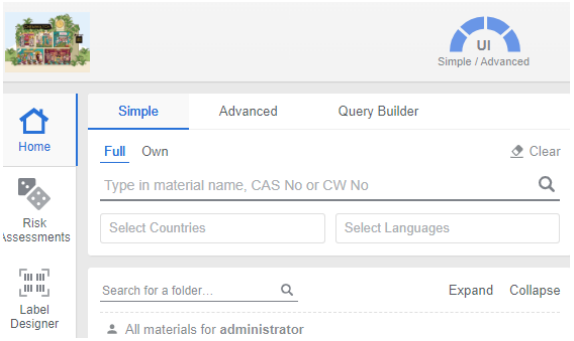
機能メーターは、画面に表示されるパネルや機能を「基本」や「上級」などのモードに切り替えるためのメーターです。このメーターの主な目的は、複雑さを軽減し、画面上に表示されるものを制御することで、重要な情報に集中できるようにすることです。

こちらの ボタンより、画面の明るさを「明るい」と「暗い」からお選びいただくことも可能です。.

基本モードの表示画面



上級モードの表示画面



各ユーザーは、このモードを「簡易」や「上級」に変更してシステムをご利用いただけます。スキルレベルのモードに紐づけられた機能や製品パッケージについては、以下の表をご確認ください。

スキル	モード	製品	メーター
レベル1	簡易	バックパック・ライト	UI
レベル2	基本	バックパック	UI
レベル3	中級	ゴールドFFX	UI
レベル4	上級	ケメリタス	UI

機能メーターは、標準のデフォルトボタンやアイコン、表示画面の言語、ライブヘルプチャット、印刷、ダウンロード、共有、eラーニング、ニュースレターおよびマニュアルの設定には影響を及ぼしません。フォルダや製品の編集には、ウィンドウズPCでは右クリックを、Mac PCでは左クリックを使用します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

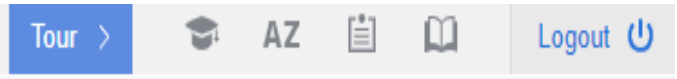
ユーザーツアーとガイダンス

ゴールドFFXの表示画面には、ユーザーツアーやeラーニング、ユーザーガイドなどの、情報や学習をサポートするガイダンスツールが含まれています。これらの機能には、表示画面右上のバーからアクセスしていただけます（下図参照）。

ユーザーツアー、eラーニング、マニュアルおよびログアウトボタン

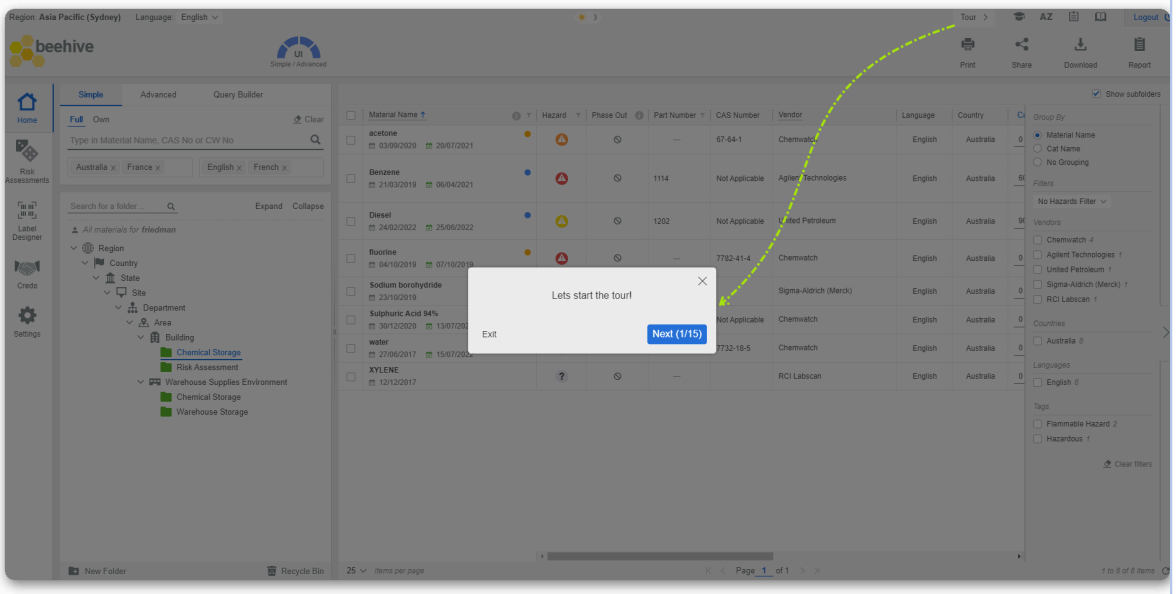
表示画面の右上には、次のようなボタンが表示されています：

- ツアー
- eラーニング
- 用語
- 掲示板
- マニュアル
- ログアウト

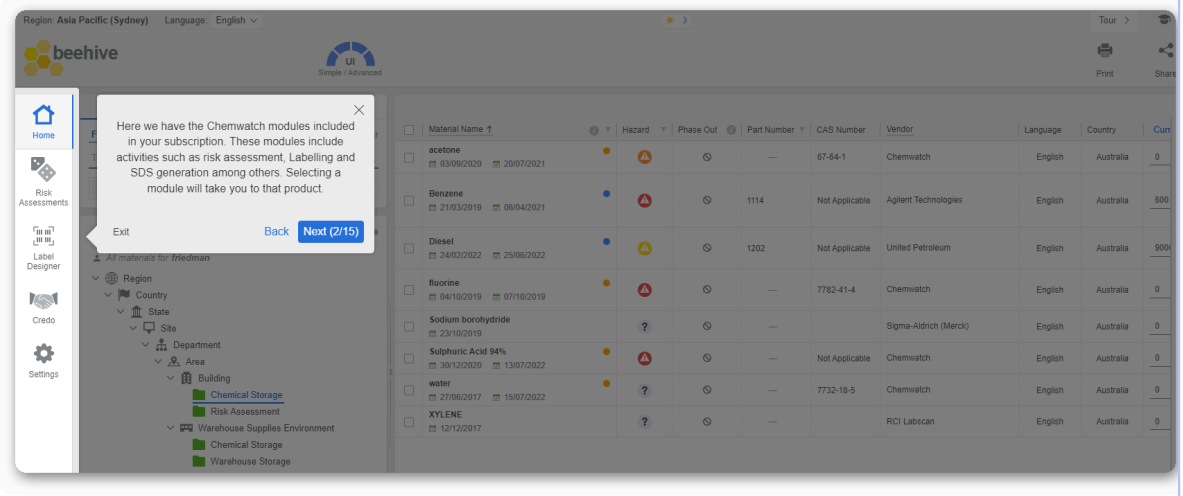


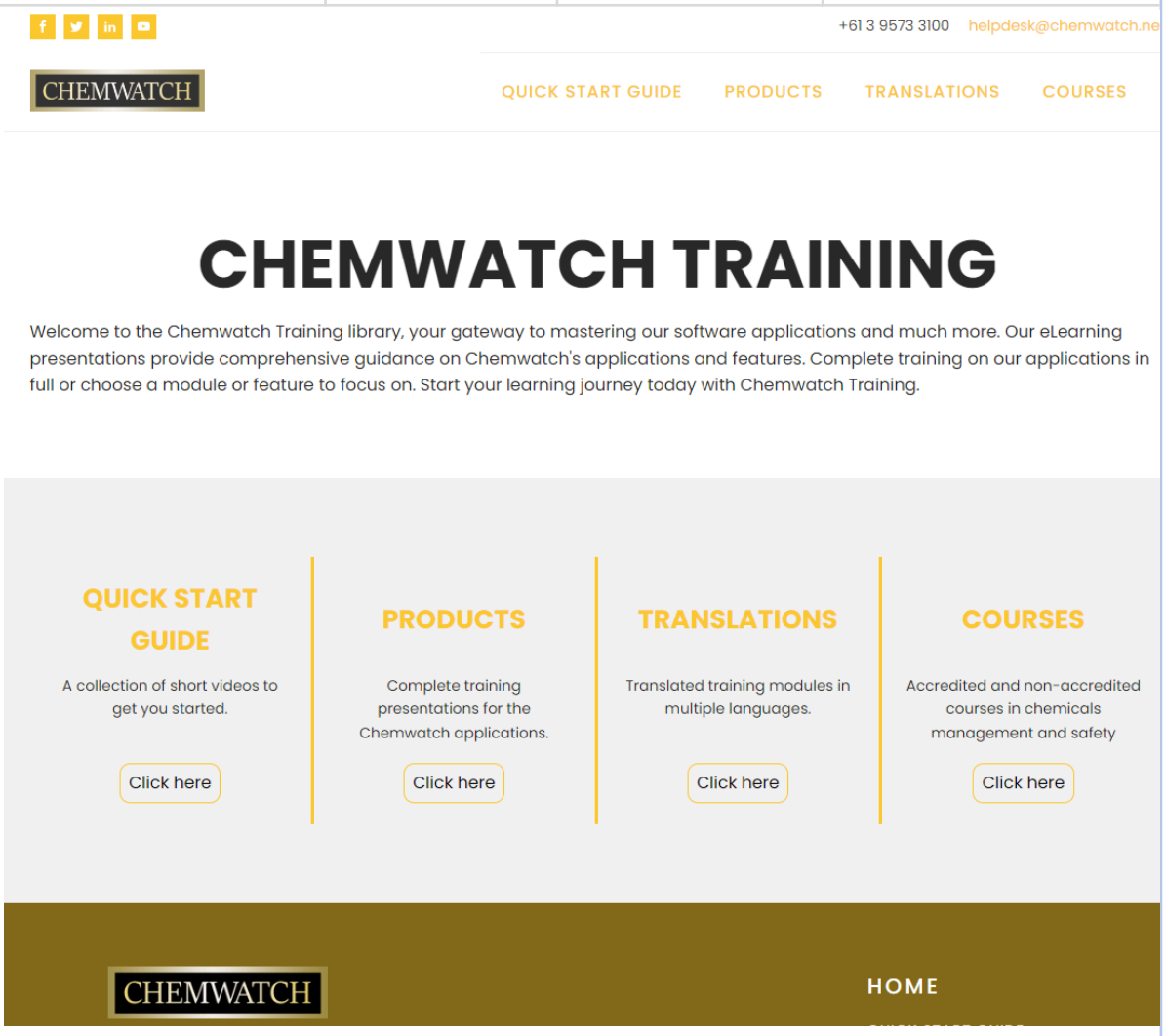
ボタンの機能については、次の表をご確認ください。

ボタン	機能	概要	用途
Tour	ユーザーツアー	表示画面の構成要素に関する使用方法の説明	各モジュールの使い方の簡単な説明（新人研修などに便利）。



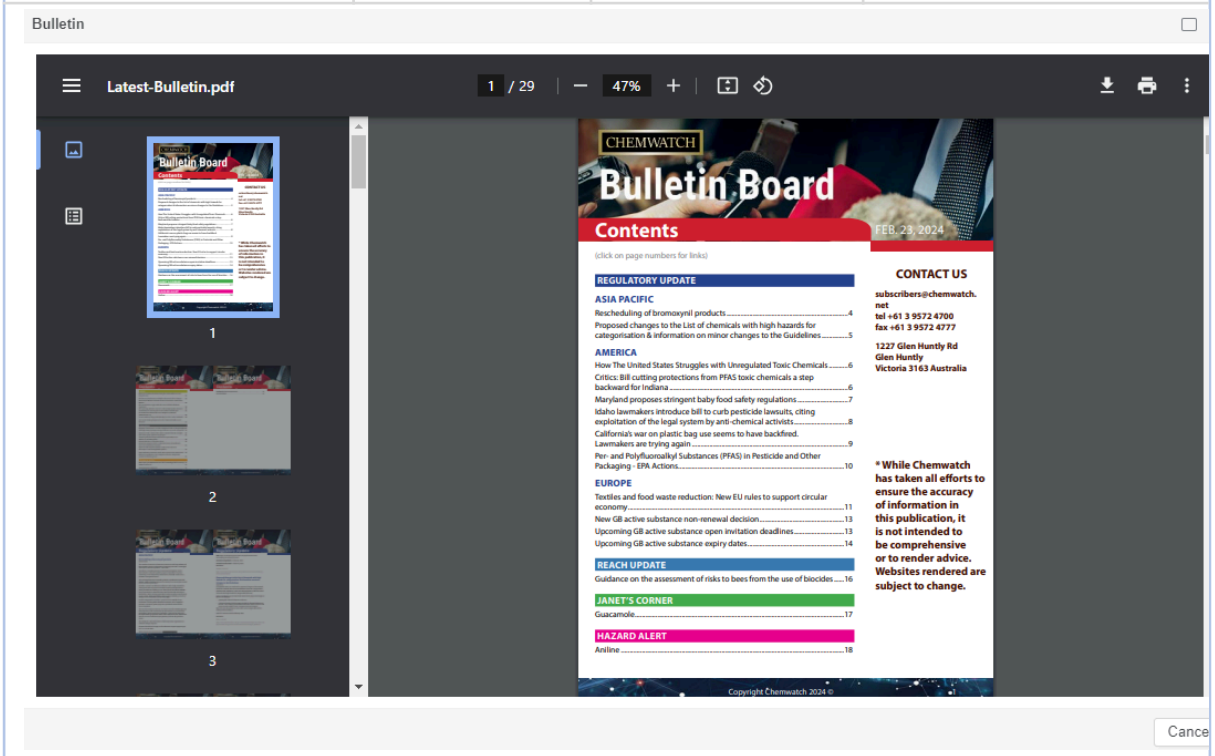
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ボタン	機能	概要	用途
			
	eラーニング	システムのご利用方法に関するeラーニングガイド	より詳細にわたるシステムのご利用方法を学んでいただけます。

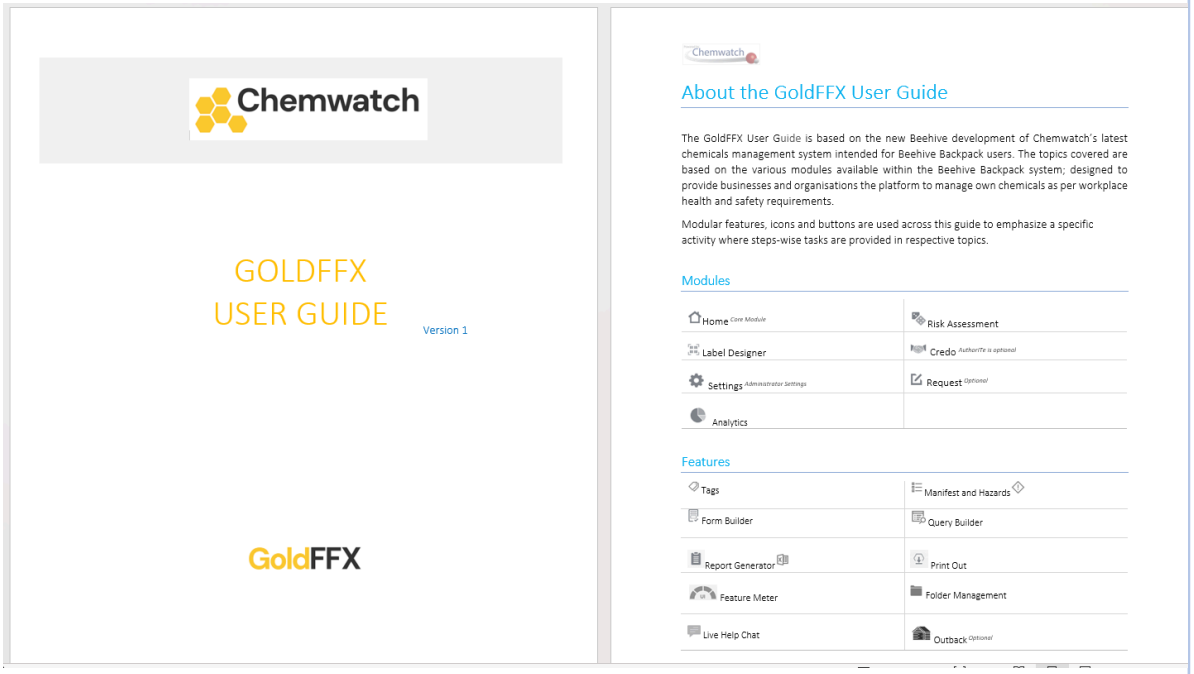


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ボタン	機能	概要	用途
	掲示板	ケムウォッチの掲示板	世界各国の法規制に関する最新情報、危険警告、技術注記など。

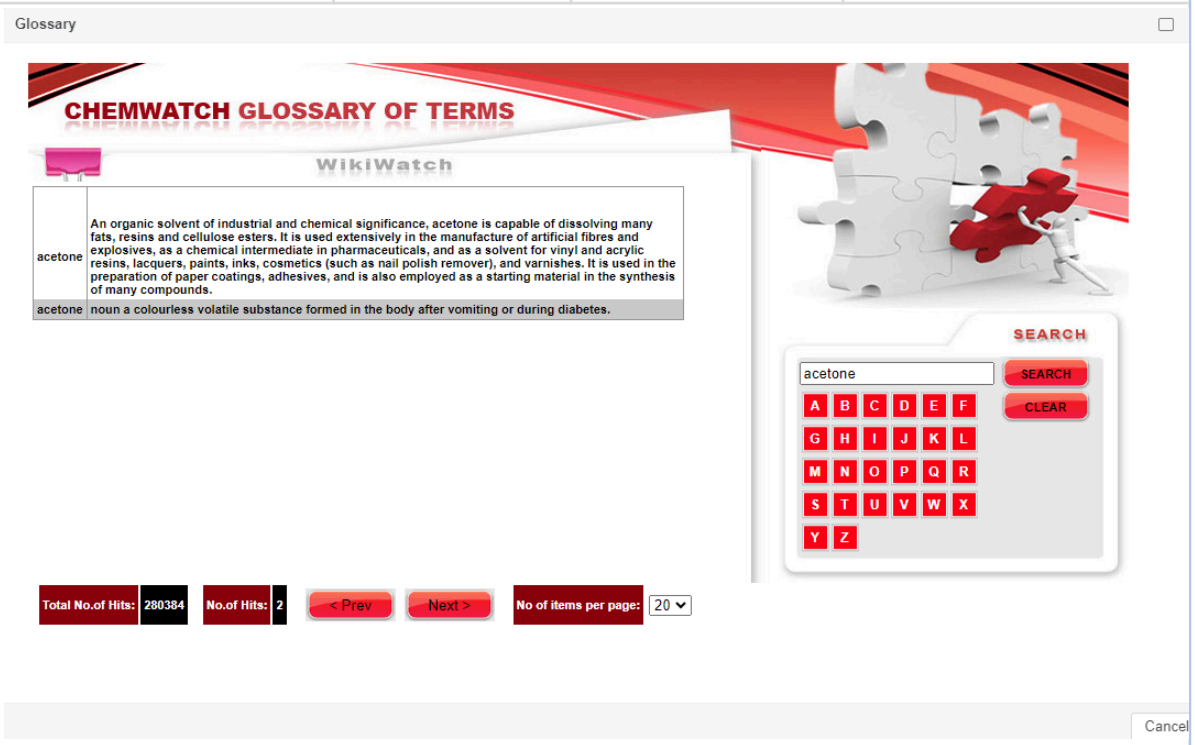


	ユーザーガイド	システムのご利用マニュアル	ここからマニュアルをダウンロードしてご利用いただけます。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ボタン	機能	概要	用途
AZ	用語	ケムウォッチが作成した用語の解説	難しい言葉の意味を検索していただけます。



Logout	ログアウト	システムからのログアウト用のボタン	ケムウォッチのアプリケーションからログアウトし、ログイン画面に戻ります。

ホームモジュール

- 検索パネル

このパネルには、簡易モード、詳細モードおよびクエリビルダモードの、3種類の検索用のタブがあります。国や言語を設定して、検索条件に適用することも可能です。

検索対象のデータベースは2種類あり、ひとつは「全データ」で、ケムウォッチの数百万件のSDSが含まれる全データベースを指します。もう一つは「自己」データで、企業や組織固有のアカウントに登録されている製品のみを検索対象とします。

Simple 簡易モードでは、製品名、商品名、CAS番号またはCW番号を利用して、基本的な検索を行うことができます。

Advanced 詳細モードでは、ドロップダウンリストあるパラメータを利用して、検索を実行していただけます。検索用のパラメータには、CAS番号、CW（ケムウォッチ）番号、CAS（成分）、危険物クラス、容器等級、国連番号、サブリスク、EINECS番号、ベンダー、製品番号、分子構造、SMILESおよび優先名などがあります。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

- サイドパネルからアクセスできる主要および代替文書

このサイドパネルには、以下のオプションより、表示する文書の種類を選択していただけます：

主要文書	代替文書	比較文書
● SDS ● ミニ ● 表示ラベル ● RAレポート	● ケムウォッチSDS ● ケムウォッチミニSDS	● SDS ● ミニ ● RAレポート

- フォルダツリーパネル

このパネルでは、アカウントのフォルダを管理するための、フォルダツリーをご確認いただけます。そして在庫管理の一環として、製品／SDSをフォルダに追加します。

- クエリビルダ

Query Builder このタブでは、クエリを作成してデータベースを検索し、ANDやORなどの演算子と、文字列を組み合わせて、製品を特定することができます。製品に含まれる成分をクエリの対象とすることも可能です。クエリをタグと共有し、製品テーブルのタグとフィルタを使用して、条件に該当する製品を簡単に見つけることができます。

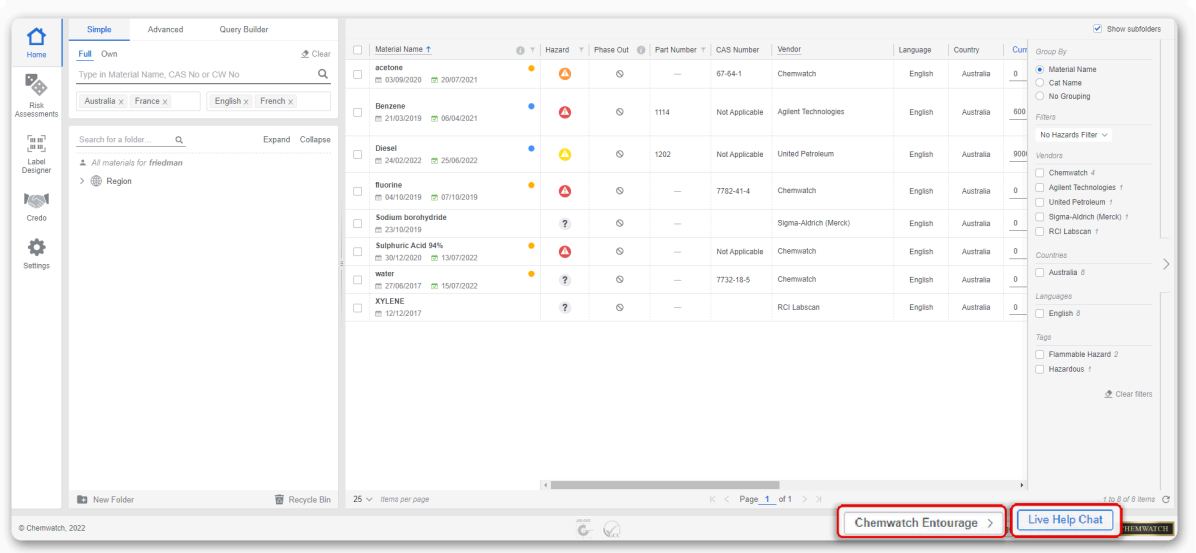
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ヘルプとサポートについて

ゴールドFFXでは、各ユーザーに即座にオンラインサポートを提供したり、苦情、問題、バグ、エラーおよび質問をお送りいただくために、下記のようなサポートを提供しています。

ツール	概要
ライブチャット	アプリケーションの右下にあるライブヘルプチャットパネルより、年中無休でライブチャット・サービスを提供しています。
サポートチーム	サポートチームに直接お問い合わせください。チャットオプションはライブチャット・ルームに連結しており、メール機能をご利用いただくと、担当のスタッフに連絡が届きます。
電話	お電話の着信履歴は、弊社のCRMシステムと連携しています。サポートチームはフォローアップのためのチケットを発行し追跡することで、サービスの質の向上を図っています。
Eメール	お送りいただいたメールは、弊社のCRMシステムに届きます。担当者はトラブルシューティングを行い、追跡のためにチケットを発行し、いただいたご質問やご要望に、確実に対処いたします。

ログインしているユーザー様は、アプリケーションの右下隅に便利に配置されたライブヘルプチャットとケムウォッチエンタラージュパネルを見つけることができ、問い合わせや問題についてのサポートを受けやすくなります。ログインしているユーザー様には、画面右下から、簡単にライブヘルプチャットやサポートチームにアクセスしていただけます。



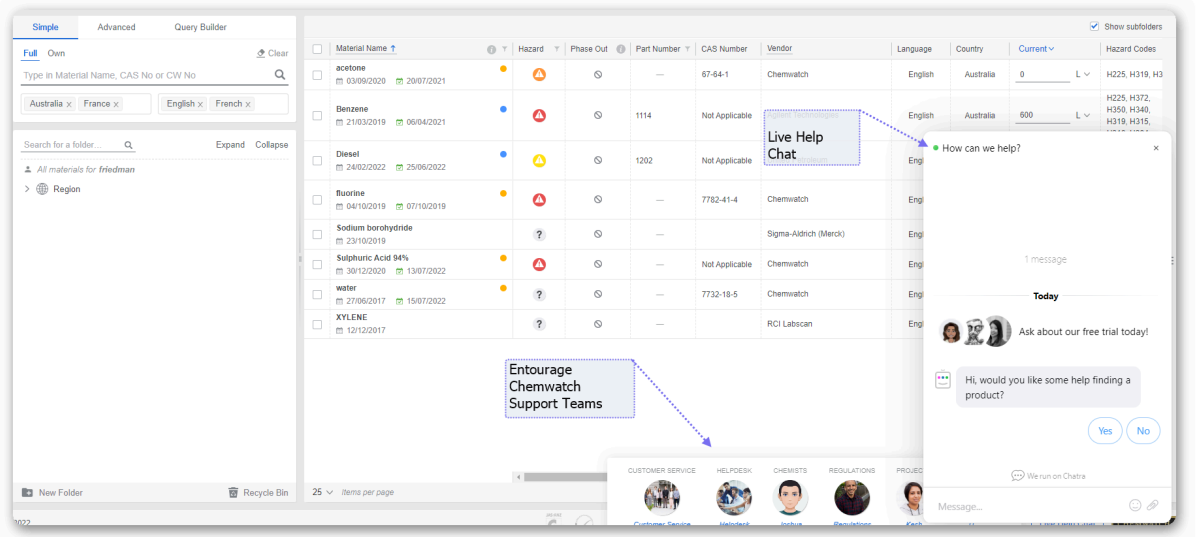
サポートパネルは、通常上の画像のように縮小されてます。拡大すると、次のようなオプションが表示されます：

- オンラインチャット
- サポートチームのメンバーに、Eメールを送信する

ヘルプおよびサポートに関するツールの詳細については、次の表をご確認ください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

種類	機能	概要
ライブチャット Live Help Chat	オンラインのチャットを利用したサポート	チャットフォームを使って、ケムウォッチにお問い合わせいただけます。フォローアップが必要なお問い合わせについては、チケットが発行され、問題が解決するまで対応いたします。
サポートチーム Chemwatch Entourage >	チャットをリクエストするか、担当者にEメールを送信する	チャットでサポートスタッフにお問い合わせをいただくか、Eメールで担当者にお問い合わせをいただく際にご利用ください。

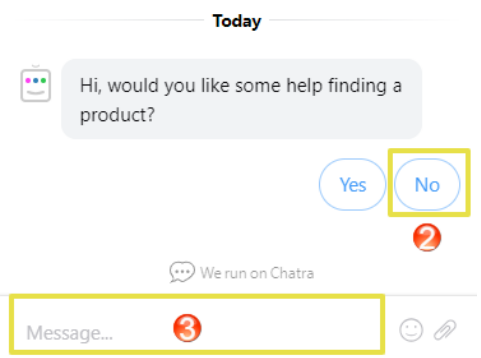


ライブヘルプチャットとサポートチームパネルは、すべてのモジュールに表示され、どのページからでも即座にお問い合わせをいただけます。次のページでは、ライブチャット・パネルを使って、サポートチームのメンバーとオンラインで会話をしていただく方法について、ご説明を差し上げます。

手順：チャットパネルの使い方

1. ライブヘルプチャットのボタンをクリックします

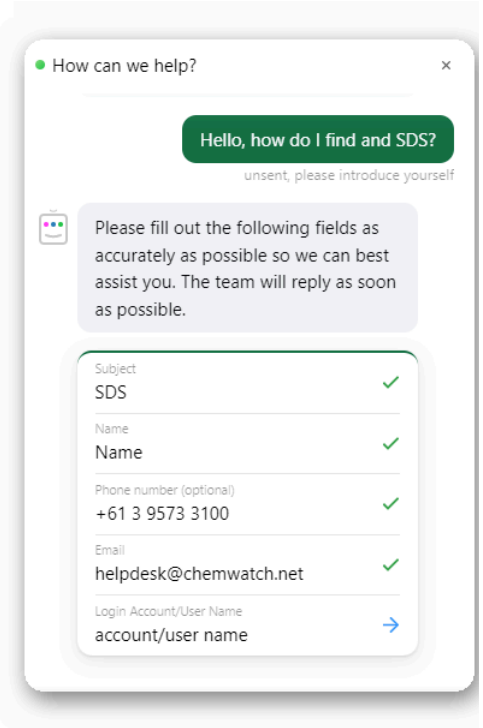
2. 「製品をお探しですか？」に対して「はい」または「いいえ」を選択します。この例では、「いいえ」を選択しており、するとオンラインサポートに即座に繋がります。
3. テキスト欄に、ご質問やご要望を入力します。
4. キーボードの「Enter」キーを押すか、送信ボタンをクリックしてください。



チャットボットの自動メッセージが表示され、フォームに必要な情報を入力してチャットを開始するよう指示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

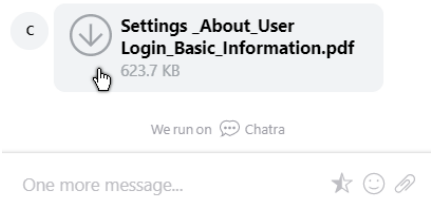
5. 件名を入力します。
6. 矢印 → をクリックします。
7. ご自身のお名前を入力し、矢印 → をクリックします。
8. お電話番号を入力し、矢印 → をクリックします。
9. メールアドレスを提供し、矢印 → をクリックします。
10. ログインアカウントとユーザー名を入力し、矢印 → をクリックします。
11. 問い合わせ内容を入力し、[Enter]キーを押すか、送信 クリックします。
12. ケムウォッチのオンラインサポートチームが、あなたのお問い合わせに対応します。
13. 会話が終了したら、チャットパネルの右上隅にある「閉じる × 」ボタンをクリックします。



サポートツール

ケムウォッチのサポートチームは、お問い合わせに対してより良いサポートを提供するために、チャット関連ツールを使用する場合があります。

ケムウォッチは、あなたのプライバシーとセキュリティを重視しており、画面共有ツールがケムウォッチのウェブアプリケーションの表示画面にのみ使用され、あなたのブラウザにはアクセスしないことをお約束いたします。画面共有ツールは、あなたのコンピュータのウェブブラウザにはアクセスせず、ケムウォッチシステムの画面のみにアクセスするよう設計されています。

ツール	用途
スクリーンショット	サポートチームは、タスクの実行手順を提供するために、チャットメッセージ内で、スクリーンショットを共有する場合があります。提供された画像をクリックして、スクリーンショットをフルサイズでご確認ください。
文書リンク	サポートチームは、詳細情報を提供するために、チャットメッセージ内で文書のリンクを共有する場合があります。チャットメッセージの、ダウンロードアイコンを使用して、ファイルをPCや外部ドライブに保存してください。
	
画面の共有	ケムウォッチのサポートチームは、ご利用方法の説明、問題の理解およびその他のトラブルシューティングのために、現在の表示画面の共同閲覧または画面共有を依頼する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ツール	用途
	場合があります。この機能は、特定の機能のご利用方法を実演する際にも、使用される場合があります。

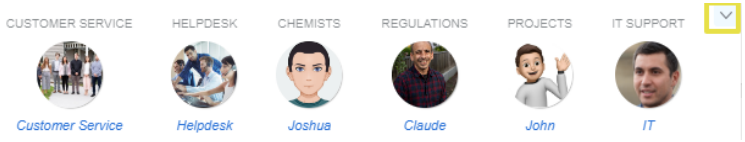
お客様からお問い合わせをいただいた際には、番号が付与されたチケットが発行され、その後の対応や優先順位が決定します。チケットが作成されると、参考情報として依頼者にメール通知が送信され、その後もチケットが完了するまで更新情報が届きます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ケムウォッチのサポートチームについて

ケムウォッチは、比類なきカスタムサービスへの取り組みの一環として、ケムトラージュと呼ばれるサポートチームによる、プライベートサービスを開始しました。システムのログインページには、専門分野ごとの御社の担当スタッフが掲載されています。

- カスタマーサービスおよびアカウント管理
- ヘルプデスク
- プロジェクト管理
- 化学者およびSDS作成
- 法規制およびカスタム表示ラベル
- ITテクニカルサポート



サポートチームのご紹介

事業部門サービス

カスタマーサービスチーム

お客様のアカウント管理、SDS取得リクエストの処理、SDSの提出、SDSの更新、システム設定、システム導入、苦情対応、研修リクエストを担当します。顧客管理システム上でチケットを発行し、迅速に対応いたします。必要に応じて、カスタマーサービスの統括者が、チーム全体の対応を調整いたします。

化学者チーム

SDSの作成、緊急対応、レビューSDS、SDSの内容に関する問い合わせ、文書生成に関する技術的なご質問、ゴールドSDSおよび化学品監査を担当します。

ヘルプデスクチーム

各種アプリケーションのご利用方法 に関するヘルプおよびサポートを提供します。バグやエラーのトラブルシューティング、改善点の提案およびSDSに関する問い合わせについて、チケットの発行を担当いたします。

法規制チーム

一般的な法規制情報や、ラベルの作成およびカスタマイズに関するお問合せを担当します。 *特定のSDSに関するご質問は、まず化学者チームにお問合せください。

ITチーム

GoldFFXアプリケーションへのアクセス、セキュリティ、クライアント側のIT関連要件などの、技術的なお問合せを担当します。 アプリケーションのご利用に関するお問い合わせは、まずヘルプデスクにご連絡ください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

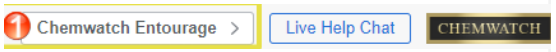
プロジェクトチーム

プロジェクトチームは、在庫アップロード、マニフェスト・アップロード、SDSの取得および登録に関連するPTN（プロジェクト・トラッキング・ナンバー）を管理しています。

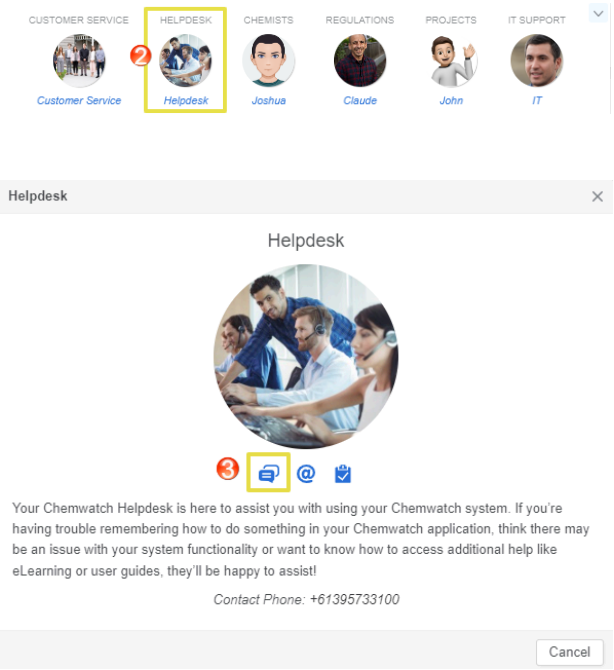
ライブチャットを通じてヘルプデスクにお問い合わせや質問を提出する方法は、以下の通りです。

手順: サポートチームへのお問い合わせ方法

1. サポートチームのパネルを開きます。



2. サービスチーム（例: ヘルプデスク）をクリックします。
3. 表示されたヘルプデスクの画面で、チャットアイコン を選択します。
4. テキスト欄に、メッセージや質問を入力します。
5. キーボードのEnterキーを押すか、送信アイコン をクリックします。チャットボットの自動メッセージが表示され、簡単なフォームに必要情報を入力するよう指示されます。



チャットフォームに、詳細とメッセージを入力します。サービスチームのメンバーが、迅速に対応いたします。

チャットの終了後には？

ケムウォッチのチケット・システムを初めてご利用いただく場合、認証用のEメールが送信され、登録プロセスを完了するよう指示されます。Eメールにある指示に従い、チケット・システムにアクセスし、パスワードを設定してください。

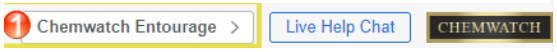
サポートチームにEメールを送信する

サポートチームのメール機能から、ご質問などお送りいただく方法は以下のとおりです。

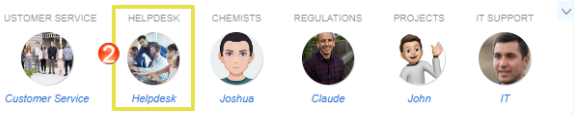
手順：サポートチームのメンバーにメールを送信する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

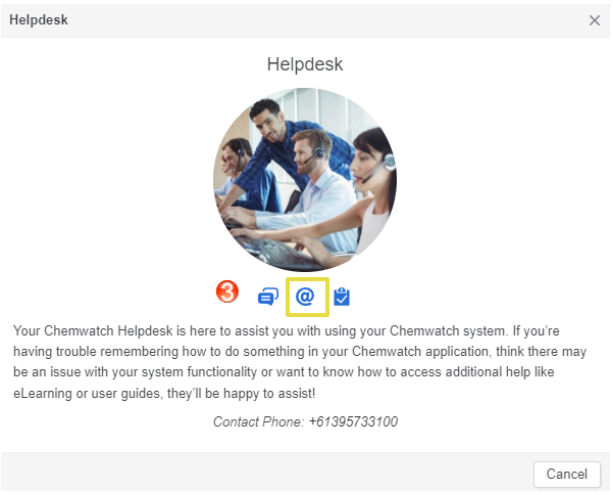
1. サポートチームのパネルを開きます。

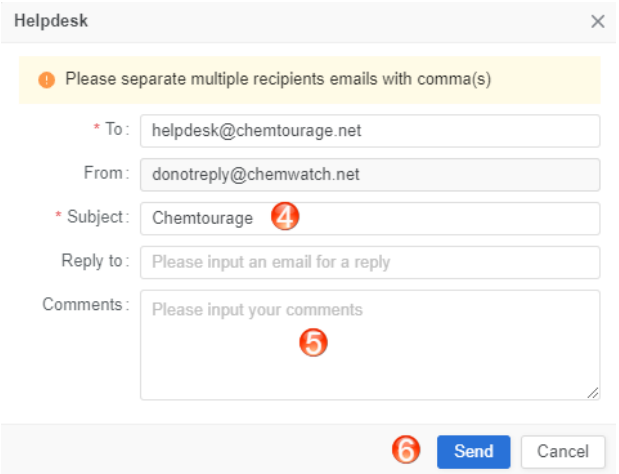


2. サービスチーム（例: ヘルプデスク）をクリックします。



3. 表示されたヘルプデスクの画面で、メールアイコン @ を選択します。
4. 件名の欄に、お問合せ内容の主題を入力します。
5. コメント欄に、お問合せ内容の詳細を入力します。
6. 送信ボタン Send をクリックし、メールを送信します。





お問合せのEメールを送信した後は？

サポートチームにお送りいただいたEメールは、該当するケムウォッチサービス部門の代表に送信され、必要であればチケットが発行されます

一般的なサポートに関して、より詳細にわたる情報が必要な場合には、helpdesk@chemwatch.netまでご連絡いただくか、チャットパネルよりご連絡ください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

1.0 導入

ゴールド**FFX**は、化学物質の在庫管理、職場で使用／保管／輸送される化学品のSDS（安全データシート）の管理、容器ラベルの作成、混合物の作成、リスクアセスメントの実施、さらには分析データの高度な管理などを行うために開発された、ケムウォッチのウェブアプリケーションです。システムの技術的な構造にはマイクロサービスを採用しており、これは、小さなアプリケーションやサービスがハチの巣のように集合体を形成し、全体として機能することを意味します。アマゾン・ウェブ・サービスのコンピューティングパワーを活用して、システムは柔軟に拡張可能で、あるコンポーネントがダウンしても他の部分には影響を与えないため、高い信頼性を誇ります。各システム部分を独立して展開し、クライアントデータの地域ごとのアクセスを可能とすることで、変更の反映もより迅速となりました。

1.1 モジュール

ゴールドFFXパッケージには、以下のモジュールが含まれます：

- ホームモジュール
- リスクアセスメント・モジュール
- 設定モジュール
- 登録依頼モジュール

モジュール

ホーム

- 製品を検索する
- 作業場や建物を反映した、デジタルマニフェストを作成する
- 製品を追加し、数量を編集する
- データをエクスポートするためのレポートテンプレートを作成する
- リストおよびSDSを印刷、共有またはダウンロードする

リスクアセスメント

- ILOモデルに基づく、健康リスクアセスメントを実施する
- 国連（保管）リスクアセスメントを実施する
- リスクアセスメントレポートを作成する
- リスクアセスメントのジョブを作成する
- ジョブレポートを作成する

ラベルデザイナー

- 文書テンプレートを作成する
- ラベルテンプレートを作成する
- 製品の表示ラベルを生成する

クレド（AuthorITeはオプション）

- 新しい混合物を作成する
- 混合物をフォルダに追加する
- ミニSDSや表示ラベルを生成する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

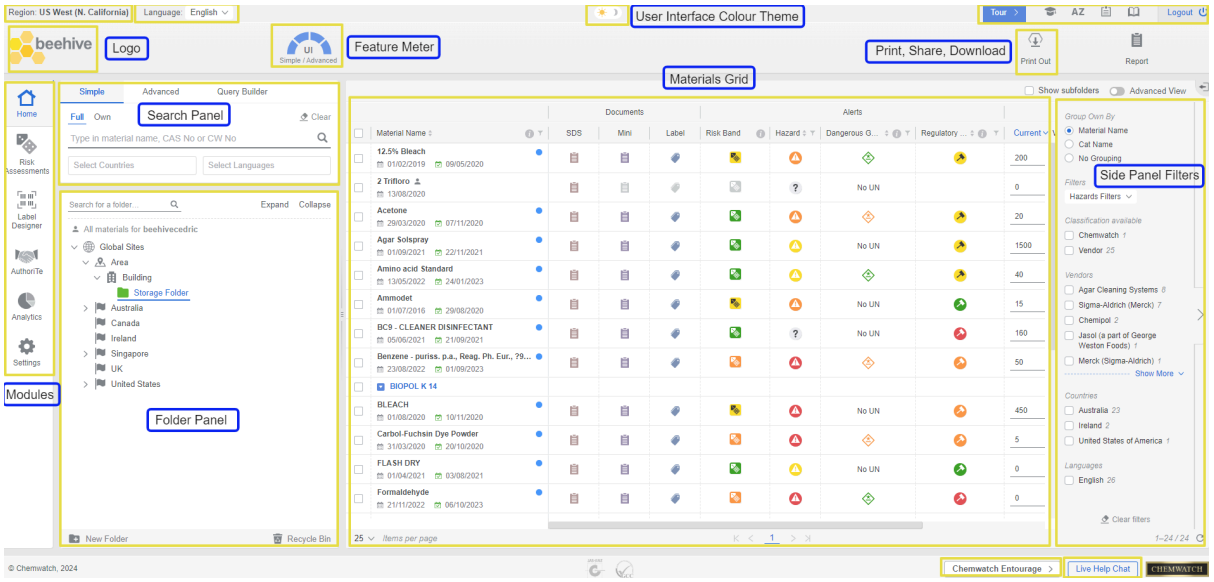
設定 (アドミンアクセス)

- 一般設定
- SDS設定
- ユーザー管理
- リスクアセスメント設定
- 配布用ゴールドSDS設定
- フォームビルダ設定

機能

- 危険有害性と危険物のフィルタ
- クエリビルダ
- メソッドビルダ
- タグ
- フォームビルダ
- 機能メーター

ホームページ表示画面



システム内で利用可能な機能の詳細は、以下のリストのとおりです。

機能

タグ

- 製品のタグを作成する
- タグを使用して、在庫リストにフィルタを適用する
- タグ付けされた製品を印刷、共有、またはダウンロードする

マニフェストと危険有害性

- 危険有害性評価を使用して、製品にフィルタを適用する
- 危険物評価の順に、製品を並べ替える
- 法規制負担の順に、製品を並べ替える
- 危険有害性の概要を見る(ツールチップ)

フォームビルダ

- フォームを作成する
- フォームの種類を指定する
- さまざまなフィールドを追加する
- 言語を指定する
- 入力されたフォームデータを出力する

クエリビルダ

- 検索クエリを作成する。
- メソッドを使用して、クエリを作成する。
- 演算子を使用して、クエリを作成する。
- 成分をクエリの対象とする。
- タグを使用してクエリを共有する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

レポート生成機能

- データポイントを使用して、出力ファイルのテンプレートを作成する。
- テンプレートを使用して、レポートを生成する。
- レポートをさまざまな形式でエクスポートする。

SDSとデータの出力

- 製品リストを印刷、共有またはダウンロードする。
- SDSを印刷、共有またはダウンロードする。
- 表示ラベルを印刷、共有またはダウンロードする。
- マニフェストを印刷、共有またはダウンロードする。

機能メーター

- 機能レベルに応じて、簡易モードから詳細モードまで、表示画面を切り替える。

フォルダ管理

- フォルダを作成／編集する。
- 実際の場所に応じてマニフェストを作成する。
- フォルダのプロパティを適用する。
- フォルダの履歴を表示する。
- フォルダの位置データを生成する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

2.0 製品の簡易検索

この章では、以下のトピックについてご説明を差し上げます。

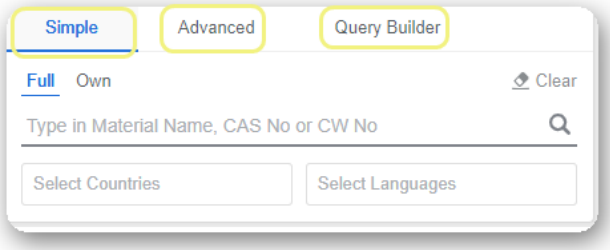
- 製品を検索し、ゴールドSDSを表示する。
- 製品を検索し、ベンダーSDSを表示する。
- 製品を検索し、ミニSDSを表示する。
- 製品を検索し、ラベルを表示する。
- カテゴリ名で製品を検索する。
- ベンダー名で製品を検索する。
- 自社の在庫から製品を検索する。
- 製品を検索し、自社の在庫からベンダーSDSを表示する。
- 詳細オプションを使用して、製品を検索する。
- 検索結果リストをグループ化する。

ケムウォッチのデータベースには、数百万件のSDSが搭載されています。全データを対象として用語検索を実行すると、特に検索語が数多くの製品に使用されている場合には、無数の製品が検索結果に表示されることがあります。ゴールドFFXアプリケーションでは、エラスティックサーチを採用しています。エラスティックサーチの利点は、以下の通りです。

- 強力で先進的な技術
- 信頼性が高く拡張性を有する
- より素早い検索とパフォーマンスの向上
- より良い検索精度
- より見やすくわかりやすい検索結果

検索パネルにあるさまざまな検索モードを利用しての、製品の検索が可能です。ご利用可能な検索モードは、以下のとおりです。

- 簡易
- 詳細
- クエリビルダ



検索モードの概要は、以下の表のとおりです。

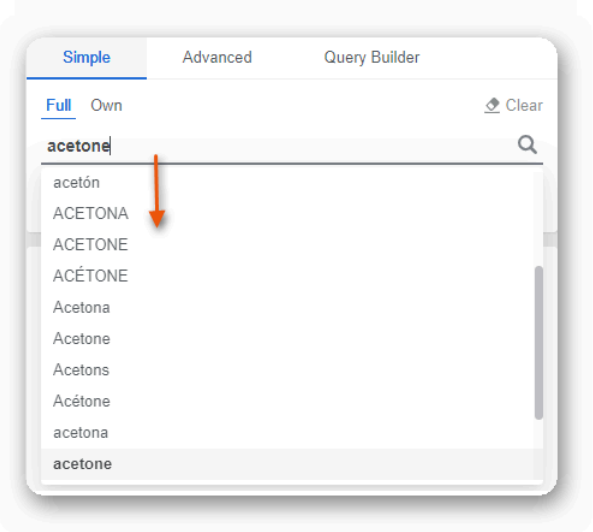
検索モード	概要
簡易	製品名、商品名、CAS番号、またはCW番号で製品を検索する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

詳細	名称、CAS番号、CW番号、成分のCAS番号、危険物クラス、容器等級、リスクコード、サブリスク、国連番号、EINECS、製品番号、ベンダー、化学構造、毒物スケジュール、カタログ番号、および危険有害性評価を使用して、製品を検索する。
クエリビルダ	(演算子と文字列を組み合わせて作成した)クエリを使用して製品を検索する。検索を行う前に、クエリを作成しなければなりません。

検索対象は、全データと自己の2種類からお選びいただけます。

検索対象	概要
Full	これはケムウォッチのフル検索エンジンで、単一物質、混合物、および製品などの、数百万件のSDSが搭載されています。前データ検索は、簡易モード、詳細モード、およびクエリビルダモードでご利用いただけます。This is
Own	これはお客様自身の在庫、つまりケムウォッチデータベースへのご登録をご依頼いただいた、ご利用中の製品です。自己検索は、簡易モード、詳細モード、およびクエリビルダモードでご利用いただけます。
オートコンプリート	オートコンプリート検索は、全データ検索と自己検索の両方に適用されます。これにより、適切な製品を迅速に選択していただけます。



検索結果には、次のような指定条件が一致する製品が全て表示されます。

- 製品名
- 商品名
- CW番号

製品テーブルに表示される情報:

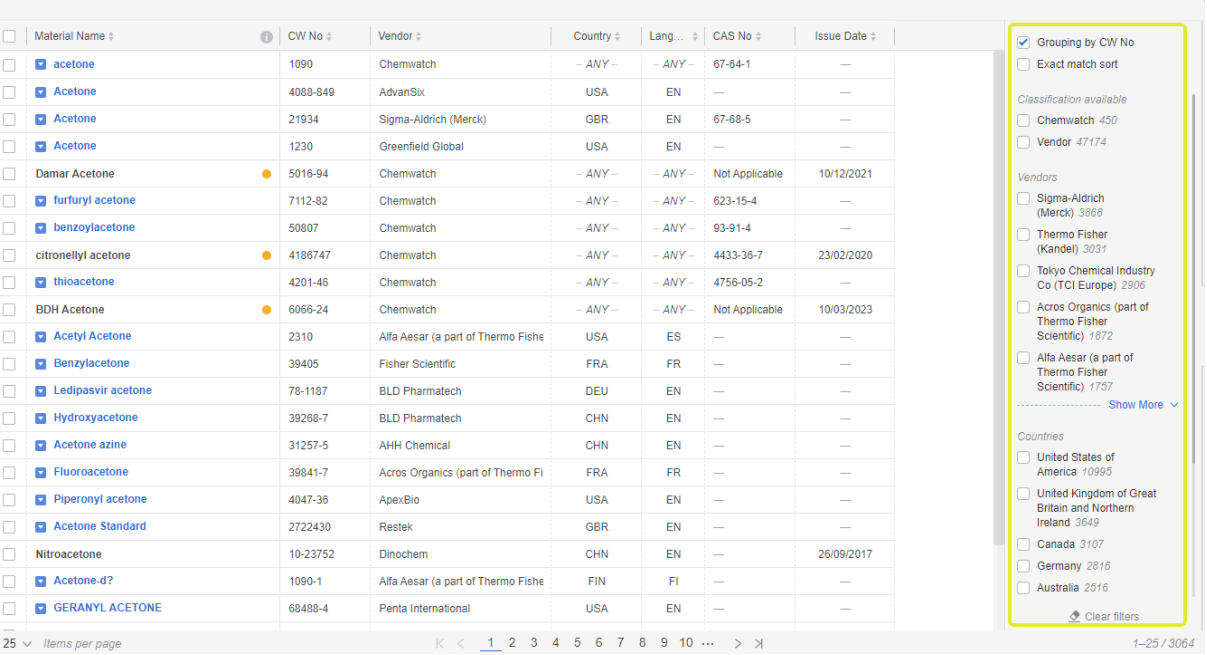
• 製品名 • CAS番号 • CW番号	• ベンダー • 国 • 言語

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Material Name	CW No	Vendor	Country	Lang...	CAS No	Issue Date
acetone	1090	Chemwatch	– ANY –	– ANY –	67-64-1	—
Acetone	4088-849	AdvanSix	USA	EN	—	—
Acetone	21934	Sigma-Aldrich (Merck)	GBR	EN	67-68-5	—
Acetone	1230	Greenfield Global	USA	EN	—	—
Damar Acetone	5016-94	Chemwatch	– ANY –	– ANY –	Not Applicable	10/12/2021
furfuryl acetone	7112-82	Chemwatch	– ANY –	– ANY –	623-15-4	—
benzoylacetone	50807	Chemwatch	– ANY –	– ANY –	93-91-4	—
citronellyl acetone	4186747	Chemwatch	– ANY –	– ANY –	4433-36-7	23/02/2020
thioacetone	4201-46	Chemwatch	– ANY –	– ANY –	4756-05-2	—

検索結果リストには、データをさらに絞り込むためのサイドパネルが表示されます。

- CW番号でのグループ化
- 適合度順の並べ替え
- データ種類:ゴールド、VGD、データなし
- ベンダー
- 国
- 言語



サイドパネルのフィルタオプションの概要は、以下の表のとおりです。

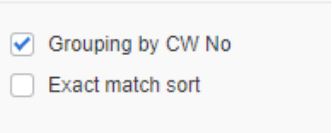
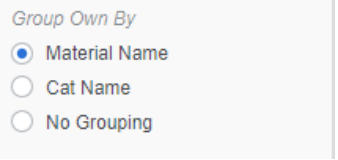
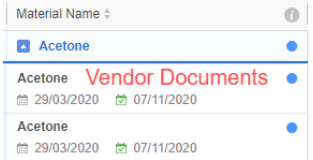
サイドパネルフィルタ	概要
CW番号でグループ化	検索結果が、ケムウォッチ番号でグループ化されて表示されます。このチェックボックス ☐ がオフになっている場合、検索結果には検索条件に一致する製品全てが表示されます。
適合度順並べ替え	このチェックボックス ☐ がオンになっている場合には、検索結果が適合度順に表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

利用可能なデータ	ケムウォッチかベンダー分類データの、いずれかのチェックボックス ☐ を選択して、検索結果をより絞り込むことができます。
ベンダー	チェックボックス ☐ に印が入っているベンダーの製品のみが表示されます。
国	チェックボックス ☐ に印が入っている国の製品のみが表示されます。
言語	チェックボックス ☐ に印が入っている言語で書かれたSDSのみが表示されます。

検索結果とグループ化の方法

全データ検索または自己検索の結果は、サイドパネルでグループ化の方法を指定し、グループ化して表示することが可能です。

全データ検索結果のグループ化	自己検索結果のグループ化
CW番号（ケムウォッチ番号）でのグループ化 デフォルトでは、検索結果リストが製品名ごとに表示するよう設定されています。検索結果をCW番号でグループ化して表示したい場合には、こちらのチェックボックスにチェックを入れてください。	自己データを検索対象とした場合には、次のようなグループ化のオプションが表示されます： ● 文書名 ● CW番号 ● グループ化なし これらのデフォルト指定は、設定モジュールから変更していただけます。
	
全データ検索結果リストでは、製品の横にある青い矢印 を使用して製品を展開し、ご利用可能なベンダーSDSのリストを表示します。 	自己検索結果リストでは、製品の横にある青い矢印 を使用して製品を展開し、利用可能なベンダー文書のリストを表示します。  日付1: ベンダーSDSの発行日 日付2: データの抽出日

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

2.1 製品名を使用して検索を実行する

製品名検索では、ケムウォッチのデータベースに搭載されている化学物質や製品が検索対象となります。これらには、単一物質、消費者製品、工業用化学品、規制された物質、禁止化学物質、農薬、獣医用化学品、医薬品、および試薬など、さまざまな種類が含まれます。ケムウォッチのシステムに掲載されている製品は、皆SDSに紐づけされているため、化学物質を検索し、SDSや表示ラベルを閲覧することができます。

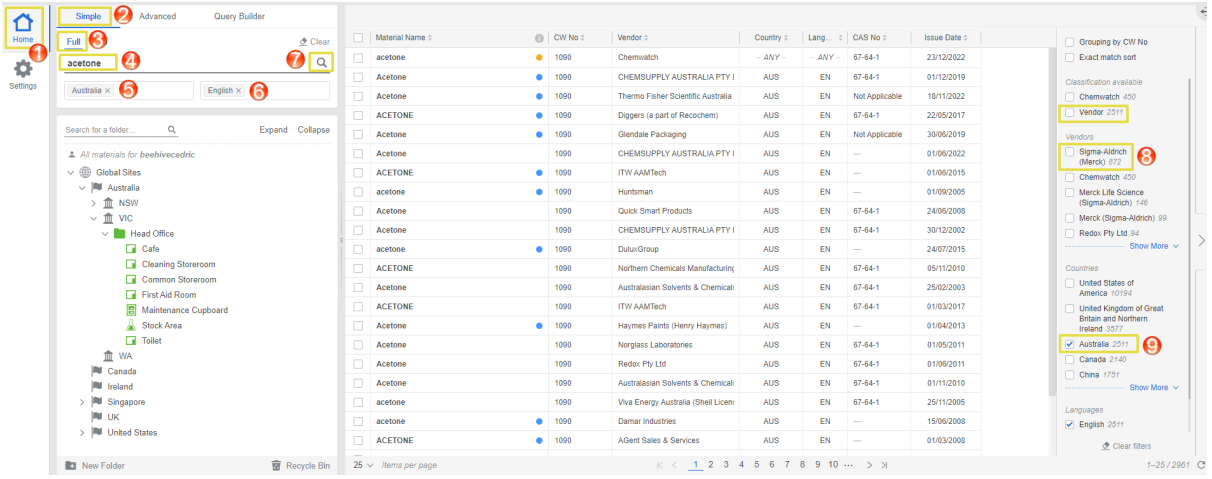
GHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）は、化学品を危険有害性の種類に応じて分類し、SDSや表示ラベル上で情報を伝達する際に役立ちます。この国際的に認識された分類システムでは、物理的、健康的、および環境に関するな危険有害性を示すために、9種類のピクトグラムを採用しています。化学品の製造者や輸入業者は、この分類に変更がある場合には、SDSや表示ラベルを見直し、修正しなければなりません。ゴールドFFXでは、ケムウォッチのシステムに登録されている全製品（最新版およびアーカイブ版を含む）を検索対象としていただけます。

化学品や物質のSDSが閲覧可能な場合には、検索結果リストが表示されます。表示する検索結果が見つからない場合には、「見つかりません」というメッセージが表示されます。この場合には、最新のSDSを添付したSDSの登録リクエストを、次のメールアドレスまで送信してください：msdsuploads@chemwatch.net。

製品名検索を使用して、ケムウォッチの全データからベンダーSDSを簡易検索する方法は、以下のとおりです。

手順：全データを検索し、製品のSDSを追加する

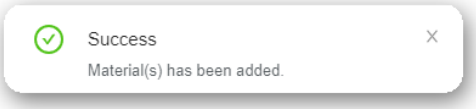
1. ホーム モジュールを開く
2. 簡易タブを開く
3. 全データを検索対象に指定する
4. 検索テキストフィールドに製品名を入力する
5. 国を選択をクリックして国を設定する
6. 言語を選択をクリックして言語をリストから選択する
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する
8. サイドパネルのチェックボックスでベンダー名を選択し、Sigma Aldrichなど特定のベンダーに属する製品のみをリストに表示させる。
9. サイドパネルの国のチェックボックスは、検索条件により既に選択されています。検索対象を広げるために、ここに他の国を追加することも可能です。

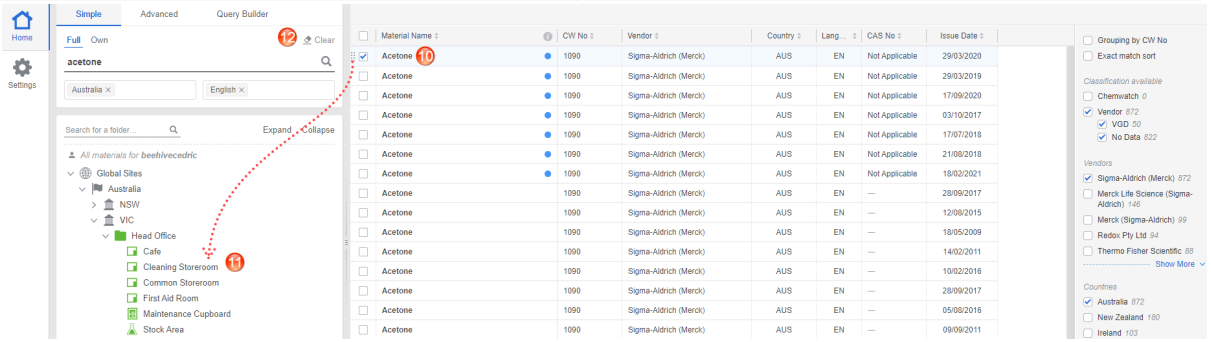


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

10. 文書名横のタイル を、ドラッグし、移動先のフォルダにドロップする。
11. フォルダ名をクリックし、追加された文書を確認する。
12. 検索パネルのクリア Clear ボタンをクリックする。

製品がフォルダに追加されたことを確認するメッセージが表示されます。



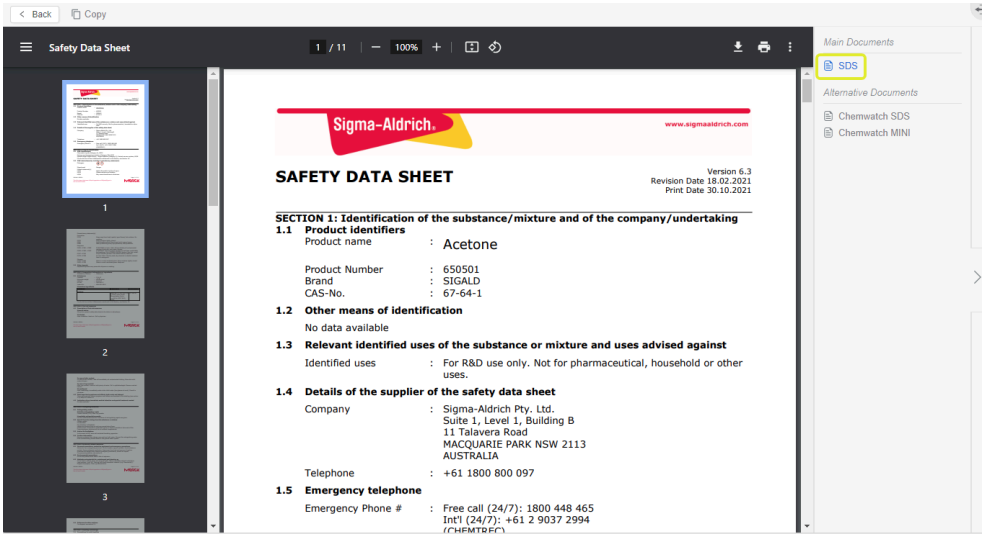


* 検索結果が見つかった場合には、条件に合致する物質や製品が一覧表示されますが、検索結果が見つからない場合には、「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。この場合には、最新のSDSを必ず添付のうえ、ベンダーのSDSの登録依頼メールをmsdsuploads@chemwatch.netまでお送りください。

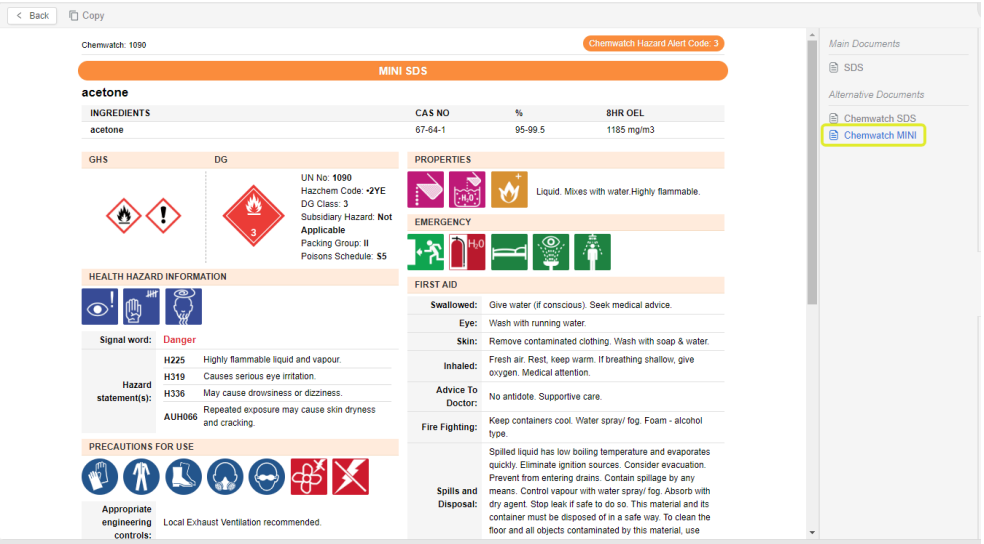
2.2 主な文書／代替文書およびラベルを表示する

ベンダーSDSを表示する際、表示する文書の種類を選択するオプションが、サイドパネルに表示されます。選択可能な文書は以下が含まれます：

文書	概要
主要文書	このオプションを選ぶと、安全データシート（SDS）が表示されます。ケムウォッチゴールドSDSはオレンジ色の丸で、ベンダーSDSは青色の丸で表現されています。

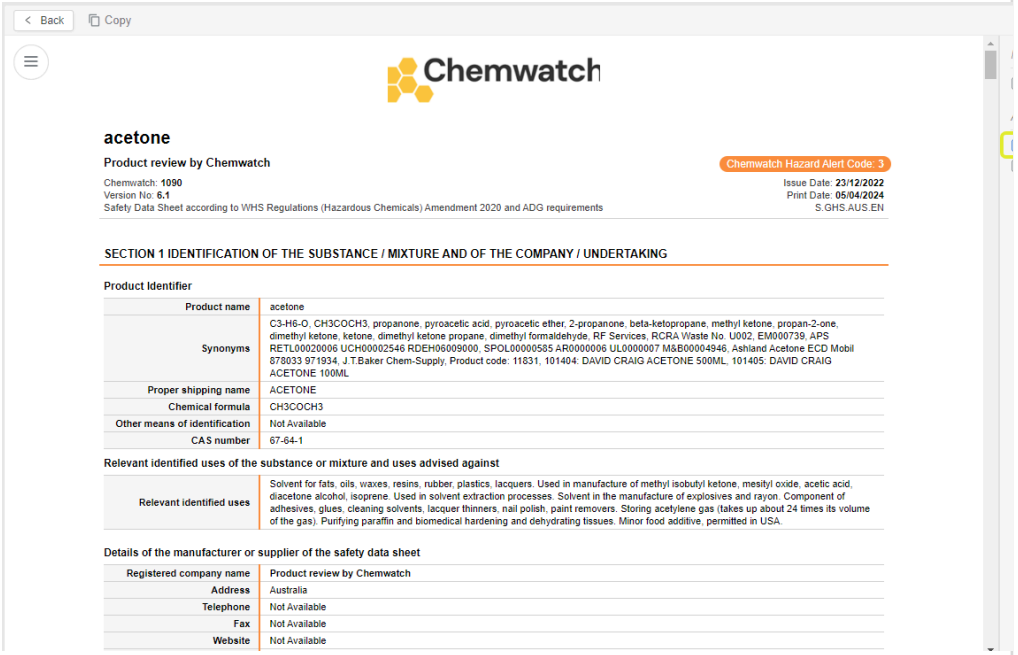


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



代替文書

ケムウォッチのゴールドSDSなど。



ケムウォッチのミニSDSには、危険有害性の概要が掲載されています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

各種文書の詳細は、以下のとおりです：

- ゴールドSDS
- ベンダーSDS
- ミニSDS

文書の種類とその概要
ゴールドSDS ゴールドSDSは、ケムウォッチが独自に作成した安全データシートで、最新の規制分類が掲載されています。対応様式には、GHS、REACH、中国、日本、韓国およびニュージーランドを含み、約50種類の言語に対応しています。ゴールドSDSは、ケムウォッチのハザード評価（可燃性、毒性、身体接触、反応性および慢性影響の評価）に基づき、次のように色分けされています。

	危険有害性が極めて低い／なし
	危険有害性が低い
	危険有害性が中程度
	危険有害性が高い
	危険有害性が極めて高い

ベンダーSDS ベンダーSDSは、製品が販売される際にメーカーが提供する安全データシートです。この文書は、場合によっては法的効力を持ちます。最低でも5年に一度は更新し、また常に最新のバージョンを保有されることをお勧めします。
ミニSDS ゴールドSDSの内容を、A41ページ分にまとめた要約版のSDSです。ミニSDSにも最新の規制分類が掲載されており、約50種類の言語にも対応しています。ミニSDSも、ケムウォッチのハザード評価（可燃性、毒性、身体接触、反応性および慢性影響の評価）に基づき、次のように色分けされています：

	危険有害性が極めて低い／なし
	危険有害性が低い
	危険有害性が中程度
	危険有害性が高い
	危険有害性が極めて高い

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

文書の種類とその概要
表示ラベル さまざまな表示ラベルのテンプレートをケムウォッチが作成し、みなさまにご利用いただけるよう公開しています。数多くのフォーマット、言語およびサイズに対応しておりますが、大多数はリーガルサイズで作成されています。ユーザーが独自のテンプレートを作成できる「ラベルデザイナー」モジュールもご用意しているため、企業や組織ごとのコンプライアンス要件に合ったテンプレートも作成していただけます。このモジュールでは、必要なデータをエクスポートするために数多くのデータポイントをご用意しており、それらを表示用のラベルや科学的な文書を生成する際にご利用いただけます。

製品テーブル上のハザード評価にクエスチョンマークが表示されている場合、それはまだSDSからデータが抽出されていないことを意味します。データが抽出されていないと、ゴールドSDS、ミニSDSおよび表示ラベルをご利用いただくことはできません。このような場合には、手動でデータ抽出（UGD）を行ってください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

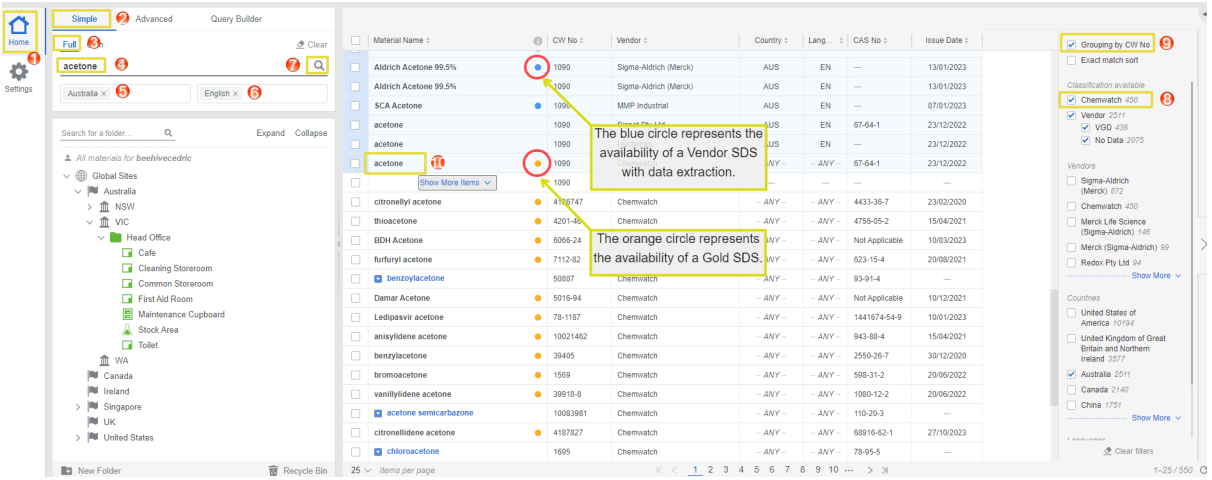
2.3 製品を検索し、ゴールドSDSを表示する

ケムウォッチの全データベースから製品を簡易検索し、ゴールドSDSを表示する方法は、以下のとおりです。

該当する製品や化学物質が見つかった場合には、検索結果が表示されますが、見つからなかった場合には「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。その場合には、ゴールドSDSの作成依頼を、メールでjapan@chemwatch.net まで送信してください。この作業には費用がかかる場合がありますので、ご了承ください。

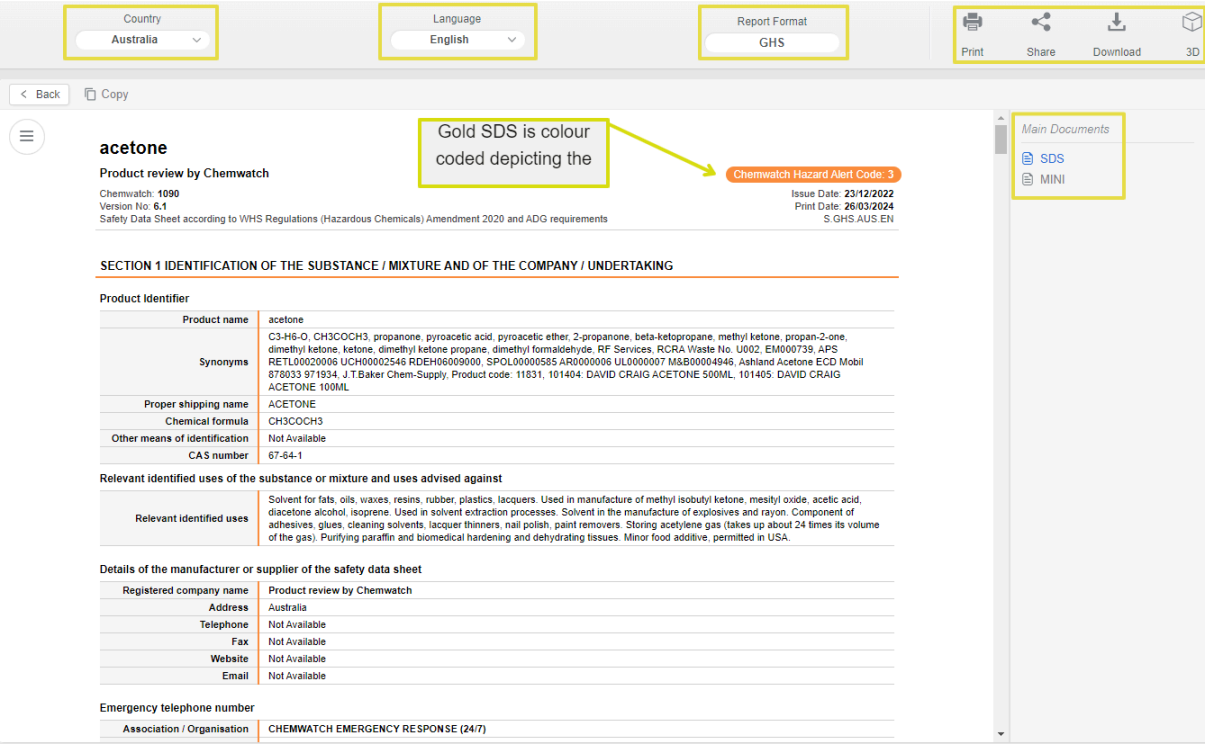
製品の検索結果からゴールドSDSを表示する方法は、以下のとおりです。

手順: 製品を検索し、ゴールドSDSを表示する



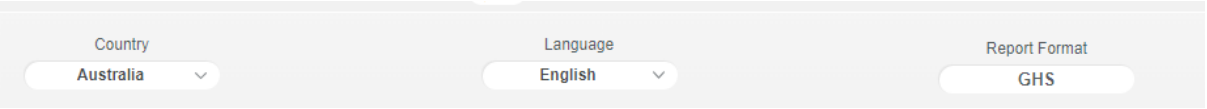
1. ホーム モジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 製品名を検索テキストボックスに入力する。
5. 国を選択をクリックし、国を指定する。
6. 言語を選択をクリックし、言語を指定する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. サイドパネルの利用可能なデータで、ケムウォッチにチェックを入れる。
9. グループ化の欄で、CW番号を選択する。
10. 製品テーブルで、オレンジ色の丸が付いている製品名をクリックする。
11. 検索パネルのクリア ボタンをクリックする。

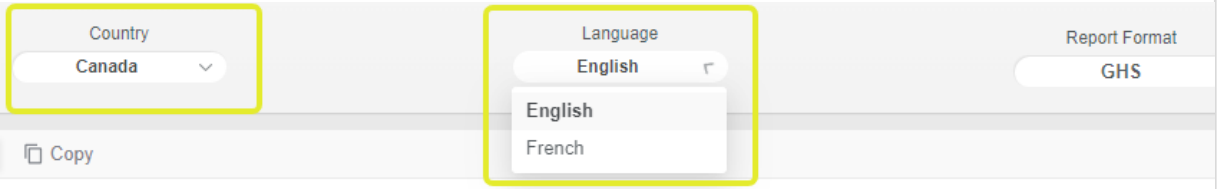
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



ゴールドSDSは、ケムウォッチが作成した文書です。国、言語、および様式（GHSまたは各国）の指定が可能で、デフォルト設定で指定された条件の文書がまず開きます。上記のゴールドSDSの例では、国はオーストラリア、言語は英語、様式はGHSです。これらのデフォルト設定は、企業や組織の運営国の法的要件を満たすよう、各組織の管轄地域の要件に合わせて設定してください。ゴールドSDSでは、会社情報やロゴ、緊急連絡先などの情報を、カスタマイズしていただけます。

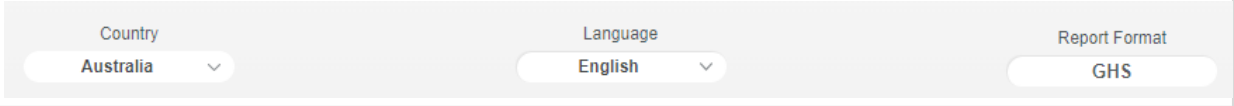
検索後にゴールドSDSフィルタを適用してください。国、言語、および様式の選択が可能です。



フィルタ	文書ツールバーの概要
国	ゴールドSDS の対象国を指定します。国を変更すると、言語フィルタに表示される言語も、自動的に変わります。例えば、カナダを選択すると、英語（デフォルト）とフランス語（第2言語）の2つの言語が言語フィルタオプションに表示され、選択が可能となります。
	
言語	ゴールドSDS の表示言語を指定します。選択可能な言語は、国の指定により変化しま

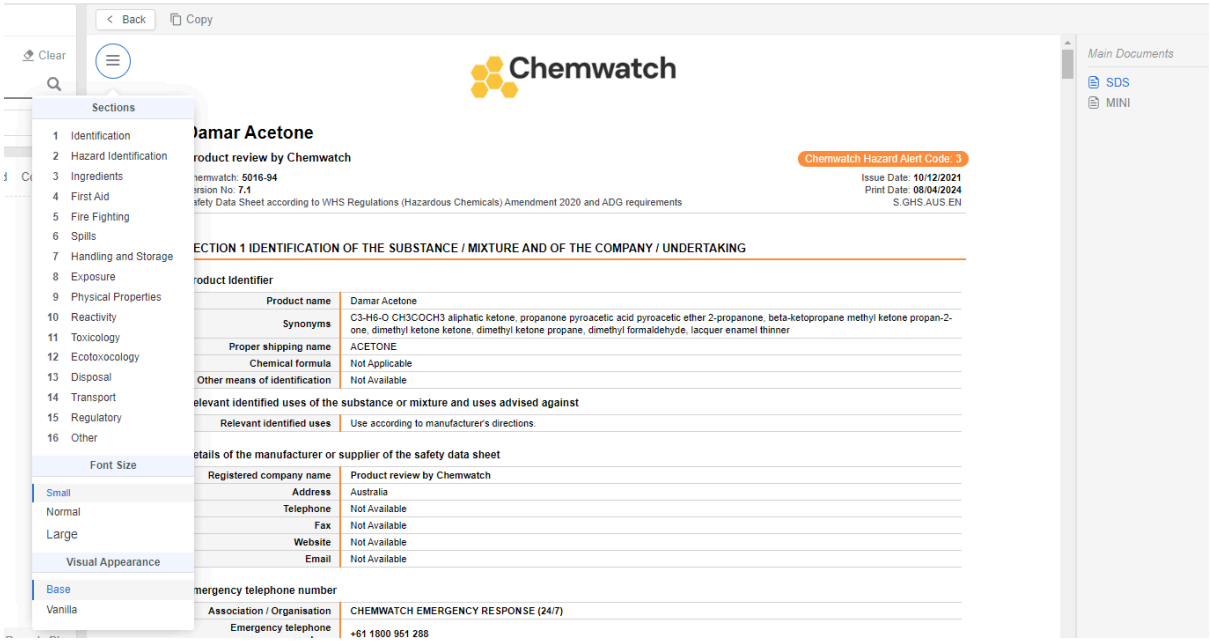
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フィルタ	文書ツールバーの概要
	す。
様式	ゴールド**SDS**の様式は、指定された国の規制要件に基づき、GHSやREACHなどが自動で選択されます。SDSの第2章では、様式に従った分類が適用されることにご注目ください。



ゴールドSDSの章構成

ゴールドSDSの特定の章に素早く移動するには、ゴールドSDSの左上にある三本線 メニューを開き、移動先の章を選択してください。

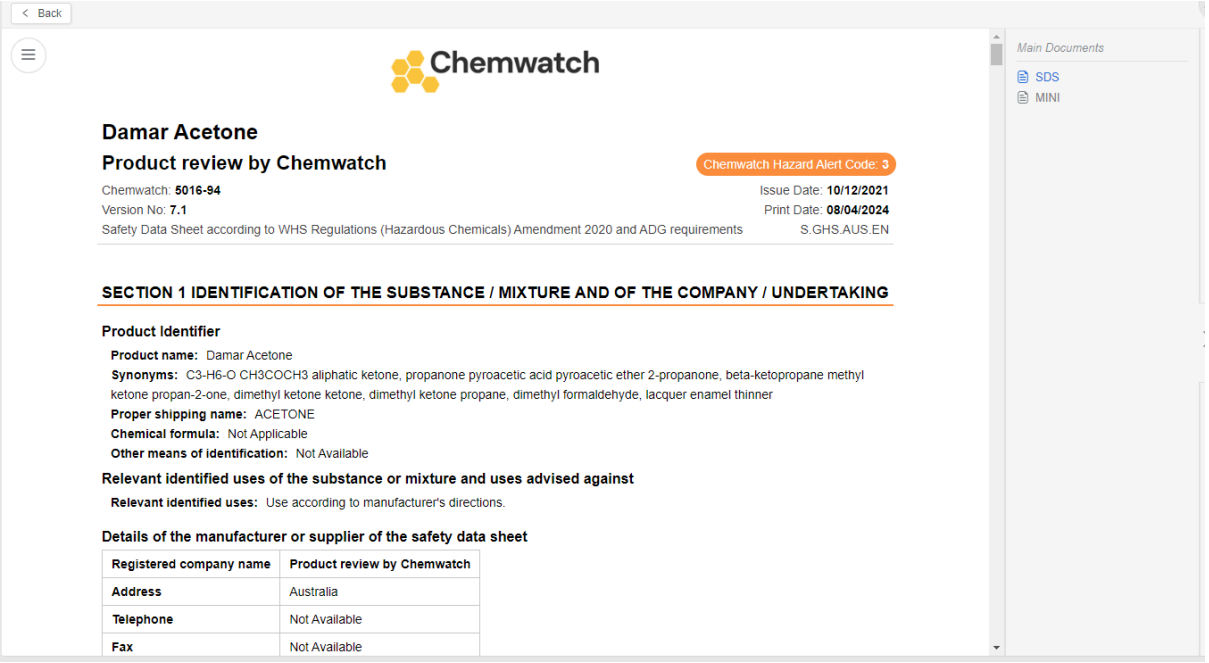


ゴールドSDSの視覚的な外観は、SDS設定よりご指定いただけます。個々のSDSの外観を変えたい場合には、SDS左上の三本線メニューよりご指定ください。フォントサイズ（小 - デフォルト、標準、大）を変更したり、ベースまたはバニラのいずれかの外観をご指定いただくことが可能です。

ゴールドSDSのフォントサイズを大にする

ゴールドSDSのデフォルトのフォントサイズは「小」です。「大」を選択すると、次の画像に示すように、文字のサイズが大きくなります。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved


Back

Chemwatch

Damar Acetone
Product review by Chemwatch
Chemwatch Hazard Alert Code: 3
Chemwatch: 5016-94
Version No: 7.1
Safety Data Sheet according to WHS Regulations (Hazardous Chemicals) Amendment 2020 and ADG requirements
Issue Date: 10/12/2021
Print Date: 08/04/2024
S.GHS.AUS.EN

SECTION 1 IDENTIFICATION OF THE SUBSTANCE / MIXTURE AND OF THE COMPANY / UNDERTAKING

Product Identifier
Product name: Damar Acetone
Synonyms: C3-H6-O CH3COCH3 aliphatic ketone, propanone pyroacetic acid pyroacetic ether 2-propanone, beta-ketopropane methyl ketone propan-2-one, dimethyl ketone ketone, dimethyl ketone propane, dimethyl formaldehyde, lacquer enamel thinner
Proper shipping name: ACETONE
Chemical formula: Not Applicable
Other means of identification: Not Available

Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against
Relevant identified uses: Use according to manufacturer's directions.

Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Product review by Chemwatch
Address	Australia
Telephone	Not Available
Fax	Not Available

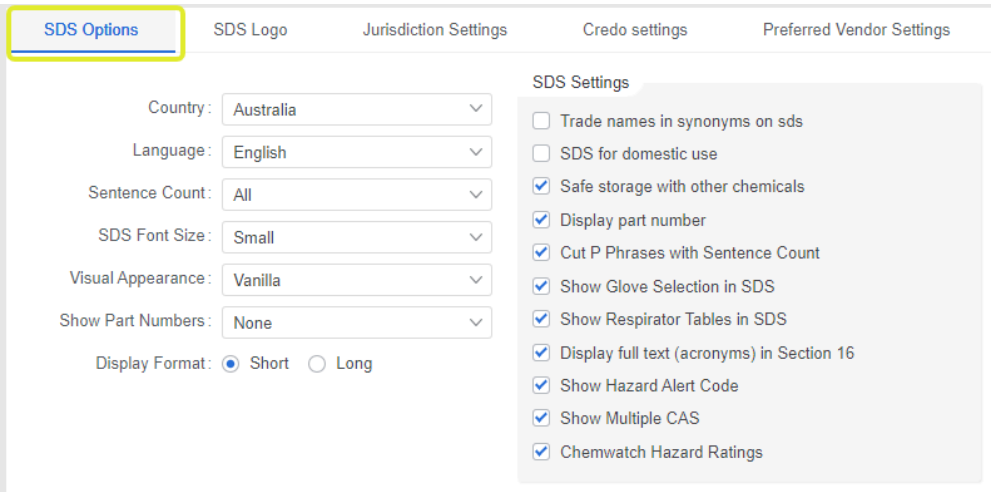
Main Documents
SDS
MINI

イギリスおよびグレートブリテン

グレートブリテン（GB　SDS）という国名は、ブレグジット後に作成されました。北アイルランドの化学規制は、依然としてEU法の対象であるため、SDS様式を変更した次第です。以前のイギリス向けの様式は「イギリス（北アイルランド）」に改名され、新たに「グレートブリテン」という国名が追加されました。グレートブリテンは、イングランド、スコットランドおよびウェールズをカバーしています。

ドメイン管理者は、SDS設定からゴールドSDSの設定を変更することができます。SDS設定には、システム全体に適用されるSDSオプションなど、複数のタブが含まれています。

SDSオプション



次ページの表には、グレートブリテン（GB　SDS）向けSDSのオプション条件の概要が掲載されています。

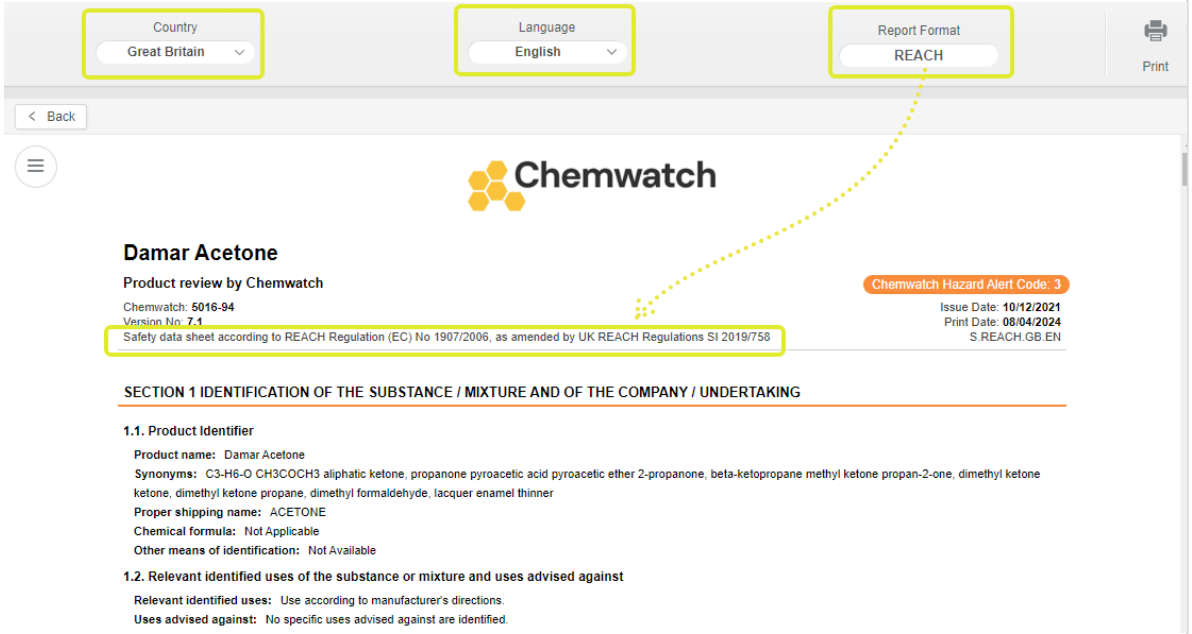
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

SDSの様式設定

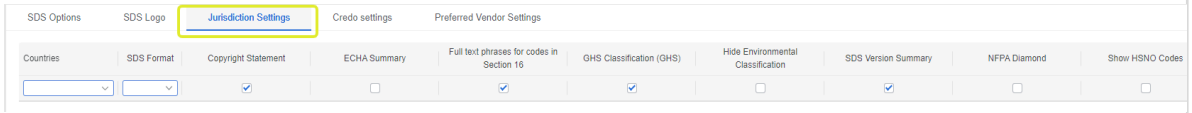
国

国のドロップダウンメニューから「グレートブリテン」を選択すると、言語と様式が自動的にデフォルトの設定に変更されます。そして、選択された国に適用される危険有害性の分類システムが選択されます。以下の例では、国として「グレートブリテン」が選択されているため、言語には「英語」が、そしてレポート様式には「REACH」が自動的に適用されています。

国	言語	様式
グレートブリテン	英語	REACH



管轄区域設定



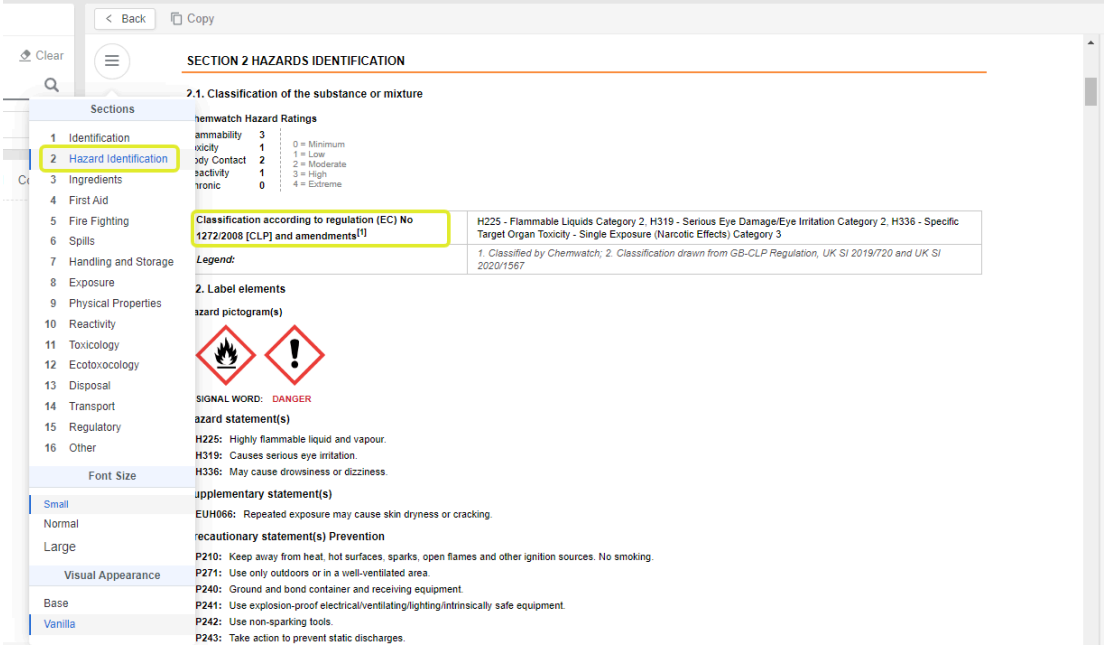
管轄区域設定で、国、SDSの様式、分類の種類およびその他の様々な設定を行います。国ごとにSDS要件は異なるため、ここに複数の国の設定を追加することも可能です。以下のような設定の詳細については、管理者用のガイドをご覧ください。

- SDSロゴ
- クレド設定
- 優先ベンダー設定

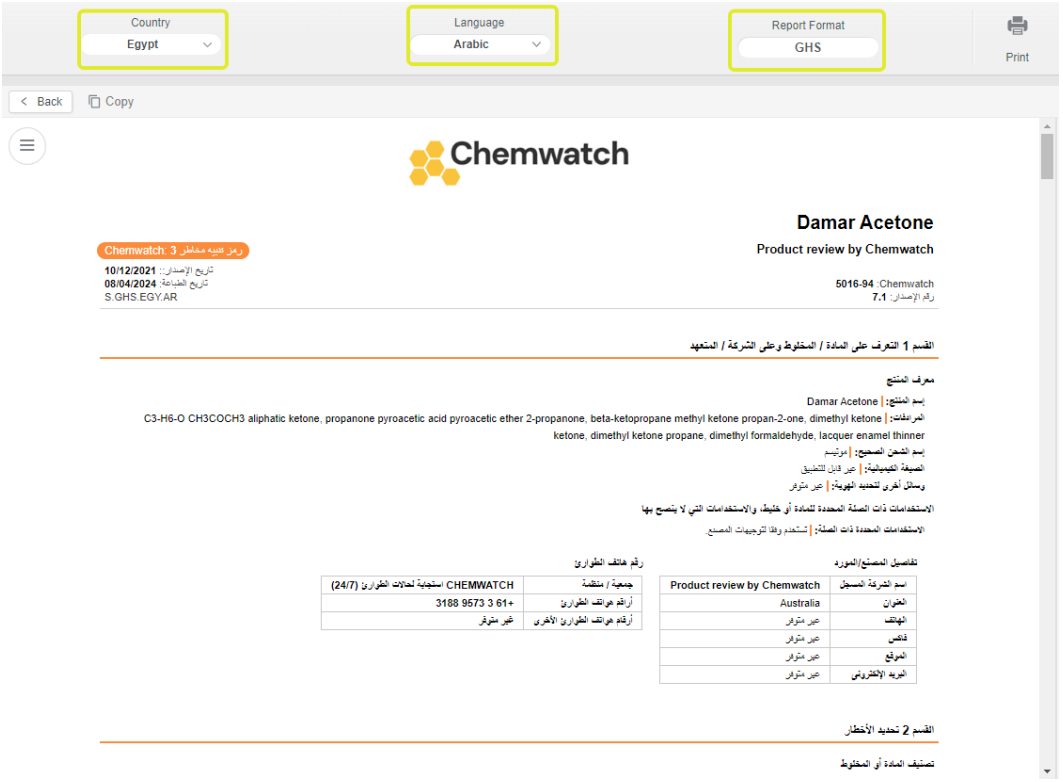
ゴールドSDSのツールバーには、現在適用されている国、言語、および様式が、以下のように表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ゴールドSDS第2章：危険有害性の要約



例えば、国名を「エジプト」とすると、ゴールドSDSは以下のように「アラビア語」で表示されます。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

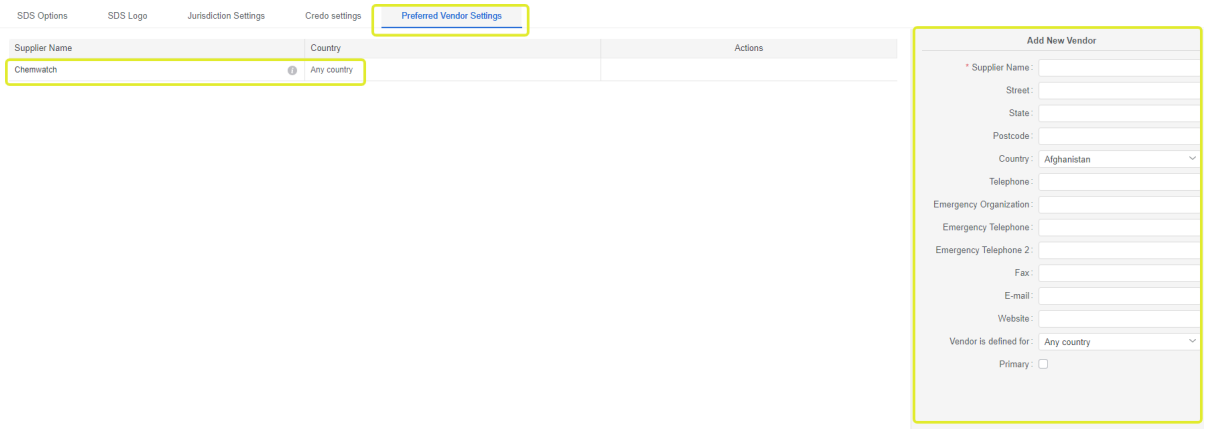
2.3.1 ゴールドSDSに優先ベンダーを表示する

ここでは、ゴールドSDSに優先ベンダーを追加する方法と、SDSの見出しにプライマリ・ベンダーを表示する方法について、ご説明を差し上げます。

- SDS設定の優先ベンダー
- 複数のベンダー情報から優先ベンダーを見つける
- 優先ベンダーを設定し、プライマリベンダーを表示する

この章で学ぶこと

複数のベンダー（供給者）情報の詳細を、SDS設定から追加することができます。追加したベンダーは、その後、優先ベンダータブに一覧表示され、それらを簡単に製品に紐づけられるようになります。優先ベンダー設定フォームでは、SDSの対象国とベンダー情報を紐づけることも可能です。ただし、SDS設定にアクセスできるユーザーは限られています。詳細については、アカウント管理者までお問い合わせください。



ユーザーの国と言語のデフォルト値を、システム管理者が設定している場合があります。その場合、指定された国と言語の検索結果のみが、検索結果画面に表示されます。このようなデフォルト値にかかわらず、検索を実行する前に、検索パネル内のフィルタオプションを使用して、国と言語を指定することも可能です。検索結果には、デフォルトの設定にかかわらず、個別に選択した国と言語が優先的に提供されます。

優先ベンダーのフォームは、プライマリ（主要）ベンダーにフラグ付ける機能も備えています。このチェックボックスが選択されている会社の情報が、SDSの第1章に表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ゴールドSDSの第1章の会社に表示される優先ベンダー

Chemwatch

Chemwatch Hazard Alert Code: 3

Chemwatch: **5016-94**
Version No: **7.1**
Safety Data Sheet according to WHS Regulations (Hazardous Chemicals) Amendment 2020 and ADG requirements

Issue Date: **10/12/2021**
Print Date: **08/04/2024**
S.GHS.AUS.EN

SECTION 1 IDENTIFICATION OF THE SUBSTANCE / MIXTURE AND OF THE COMPANY / UNDERTAKING

Product Identifier

Product name: Damar Acetone
Synonyms: C3-H6-O CH3COCH3 aliphatic ketone, propanone pyroacetic acid pyroacetic ether 2-propanone, beta-ketopropane methyl ketone propan-2-one, dimethyl ketone ketone, dimethyl ketone propane, dimethyl formaldehyde, lacquer enamel thinner
Proper shipping name: ACETONE
Chemical formula: Not Applicable
Other means of identification: Not Available

Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against

Relevant identified uses: Use according to manufacturer's directions.

Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Chemwatch
Address	1227 Glen Huntly Rd 3163 Victoria Australia
Telephone	+6139573100
Fax	Not Available
Website	Not Available
Email	helpdesk@chemwatch.net

Emergency telephone number

Association / Organisation	CHEMWATCH EMERGENCY RESPONSE (24/7)
Emergency telephone numbers	+61 1800 951 288
Other emergency telephone numbers	+61 3 9573 3188

SECTION 2 HAZARDS IDENTIFICATION

Classification of the substance or mixture

プライマリベンダーのフラグを、複数のベンダーに適用することも可能です。この場合、システムはそれらの中からランダムに1社を選択し、その会社をSDSの見出しに表示します。優先ベンダーを製品に割り当て、ゴールドSDSに表示する方法は、以下のとおりです。

SECTION 1 IDENTIFICATION OF THE SUBSTANCE / MIXTURE AND OF THE COMPANY / UNDERTAKING

Product Identifier

Product name: Damar Acetone
Synonyms: C3-H6-O CH3COCH3 aliphatic ketone, propanone pyroacetic acid pyroacetic ether 2-propanone, beta-ketopropane methyl ketone propan-2-one, dimethyl ketone ketone, dimethyl ketone propane, dimethyl formaldehyde, lacquer enamel thinner
Proper shipping name: ACETONE
Chemical formula: Not Applicable
Other means of identification: Not Available

Manufacturer Details 2

Manufacturer Details 1

Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against

Relevant identified uses: Use according to manufacturer's directions.

Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Chemwatch2	Chemwatch
Address	1227 Glen Huntly Rd 3163 Victoria Australia	1227 Glen Huntly Rd 3163 Victoria Australia
Telephone	+61395733100	+6139573100
Fax	Not Available	Not Available
Website	www.chemwatch.net	Not Available
Email	Not Available	helpdesk@chemwatch.net

Emergency telephone number

Association / Organisation	CHEMWATCH EMERGENCY RESPONSE (24/7)
Emergency telephone numbers	+61 1800 951 288
Other emergency telephone numbers	+61 3 9573 3188

SECTION 2 HAZARDS IDENTIFICATION

Classification of the substance or mixture

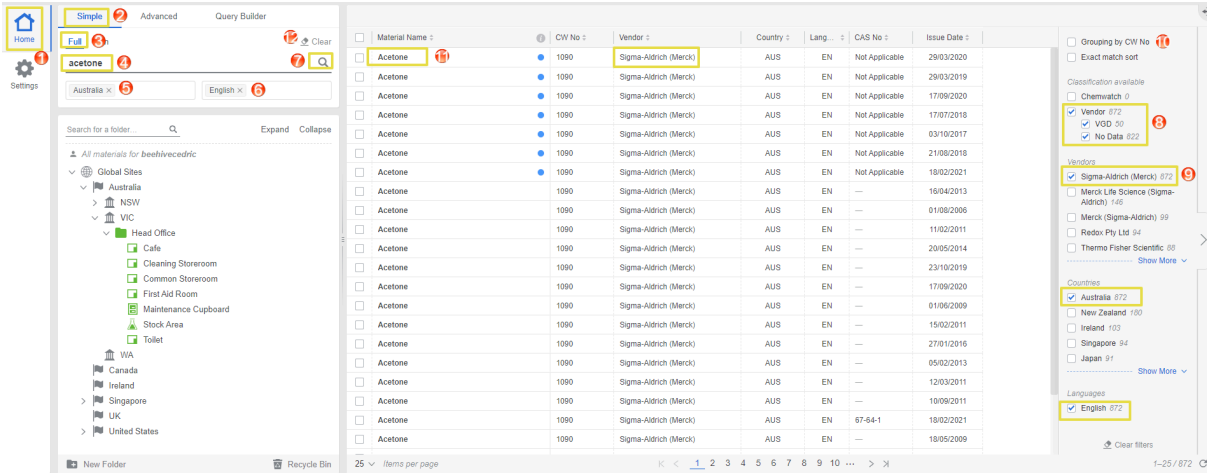
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

2.4 製品を検索し、ベンダーSDSを表示する

簡易検索を使用して、ケムウォッチの全データから製品を検索し、ベンダーSDSを表示する方法は、以下のとおりです。

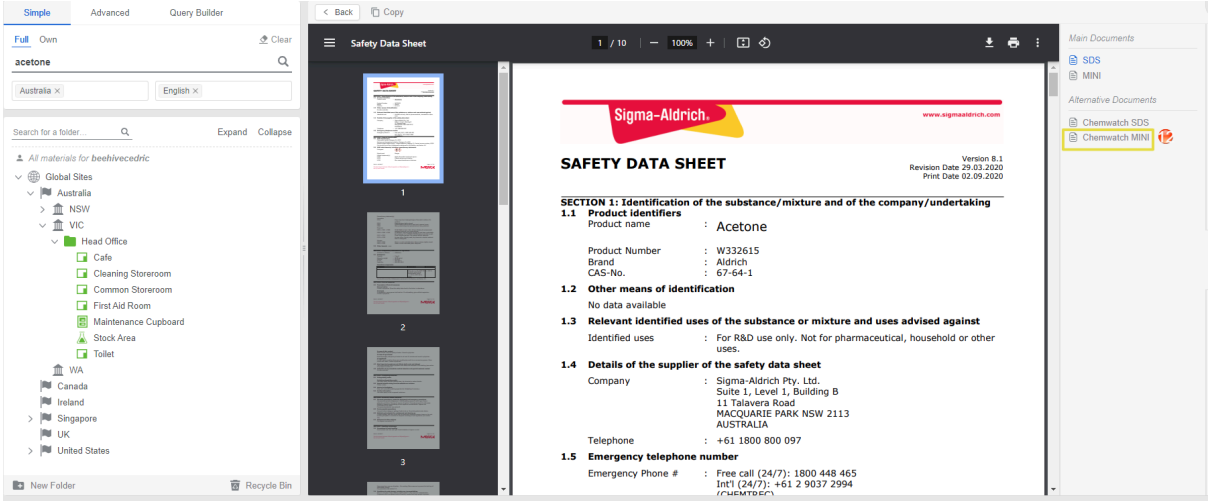
検索条件に合う化学品や物質が見つかった場合には、検索結果リストが表示されます。製品が見つからなかった場合には、「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。その場合は、最新のSDSを添付の上、下記のアドレスまでSDSのアップロードリクエストをお送りください：msdsuploads@chemwatch.net。

手順: 製品を検索し、ベンダーSDSを表示する



1. ホーム モジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 製品名を検索テキストボックスに入力する。
5. 国を選択をクリックし、国を指定する。
6. 言語を選択をクリックし、言語を指定する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。.
8. サイドパネルの利用可能なデータで、bベンダーにチェックを入れ、分類の種類をVGDに限定する。
9. ベンダーの名称の横のチェックボックスに印を付け、検索結果を更に限定する。
10. **CW**番号でグループ化のチェックを外す。
11. 製品名をクリックし、ベンダーSDSを表示する。
12. 検索パネルのクリア ボタンをクリックする。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



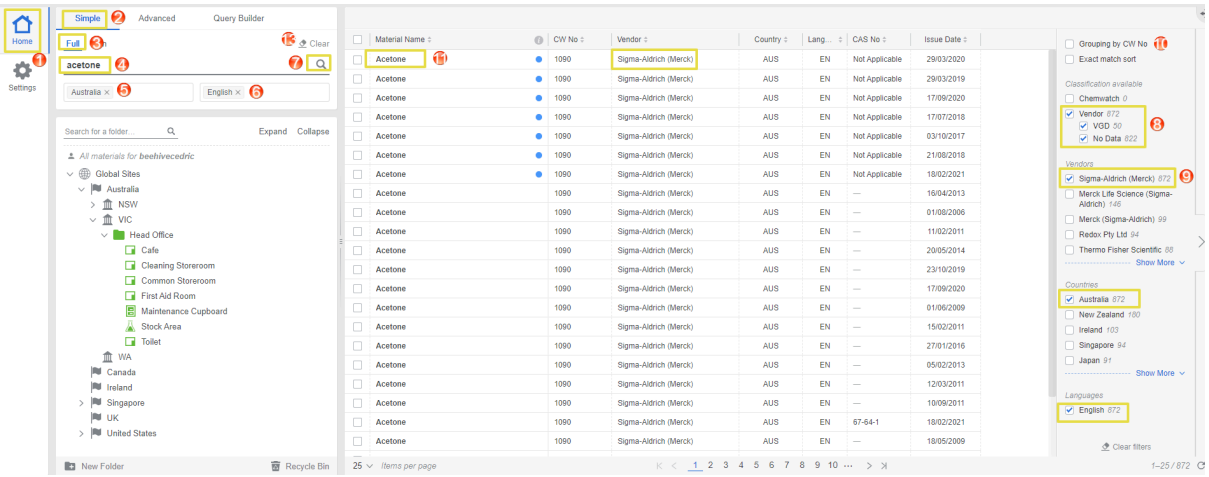
一般的なベンダーSDSは16章構成で、第2章にはGHS分類が、そして第14章には輸送規制に基づいた分類が記載されています。製品名と会社情報は、SDSの第1章（化学品および会社情報）に記載されています。

2.5 製品を検索し、ミニSDSを表示する

簡易検索を使用して、ケムウォッチの全データから製品を検索しミニ**SDS**を表示する方法は、以下のとおりです。

ケムウォッチのミニSDSは、1ページ分の概要レポートであり、特に緊急対応時に役立ちます。このレポートには、製品の分類や絵表示、成分の組成、許容濃度、GHSの危険有害性分類、主な健康有害性、使用上の注意（保護具など）、物理的性質、緊急対応用の絵表示、応急措置、およびその他の化学品との混触危険性などに関わる情報が掲載されています。ゴールドSDSやVGDが存在する場合には、ミニSDSの閲覧が可能となります。

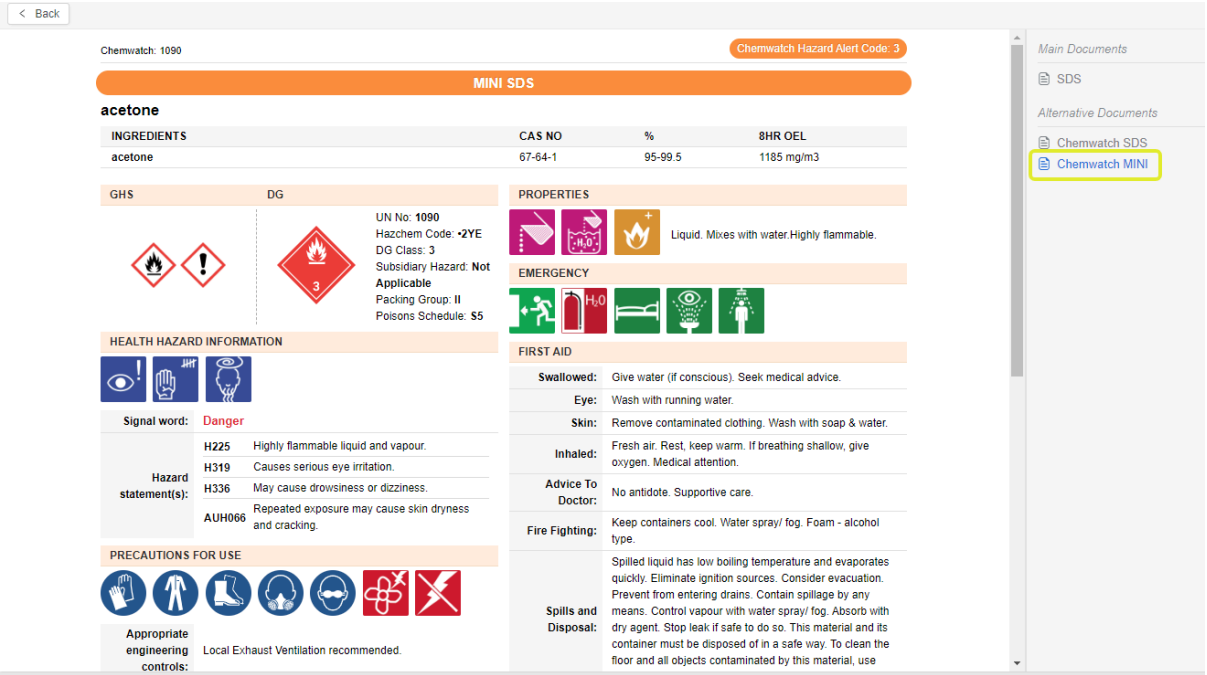
Steps: Search for a Material and Display a Chemwatch Mini SDS



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

1. ホーム モジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 製品名を検索テキストボックスに入力する。
5. 国を選択をクリックし、国を指定する。
6. 言語を選択をクリックし、言語を指定する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. サイドパネルの利用可能なデータで、ベンダーのVGD（ベンダー生成データ）にチェックを入れる。
9. サイドパネルで、ベンダーの名称の横のチェックボックスに印を付け、検索結果を更に限定する。
10. CW番号でグループ化のチェックを外す。
11. 製品テーブルで、青色の丸が付いている製品名をクリックする。
12. サイドパネルの「代替文書」のセクションで、Chemwatch MINIを選択する。
13. 検索パネルのクリア ボタンをクリックする。

ミニSDSの国、言語、および様式は、ゴールドSDSのデフォルト設定に基づいています。以下のミニSDSの例は、国 = オーストラリア、言語 = 英語、SDS様式 = GHSに設定されています。これらの設定は、業務が遂行される国のコンプライアンス要件を満たせるよう、各企業の事業展開状況に基づき適用されます。



2.6 製品を検索し、ラベルを表示する

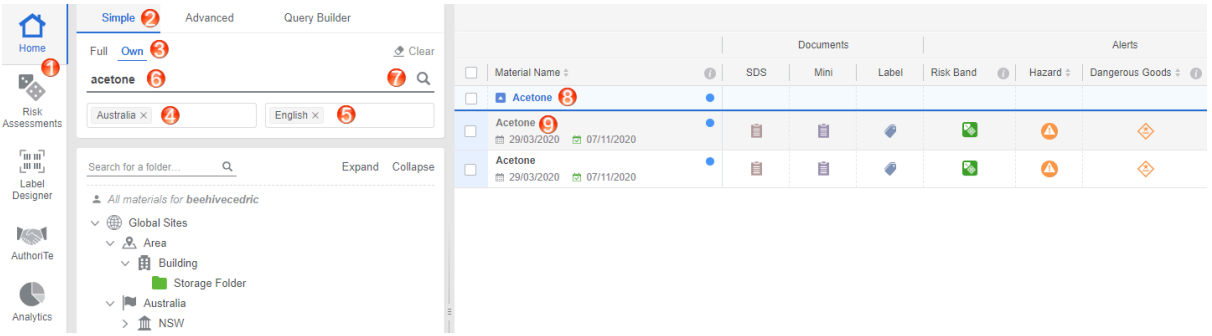
ケムウォッチのシステムに登録されている自己の在庫から製品を簡易検索 にかけ、表示ラベルのテンプレートを使用してラベルを表示する方法は、次のとおりです。

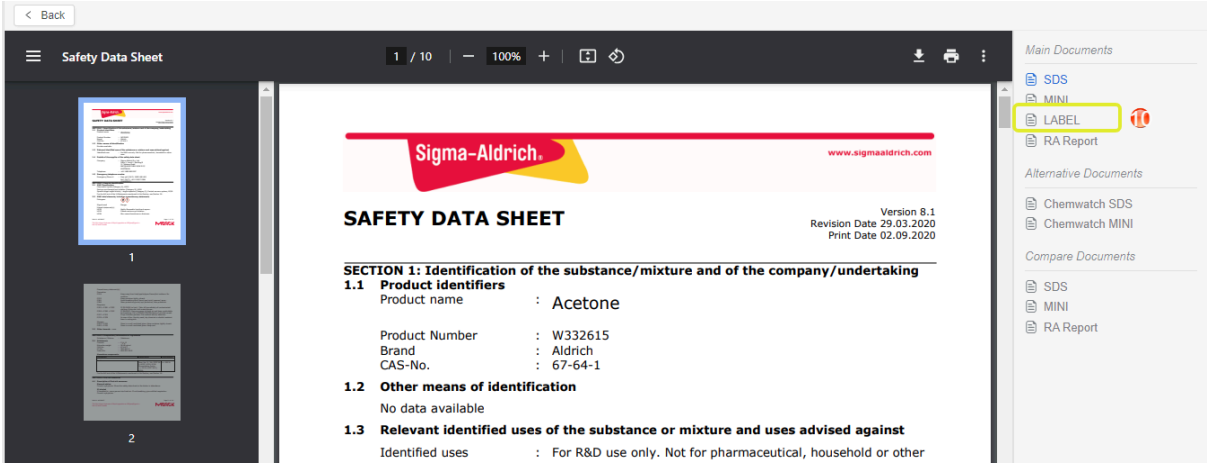
製品がケムウォッチのデータベースに登録されており、対応するゴールドSDSやVGDがある場合には、ラベルの生成が可能となります。データ抽出ツールを使用して、ユーザーがご自身で分類データを抽出しても、ラベルの生成が可能となります。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

手順: 製品を検索して、ラベルを表示する

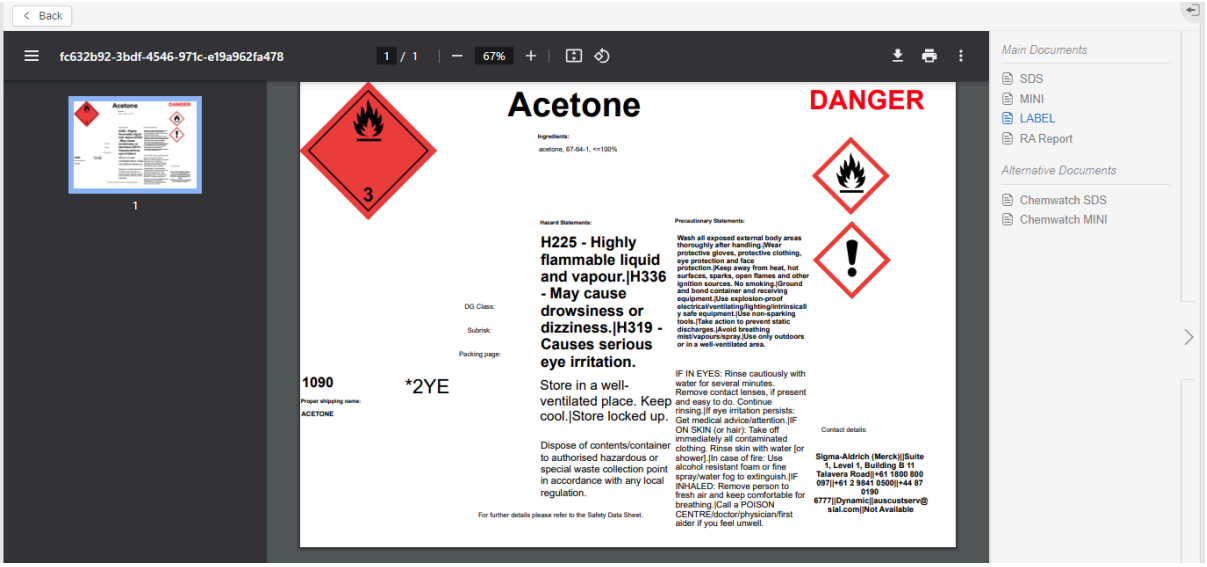
1. ホーム モジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 自己を選択し、検索対象を指定する。
4. 製品名を検索テキストボックスに入力する。
5. 国を選択をクリックし、国を指定する。
6. 言語を選択をクリックし、言語を指定する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. 検索結果にある製品名をクリックする。
9. 同一の製品名が検索結果に複数表示される場合には、適切な商品名をクリックsる。
10. サイドパネルの「主な文書」から、ラベルを選択する。
11. 検索パネルのクリア ボタンをクリックする。





Label Display

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



ラベルはアクロバットリーダーのPDF形式で表示され、印刷や外部配布用のダウンロードが可能です。化学品の容器のサイズに応じて、さまざまなラベルの様式やサイズを選択していただけます。化学品の作業場での用途に応じて、ラベル要件が異なります。通常化学品は、以下のカテゴリに分類されます：

- 消費者向け化学品：表示ラベルは、毒物に関する基準に準拠していなければなりません。
- 工業用化学品：表示ラベルは、GHSのラベル要件に従わなければなりません。
- 農業用および獣医用化学品：農薬および獣医薬品のラベル要件を満たす必要があります。

また、各製品に対するラベル要件が存在するかどうかを確認することも、非常に重要です。化学品のラベル要件の詳細については、各国の法規制情報をご確認ください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

3.0 製品の詳細検索

一般的な詳細検索機能では、さまざまな検索条件や演算子、フィルタなどを使用して、検索結果をより絞り込み、効率的な情報の取得が可能となります。このシステムも詳細検索機能を備えており、ご利用可能な検索条件は、名称 Name のドロップダウンリストからご確認いただけます。

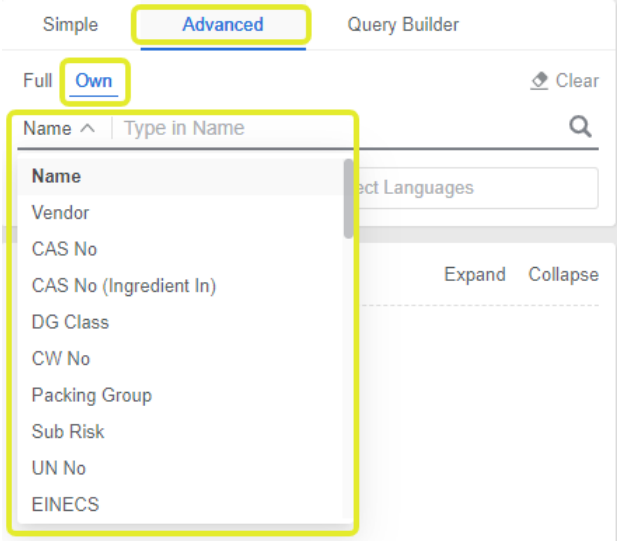
この章では、以下のトピックについてご説明を差し上げます。

- CAS番号で製品を検索する
- ケムウォッチ番号で製品を検索する
- 含有成分のCAS番号で製品を検索する
- ベンダー名で製品を検索する
- 危険物分類で製品を検索する
- 製品番号で製品を検索する

この章で学ぶこと

詳細検索では、化学名、商品名および別名を使用した名称検索が可能です。その他にも、以下の条件をご利用いただけます。

- ベンダー
- CAS番号
- CW番号
- CAS（成分）
- 危険物クラス
- EINECS
- リスクコード
- 容器等級
- 製品番号
- 優先名
- サブリスク
- 国連番号
- 分子構造



この章では、検索パネルの詳細タブを使用して、上の画像のような検索条件を利用して製品を検索する手順を、ご紹介いたします。次ページの表には、詳細検索でご利用いただける検索の種類と、その概要が掲載されています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

検索の種類	説明	概要
名称	製品名	製品名で製品を検索し、そのベンダー／ミニ／ゴールドSDS、表示ラベル、およびその他のレポートなどを表示します。
CAS番号	ケミカルアブストラクツサービスの登録番号	ケミカルアブストラクツサービスが現存する化学物質に付与している登録番号を使用して、製品を検索します。
CAS番号（成分）	含有成分のCAS番号	製品に含まれる成分のCAS番号を使用して、製品を検索します。
危険物クラス	危険物等級	危険物等級の1～9から、該当するものをお選びください。
CW番号	ケムウォッチ番号	弊社のデータベースに登録されている単一物質と混合物の両方に付与されている、ケムウォッチ番号を使用して製品を検索します。
容器等級（PKG）	危険物分類に基づく容器等級	容器等級は、危険性の度合を評価するための等級です。 PG 危険度 I 高い II 中等度 III 低い
Rコード	リスクコード	リスクコードは、物質の分類に使用される、危険有害性の種類です。
サブリスク	サブリスク	危険物分類の副次危険性を使用して、製品を検索します。
国連番号	国連番号	国連番号は、国際輸送の枠組みにおいて危険物を識別するために国連が設定した、4桁の識別番号です。
EINECS	欧州で使用されるEINECS番号	欧州既存商業化学物質リスト。REACH規制の下で、段階的導入物質とされる物質です。
製品番号、ユーザー製品番号、ベンダー製品番号	ユーザーが作成した製品番号、ベンダーが作成した製品番号	ベンダーが割り当てた製品番号や、ユーザーが付与した製品番号を使用して、製品を検索します。
ベンダー	ベンダー（メーカーや供給者）の名称	SDSを配布しているベンダー（メーカーなど）の名称を使用して検索を実行し、ベンダーSDS、ミニSDS、ゴールドSDS、ラベルおよび緊急対応レポートなどを表示します。
構造	2Dの分子構造を描画	分子構造を用いて、検索を実行します。SMILESを使用しての検索も可能です。
毒物スケジュール	豪州の医薬品・毒物の統一スケジュール基準	1～10までの毒物スケジュール番号を指定して、医薬品や毒物を検索します。
Cat番号	カタログ番号	商品番号（カタログ番号）を使用して、製品を検索します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

検索の種類	説明	概要
FORMS	Forms	Formsを使用して、検索を実行します。
成分名／CAS（FD UGD）	成分名／CAS（ユーザーゴールド開示データ）	「非開示成分へのアクセス（UGD）」の権限を持つユーザーは、このオプションを使用して非開示成分を検索対象とすることが可能です。
危険有害性等級	ケムウォッチの危険有害性等級	ケムウォッチの危険有害性評価を用いて、製品を検索します。

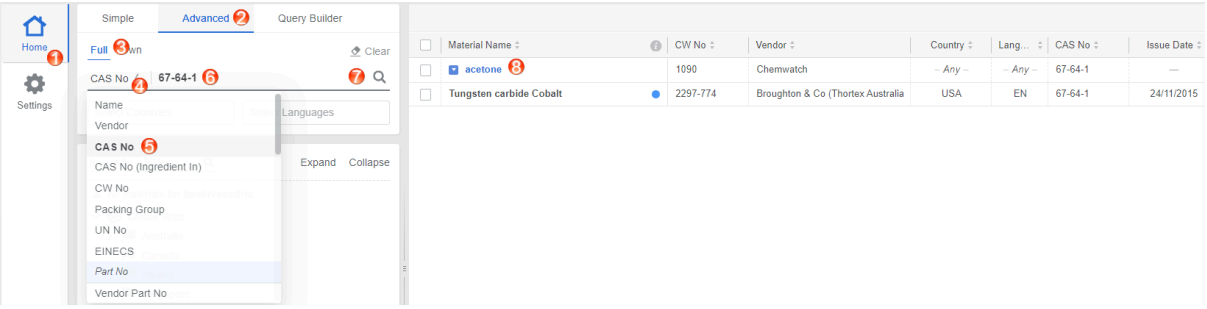
検索対象に「自己」を選択すると、検索対象が御社のフォルダに登録されている在庫のみとなります。「全データ」を検索対象とした場合には、詳細検索のドロップダウンメニューに表示されるオプションが、「自己」を選択した場合より少なくなることにご注意ください。

3.1 CAS番号を用いて、製品を検索する

詳細検索オプションの**CAS**番号を使用して、入力した番号と完全に一致するCAS番号が付与されている製品を検索する方法は、以下のとおりです。

すべての製品にCAS番号が付与されてはいないことにご注意ください。CAS番号は物質固有の番号であり、ひとつの物質に対してさまざまな名称が存在するなかで、物質を確実に識別する方法となり得て、混乱を軽減します。例えば、過酸化水素とジオキシダンは実際には同じ化学物質で、CAS番号7722-84-1が付与されています。

手順：CAS番号用いて、製品を検索する

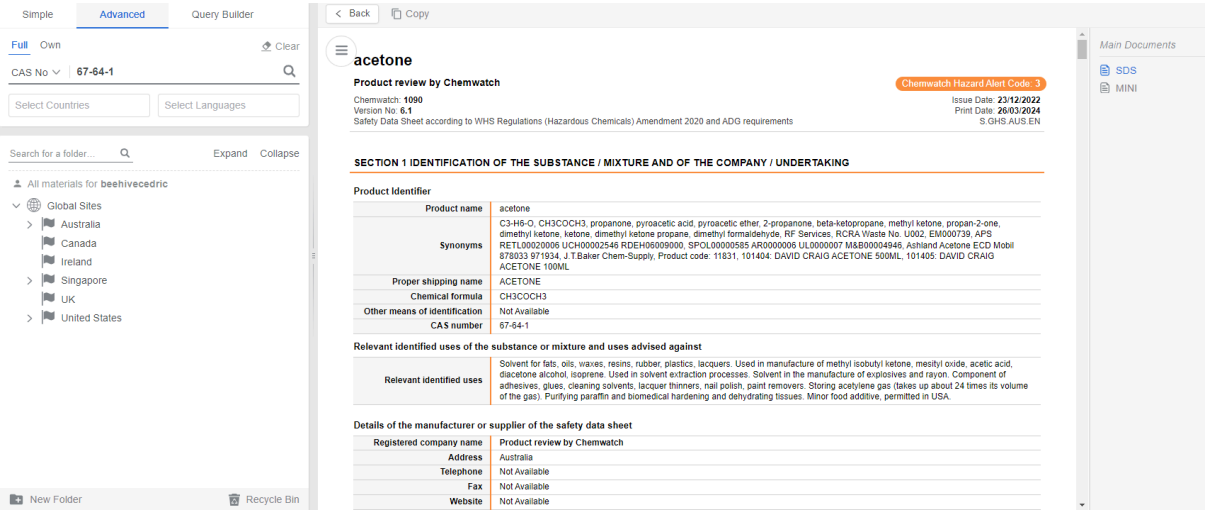


1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称ドロップダウンメニューを開く。
5. メニューから**CAS**番号を選択する。
6. **CAS**番号（例：67-64-1）を検索テキストボックスに入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. 検索結果リストから製品名を選択する。次の例では、ケムウォッチのゴールドSDS製品が選択されています。

サイドパネルには、指定したCAS番号が付与された製品のベンダー、国および言語が表示されます。

ゴールドSDSの画面

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



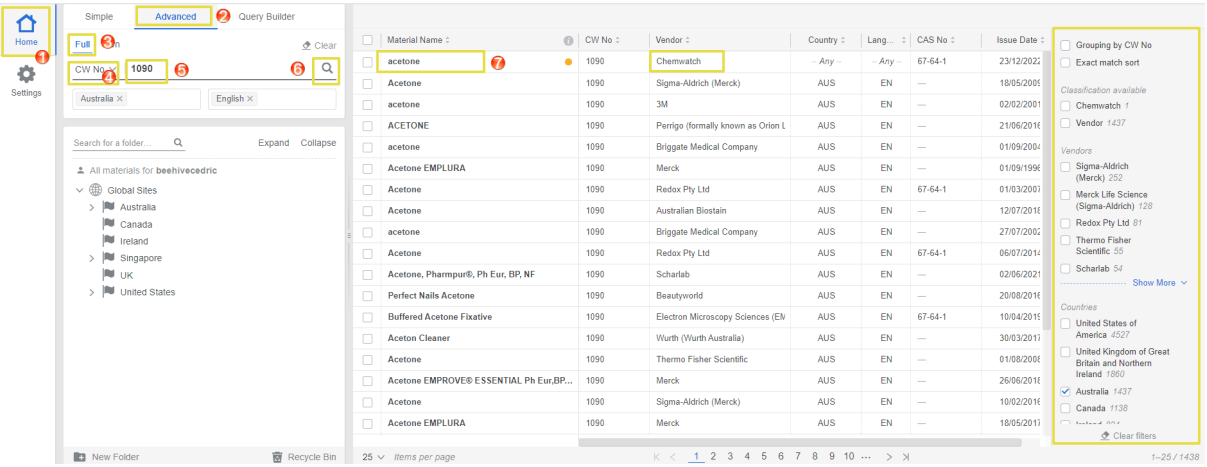
3.2 CW番号（ケムウォッチ番号）を用いて、製品を検索する

CW番号（ケムウォッチ番号）を使用して製品を検索する手順は、以下のとおりです。ケムウォッチ番号は、各化学物質に割り当てられた、ユニークな識別子（ID）です。この番号は、化学製品に関する情報やSDSを見つける際に役立ちます。

手順：CW番号を用いて、製品を検索する

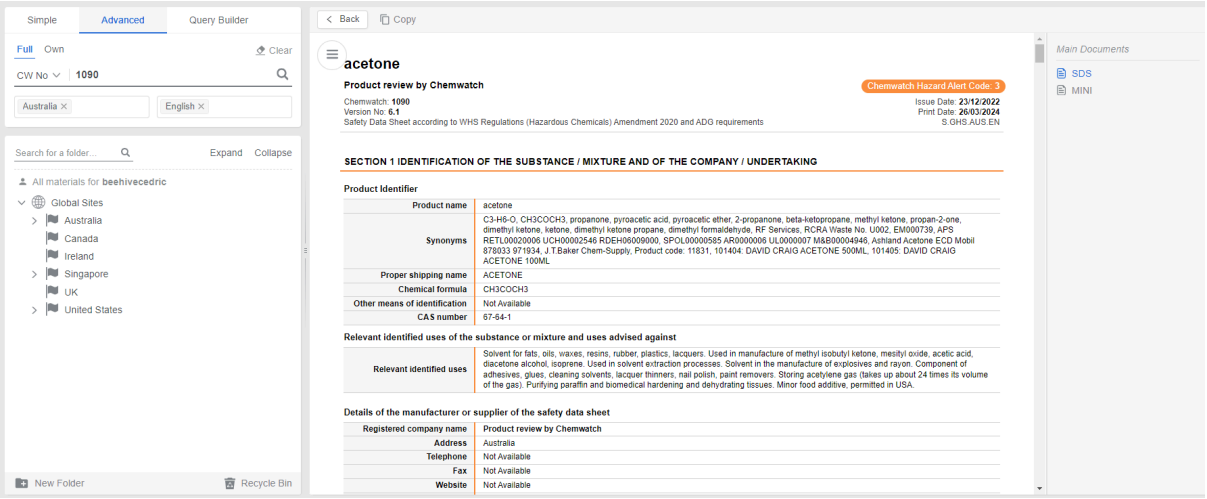
1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称ドロップダウンメニューを開く。
5. メニューから**CW**番号を選択する。
6. ケムウォッチ番号（例：1090）を検索テキストボックスに入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。

サイドパネルのフィルタを適用すると、そのフィルタ条件に一致するデータのみが表示されるよう、検索結果が更新されます。



ゴールドSDSの画面

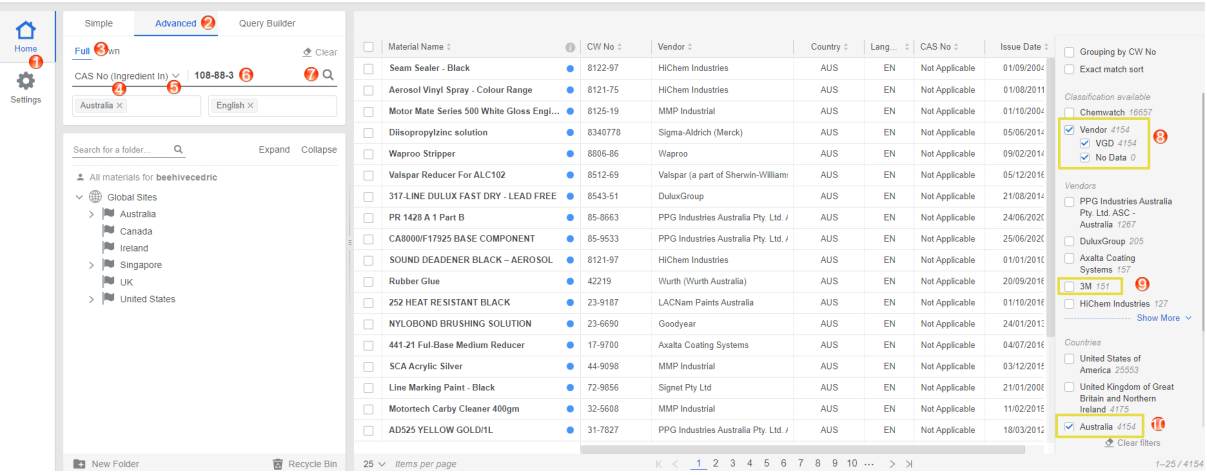
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



3.3 CAS番号（成分）を用いて、製品を検索する

CAS番号（成分）オプションをご利用いただくと、指定したCAS番号が付与されている成分を含有する製品を、検索することができます。

手順：CAS番号（成分）を用いて製品を検索する

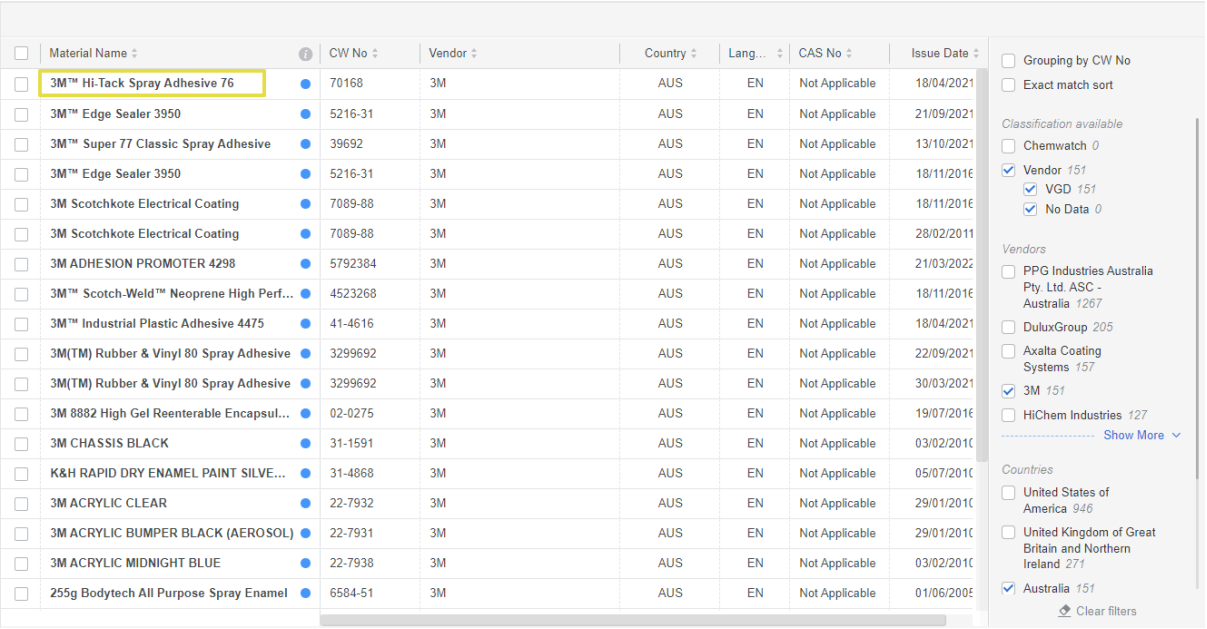


1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称ドロップダウンメニューを開く。
5. メニューから**CAS番号**（成分）を選択する。
6. **CAS番号**（例：108-88-3）を検索テキストボックスに入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. サイドパネルの利用可能なデータで、ベンダーにチェックを入れる。
9. ベンダーの名称の横のチェックボックスに印を付け、検索結果を更に限定する。
10. サイドパネルで国を指定する。
11. 製品名をクリックし、SDSを表示する。

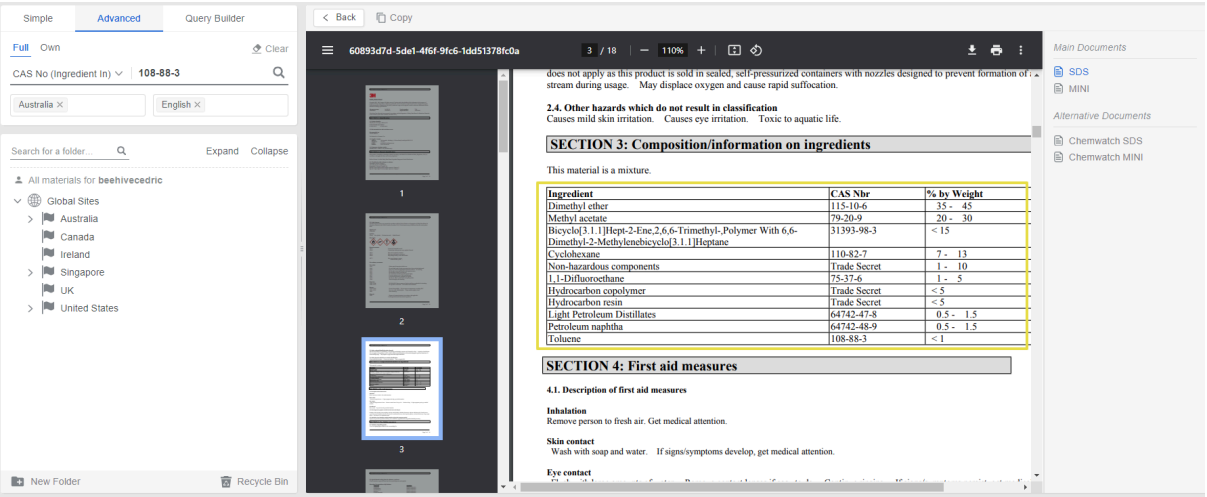
サイドパネルのフィルタを適用すると、そのフィルタ条件に一致するベンダーSDSのみが表示されるよう、検索結果が更新されます。下の例では、次のようなフィルタを使用しています。

- ベンダー = 3M
- 国= オーストラリア
- 言語 = 英語

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



ベンダーSDSの画面



3.4 危険物クラスで製品を検索する

危険物とは、輸送時に健康、安全、環境などにリスクをもたらす物質で、混合製品や成形品などを含みます。輸送されていない状態でもリスクを呈する物品は、危険有害性物質と呼ばれます。

危険物は、リスクを呈する化学的特性に基づき、9つの等級に分類されます。この9つの等級と各等級の説明については、下の表をご確認ください。

危険物クラス	名称	区分と詳細
クラス1	火薬類	区分1.1：大量爆発の危険性がある物質及び火工品 区分1.2：大量爆発の危険性はないが、飛散の危険性がある物質及び火工品

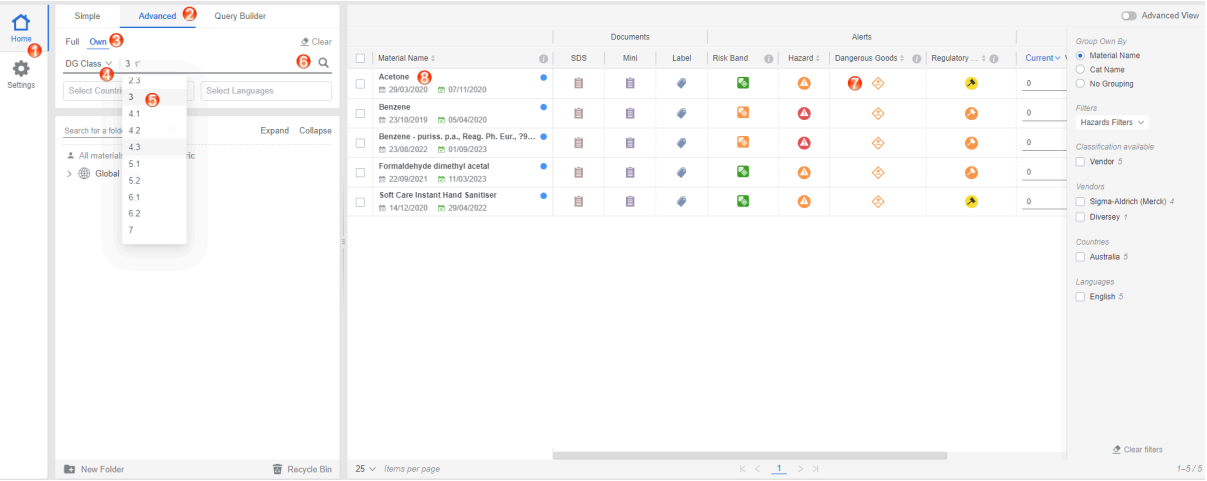
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

危険物クラス	名称	区分と詳細
		区分1.3：大量爆発の危険性はないが、火災の危険性があり、かつ、弱い爆風の危険性若しくは弱い飛散の危険性又はその両方の危険性のある物質及び火工品 区分1.4：高い危険性が認められない物質又は火工品 区分1.5：大量爆発の危険性はあるが、非常に鈍感な物質 区分1.6：大量爆発の危険性がなく、かつ、極めて鈍感な火工品
クラス2	高圧ガス	区分2.1：引火性高圧ガス 区分2.2：非引火性非毒性高圧ガス 区分2.3：毒性高圧ガス
クラス3	引火性液体	この危険物クラスには、区分はありません。このクラスの液体から発生する蒸気は、点火源と接触することで空気中で引火する可能性があります（例：ガソリン、灯油）。
クラス4	可燃性物質	区分4.1：可燃性固体、自己反応性物質および固体鈍性化爆発物 区分4.2：自己発火性物質 区分4.3：水反応可燃性物質
クラス5	酸化性物質	区分5.1：酸化性物質 区分5.2：有機過酸化物
クラス6	毒物類	区分6.1：毒物 区分6.2：防毒をうつしやすい物質
クラス7	放射性物質	この危険物クラスには、区分はありません。有害な放射線を放出する物質（例：ウラン、ラジウム）。
クラス8	腐食性物質	この危険物クラスには、区分はありません。生体組織を損傷させる可能性があり、他の多くの物質と反応することがある固体または液体（例：塩酸、苛性ソーダ）。
クラス9	その他の有害物	この危険物クラスには、区分はありません。危険性を有するが、他のクラスに含まれない物質および製品（例：ドライアイス、アスベスト）。

詳細検索を使用して、危険物クラスで製品を検索する手順は、以下のとおりです。

手順：危険物クラスで製品を検索する

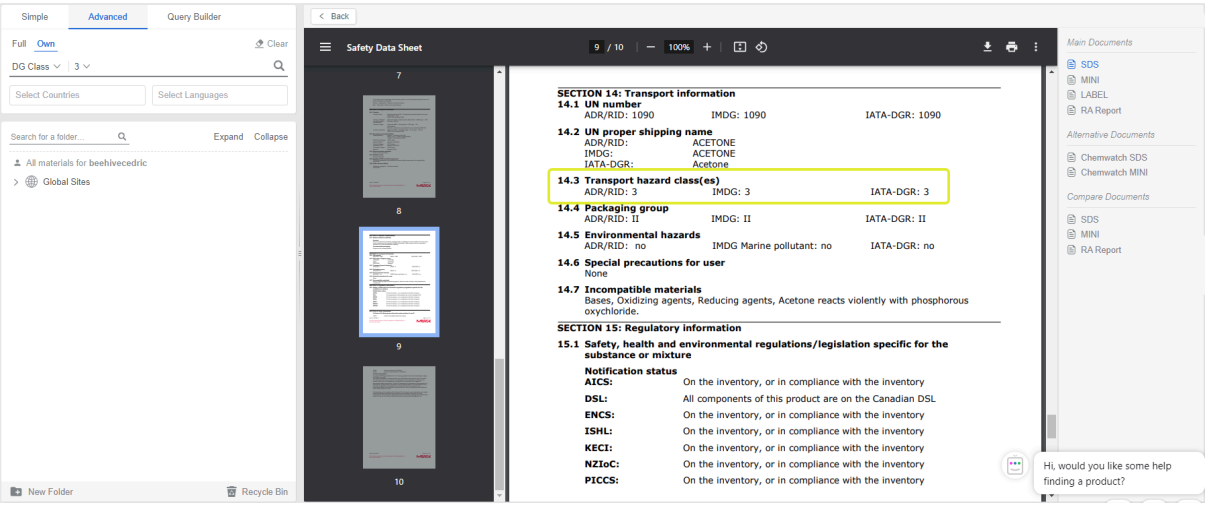
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 自己を選択し、検索対象を指定する。
4. 名称ドロップダウンメニューを開く。
5. メニューから危険物クラスを選択し、クラスの番号を選択する(例:引火性液体の場合は3)。
6. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
7. 製品名をクリックし、SDSを表示する。

サイドパネルのフィルタを適用すると、そのフィルタ条件に一致するベンダーSDSのみが表示されるよう、検索結果が更新されます。

ベンダーSDSの画面:第14章、輸送上の注意および危険物クラス



3.6 ベンダーで製品を検索する

製造者や輸入者などの製品の供給者は、SDSを作成し、法的要件に従い情報を提供しなければなりません。この情報には、ベンダーの詳細(会社名、住所、電話番号、緊急連絡先)、製品番号、製品名、SDSの発行日、必要であれば改訂日、バージョン番号、含有成分、危険有害

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

性分類、物理化学的特性、取扱いや保管上の注意、応急措置および輸送上の注意などが含まれます。

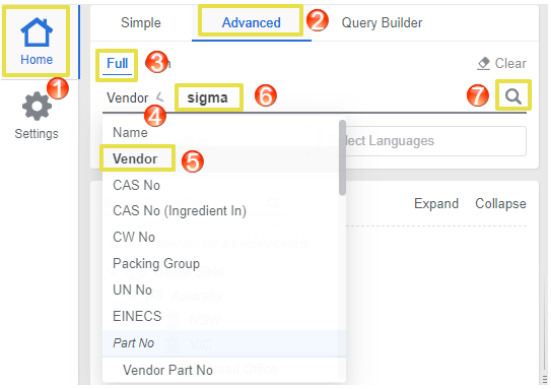
* サプライヤやメーカーとも呼ばれるベンダーは、市場や職場に出回っている自社製品に対して、最新のSDSを提供しなければなりません。これは、危険有害性を有する化学品を使用または輸送する作業者が、安全データシートに含まれる情報をいつでも参照できるようにするためです。

ベンダーは、製品に関する情報を詳細に記載した、16章構成のSDSを提供しなければならず、また作成日や改訂日から最長でも5年以内にはSDSを更新し、文書が正確かつ最新であることを確認しなければなりません。

詳細モードで、ベンダー検索で製品のSDSを見つける手順は、以下のとおりです。

手順：ベンダー名で検索を実行し、メーカーのSDSを表示する

1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称ドロップダウンメニューを開く。

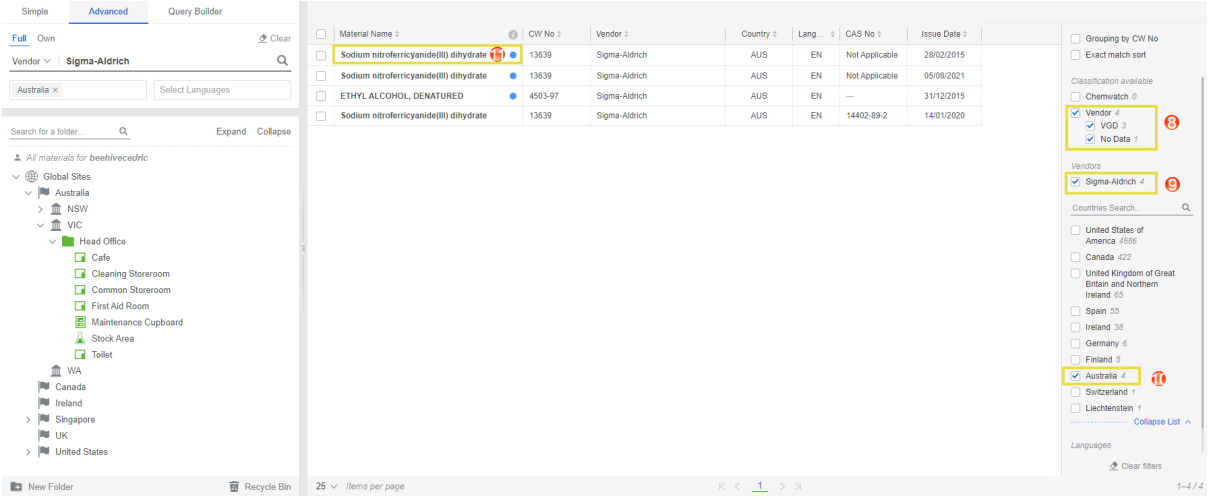


5. メニューからベンダー名を選択する。
6. 検索テキストボックスにベンダー名（例：Sigma-Aldrich）を入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. 利用可能なデータで、ベンダーのチェックボックスを選択する。
9. ベンダーの名称の横のチェックボックスに印を付け、検索結果を更に限定する。
10. サイドパネルで国を指定する。
11. 製品名をクリックし、ベンダーSDSを表示する。

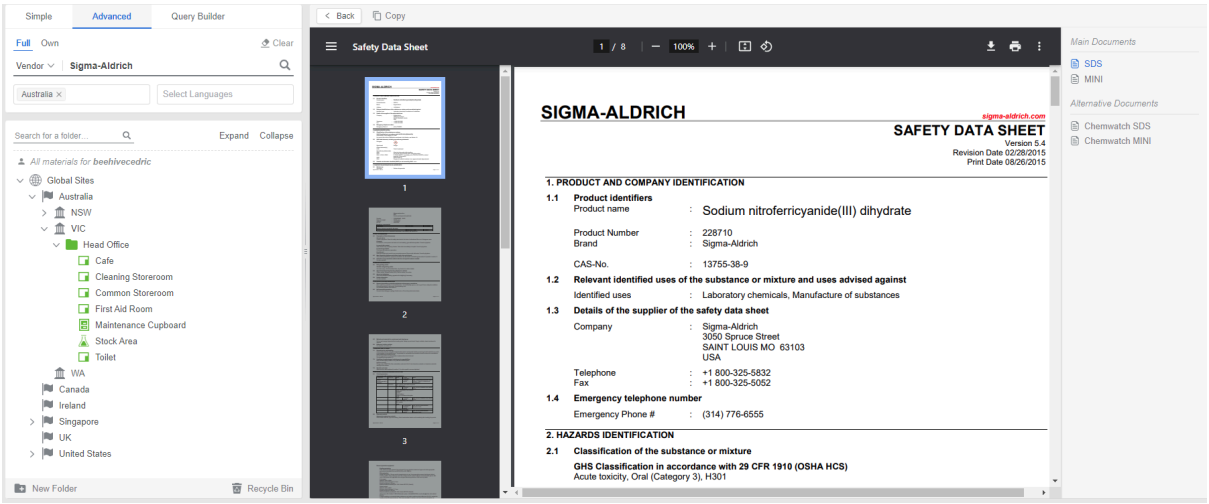
以下の検索ケースでは、検索条件に国や言語が含まれておりません。そのため、国や言語に関係なく、関連するすべての製品が検索対象となります。より正確かつ関連性の高い検索結果を表示するには、サイドパネルで次の条件を設定してください：

- 国
- 言語
- ベンダー名称（メーカーによっては、異なる国で事業を展開している子会社が存在する場合があることにご注意ください）

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



ベンダーSDSの画面

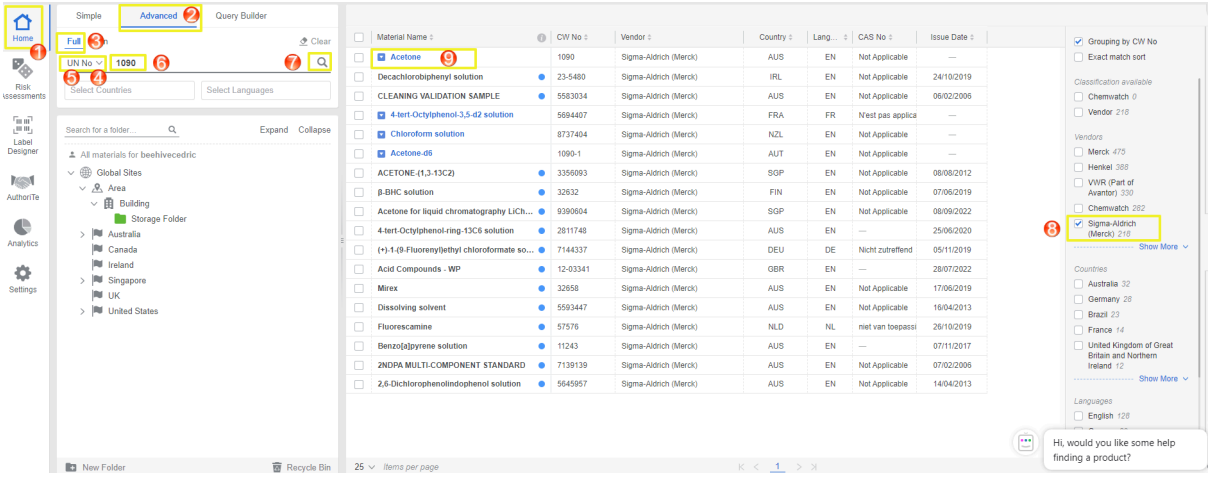


3.6 国連番号を用いて製品を検索する

詳細検索条件「国連番号（UN　No）」を使用して製品を検索する方法は、次ページのとおりです。国連番号は、国際的な商取引や輸送において、危険物や有害物質および成形品を識別するための、4桁の番号です。「国連危険物輸送に関する勧告　モデル規則」は、各国政府や国際機関が危険物輸送基準として採用している、国際的な指針です。データベース内の各化学品には、この国連番号が付与されています。番号はUN0001からUN3600程度までに及び、現在は使用されていない番号もあります。通常国連番号は、危険物クラス（等級）や正式品名に紐づけられています。このような国連番号は、製品の危険物クラスや輸送に関する情報およびSDSを見つける際に役立ちます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

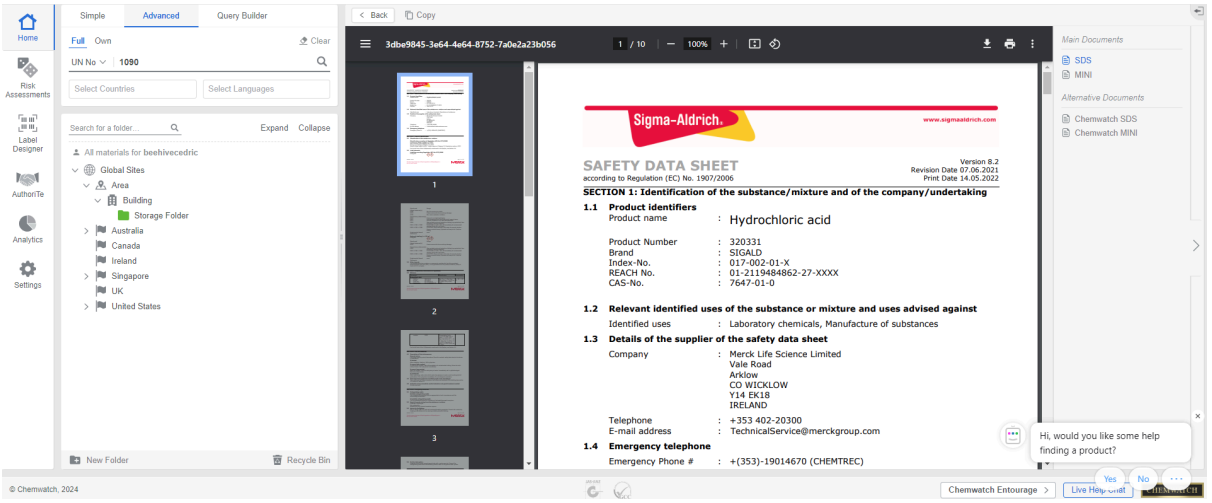
手順：国連番号を用いて製品を検索する



1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称ドロップダウンメニューを開く。
5. メニューから国連番号を選択する。
6. 検索テキストボックスに国連番号（例：1090）を入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. ベンダーの名称の横のチェックボックスに印を付け、検索結果を更に限定する。
9. 製品名をクリックし、ベンダーSDSを表示する。

サイドパネルのフィルタを適用すると、そのフィルタ条件に一致するベンダーSDSのみが表示されるよう、検索結果が更新されます。

ベンダーSDS画面



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.0 マニフェストを作成する

この章では、以下のトピックについてご説明を差し上げます。

- フォルダの種類と概要
- 保管場所用のフォルダを作成する
- フォルダの構造を作成する
- フォルダをコピーする
- フォルダを移動する
- フォルダの名称を変更する
- フォルダを削除する
- フォルダツリーを印刷する
- フォルダの履歴
- フォルダのプロパティを編集する

マニフェストでは、職場で使用／保管されている化学品を、その位置情報も含めて一目でご確認いただけます。この化学品管理システムでは、マニフェストに関連するデータやSDS、危険有害性、保管体積／重量、製品タグの作成、データの更新および報告などに関する作業を、サポートしています。

マニフェストの主な目的は、事業所内で使用／保管されている化学品の量、種類および場所に関する情報を緊急対応機関に提供し、事故等への対応を簡易化することです。国によっては、危険有害性を有する化学品の登録テンプレートを提供していることもありますので、ご自身の使用／保管場所がある国のマニフェスト報告要件を是非ご確認ください。要件をご確認いただきましたら、システム内のレポート生成機能より、マニフェスト、フォルダまたはに場所などの化学品の在庫情報を含むレポートを作成していただけます。

弊社のシステムの導入過程には、マニフェストの作成や更新を目的として、以下のようなプロセスが含まれています。

新規ユーザーは、必要であればこの一般的な登録段階を経て、すべての化学品をシステムに登録します。そしてこの登録過程で、マニフェストが自動作成される場合もあります。この登録過程を経ない場合には、ユーザー側でマニフェストのフォルダ構造を作成し、各フォルダに商品を追加していただくことも可能です。

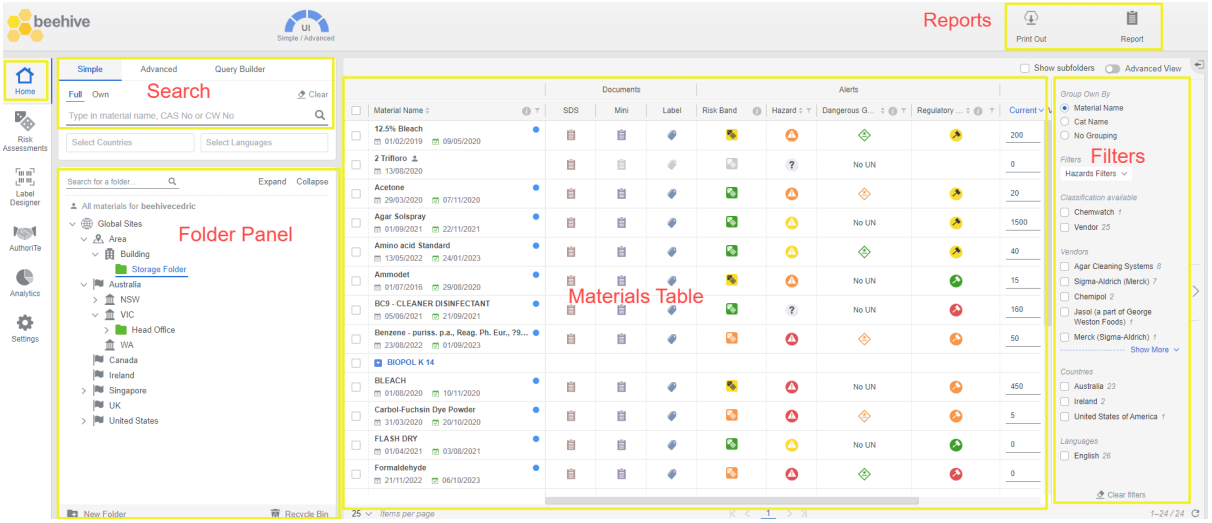
登録リクエストをお送りいただきますと、プロジェクト番号が割り振られます。各プロジェクトは、登録リクエストの処理、ベンダーSDSの取得、ベンダーSDSのレビュー、更新段階と、順を追って進行します。ユーザー側で、独自のフォルダを作成して製品を追加したり、保管量や重量を編集したり、データ抽出（UGD）を行い、手動でデータを抽出することも可能です。

4.1 マニフェストの構成要素の概要

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

マニフェストの主な構成要素は、以下のとおりです：

- 検索パネル
- フォルダパネル
- 製品テーブル
- サイドパネルのフィルタ
- レポート生成機能
- 印刷

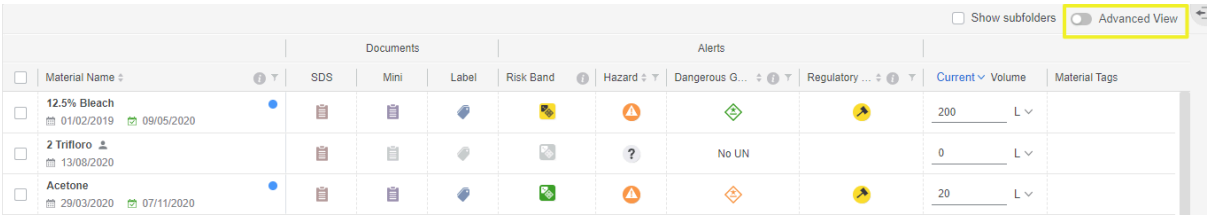


製品テーブルは、以下の二種類のモードでの表示が可能です：

- シンプル
- アドバンス

各ユーザーが適切なモードで素早くテーブルを表示できるよう、設定モジュールからデフォルトモードを設定しておくことも可能です。シンプルモードのテーブルの主な目的は、フォルダに入っている化学品の在庫に関連するあらゆる情報を、素早く確認できるようにすることです。

シンプルモード



アドバンスモード

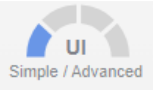
シンプルモードのテーブル

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

下の画面にあるテーブルでは、文書やアラートへの即時アクセスが提供されています。直接アクセスできる要素は、以下に挙げるとおりです：

- ベンダーSDS
- 警告が色分け表示されている、1ページ分にまとめたミニSDS
- 業務ごとの追加条件の入力が不要な、自動リスクアセスメント
- 検索パネルで商品を検索し、検索結果にある製品の保管場所をフォルダツリーでハイライトする、追跡機能
- テンプレートを使用して、GHSや危険物保管／輸送用の二次容器ラベルを生成する機能
- 製品の体積や重量

フォルダに製品を追加すると、SDS、リスクアセスメント、表示ラベル、危険有害性評価、規制負担、危険物分類などが、自動表示されます。そしてこのようなデータを基に、ケムウォッチ独自のアルゴリズムを使用したリスクアセスメントが、最も可能性の高いシナリオを予測して自動生成されます。簡易ビューは、機能メーターのレベル1からも、アクセス可能となっています。

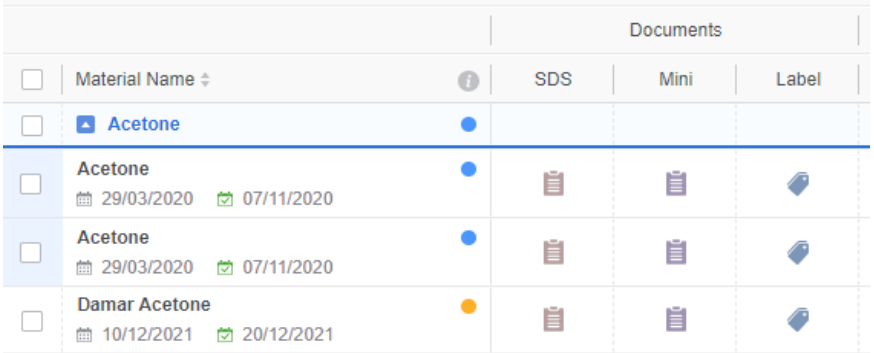


文書欄

製品テーブルの文書欄には、フォルダ内にある製品の文書にアクセスするためのアイコンが表示されています。表示可能な文書：

- ベンダーSDS
- ゴールドSDS
- ミニSDS
- 表示ラベル

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



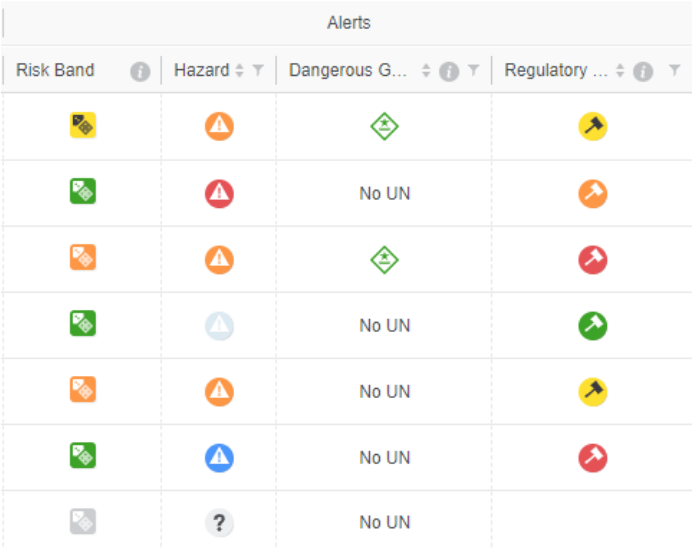
文書アイコンの種類

文書の種類	ベンダーSDS	ゴールド	ミニ	ラベル
アイコン				
	メーカー／供給者が作成した安全データシート（ベンダーSDS）。ベンダーデータが利用可能な場合、製品名の横に青い点 が表示されます。	ケムウォッチが作成した安全データシート（ゴールドSDS）。ゴールドSDSが利用可能な場合、製品名の横にオレンジ色の点 が表示されます。	危険有害性の概要を1ページにまとめた、簡易版のSDS。	テンプレートなどを使用して作成する、製品の表示ラベル。

警告欄

警告欄には列ごとに色分けされたアイコンが表示されており、フォルダに格納されている製品の評価を示しています。各欄のアイコンが示す評価の種類は、以下のとおりです。

- リスクアセスメント
- 危険有害性評価
- 危険物の絵表示
- 規制負担



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

警告欄の主な目的は、色分けされたアイコンを確認することで、製品の分類情報などを簡単に一目で把握し、フォルダ全体の製品の危険有害性や危険物の種類、および規制負担を、瞬時に把握できるようにすることです。

警告欄に色分け表示されるアイコン

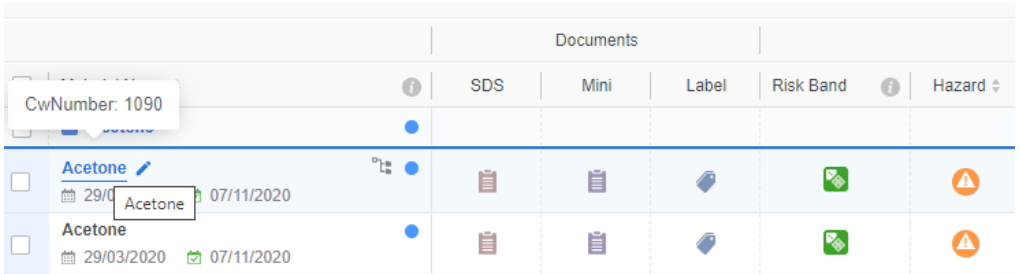
種類	リスクアセスメント	危険有害性	危険物	規制負担
アイコン				
	デフォルトのリスクアセスメント評価およびレポートへのアクセス	GHSに基づく、ケムウォッチの危険有害性評価	危険物クラスと容器等級	小さい、普通、大きい、最大
評価	0/1, 2, 3, 4/4+, 不明	0 1 2 3 4	容器等級I, 容器等級II, 容器等級III, 適用外	小、普通、大、最大

4.1.1 自己フォルダからベンダー文書を閲覧する

シンプルモードで自己フォルダを対象として検索を実行し、その検索結果やフォルダのコンテンツから文書を表示する場合には、先に述べた文書表示用のアイコンが表示されるため、それをクリックして文書を読み込むことができます。製品の文書（ベンダー**SDS**）は、以下の二通りの方法で表示することができます：

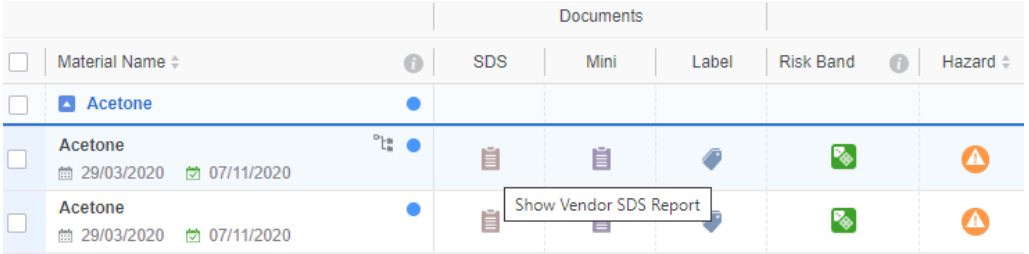
- 製品名をクリックする
- ベンダーSDSのアイコンをクリックする

製品名をクリックしている画面：



ベンダーSDSのアイコンをクリックしている画面：

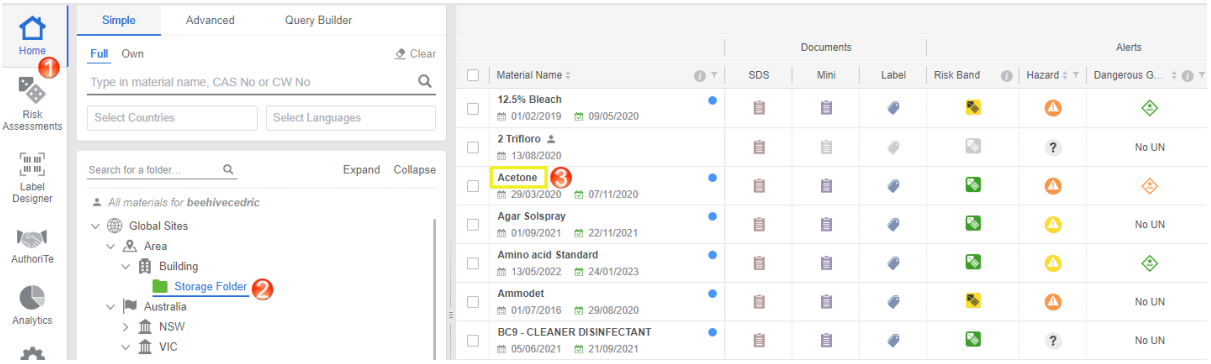
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



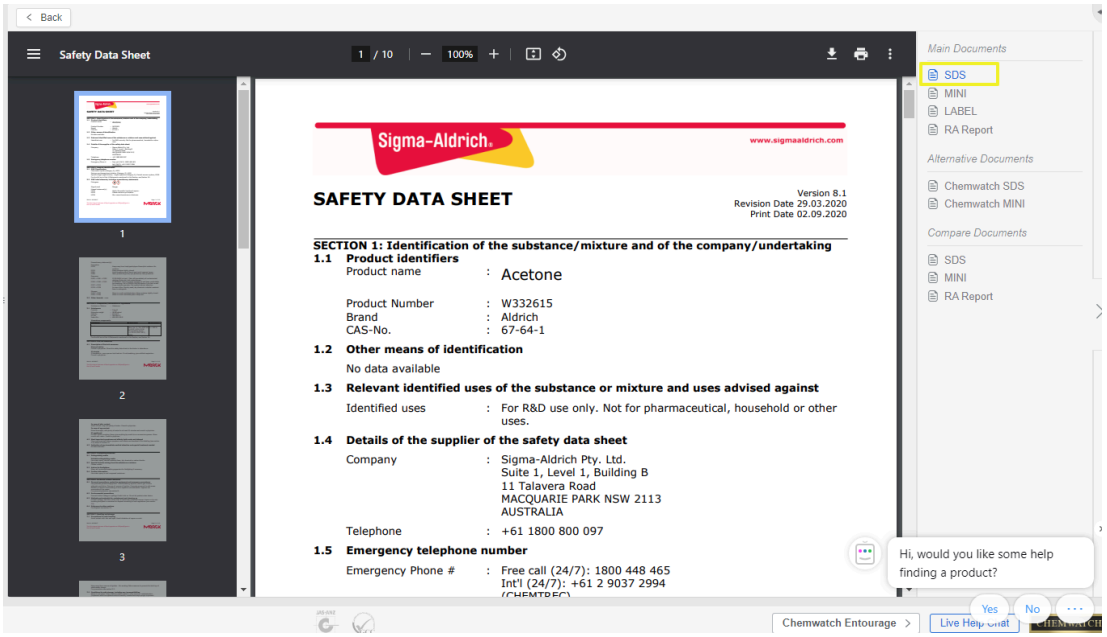
ベンダーSDSとは、メーカーやサプライヤが作成した閲覧用の安全データシートのことです。このSDSには、発行日、バージョン、緊急連絡先、住所、危険有害性分類、輸送情報、応急措置、注意書き、個人用保護具（PPE）、廃棄に関する情報など、製品に関する重要な情報が掲載されています。SDSの各セクションに書いてある情報の詳細については、付録をご参照ください。

手順：製品名からベンダーSDSを表示する

1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックする。
3. 製品テーブルにある製品名をクリックする。
4. ベンダーSDSが表示されます。



Vendor SDS View

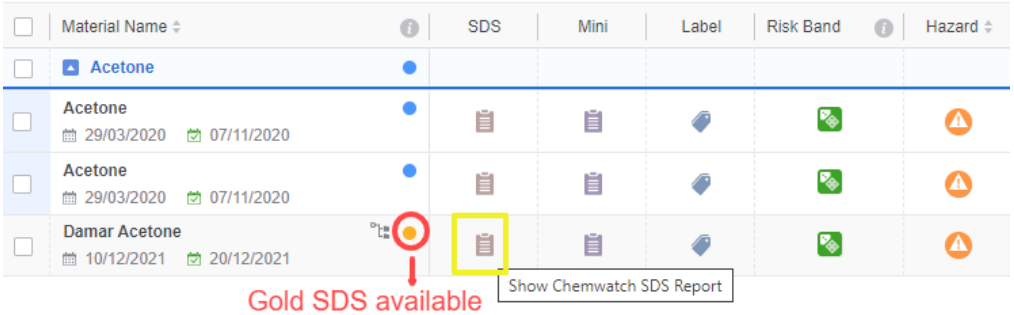


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.1.2 自己フォルダからケムウォッチのゴールドSDSを表示する

ケムウォッチのゴールドSDSは、製品テーブルでオレンジ色の点 が付いている製品について、SDSアイコン をクリックすると表示されます。また、ベンダーSDSを表示している際に、サイドパネルの代替文書からケムウォッチ**SDS**を選択しても、ゴールドSDSを表示することができます。

ゴールドSDSは、ケムウォッチが作成した安全データシートです。この文書を閲覧するサービスをご契約されているお客様のアカウントからのみ、ゴールドSDSを表示することができます。このようなアカウントには、ゴールド優先かゴールド強制の二種類のアカウントがございます。



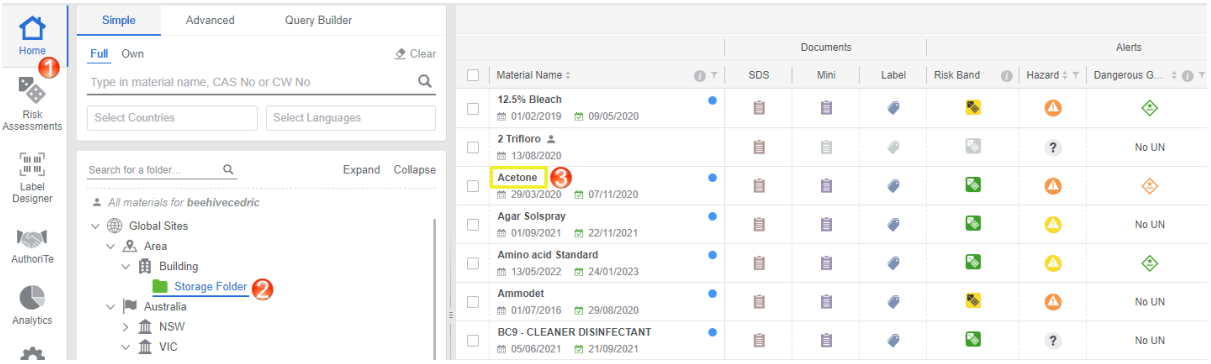
ゴールドSDSは、GHS、REACH、中国、日本、勧告、ニュージーランドなど、様々な国の様式に対応しており、50種類弱の言語で表示することができます。ゴールドSDSのコンテンツは、可燃性、毒性、身体接触、反応性および慢性影響などの、ケムウォッチ独自の危険有害性評価により色分け表示されています。

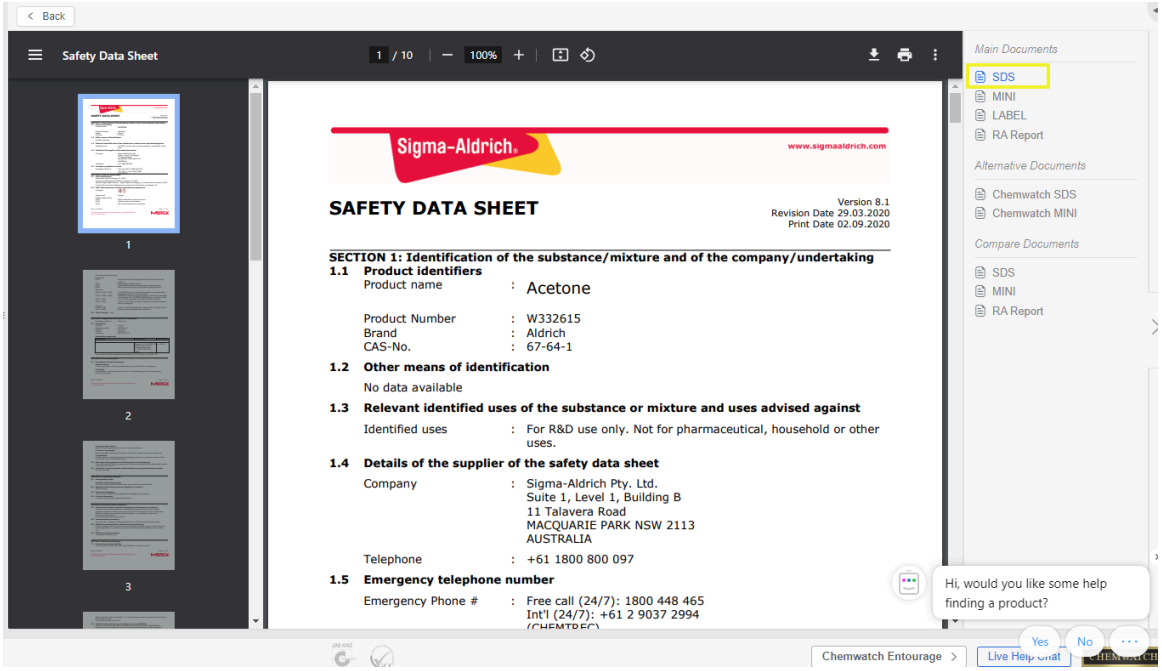
色	危険有害性評価	アイコン	意味
グレー	0		なし
青	1		低い
黄色	2		中程度
オレンジ	3		高い
赤	4		非常に高い

手順：サイドパネルの代替文書オプションから、ゴールドSDSを表示する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

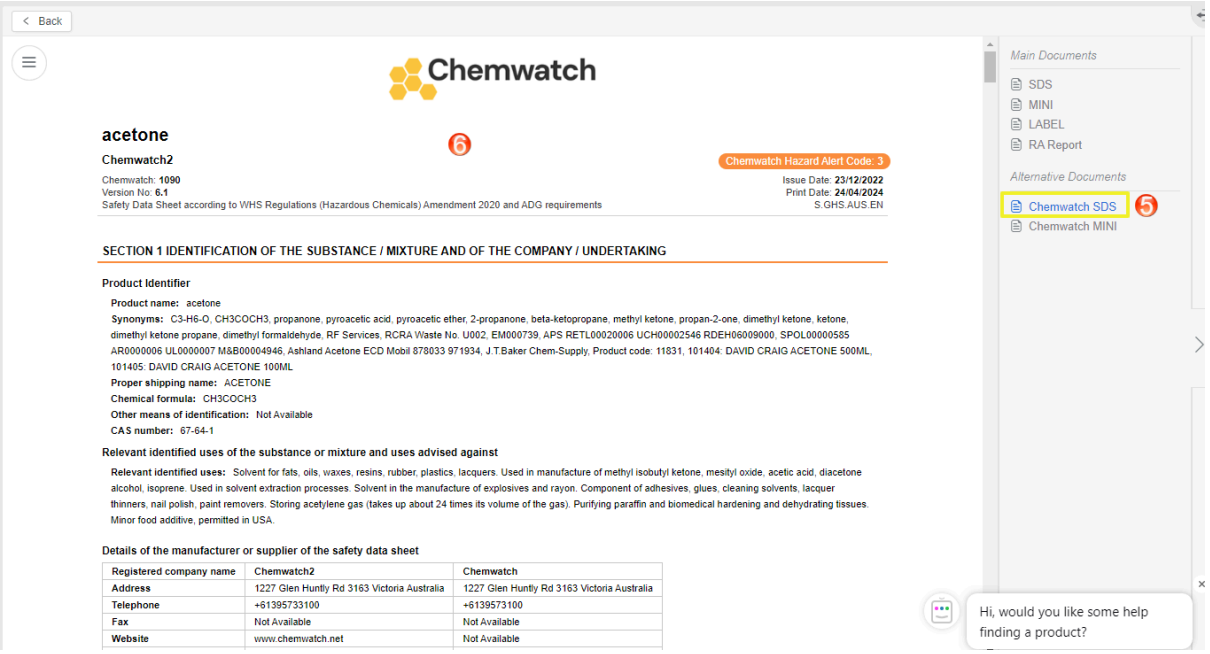
1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックする。
3. 製品テーブルにある製品名をクリックする。
4. ベンダーSDSを表示する。





5. 代替文書のセクションで、「**Chemwatch SDS**」を選択する。
6. ケムウォッチ（ゴールド）SDSが表示されます。

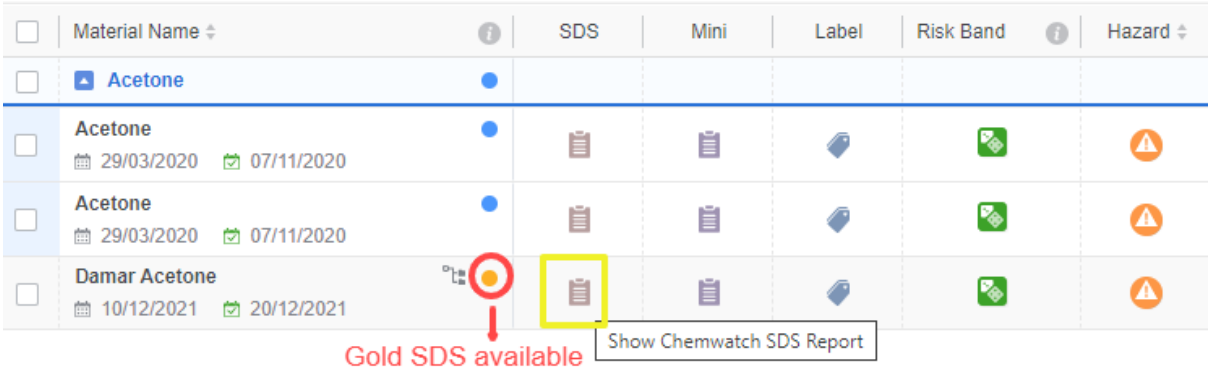
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



4.1.3 自己フォルダからミニSDSを表示する

ミニ**SDS**は、オレンジ色 ● か青色 ● の点が付いている製品について、ミニSDSのアイコン をクリックすることで、ワンクリックで表示することができます。また、ベンダーSDSを表示している際に、サイドパネルの代替文書からケムウォッチ **MINI**を選択しても、ミニSDSを表示することができます。

ミニSDSは、ケムウォッチが危険有害性情報を1ページ分に要約した文書です。

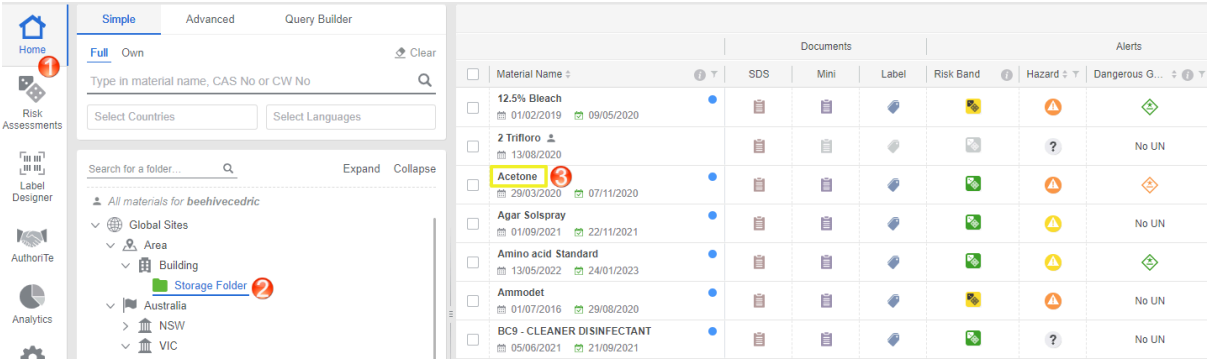


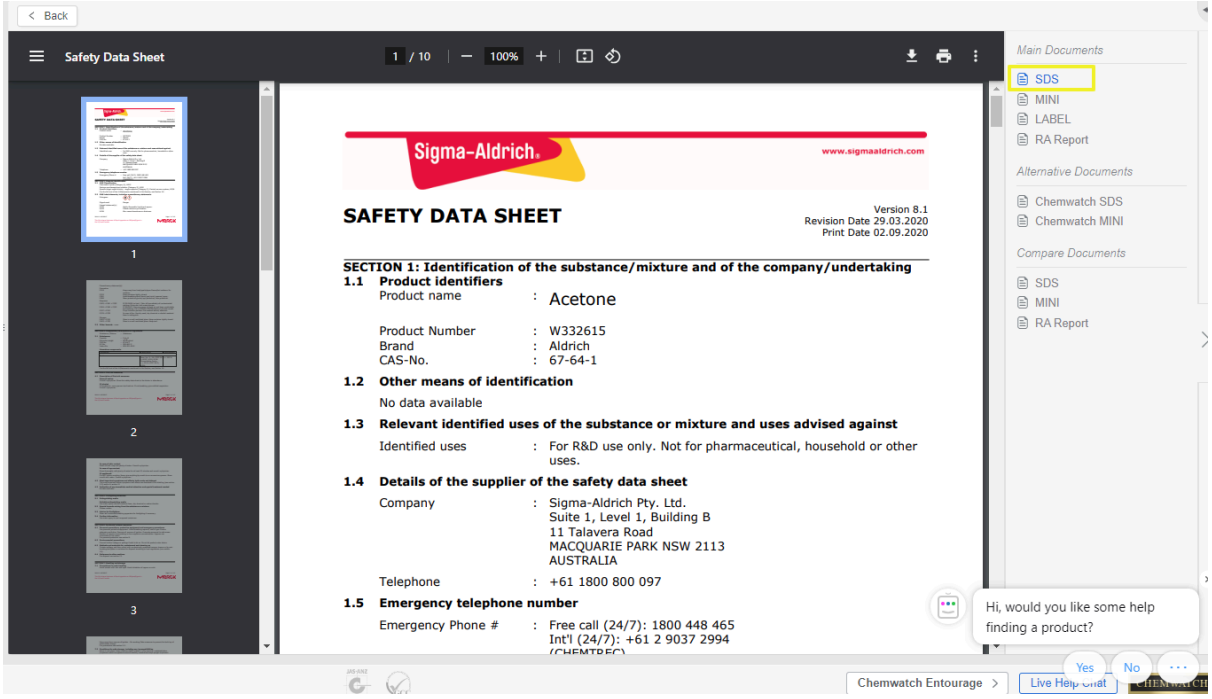
ミニSDSは、ケムウォッチが危険有害性を1ページ分に要約したデータシートであり、緊急時の参照用に便利な文書です。GHS、REACH、中国、日本、韓国、ニュージーランドなどのさまざまな様式に対応しており、50種類弱の言語で表示することができます。ミニSDSのコンテンツは、可燃性、毒性、身体接触、反応性および慢性影響などの、ケムウォッチ独自の危険有害性評価により色分け表示されています。次の例では、サイドパネルのオプションを利用して、この文書を表示しています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

手順：サイドパネルの代替文書から、ミニSDSを表示する

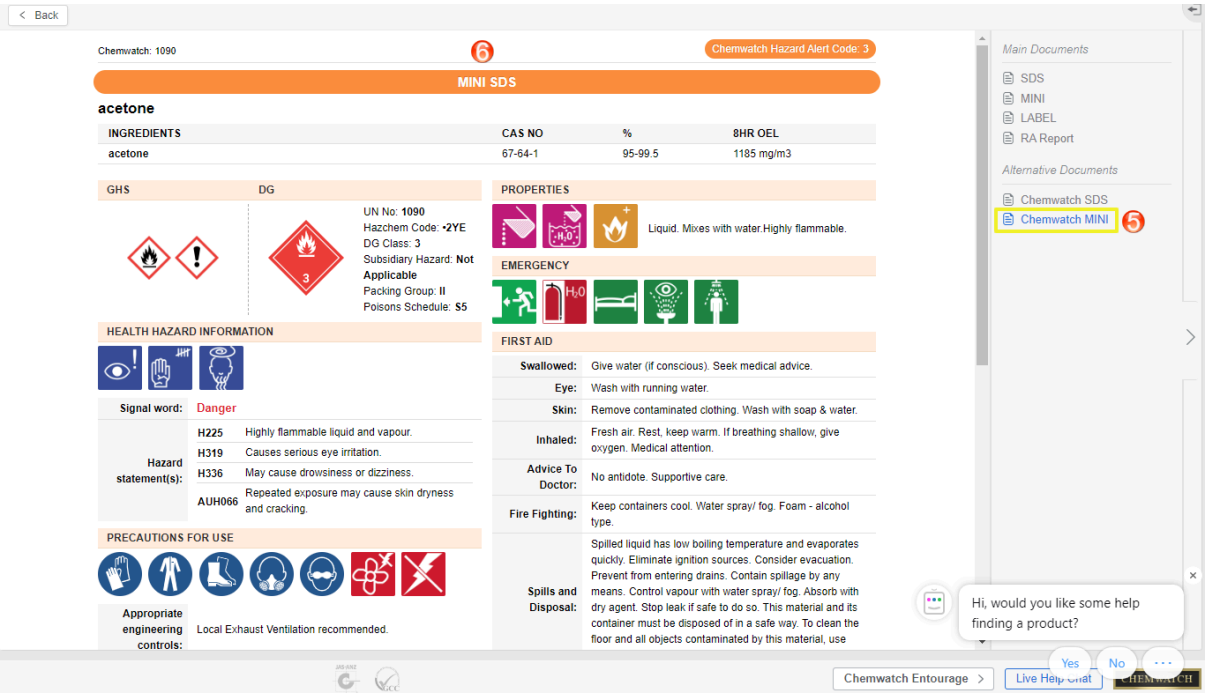
1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックする。
3. 製品テーブルにある製品名をクリックする。
4. ベンダーSDSが表示されます。





5. サイドパネルの代替文書のセクションで、“**Chemwatch MINI**” を選択する。
6. ケムウォッチのミニSDSが表示されます。

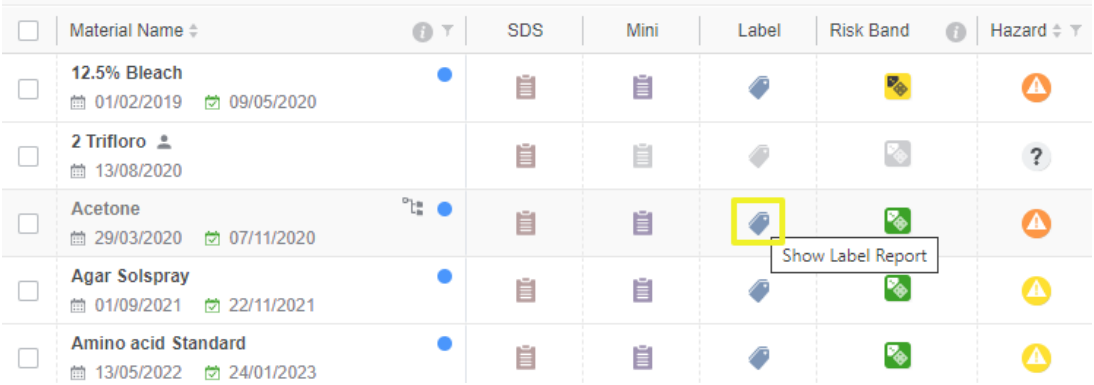
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



4.1.4 自己フォルダの製品の表示ラベルを表示する

表示ラベルは、製品テーブル上でオレンジ色の点 が表示されている製品や、ベンダーデータが存在する青い点 が付いている製品については、ラベル文書アイコン からご利用いただけます。もしくは、ベンダーSDSを表示中に、サイドパネルの「主な文書」から、ラベル LABEL オプションを選択して表示することも可能です。

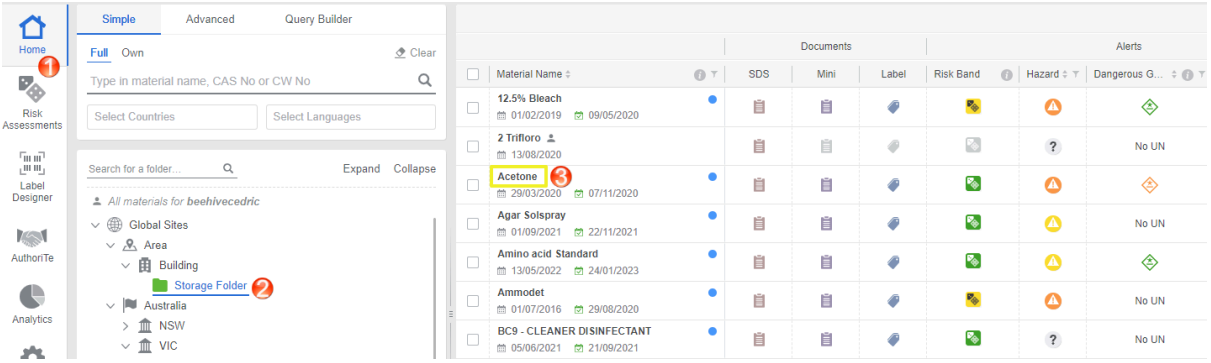
ケムウォッチがデザインしたテンプレートか、ユーザーが作成したテンプレートを使用して、ラベルを作成することができます。



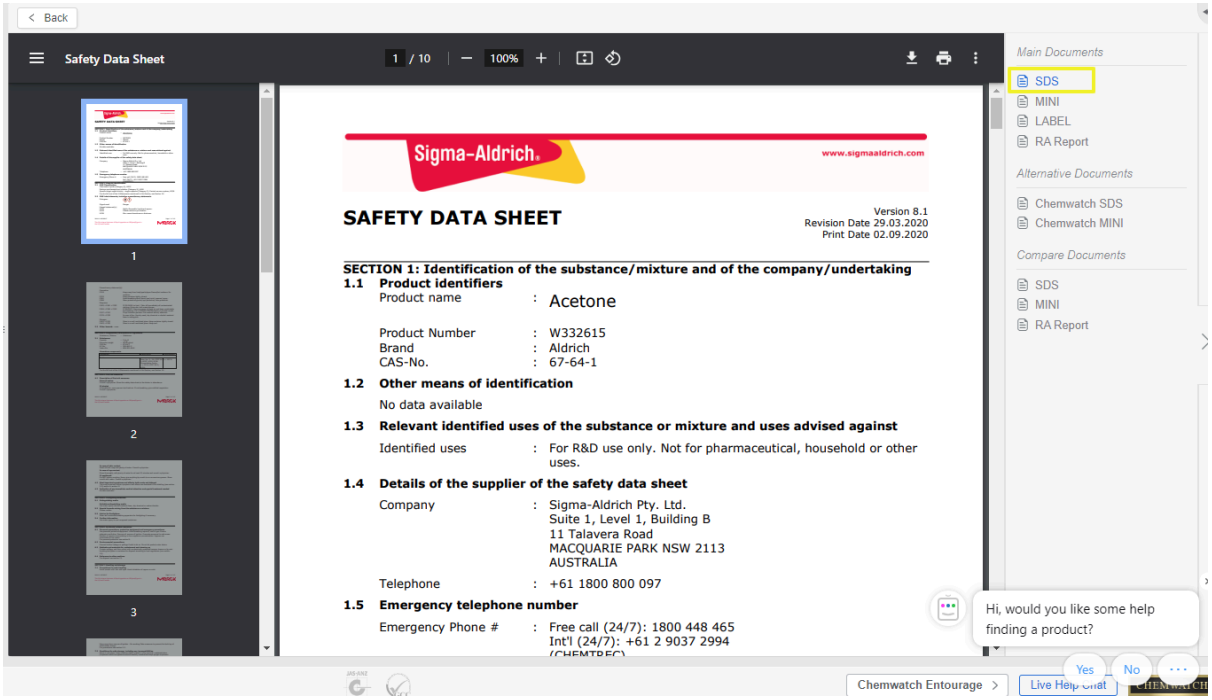
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

下の例では、サイドパネルの「主な文書」からラベルを表示する方法について解説しています。

手順：サイドパネルの主な文書から、製品のラベルを表示する



1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックする。
3. 製品テーブルにある製品名をクリックする。
4. ベンダーSDSが表示されます。



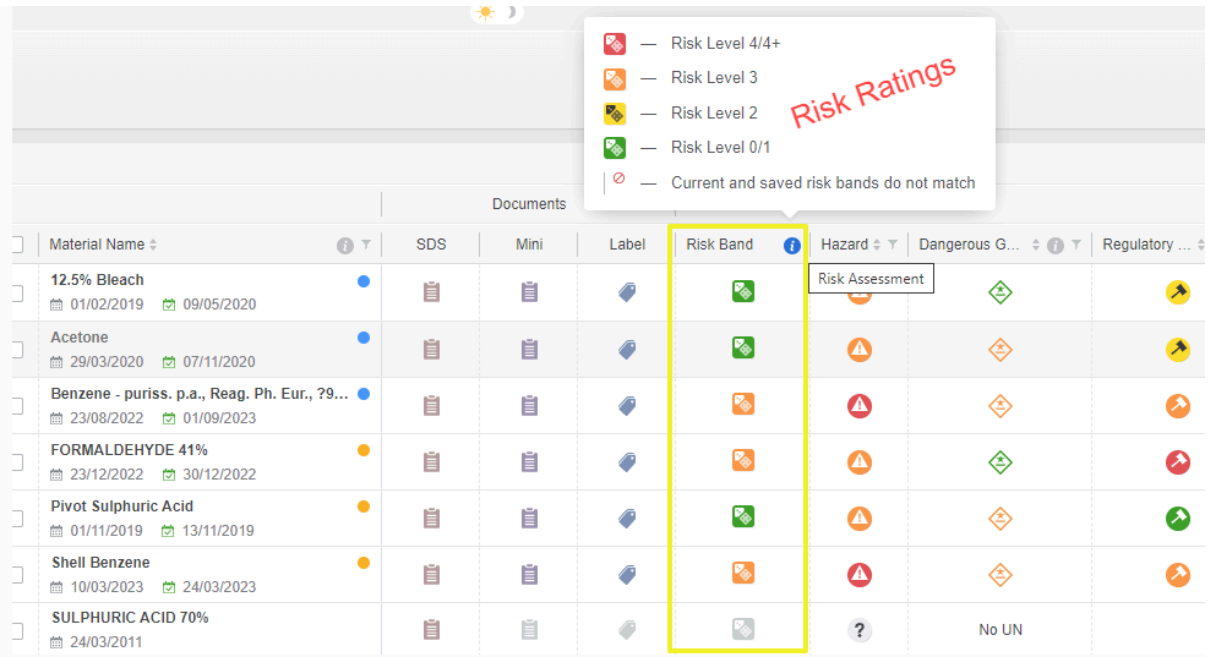
5. サイドパネルの主な文書のセクションから、「ラベル」を選択する。
6. 製品の情報を掲載したラベルが、ケムウォッチのデフォルトテンプレートを使用して作成されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.1.5 自己フォルダの製品のリスクアセスメントレポートを表示する

リスクアセスメント概要

色分け表示されたリスクバンドのアイコンをクリックすると、リスクアセスメント・レポートが表示されます。



リスクバンドは、デフォルトでは国際労働機関（ILO）の手法の、5x5マトリックスリスク使用して自動算出された、リスク評価です。グレーのアイコン は、分類データがない（ケムウォッチの分類データとベンダーの分類データの両方が付与されていない）ため、リスクを評価することができない製品に付与されます。適切な管理措置を決定するために、リスクレベルは残留リ

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

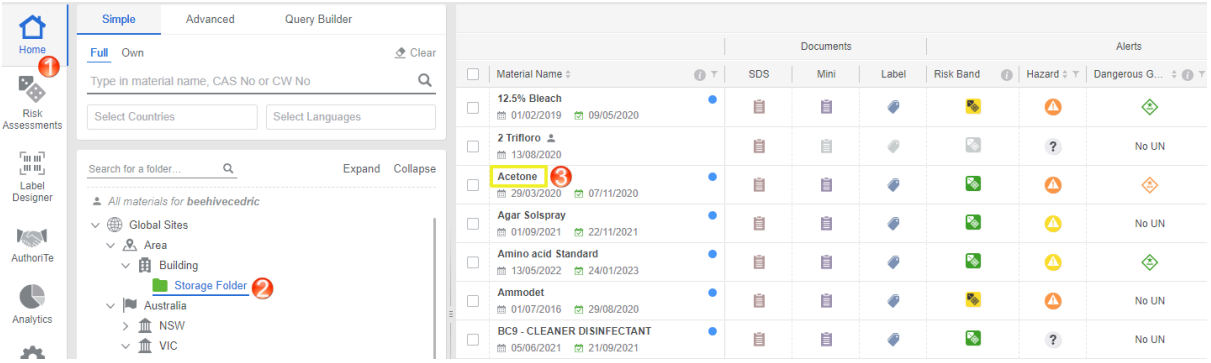
スクを考慮して算出されます。

リスクの概要

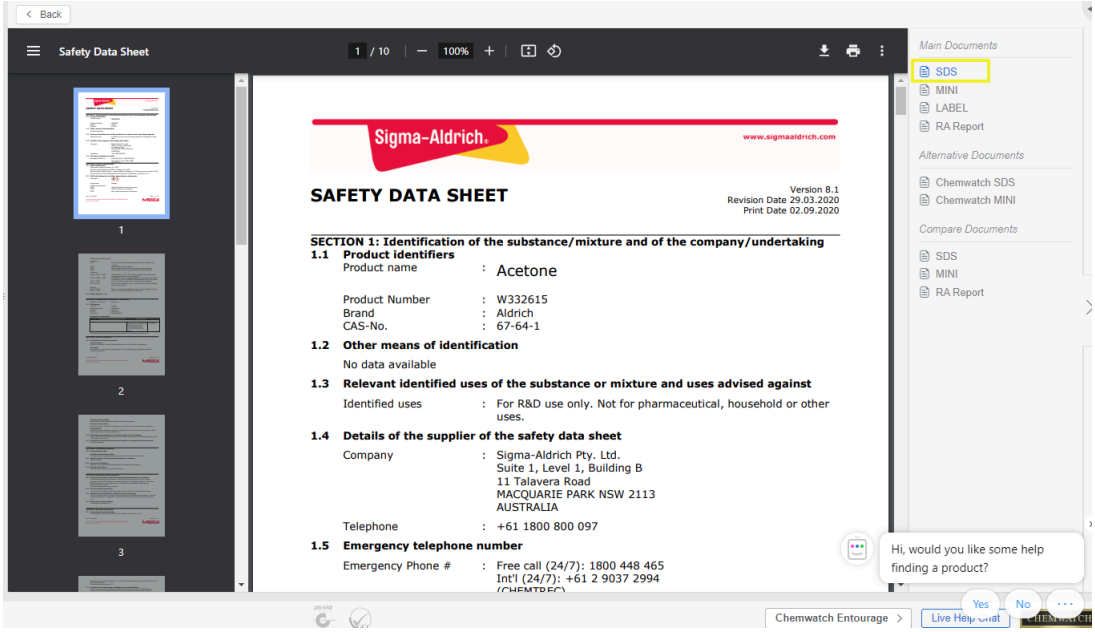
アイコン	色	リスクバンド	結果
	緑	リスクレベル 0/1	リスクが低い リスクアセスメントのデータ有り
	黄色	リスクレベル2	リスクが中程度 リスクアセスメントのデータ有り
	オレンジ	リスクレベル3	リスクが高い リスクアセスメントのデータ有り
	赤	リスクレベル 4/4+	リスクが非常に高い リスクアセスメントのデータ有り
	グレー	データなし	リスクアセスメントのデータ無し

手順：サイドパネルの主な文書から、リスクアセスメントを表示する

1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックする。.
3. 製品テーブルにある製品名をクリックする。
4. ベンダーSDSが表示されます。

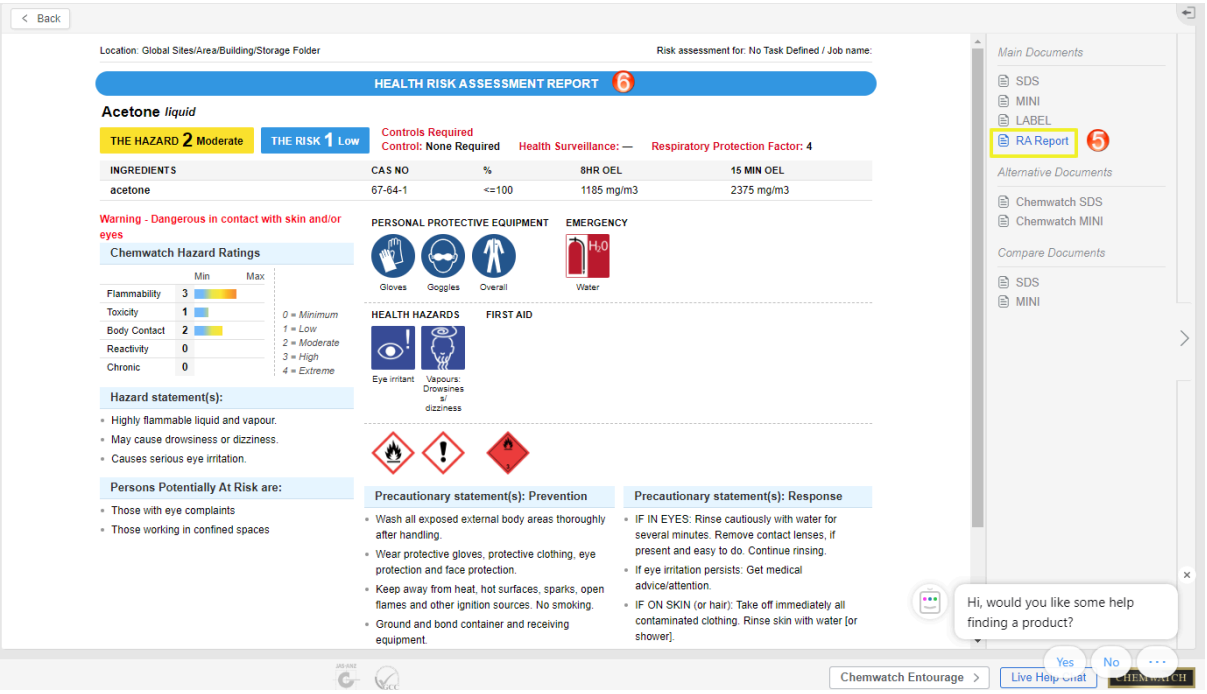


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



5. サイドパネルの主な文書のセクションから、「**RA Report**」を選択する。

6. ケムウォッチの自動リスク評価に基づくアセスメントの概要が掲載された、**RA REPORT**が表示される。



4.1.6 危険有害性評価を表示／理解する

ケムウォッチは、化学品の危険有害性を分類、理解、解釈、および伝達するために、GHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）に基づく危険有害性評価基準を使用しています。この分類システムでは、化学品がもたらす物理的な危険性や、健康／環境に対する有害性を正しく伝えるために、次のようなカテゴリを使用しています：

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

- ピクトグラム（9種類のGHSのシンボルマーク）
- 注意喚起語（危険または警告）
- 危険有害性情報（Hコード）
- 注意書き（Pコード）

製品テーブルの警告セクションには、ケムウォッチの危険有害性評価をご確認いただくための欄が、複数含まれています。危険有害性評価をご覧いただけるか否かは、製品のGHS分類の有無によります。

GHSは、化学品の分類について国際的に一貫した方法を提供しており、それによりメーカー、輸入業者、供給業者および使用者が、危険有害性を特定することができます。日本ではGHS第6版が採用されており、安衛法、化審法および毒劇法などの法律で、法的枠組みが提供されています。

この分類の過程では、危険有害性を有する化学品は、下のようなカテゴリに割り当てられます。

- 物理的危険性（例：引火性）
- 健康有害性（例：発がん性、毒性）
- 環境有害性（例：水生環境有害性）

ベンゼンのGHS分類の例
ベンゼン（C_6H_6）は有機化合物で、実験室で溶媒として使用されたり、他の有機化合物（プラスチック、樹脂、ゴム、潤滑剤、染料、合成繊維など）の合成によく使用されています。

ベンゼンのGHS分類	
分類	引火性液体 - 区分2 吸引性呼吸器有害性 - 区分1 皮膚腐食性／刺激性 - 区分2 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 - 区分2A 特定標的臓器毒性：単回ばく露（麻酔作用） - 区分3 生殖細胞変異原性 - 区分1B 発がん性 - 区分1A 生殖毒性 - 区分1B 特定標的臓器毒性：反復ばく露 - 区分1 水生環境急性有害性 - 区分2
注意喚起語	危険
絵表示	
危険有害性情報	H225 - 引火性の高い液体及び蒸気 H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

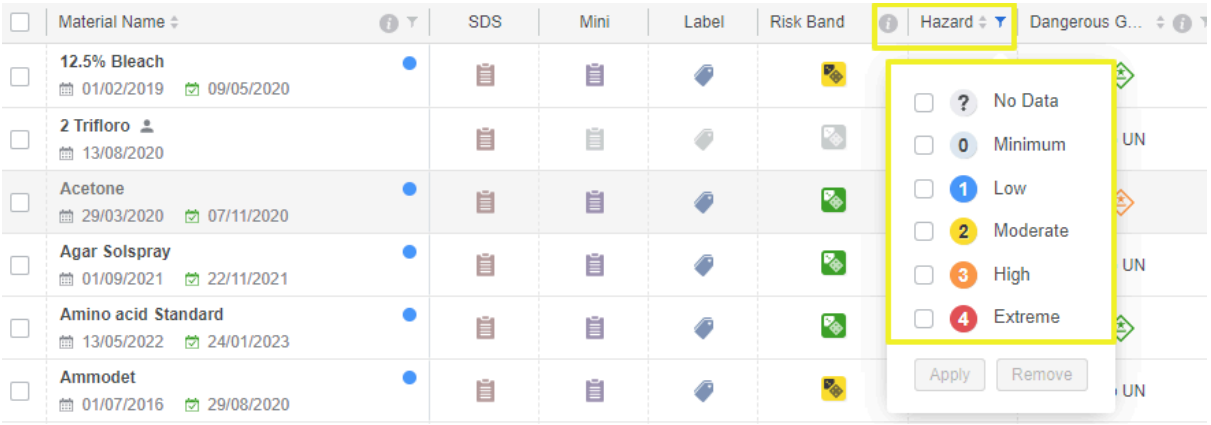
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ベンゼンのGHS分類	
	H315 - 皮膚刺激 H319 - 強い眼刺激 H336 - 眠気又はめまいのおそれ H340 - 遺伝的影響のおそれ H350 - 発がんのおそれ H360Fd - 生殖能への影響のおそれ。胎児への悪影響のおそれ。 H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 H401 - 水生生物に毒性

危険有害性評価の概要

ケムウォッチでは、独自の評価基準を使用して、フォルダツリーに保存されているすべての化学品について、危険有害性評価を算出しています。以下の例は、製品テーブルの危険有害性欄に表示される情報です。これらの評価（0, 1, 2, 3, 4）は、色分けされたアイコンとして表示され、化学品の危険有害性の程度を示しています。

危険有害性フィルタ



分類データが使用可能な化学品についてのみ、算出された評価結果が危険有害性の欄に表示されます。危険有害性評価の概要については、次の表をご確認ください。

危険有害性評価

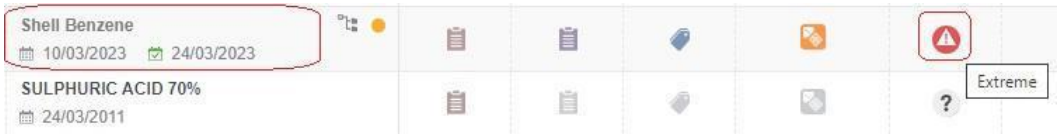
製品名	アイコン	危険有害性	危険有害性の程度	概要
	0	0	極めて低い	危険有害性なし
	1	1	低	危険有害性が低い
	2	2	中程度	危険有害性が中程度

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

製品名	3	3	高	危険有害性が高い
	4	4	極めて高い	危険有害性が極めて高い
	?	クエスチョンマーク	データなし	危険有害性情報もしくはデータが利用できません

危険有害性の評価規準・方法の詳細については、helpdesk@chemwatch.netにお問い合わせください。

フォルダ内のインベントリリストに危険な化学物質が含まれている製品がある場合、危険信号/警告アイコンにはそれぞれの危険評価が表示されます。たとえば、ベンゼンはで、以下の通り非常に危険な化学物質として評価されています。



4.2 システム内のマニフェストとは？

一般的に、危険性のある化学品は、倉庫などに保管している量を含めて記録しておく必要があります。危険な化学品を保管している場所には、その化学品の危険有害性を労働者や関係者に知らせるために、サインや標識を設置しなければなりません。特に重要なのは、緊急時計画の一環として、法規制で定められた特定の量を超える化学品について、緊急対応時に在庫や標識をすぐに確認できるようにすることです。これにより、消防隊や緊急対応者が事故や緊急時に必要な情報を迅速に得ることができ、適切に対処することができます。企業や組織は、職場で使用、保管、または取り扱う危険な化学品のリストを作成し、職場内で保管することが法律で義務付けられています。このリストは、労働者やその化学品を取り扱う可能性のある人がいつでも確認できるようにしておかなければなりません。

登録リストも最新の状態を維持し、危険有害性のある化学品として分類される場合、リスト内に含める必要があります。危険有害性登録リストには、記載されている各化学品の最新のSDSを添付する必要があります。各国や州、地域ごとに、登録リストの書式やデータポイントが指定されており、これらを用いることで一貫したコンプライアンス報告要件を満たす必要があります。登録リストに含めるべきでない、もしくは、含めなくてもよい化学品など、例外もあります。具体的なコンプライアンス情報については、各国の規制要件をご参照ください。

オーストラリアでは、WHS（労働安全衛生）規則に基づき、各州や地域ごとに特定の要件が定められています。例えば、事業や組織が危険有害性のある化学品を大量に保管している場合、次の内容を含むマニフェストが必要となることがあります。

- 危険有害性のある化学品の量
- 分類

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

- 場所
- 敷地計画
- 緊急連絡先

危険有害性のある化学品の標識および在庫量は別表11に記載されており、必要な情報は別表 12 に記載されています。

別表 11の例: 標識量と在庫量

コラム1	コラム 2	コラム3	コラム4	コラム5
アイテム	危険有害性のある化学物質の説明		標識量	在庫量
1	引火性ガス	カテゴリー1A、カテゴリー1B、もしくはその両方	200L	5000L
2	高圧ガス	急性毒性の場合、カテゴリー1、2、3、または4	50L	500L
3		皮膚腐食性がある場合、カテゴリー1A、1B、または1C	50L	500L
4		この表の他の箇所には記載なし	1000L	10 000L

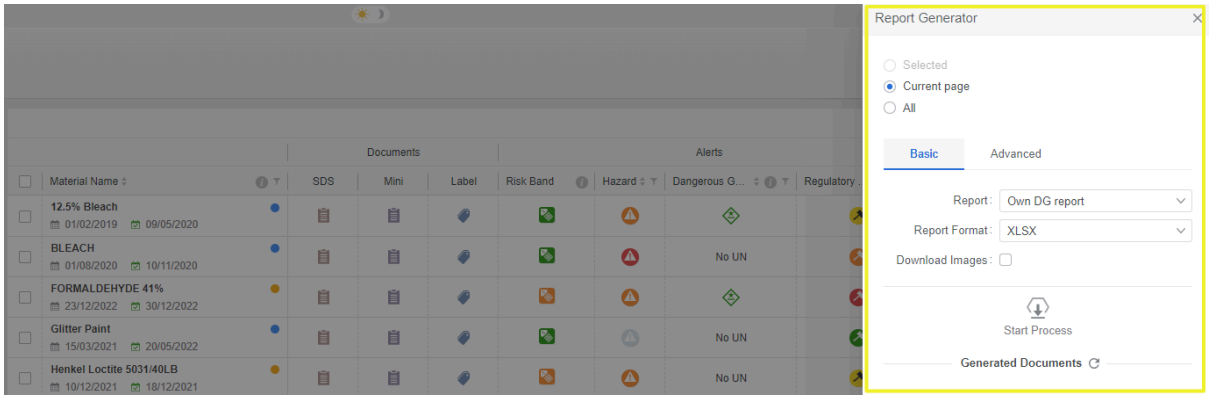
ゴールドFFXのシステム構造では、化学品の在庫を管理するためのフォルダ構造をユーザー自身が作成でき、デジタルのサイトマップを構築することができます。在庫資料作成の基本的な流れは以下の通りです:

- フォルダ構造(サイトマップ)の作成
- フォルダに製品のSDS(安全データシート)を追加し、在庫リストを作成
- 化学品の容量/重量を追加
- レポート生成機能のメソッドビルダーから取得したデータポイントに基づき、さまざまな種類のレポートとスプレッドシートを生成

レポート生成ボタン

レポート生成機能を使用すると、ユーザーは基本モードまたは詳細モードを使用して、基本モードでは使用可能なスプレッドシートのテンプレートを通じて、在庫関連のデータを生成したり、詳細モードではユーザー定義のテンプレートを作成したりできます。この機能の詳細な使用方法については、次のセクションで説明いたします。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



システム内でのマニフェストの作成

システム内でマニフェストを作成するには、いくつかの重要な手順が必要です。

- サイト マップに基づいてデジタル フォルダ構造を作成する
- 製品を検索して任意のフォルダー内に追加する
- 各製品の容量/重量を入力する
- メソッドビルダーを使用してマニフェストレポートを作成し、データをエクスポートする

次のトピックでは、フォルダの種類、フォルダのプロパティ、および一般的なフォルダ管理について説明いたします。

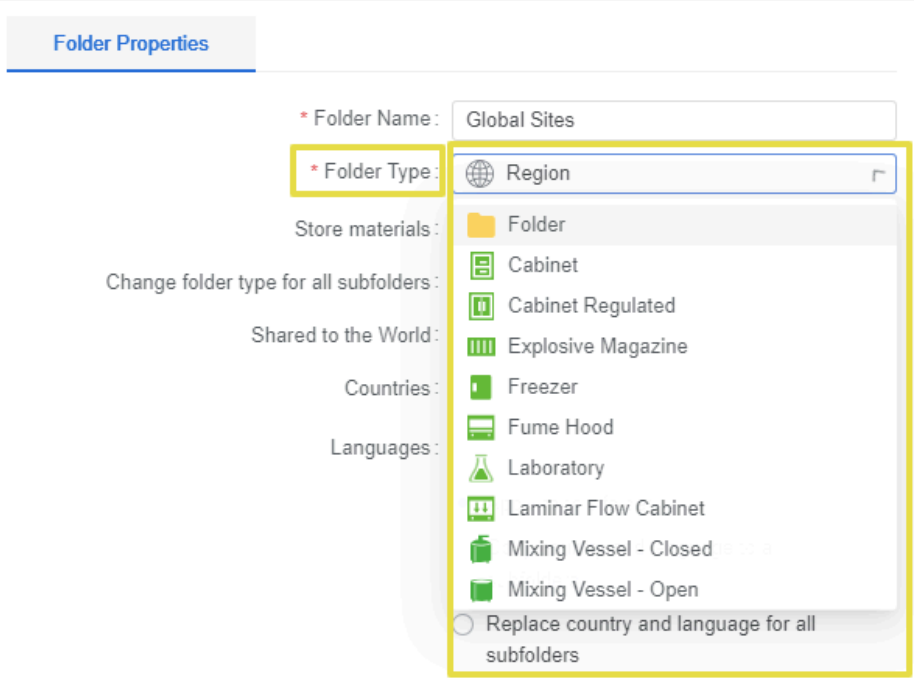
4.2.1 フォルダの種類とプロパティ

フォルダ構造を作成する主な目的は、職場の全ての作業場や化学品の保管場所に基づいたデジタルサイトマップ形式の「カスタムライブラリ」を構築することです。このカスタムライブラリには、化学品が保管されている実際の区域、建物、場所を表すそれぞれのフォルダに、製品の在庫量とSDS（安全データシート）が含まれます。フォルダは、化学品の保管場所をデジタルマニフェストサイトマップとして表すために、グローバルもしくは地域的なレベルで作成することができます。

グローバルフォルダプロパティ	ローカルフォルダプロパティ
● 地域	● 区域
● 国	● 建物
● 県	● ルーム
● サイト	● 保管

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ゴールドFFXシステムの階層的なフォルダー構造におけるフォルダ管理は、特に世界中の地域や国、州、サイト、建物、部署など、大規模な組織やグローバル企業で必要となる広範なマニフェストフォルダ管理に適しています。



システムのフォルダ構造を整理する際の主な目的は、データの検索を容易にし、過度なサブフォルダを避けるために、論理的なフォルダの配置を行うことです。

以下の表は、フォルダの種類、アイコン、説明をまとめたものです。

フォルダ	フォルダの種類	内容
	フォルダ	一般フォルダ
	アドミンフォルダ	アドミンフォルダ
	フォルダ（緑）	保管用フォルダ
	フォルダ（グレー）	アドミンフォルダ

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォルダ	フォルダの種類	内容
	フォルダ（赤）	廃棄物
	ごみ箱	削除された資料またはフォルダのアーカイブ用フォルダ

フォルダ権限

フォルダ権限とは、アクセス権と属性に基づく一連のルールを指し、ユーザーまたはグループが特定のフォルダに対して実行できるアクションを決定します。これらの権限は、表示、編集、作成/追加、削除、移動、さらにはアクセスのブロックや特定のフォルダを非表示にするなど、制御をかけることができます。

ユーザーには、次の 4 つの主なフォルダ権限のいずれかを割り当てることができます:

- 拒否
- 設定なし
- 読み取り
- 読み取り/書き込み

エンドユーザーがフォルダ内の資料を表示／編集するために必要なアクセス権とその概要は以下の通りです。

権限	概要	表示画面の状況	フォルダの見え方
拒否	フォルダがユーザーのアカウントには表示されません。	この権限が割り当てられたフォルダは、非表示となります。	非表示
設定なし	フォルダがユーザーのアカウントには表示されません。	この権限が割り当てられたフォルダは、非表示となります。	非表示
読み取り	フォルダ／フォルダ内の資料にアクセスはできますが、フォルダ／製品の追加、複製、移動および削除はできません。	ユーザーはフォルダの中身を閲覧することはできますが、編集することはできません。	閲覧
読み取り／書き込み	フォルダ／フォルダ内の資料の複製、移動および削除が可能であり、製品の量の編集も可能です。	ユーザーはフォルダの中身を閲覧することができ、（フォルダ、製品および量の）編集も可能です。	閲覧／編集

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォルダの種類

フォルダーを作成する際に、特定の条件に応じたプロパティを持つフォルダの種類を選択することができます。

- 一般フォルダ
- アドミンフォルダ
- 保管用フォルダ
- リサイクルフォルダ

アイコン	フォルダ色	フォルダの種類	使用目的
	オレンジ	一般フォルダ	一般フォルダ
	青	アドミンフォルダ	このタイプのフォルダには製品を保存できます。編集権限を持つユーザーはこのフォルダに製品を保存でき、保存すると緑色のフォルダに変わります。
	緑	保管用フォルダ	このタイプのフォルダには製品を保存できます。編集権限を持つユーザーは、このフォルダに製品を保存できます。
	グレー	新しいフォルダ	ユーザーはここから新しいフォルダを追加できます。
	グレー	ごみ箱	削除されたフォルダ／資料がここにアーカイブされます。ユーザーは削除されたアイテムにアクセスし、復元することができます。

空のフォルダは、ツリー上の位置に関係なく、灰色で表示されます。フォルダからすべての製品を削除すると、フォルダは灰色になり、空のフォルダとして表示されます。

次のセクションでは、多くの地域を含んだフォルダ構造と局部的に制限された場所のフォルダ構造の作成方法を詳しく説明いたします。

4.2.2 親フォルダ（エリア）を作成する

フォルダ編集機能	属性
作成	ユーザーは任意のフォルダレベルにフォルダを作成 (追加) できます。新しく作成されたフォルダはすべてデフォルトで空のフォルダになります。

サイトマップに基づいてマニフェストフォルダツリーを作成する前に、次のフォルダカテゴリーレベルと説明を考慮してください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォルダアイコン	フォルダの種類	属性	フォルダレベル
	区域	区域は、在庫管理簿の親フォルダとして設定できます。	• レベル1
	セクション	セクションレベルは、区域の下位(子)フォルダとして設定できます。例えば、建物などを指定できます。	レベル2
	場所	場所レベルは、セクション(建物)レベルの下の保管場所(子)フォルダとして設定できます。ここでは、保管場所として指定できます。	レベル 3

次の手順は、限定された地域のフォルダ(区域フォルダなど)を作成する方法を示しています。

手順:限定された地域のフォルダの作成方法

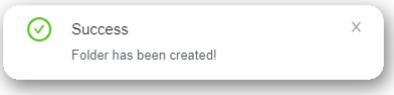
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダパネルの左下にある新しいフォルダアイコンをクリックして、フォルダ(例: 区域指定フォルダー)を作成する。
3. フォルダ名を入力する。(例:Area)
4. フォルダタイプ右横のドロップダウン矢印をクリックし、一覧を表示する。
5. リストをスクロールし、フォルダタイプを選択する。(例:区域)
6. フォルダ内に製品が保管できるよう、デフォルトでチェックが付く。区域レベルで製品を保管したくない場合は、チェックを外す。

＊オプション

国:フォルダ内の製品の関連資料(ミニSDS等)に適用される国を選択する。

言語: フォルダ内の製品の関連資料(ミニSDS等)に適用される言語を選択する。

7. 作成ボタンをクリックする。
   正常に新しいフォルダが作成された場合、下記のメッセージが表示される。

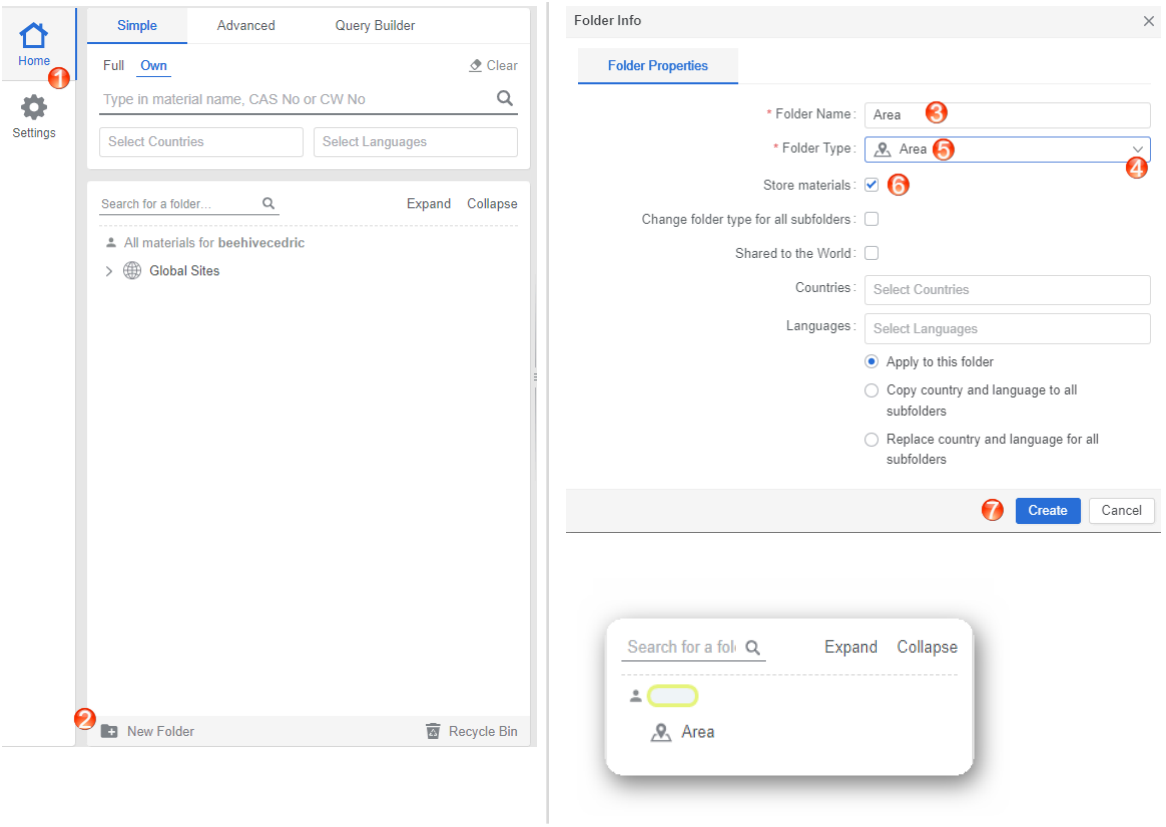


その他のオプションのフォルダプロパティには次のものがある:

- 現在のフォルダプロパティをこのフォルダに適用する
- 全サブフォルダに国と言語をコピーする
- 全サブフォルダの国と言語を置換する

任意の設定をラジオボタン で選択し、このフォルダまたはサブフォルダに適用させる。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



- お使いのユーザーアカウントにフォルダを作成するための「編集権限」がない場合は、フォルダ権限（読み取り/書き込み）の付与を会社または組織内のシステム管理者にご相談ください。

4.2.3 サブフォルダを作成する（セクション）

サブフォルダとは、フォルダ構造内の在庫とSDSの場所を整理する階層システムの一部として、親フォルダ内に配置された子フォルダです。サブフォルダを使用すると、企業または組織の規模に応じて、デジタルサイトマップのフォルダレベルやタイプをお好きなだけ分割できます。このフォルダ階層構造は、非常に大規模な場所や、同じライセンス／ドメインで運営され、世界的に展開しているグローバル企業では特に、デジタルサイトマップへのアクセスと運用が容易かつ効率的になります。
化学品が保管されている貴社のサイトマップに基づいてマニフェストフォルダツリーを作成する前に、次のフォルダカテゴリーレベルと説明をご参考ください。

- 区域
- セクション
- 保管場所

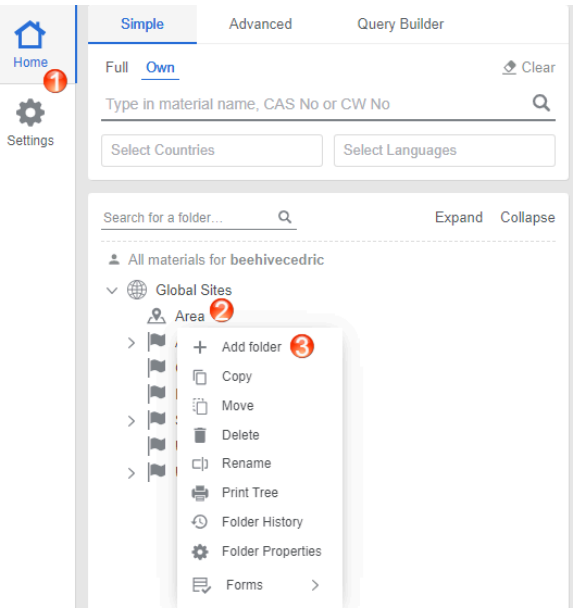
フォルダアイコン	フォルダの種類	属性	フォルダツリーレベル
	区域	区域は、在庫管理簿の親フォルダとして設定できます。	レベル 1

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

	セクション	セクションレベルは、区域の下位(子)フォルダとして設定できます。例えば、建物などを指定できます。	レベル 2
	保管場所	場所レベルは、セクション(建物)レベルの下の保管場所(子)フォルダとして設定できます。ここでは、保管場所として指定できます。	レベル3

手順:サブフォルダの作成方法

1. ホームモジュールを開く。
2. 区域フォルダを右クリックする。
3. メニューバー上部のフォルダの追加をクリックする。

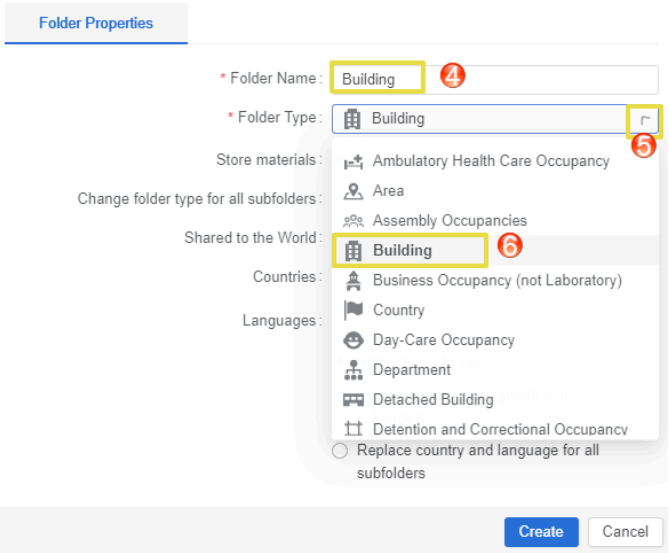


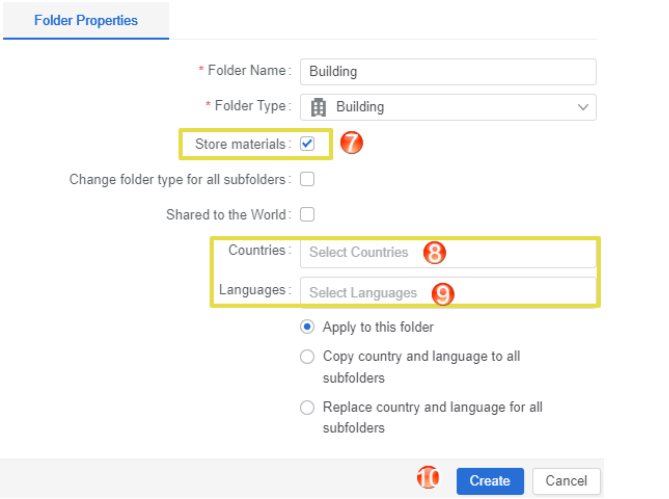
4. フォルダ名を入力する。(例: Building)
5. フォルダタイプ右横のドロップダウン矢印をクリックし、種類の一覧を表示する。
6. リストをスクロールし、フォルダタイプを選択する。(例:建物)
7. フォルダ内に製品が保管できるよう、製品を保管するのチェックがデフォルトでオンになっている。セクションレベルで製品を保存したくない場合は、チェックを外す。
8. フォルダ内の製品の関連資料(ミニSDS等)に適用される国を選択する。
9. フォルダ内の製品の関連資料(ミニSDS等)に適用される言語を選択する。
10. 作成ボタンをクリックする。

その他のオプションのフォルダプロパティには次のものがある:

- 現在のフォルダプロパティをこのフォルダに適用する
- 全サブフォルダに国と言語をコピーする
- 全サブフォルダの国と言語を置換する

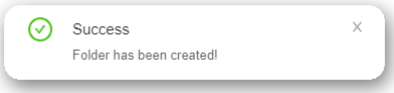
任意の設定をラジオボタン で選択し、このフォルダまたはサブフォルダに適用させる。

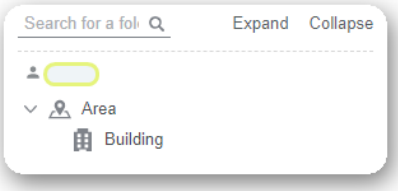




Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

正常に新しいフォルダが作成された場合、下記のメッセージが表示される。





4.2.4 保管場所のフォルダを作成する(保管場所)

フォルダ構造または特定のフォルダに対し、読み取り/書き込み権限が付与されているユーザーは、新しいフォルダを作成 (追加/編集) したり、既存のフォルダにサブフォルダを追加したりできます。サイト マップに基づいてマニフェストフォルダ ツリーを作成する前に、次のフォルダー カテゴリレベルと説明をご参考ください。

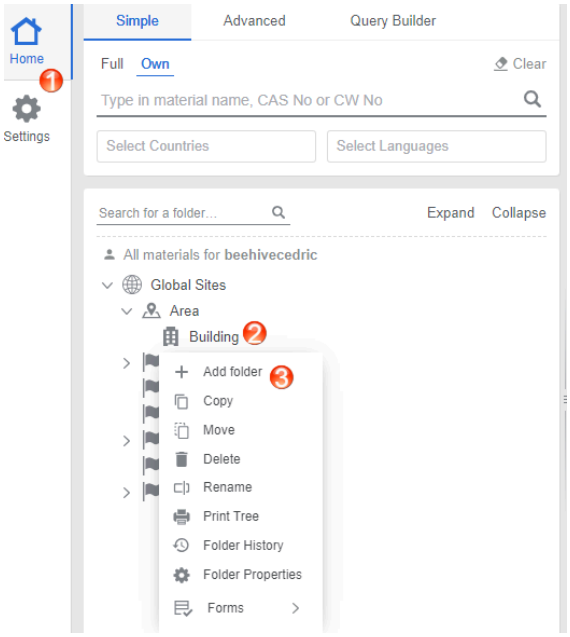
- 区域
- セクション
- 保管場所

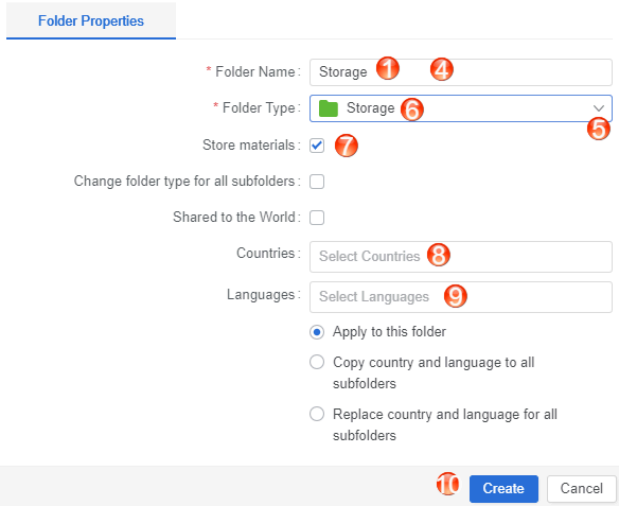
フォルダ アイコン	フォルダの種類	属性	フォルダツリーレベル
	区域	区域は、在庫管理簿の親フォルダとして設定できます。	レベル 1
	セクション	セクションレベルは、区域の下位(子)フォルダとして設定できます。例えば、建物などを指定できます。	レベル 2
	保管場所	場所レベルは、セクション(建物)レベルの下の保管場所(子)フォルダとして設定できます。ここでは、保管場所として指定できます。	レベル3

保管場所フォルダは、フォルダ内の全化学品がその場所に保管されていると見なされます。以下の手順は、レベル3として建物フォルダ(セクション)レベルの下に保管場所フォルダ (保管場所)を作成する方法を示しています。

手順:建物フォルダに補助フォルダを追加する方法

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved





Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

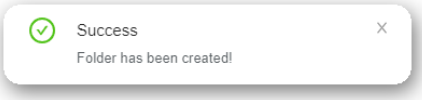
1. ホームモジュールを開く。
2. 建物フォルダを右クリックする。
3. メニューバー上部のフォルダの追加をクリックする。
4. フォルダ名を入力する。(例: Storage)
5. フォルダタイプ右横のドロップダウン矢印をクリックし、種類の一覧を表示する。
6. リストをスクロールし、保管場所フォルダ(緑)を選択する。(例:保管)
7. フォルダ内に製品が保管できるよう、製品を保管するのチェックがデフォルトでオンになっている。このフォルダ内に製品を保存したくない場合は、チェックを外す。
8. フォルダ内の製品の関連資料(ミニSDS等)に適用される国を選択する。
9. フォルダ内の製品の関連資料(ミニSDS等)に適用される言語を選択する。
10. 作成ボタンをクリックする。

その他のオプションのフォルダプロパティには次のものがある:

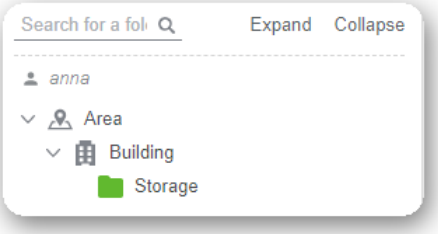
- 現在のフォルダプロパティをこのフォルダに適用する
- 全サブフォルダに国と言語をコピーする
- 全サブフォルダの国と言語を置換する

任意の設定をラジオボタンで選択し、このフォルダまたはサブフォルダに適用させる。

正常に新しいフォルダが作成された場合、下記のメッセージが表示される。

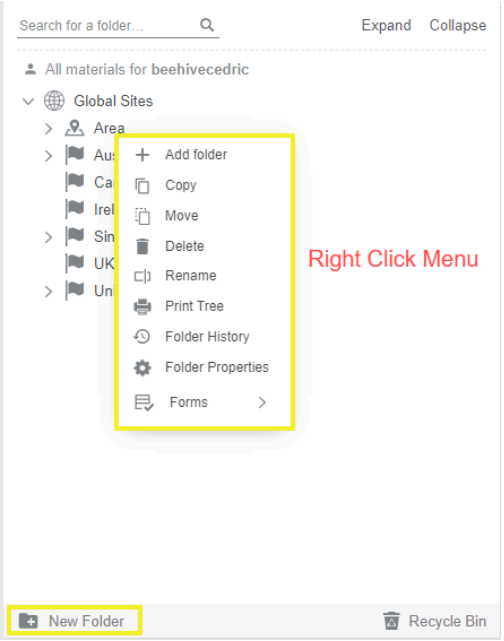


フォルダパネル内で作成されたフォルダを確認する。



4.2.5 新しいフォルダを作成し、フォルダの種類を設定する

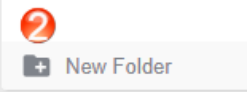
フォルダパネルでは、フォルダの右クリックで表示されるメニュー一覧とは別に、新しいフォルダを追加 (作成) する機能が左下に別途設けています。 New Folder



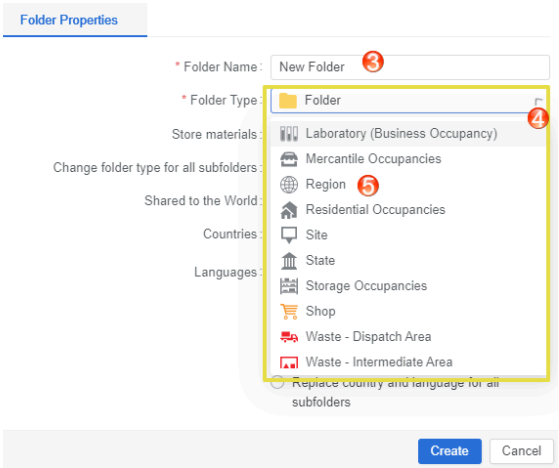
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

新しいフォルダを追加する方法は下記のとおりです。

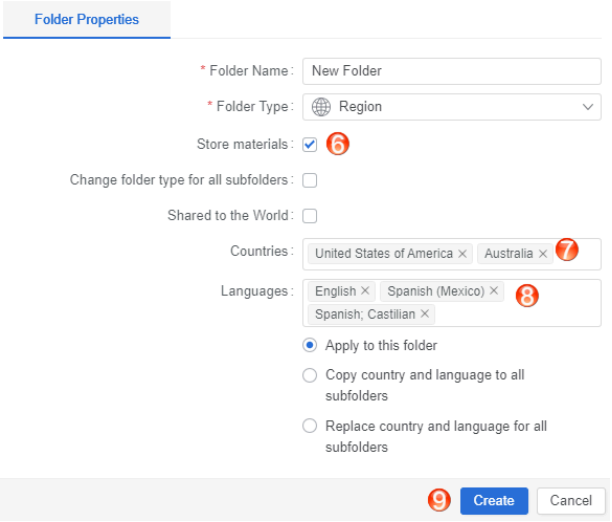
1. ホームモジュールを開く。.
2. フォルダパネル左下の新しいフォルダボタンをクリックする。



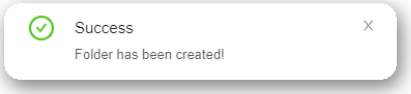
3. フォルダ名を入力する。
4. フォルダタイプ右横のドロップダウン矢印をクリックし、種類の一覧を表示する。
5. リストをスクロールし、フォルダタイプを選択する。



6. このフォルダ内で製品を保存したくない場合は、製品を保管するのチェックを外す。
7. フォルダ内の製品の関連資料（ミニSDS等）に適用される国を選択する
8. フォルダ内の製品の関連資料（ミニSDS等）に適用される言語を選択する。
9. 作成ボタンをクリックする。



正常に新しいフォルダが作成された場合、画面右上に下記のメッセージが表示される。



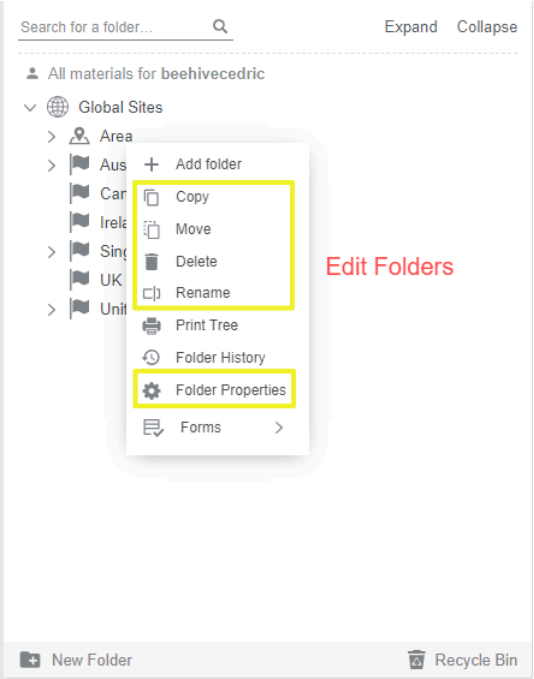
その後、新しく作成したフォルダに製品を追加して、そのフォルダの在庫簿を作成できます。

4.2.6 フォルダメニューとプロパティの編集

この章では、次の手順方法を説明いたします。

- フォルダを別のフォルダに移動する
- フォルダの名前を変更する
- フォルダを削除する
- 削除したフォルダを復元する
- フォルダのプロパティを編集する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



フォルダの編集には、ファイル管理システムまたはソフトウェアアプリケーション内で、フォルダに関連付けられているさまざまな属性やプロパティの変更が含まれます。ここでは、一般的なフォルダの編集を紹介します。

フォルダとサブフォルダの追加／削除

ユーザーは、既存のフォルダ内に新しいフォルダやサブフォルダを作成／追加して、フォルダを整理できます。逆に、不要なフォルダやサブフォルダを削除することで、フォルダ構造を簡素化したり、既存のサイトや保管場所の更新や一致ができ、デジタルカスタムライブラリに変更を反映させたりすることもできます。

フォルダー名の変更

ユーザーは、フォルダ名を変更して、フォルダの内容や目的をより適切に反映させることができます。これにより、ファイルを効果的に整理および分類できます。

フォルダの移動／再編成

フォルダをディレクトリ構造内で移動して、階層を再配置したり、全体的なフォルダ構造計画に適合させたりすることができます。これにより、フォルダが合理的にグループ化され、簡単にアクセスできるようになります。

フォルダ権限の変更

管理者または適切な権限を持つユーザーは、フォルダに割り当てられた権限を調整し、フォルダへのアクセス、変更、または削除できるユーザーを制限できます。

フォルダープロパティのカスタマイズ

フォルダ管理属性に応じて、ユーザーはフォルダのさまざまなプロパティ(アイコンや色分けなど)をカスタマイズして、識別や区別を容易にすることができます。

フォルダ属性の設定

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

管理者は、読み取り専用ステータスなどのフォルダ属性を特定のユーザーに設定することができます。これにより、フォルダへのアクセス制限をかけることができます。全体として、フォルダの編集は、整理された効率的なフォルダ管理システムを維持するために不可欠であり、セキュリティとアクセス制御ポリシーに準拠しながら、製品データを簡単に取得および共同作業できるようフォルダを管理できます。フォルダの読み取り/書き込み権限が付与されているユーザーは、フォルダを編集できます。

権限	ユーザーインターフェース属性	権限レベル
読み取り/書き込み	ユーザーは、フォルダ内を閲覧でき、フォルダの内容 (フォルダ、製品、容量/重量、製品番号、優先名など) を編集できます。	閲覧／編集

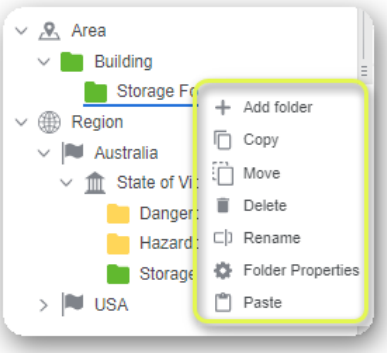
フォルダ編集機能

フォルダ編集メニューには、右クリックで表示される編集メニュー内の各機能も含まれています。この編集メニューには、フォルダプロパティ、コピー、移動、貼り付け、名称変更、削除、編集できる特定のタスクオプションが含まれています。権限が付与されているユーザーは任意のフォルダを編集することができます。

権限	ユーザーインターフェース属性	権限レベル
読み取り/書き込み	適切な編集権限が付与されている場合、ユーザーはフォルダ内の閲覧および編集ができます。	閲覧／編集

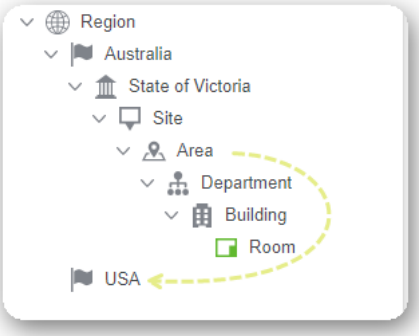
右クリックの編集メニュー

- フォルダの追加
- 既存フォルダの削除
- 既存フォルダの名称変更
- フォルダプロパティの更新



ドラッグ &ドロップでフォルダを移動

- ドラッグ &ドロップでフォルダを移動： 移動させたいフォルダを選択して、移動先のフォルダまでドラッグする。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

その他のフォルダ編集メニュー(ツリーの印刷、フォーム、フォルダ履歴、フォルダプロパティ等)については、次のトピックで説明いたします。

編集メニュー	概要
フォルダの追加	フォルダ編集権限を持つユーザーは、任意のフォルダを作成し、フォルダプロパティ内で「製品を保存する(該当する場合)」を適用させると、そこに製品を追加できるようになります。新しく追加されたフォルダは全て、デフォルトで空のフォルダとなります。
コピー	フォルダ編集権限を持つユーザーは、任意のフォルダ（保存された製品情報を含む）をコピーし、別のフォルダに貼り付けることができます。フォルダ内に製品が含まれている場合、その製品情報も全て保存されたフォルダとなります。
移動	フォルダ編集権限を持つユーザーは、任意のフォルダを移動し、別のフォルダに貼り付けることができます。別の方法として、ドラッグ＆ドロップでもフォルダを移動することが可能です。
削除	フォルダ編集権限を持つユーザーは、任意のフォルダを削除することができます。フォルダが削除されると、現在の場所からごみ箱に自動的に移動します。
名称変更	フォルダ編集権限を持つユーザーは、フォルダ名を変更することができます。
在庫QR	フォルダ内の製品在庫簿のQRコードが出力されます。QRコードを読み取ると、製品やSDSを確認できます。
ツリー印刷	ユーザーは、選択したフォルダツリーレベルからツリー構造をpdfファイルとして保存できます。印刷を実行するユーザーのフォルダパネル内で表示されているフォルダツリーのみ、印刷されます。閲覧権限がないフォルダは印刷できませんのでご注意してください。
フォーム	フォームビルダーモジュール（※オプション機能）を通じて作成され、かつ作成時に場所に割り当てられたフォームに入力することができます。
フォルダ履歴	ユーザーはフォルダ内のアクティビティ履歴を確認できます。
フォルダプロパティ	ユーザーはフォルダプロパティの編集ができます。

次のセクションでは、フォルダのコピー、移動、名称変更、削除の方法を説明いたします。

- 別フォルダにフォルダをコピー
- 別フォルダにフォルダを移動

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

- フォルダ名の変更
- フォルダとフォルダ内情報の削除

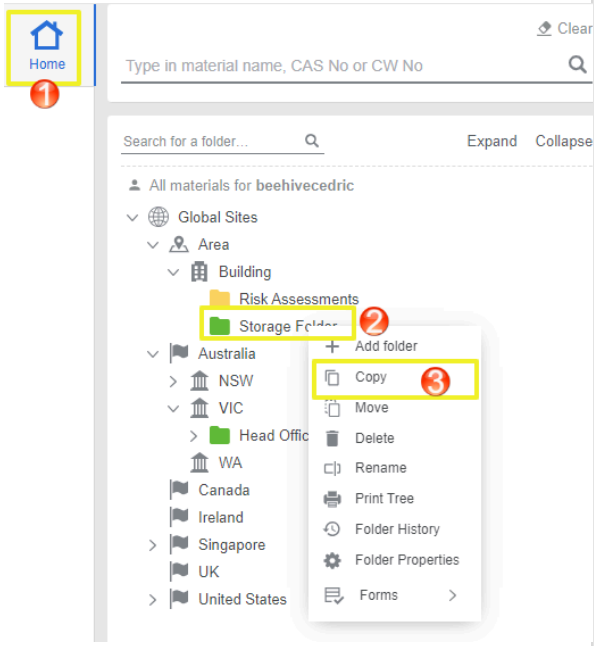
4.2.6.1 別フォルダにフォルダをコピー

フォルダ編集	概要	編集レベル
コピー	適切なフォルダ編集権限を持っている場合、ユーザーは任意のフォルダをコピーして別のフォルダーに貼り付けることができます。	フォルダの複製

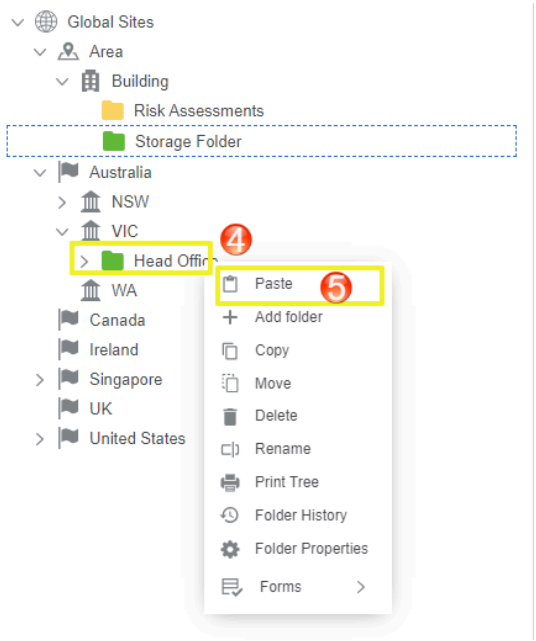
フォルダをコピーして別フォルダに貼り付ける方法は下記のとおりです。

手順: 他の場所にコピーしたフォルダを追加する

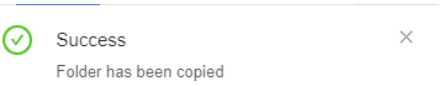
1. ホームモジュールを開く。
2. 任意のフォルダを右クリックする。



3. 編集メニューからコピーを選択する。
4. 貼り付け先のフォルダ上を右クリックする。
5. 編集メニューから貼り付けを選択する。



6. 操作が正常に完了したことを確認する。

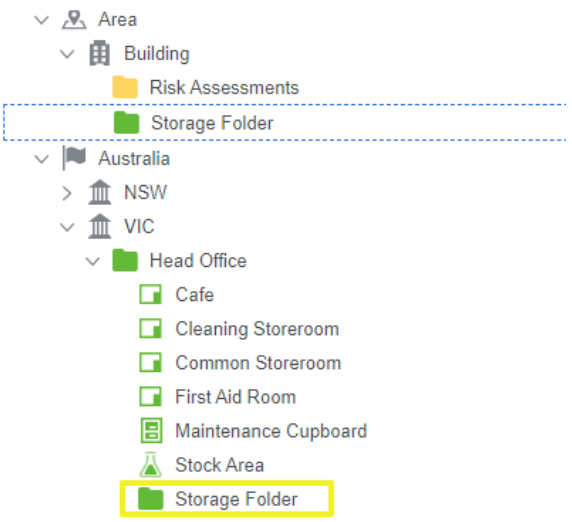


コピーされたフォルダは、貼り付け先のフォルダ内(次のレベル)に表示される。

次の手順では、コピーされたフォルダのインベントリを表示し、そのフォルダ内のすべての製品情報が正しくコピーされていることを確認します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

- 製品数
- 正しく複製された製品
- 製品の体積/重量を確認します。(コピー前に指定されている場合)
- 製品に優先名が割り当てられているかどうかを確認します。(コピー前に指定されている場合)
- 製品にユーザー製品番号が割り当てられているかどうかを確認します。(コピー前に指定されている場合)



Material Name	CAS No	Part Number	Hazard	Hazard Codes	Country	Language	Vendor	Current Volum
Carbol-Fuchsin Dye Powder 31/03/2020 20/10/2020	Not Applicable	—		H302+H332, H373, H350, H341, H318, H314	AUS	EN	Sigma-Aldrich (Merck)	5
Sulfuric Acid 26/09/2022 28/09/2023	Not Applicable	—		H290, H314, H318	AUS	EN	Hach (a part of Danaher)	0
Formaldehyde dimethyl acetal 22/09/2021 11/03/2023	Not Applicable	—		H225	AUS	EN	Sigma-Aldrich (Merck)	0
Glitter Paint 15/03/2021 20/05/2022	Not Applicable	—			AUS	EN	Educational Colours (Reeves)	0
Sequal 01/11/2020 06/01/2021	Not Applicable	—		H318	AUS	EN	Agar Cleaning Systems	0
pH7 Neutral Detergent 01/04/2021 05/03/2022	Not Applicable	—		H315, H318	AUS	EN	Agar Cleaning Systems	0
PRESTO DETERGENT 01/09/2020 23/11/2022	Not Applicable	—		H314, H318	AUS	EN	Agar Cleaning Systems	0
12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020	Not Applicable	—		AUH031, H400, H314	AUS	EN	aiMix Chemicals	200

4.2.6.2 フォルダを別の場所に移動する

フォルダ編集	概要	編集レベル
移動	ユーザーは任意のフォルダを移動し、別のフォルダに貼り付けることができます。ユーザーが適切な権限を持っている場合、フォルダを移動する別の方法として、ドラッグ &ドロップ機能を使用することもできます。	フォルダの移動

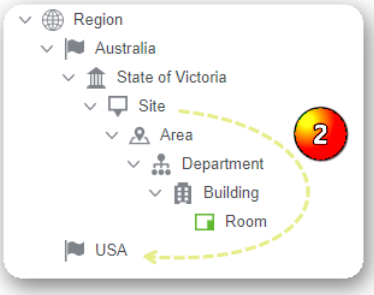
操作後にデータの整合性を確認できるように、移動するフォルダにどれだけの製品が含まれているかを事前に確認することをお勧めします。

フォルダツリーから 1 つのフォルダを移動し、別のフォルダの場所に貼り付ける方法は下記のとおりです。

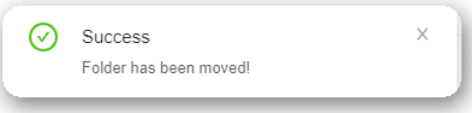
手順: 別の場所にフォルダを移動する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

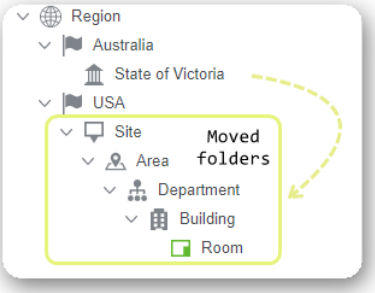
1. ホームモジュールを開く。
2. 移動するフォルダを移動先にドラッグ＆ドロップする。



正常にフォルダが移動された場合、画面右上に下記のメッセージが表示される。



3. 移動したフォルダが移動先で正常に開くか確認する。



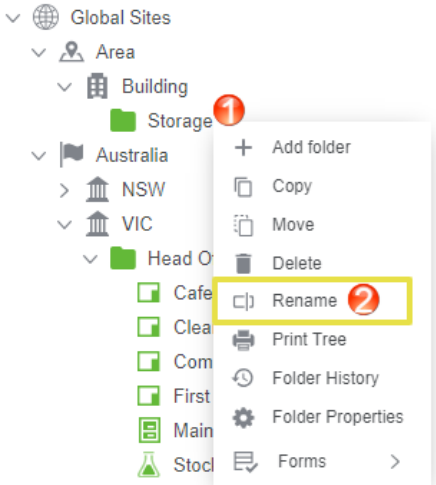
4.2.6.3 フォルダの名称変更

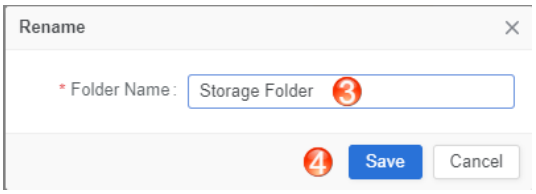
フォルダ編集	概要	編集レベル
名称変更	管理者から適切な権限が付与されている場合、ユーザーは任意のフォルダに新しい名前を入力でき、名称変更ができます。	新しいフォルダ名の入力

フォルダ名を変更する方法は下記のとおりです。

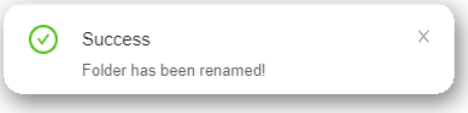
手順: フォルダ名を変更する

1. 任意のフォルダを右クリックする。





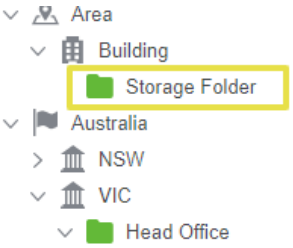
正常に名称変更された場合、画面右上に下記のメッセージが表示される。



5. 新しいフォルダ名を確認する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

2. メニューバーから名称変更をクリックする。
3. 新しいフォルダ名を入力する。
4. 保存ボタンをクリックする。 Save



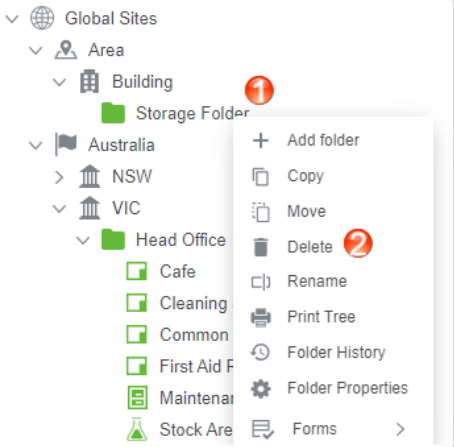
4.2.6.4 フォルダの削除

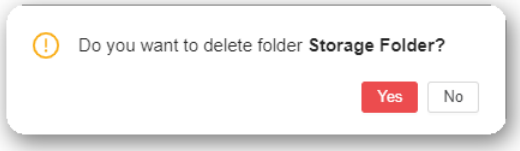
フォルダ編集	概要	編集レベル
削除	ユーザーに適切な権限がある場合、任意のフォルダを削除できます。フォルダが削除されると、フォルダは現在の場所からごみ箱に自動的に移動されます。	ごみ箱には削除されたアイテムが保存されます。

単一フォルダを削除する方法は下記のとおりです。

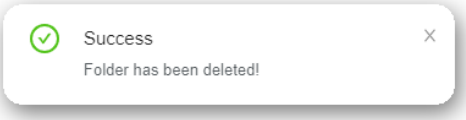
手順: フォルダを削除する方法

1. 任意のフォルダを右クリックする。
2. メニューバーから削除をクリックする。
3. ポップアップ上の「はい」ボタンをクリックする 。

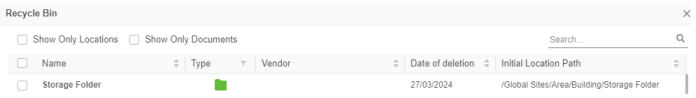




正常に削除された場合、画面右上に下記のメッセージが表示される。



4. ごみ箱内の削除されたフォルダの削除日を確認する。詳細については、ごみ箱をクリックし、アーカイブされた削除されたフォルダの記録を確認する。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

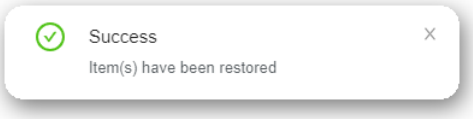
4.2.6.5 削除されたフォルダを復元する

削除されたフォルダーを復元する方法は下記のとおりです。

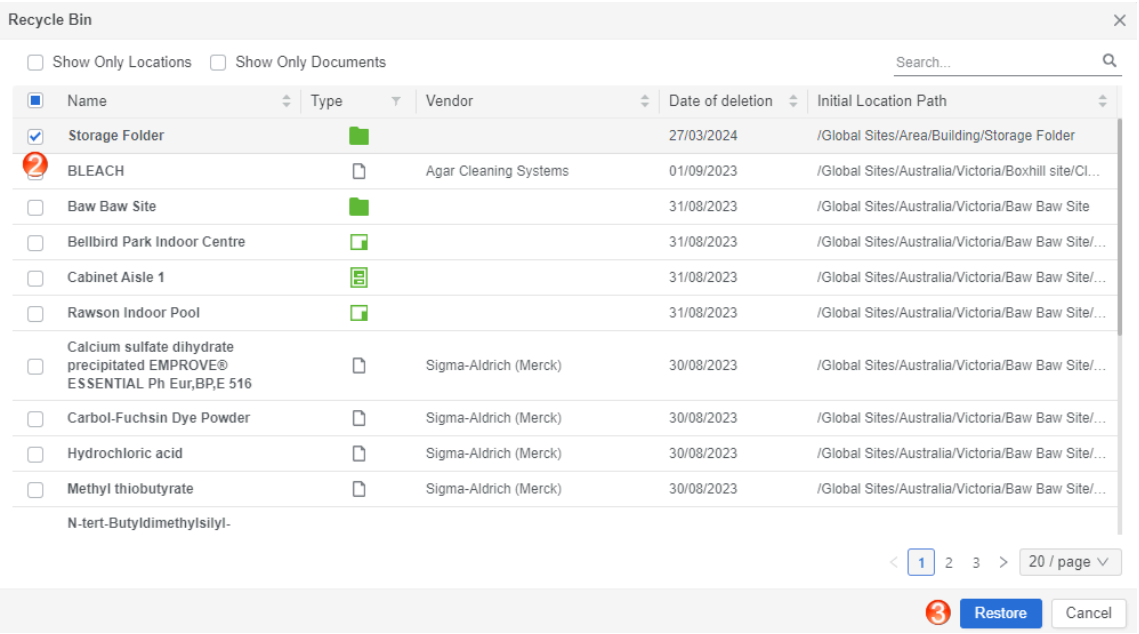
手順: 削除されたフォルダーを復元する方法

1. フォルダパネルの右下にある、ごみ箱ボタンをクリックする。
2. 復元したいフォルダのチェックボックスを選択する。
3. 復元ボタンをクリックする。

正常に復元された場合、画面右上に下記のメッセージが表示される。



4. フォルダパネル内でフォルダが復元されたことを確認する。



4.2.6.7 フォルダツリーの印刷

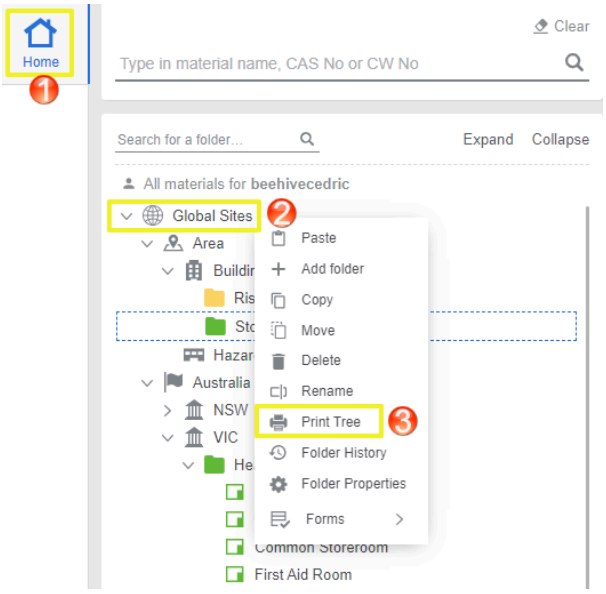
フォルダを右クリックして表示できるメニューバーには、ツリー構造 の印刷形式 を生成できる [ツリー印刷] オプションがあります。フォルダ構造を印刷する方法は下記のとおりです。

ツリーの印刷は、ツリー構造全体のフォルダへのアクセスレベルに応じて、任意のフォルダレベルから実行できます。任意のフォルダをマウスで右クリックすると、すべての従属 (子) フォルダを含む、選択されたレベルとそれ以下の子フォルダが印刷されます。

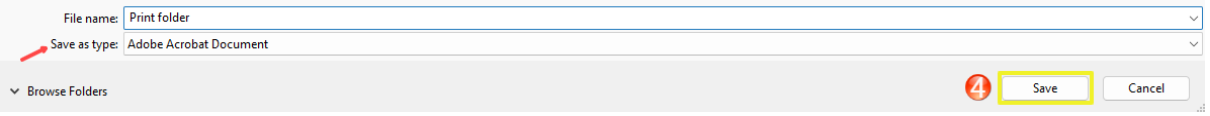
手順: フォルダツリーの印刷方法

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

1. ホームモジュールを開く。
2. 親フォルダを右クリックする。



3. メニューバーからツリー印刷を選択する。
4. システム外部のローカライズされたフォルダにファイルを **PDF** として保存する。

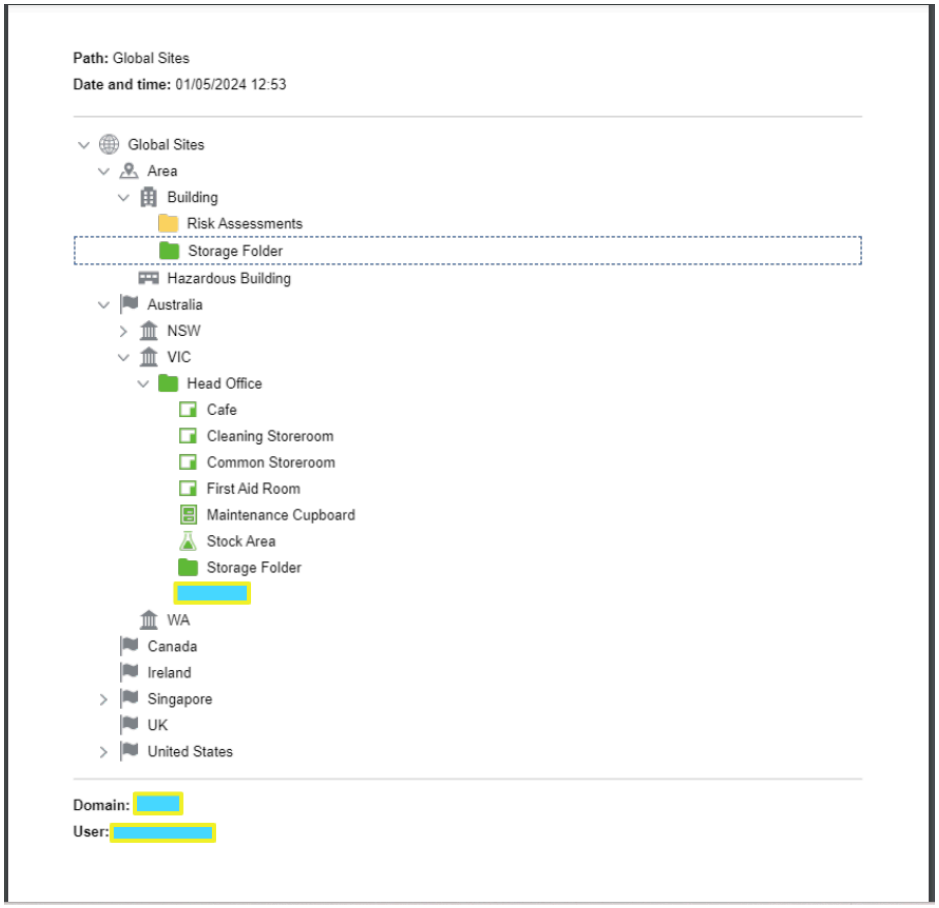


ツリー印刷のレポートには、パス (親フォルダ名)、日時、ドメイン、ドキュメントを生成したユーザー情報が含まれています。

ツリー印刷内の情報	概要
パス	ツリー構造から選択されたフォルダの場所（親フォルダ）です。
日時	選択したフォルダツリーのレポートが生成された日時です。
ドメイン	システムでお使いのアカウント名です。
ユーザー	フォルダツリーレポートを生成したユーザー名です。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

印刷されたフォルダツリーのレポート（PDF 形式）



4.2.6.8 フォルダとフォーム履歴内のフォームへの入力

システムではさまざまな目的でフォームを作成できます。特に、危険化学物質を使用している場所フォルダでフォームを使用することで、企業や組織が危険物質の取り扱いに関連するリスクの管理や情報を取得、安全性と説明責任を果たすのに有効です。フォームは、化学物質データ、組織の要件、手順、監査、OSHAの危険有害性情報伝達基準(HCS)、EUのREACH規制、オーストラリアのWHSなど、あらゆる規制要件に準拠させることもできます。化学品管理システムでフォームを利用する主な目的は次のとおりです。

- 在庫管理
- 緊急事態への備え、対応、管理
- 職場の健康と安全の遵守
- リスク評価
- 記録管理と文書化
- 情報の共有と伝達
- 報告

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

文書化や記録管理は、特に危険な化学物質に関する重要なデータを体系的かつ整理された形で取得するのに役立ちます。これにより、コンプライアンス、報告、および監査の際に、正確で最新の化学物質関連情報が確実に提供できます。

各組織では、特定のフォルダにアクセスできるユーザーが使用するフォームの種類が複雑になります。これらのフォームはフォームビルダモジュールで作成され、必要な情報を入力するためにユーザーにアクセス権が付与されます。フォームは、企業の化学物質の安全性とデータ収集に関することや健康と安全に関連することなど、あらゆるカテゴリーで分類できます。このフォームには、下記のチェックリストにまで及ぶ場合があります。

- 一般的な職場の安全
- 作業場所と化学品の保管場所の確認
- 危険有害性の特定
- 監査チェックリスト
- リスク評価チェックリスト
- 危険化学物質の緊急時対応
- 事故報告チェックリスト
- 化学品の安全性、取り扱い、保管チェックリスト
- 危険物取扱チェックリスト
- 個人用保護具およびトレーニングチェックリスト

以下の例は、一般的な危険性特定化学物質関連のチェックリストを示しています。

カテゴリー	質問またはコメント	はい	いいえ
機器と設備	機器は製造元の指示に従って定期的な点検および保守がなされていますか?	☐	☐
	化学品を取り扱う全作業員が機器の安全な使用方法について訓練を受けていますか?	☐	☐
	PPE に関する研修はいつ実施されましたか (年/月/日)?		
化学品の危険有害性	健康監視が必要な化学品とその保管場所は特定されていますか?	☐	☐
	すべての危険な化学品とその容器は識別され、ラベルが貼られていますか?	☐	☐
	危険な化学品を使用／取り扱う全従業員が、その使用方法について研修を受けていますか?	☐	☐
	職場で使用される化学品のSDS は全て入手されており、最新の状態になっていますか?	☐	☐

フォームビルダモジュールを使用すると、アクセス権を持つユーザーは、フォームのデータ入力要件を標準項目と追加項目からフォームテンプレートを作成できます。

標準項目	特定項目
シングルラインテキスト	ラベル、チェックボックス、ハイパーリンク、複数行テキスト、チェックボックスリスト、ラジオリスト、ドロップ

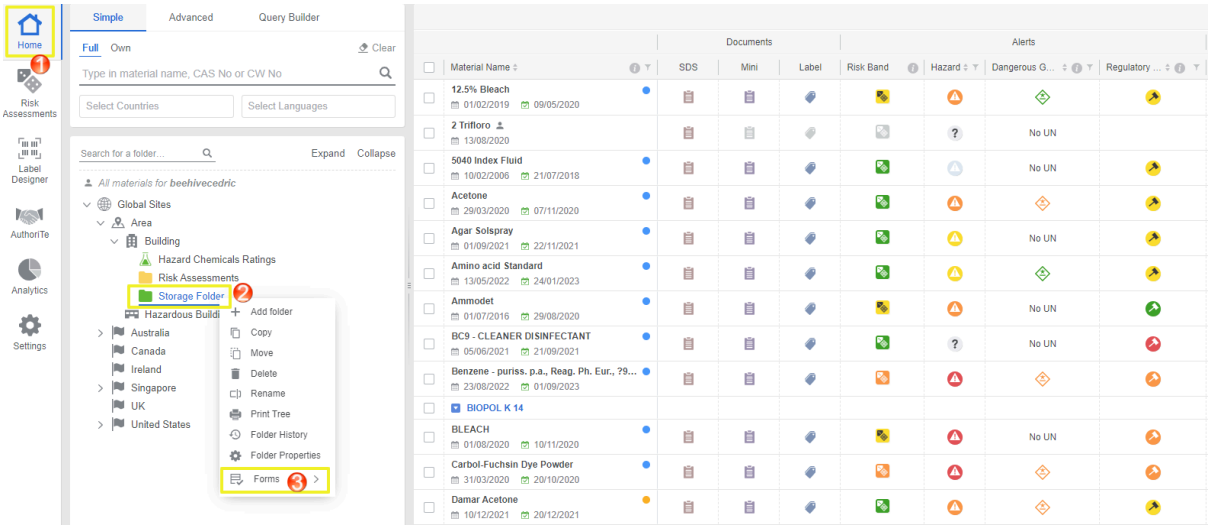
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

	ダウン、マルチセレクトドロップダウン、リスト、日付選択ボックス、セパレータ

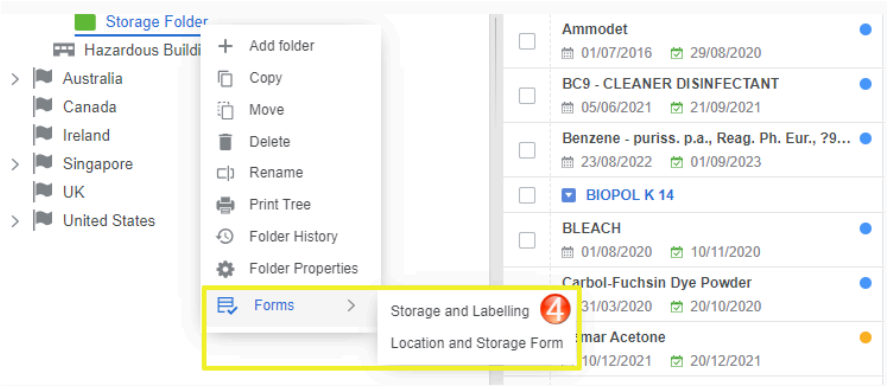
フォームは、管理者またはフォームビルダ設定モジュールへのアクセス権限を付与されたユーザーが作成できます。フォルダに関連付けられたフォームは、特に閲覧／編集のアクセス権が付与されたユーザーが任意のフォルダ上で入力できます。

手順: フォルダフォームへの入力方法

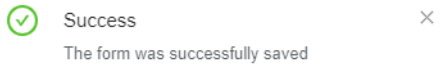
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダを右クリックする。
3. マウスカーソルをフォーム上に置くと、使用可能なフォーム名が表示される。
4. フォーム名を選択すると、フォームパネルが表示される。

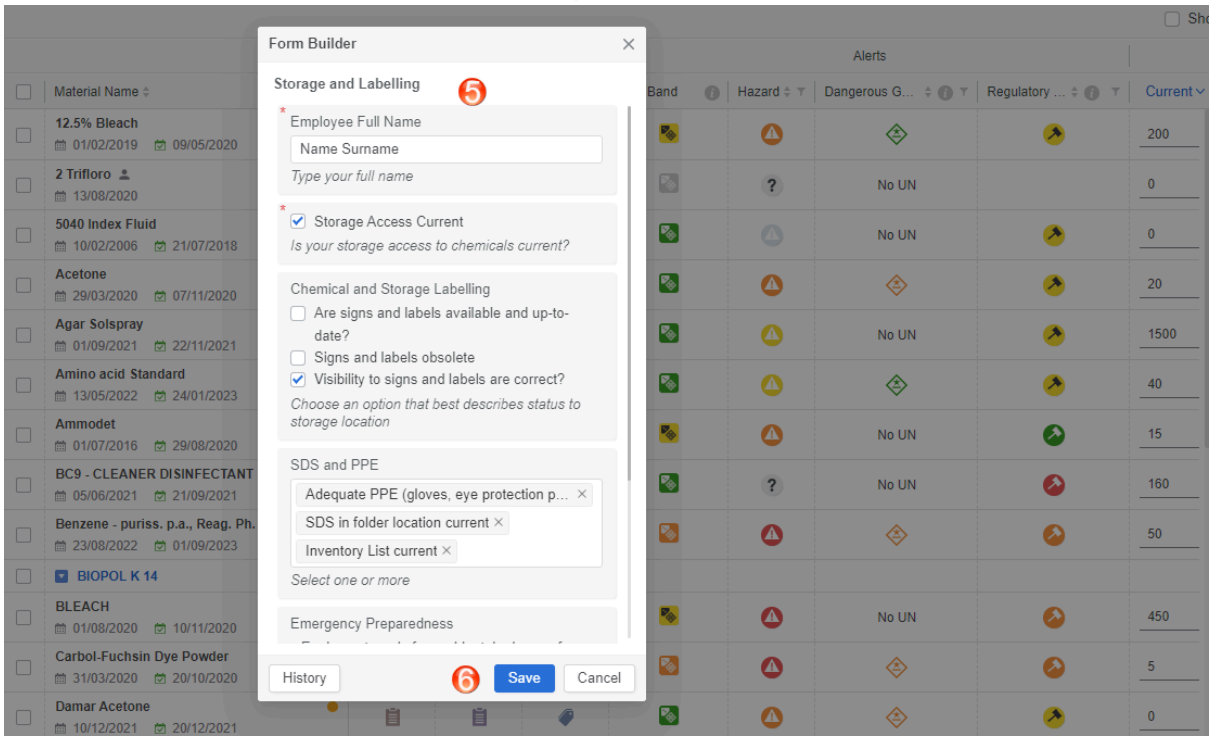


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



5. フォームに入力する。
6. .保存ボタンをクリックする。操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。



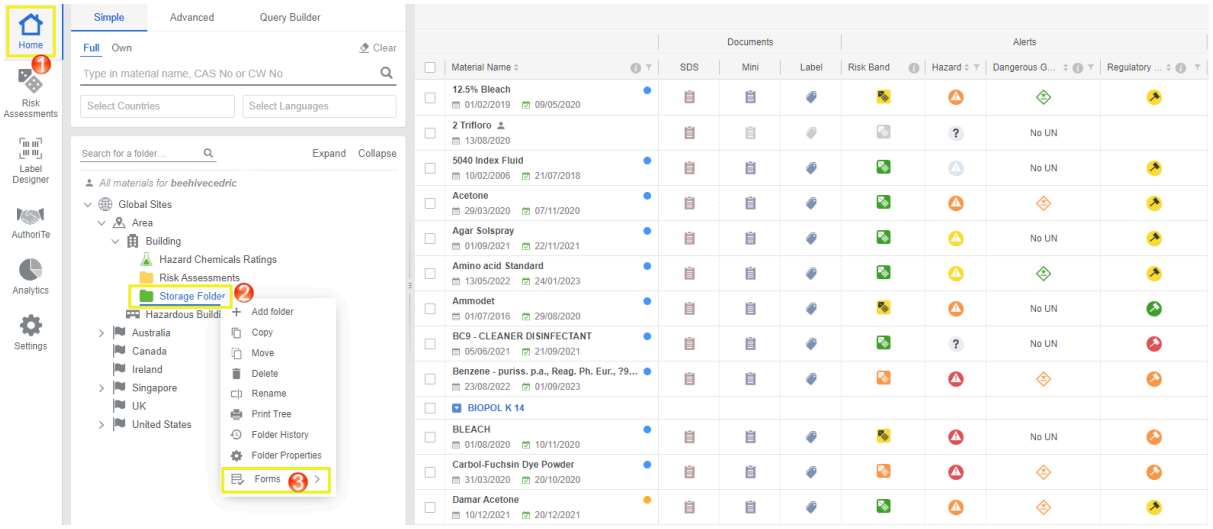


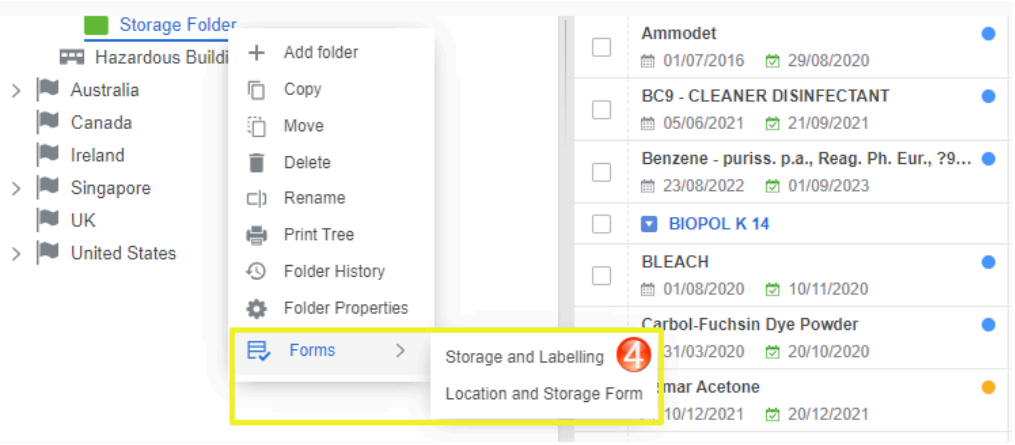
フォーム履歴

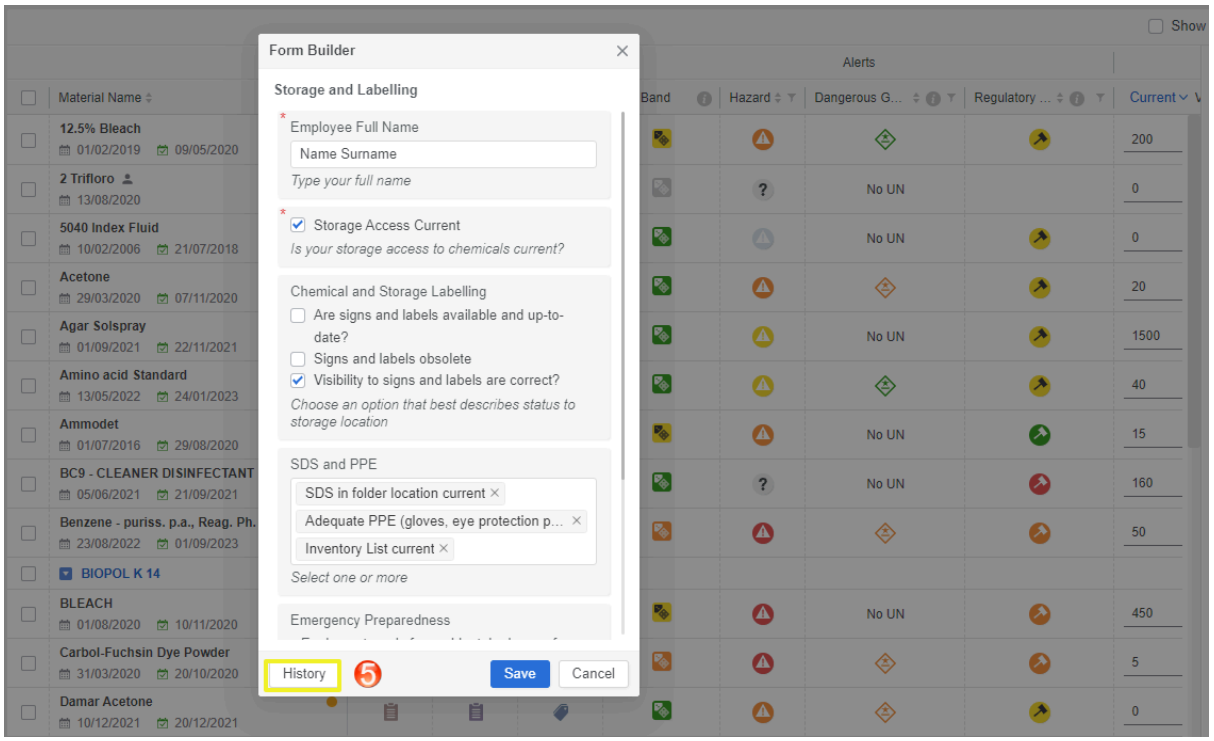
手順: フォルダフォームへの入力方法

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダを右クリックする。
3. マウスカーソルをフォーム上に置くと、使用可能なフォーム名が表示される。
4. フォーム名を選択する。
5. 履歴ボタンを選択する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

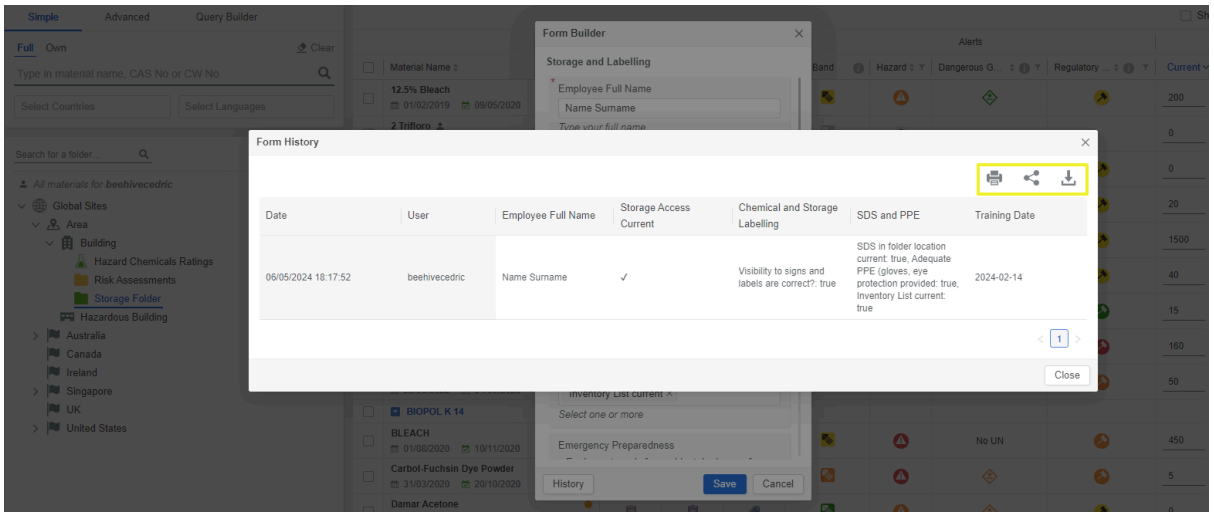






Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォーム履歴パネルには、フォームに入力されたデータが列ごとに表示されます。印刷、共有、またはダウンロードのアイコンを使用して、データの印刷や、外部で共有／保存ができます。



4.2.6.9 フォルダ履歴

フォルダー履歴は、システム内で行われた変更を記録し、フォルダや製品の変更内容を時間の経過とともに追跡するための機能です。この機能は、フォルダー構造内で行われた変更、追加、または削除を把握したいユーザーにとって特に便利です。

フォルダ履歴の利点

- 偶発的な変更やデータ損失に対する安全策として、ユーザーが以前に削除したフォルダまたは製品を元に戻すことができます。
- 説明責任とセキュリティを確保するため、ある時間に変更を加えたユーザーとその変更内容を追跡できる監査証跡が可能です。
- 特定のユーザー、日時、および変更内容を追跡します。
- 同じフォルダ／内容で作業しているチームやグループメンバー間での調整と透明性が確保できます。
- .データの損失や破損が発生した際、データを以前の状態に復元できるため、データリスクやユーザーのワークフローとコンプライアンスにおける混乱を避けることができます。
- アクティビティ監視フォルダ履歴は、どのフォルダまたは製品が頻繁に変更されるかというユーザーの変更パターンを洞察し、将来的に修正が必要な場合や報告の際に役立ちます。

フォルダが作成され、フォルダ内に製品が追加されると、そのフォルダ上で右クリックして表示されるメニューバー内の「フォルダ履歴」からユーザーが実行したアクションを表示できます。フォルダ履歴の情報は、選択したフォルダのユーザーアクティビティに基づいています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォルダ	概要	フォルダレベル操作
フォルダ履歴	ユーザーは、アクティビティに基づいたフォルダ履歴を生成できます。この履歴では、日時、ユーザー、アクション、および結果が確認できます。	アクティビティ履歴のログ

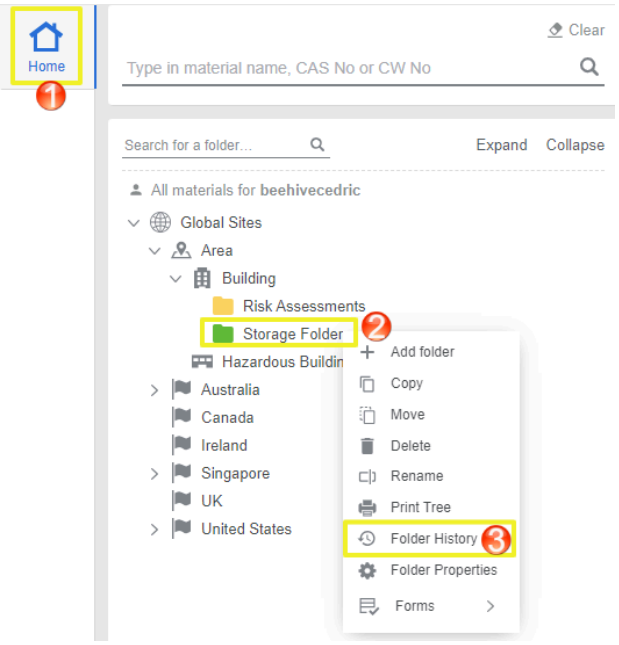
フォルダ履歴を開くと、下記の列を含むテーブルにフォルダーアクティビティの履歴が表示されます。

タイトル: [フォルダ名]履歴

日付	ユーザー	アクション	結果
日/月/年 /時間 00:00	ユーザー名	ユーザーが実行したアクティビティの記録を表示します。	アクションの出力を反映します。

Steps: How to View Folder History Logs for Materials

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダを右クリックする。

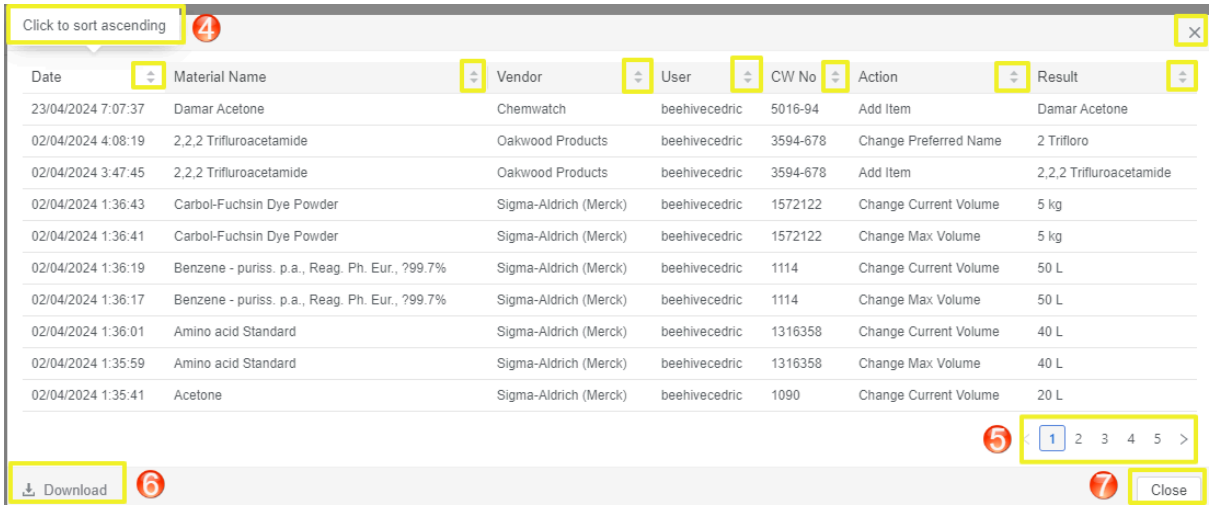


3. メニューバーからフォルダ履歴を選択する。
4. 列データを昇順または降順で並べ替える。
5. ページを切り替え、その他の履歴を確認する
6. ダウンロードボタン をクリックし、ファイルをPCに保存する。
7. ウィンドウを閉じる。

注意

下のフォルダ履歴の例には、フォルダ内で扱われた製品に関して記載されており、製品名、ベンダー、ユーザー名、CW番号、実行されたアクション、および結果が各列に表示されています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

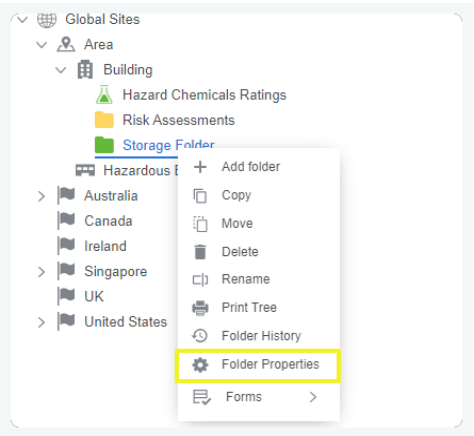


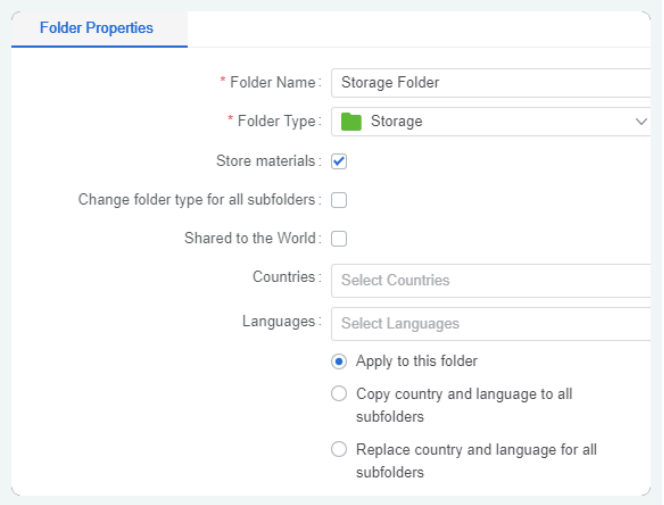
Excel形式でダウンロードした場合、ファイル名は『[フォルダー名]History』として保存されます。

フォルダ履歴のダウンロードファイル　例

	A	B	C	D	E	F	G
1	**Date**	**Material Name**	**Vendor**	**User**	**CW Number**	**Action**	**Payload**
2	23/04/2024 7:07:37	Damar Acetone	Chemwatch	beehivecedric	5016-94	Add Item	Damar Acetone
3	02/04/2024 4:08:19	2,2,2 Trifluroacetamide	Oakwood Products	beehivecedric	3594-678	Change Preferred Name	2 Trifloro
4	02/04/2024 3:47:45	2,2,2 Trifluroacetamide	Oakwood Products	beehivecedric	3594-678	Add Item	2,2,2 Trifluroacetamide
5	02/04/2024 1:36:43	Carbol-Fuchsin Dye Powder	Sigma-Aldrich (Merck)	beehivecedric	1572122	Change Current Volume	5 kg
6	02/04/2024 1:36:41	Carbol-Fuchsin Dye Powder	Sigma-Aldrich (Merck)	beehivecedric	1572122	Change Max Volume	5 kg
13	28/03/2024 2:33:46	Sulfuric Acid	Hach (a part of Danaher)	beehivecedric		Remove Item	CHLORADET
14	28/03/2024 2:29:22	Sulfuric acid 95-97% for analysis	Merck (Sigma-Aldrich)	beehivecedric	6064-44	Copy Item	Sulfuric acid 95-97% for analysis
15	28/03/2024 2:29:22	12.5% Bleach	aiMix Chemicals	beehivecedric	43-1092	Copy Item	12.5% Bleach
16	27/03/2024 3:55:31			beehivecedric		Restore Folder	
17	27/03/2024 3:31:26			beehivecedric		Remove Folder	
18	27/03/2024 3:27:12			beehivecedric		Rename Folder	Storage Folder
19	27/03/2024 2:47:46			beehivecedric		Create Folder	

4.2.6.10 フォルダプロパティの編集





Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォルダプロパティ	説明	概要
フォルダ名	任意のフォルダ名を入力します。	テキストを入力
フォルダタイプ	フォルダを任意の種類に指定することができます。デフォルトの領域／セクションは灰色になっていることにご注意ください。 管理者, 保管場所, 廃棄場	色分け
製品を保管する ☐	ここにチェックを入れると、このフォルダ内にに製品を追加（保存）することができます。	デフォルトでチェックが入っている
全てのサブフォルダのタイプを変更する ☐	ここにチェックを入れると、すべての親フォルダとサブフォルダを同じタイプのフォルダにすることができます。	すべて同じフォルダタイプ
全世界にシェアする ☐	ここにチェックを入れると、このフォルダをOutback (アドオン Web アプリケーション)用フォルダに設定できます。この機能はOutbackライセンスをお持ちのアカウントにのみ適用されます。	Outbackアプリでフォルダを表示 ※ OUTBACK
国	国リストからフォルダーの国を設定できます。（1ヵ国のみ）	フォルダの国設定
言語	言語リストからフォルダーの言語を設定できます。（複数選択可）選択した言語のミニSDSを確認できるようになります。	フォルダの言語設定
国と言語を全てのサブフォルダにコピーする	ここにチェックを入れると、親フォルダで事前に設定された国と言語がサブフォルダにコピーされます。	国と言語
全てのサブフォルダの国と言語を置換える	ここにチェックを入れると、サブフォルダで事前に設定された国と言語がこのフォルダの設定に置き換えられます。	国と言語

※Outback(アウトバック)はSDS配布サービスです。

4.2.7 フォルダに製品を追加する

この章では、次の手順方法を説明いたします。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

この章で学ぶこと

- 製品を検索し、フォルダに追加する
- 検索しコピーした製品をフォルダに追加する

ケムウォッチのデータベース内に製品情報を追加する方は下記のとおりです。

種類	依頼者の要件	弊社のプロセス	注意点
在庫データベース登録	マスター製品リスト、Sisotインベントリ製品リスト、リストはケムウォッチにメールで送信していただけます。 システム内のリクエストモジュールからケムウォッチに送信していただきます。	製品は弊社手順に沿って登録されます。	登録の進行状況は、ケムウォッチモジュールのPTN履歴とステータスでご確認いただけます。PTNのステータスが「完了」となったということは、PTNごとに分類された製品すべてが登録されたことを意味します。
リクエストモジュールからアップロード	システム内のリクエストモジュールからケムウォッチに送信していただきます。		
FTPアップロード	マスター製品リスト、Sisotインベントリ製品リスト、マニフェスト・リストを、ファイル転送プロトコル（FTP）を介してアップロードしていただきます。		
製品の追加	フォルダに製品をご自身で追加していただきます。	このプロセスは、ユーザーがSDSをフォルダに追加する、セルフ登録です。	製品の追加には、フォルダへの閲覧／編集権限が必要です。

フォルダに製品を追加するには、次のような役割が付与されていることをご確認ください。

- 管理スーパーバイザー
- スーパーバイザーの補佐

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

役割	権限	説明	権限の概要
管理スーパーバイザー	フォルダの所有者（編集権限あり）	フォルダ管理	フォルダとフォルダのプロパティを作成および編集する権限（読み取り／書き込み権限）。 フォルダに製品／SDSを追加し、製品の体積／重量を編集する権限。
補佐	フォルダへのアクセス可（編集権限あり）	フォルダインベントリ管理	フォルダに製品／SDSを追加し、製品の体積／重量を編集する権限。

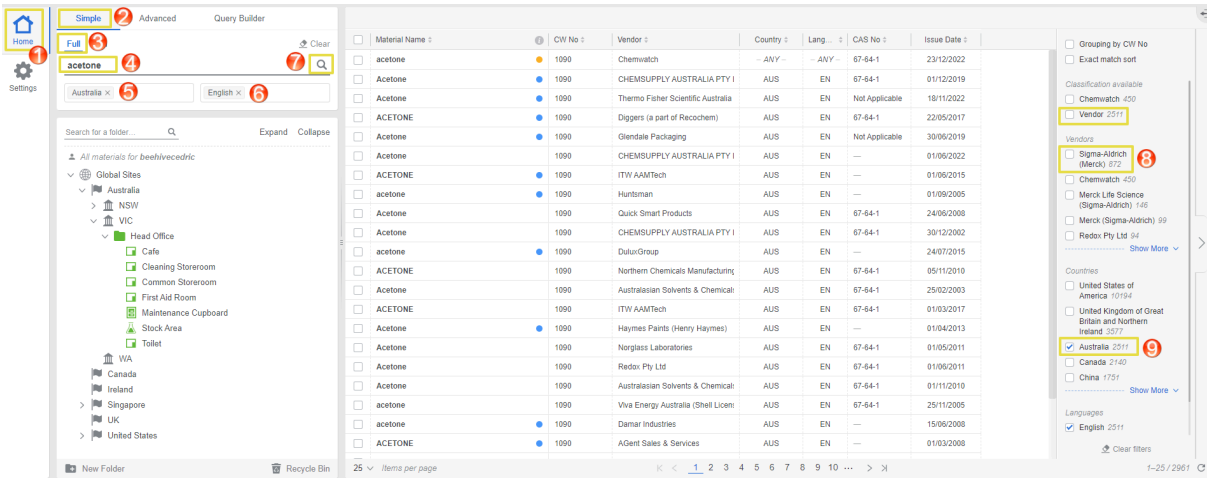
4.2.7.1 製品を検索し、フォルダに製品を追加する

依頼者の要件	ケムウォッチのプロセス	注意点
製品を検索してから、ドラッグ＆ドロップで製品をフォルダに追加します。	このプロセスは、ユーザーがSDSをフォルダにドラッグ＆ドロップで追加する、セルフ登録プロセスです。	読み取り／書き込み権限要。

製品を検索し、製品をドラッグ＆ドロップで保管用フォルダに追加する方法は以下のとおりです。製品をフォルダに追加するには、そのフォルダに対する読み取り／書き込み権限が必要です。

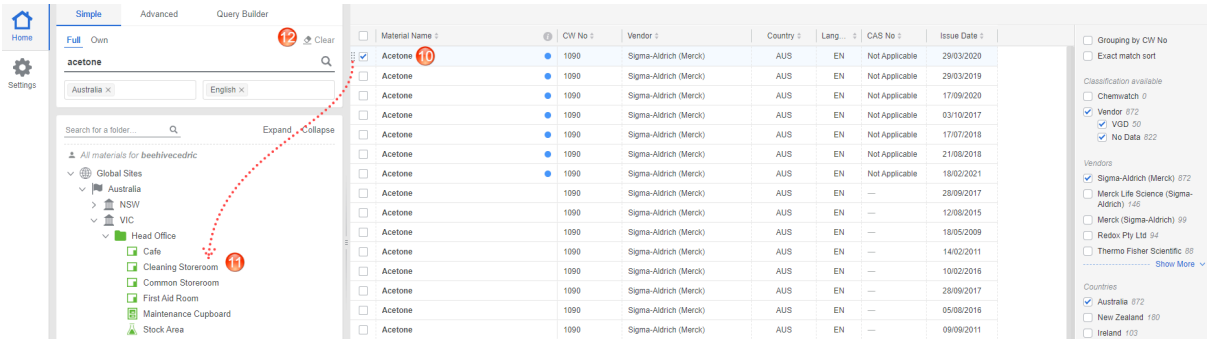
- 物質や製品のSDSがある場合には検索結果に表示されますが、製品のSDSが見つからない場合には、検索結果に「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。後者の場合には、ベンダーSDSをアップロードするリクエストを、最新バージョンのSDSを添付したうえで、次のEメールアドレスまでご送付ください：msdsuploads@chemwatch.net。

手順: 製品を検索し、フォルダに製品を追加する方法



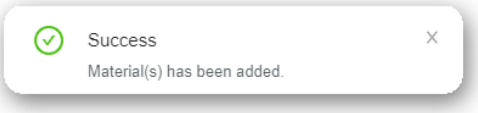
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

1. ホームモジュールを開く。
2. 簡易タブを開く。
3. 全データを検索対象に指定する。
4. 製品名を検索テキストボックスに入力する。
5. 国をクリックし、国を設定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。
7. 虫眼鏡 をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行される。
8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、製品リストをさらに特定のメーカー（Sigma-Aldrich など）の製品のみに絞る。
9. 国のチェックボックスは、検索設定に基づき既に選択されているが、ここで更に国を追加することも可能。



10. 保管先のフォルダに製品名左横 を、ドラッグ＆ドロップする。
11. フォルダ名をクリックし、追加した製品を確認する。
12. 検索パネルにあるクリアボタン を押す。

操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。



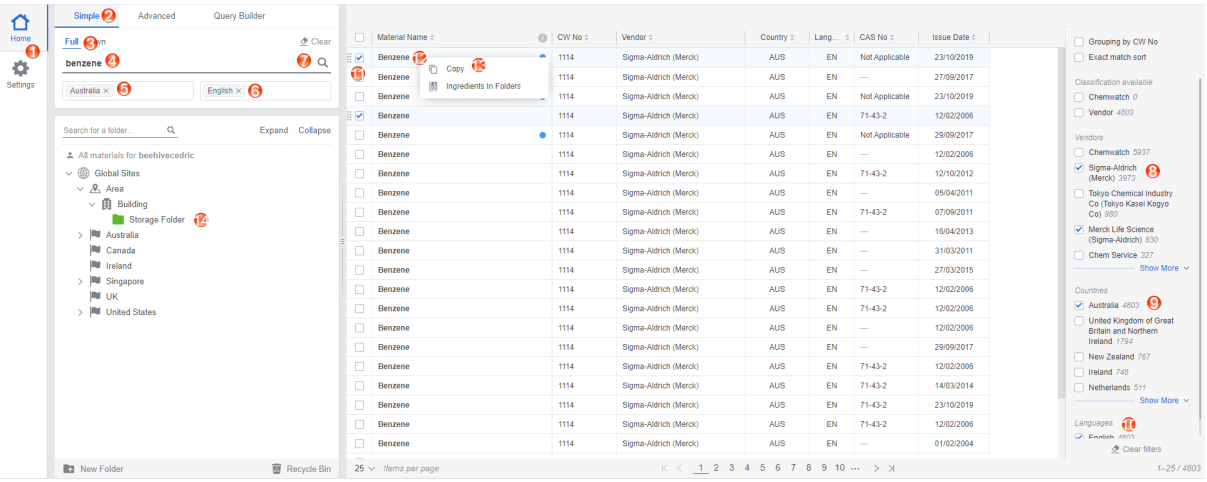
4.2.7.2 製品を検索し、フォルダにコピーする

依頼者の要件	ケムウォッチのプロセス	注意点
製品を検索してから、コピー＆ペーストで製品をフォルダに追加します。	このプロセスは、ユーザーがSDSをフォルダにドラッグ＆ドロップで追加する、セルフ登録プロセスです。	読み取り／書き込み権限要。

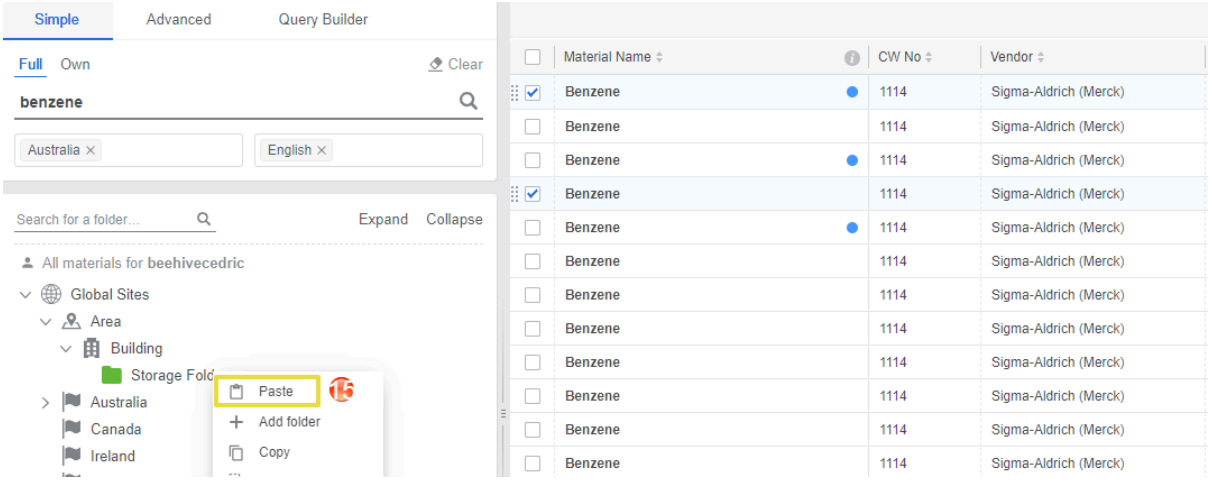
コピー＆ペーストでSDSを保管先のフォルダに追加する手順は、以下のとおりです。

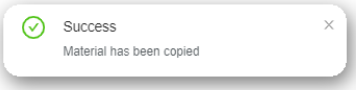
手順: 製品を検索し、フォルダにコピー＆ペーストする方法

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



1. ホームモジュールを開く。
2. 簡易タブを開く。
3. 全データを検索対象に指定する。
4. 製品名を検索テキストボックスに入力する。
5. 国をクリックし、国を設定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。
7. 虫眼鏡 をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行される。
8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、製品リストをさらに特定のメーカー（Sigma-Aldrich など）の製品のみに絞る。
9. 国のチェックボックスは、検索設定に基づき既に選択されているが、ここで更に国を追加することも可能。
10. 言語のチェックボックスは、検索設定に基づき既に選択されているが、ここで更に言語を追加することも可能。
11. コピーする製品名の左横にあるチェックボックスを選択します。
12. コピーする製品名を右クリックする。
13. コピーを選択する。
14. 保管先のフォルダ名を右クリックする。
15. 貼り付けを選択し、フォルダに追加する。





操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.2.8 製品のコピー／移動／削除

この章では、以下のアクティビティについて解説しています。

- 右クリックメニューを使用し、製品を別のフォルダにコピーする
- 元フォルダから別のフォルダへ、製品を移動する
- フォルダから製品を削除する
- 右クリックメニューを使用し、コピーした製品を貼り付ける
- 元フォルダから移動した製品を、移動先のフォルダに貼り付ける

この章で学ぶこと

ゴールドFFXシステムでは、製品のコピー／移動／削除は、製品情報やSDSファイルを管理する上で、必要不可欠な操作です。製品は、ひとつまたは複数のフォルダに保存することができます。ここでは、コピー／移動／削除機能を使用して、フォルダツリー全体に製品を分散して保存する方法について解説します。

機能	ユーザーの要件	ケムウォッチのプロセス	注意点
製品のコピー／移動／削除	フォルダ内の製品をコピー／移動／削除します。	このプロセスでは、ユーザーご自身で右クリック機能を使用し、製品をコピー／移動／削除します。	読み取り／書き込み権限要。

- 読み取り専用の権限が付与されているユーザーは、フォルダ内に製品を保存することはできませんが、ドメイン管理者により特定のフォルダにのみ書き込み用の権限が付与されている場合があります。ご自身に付与されている権限を知りたい場合には、customerservice@chemwatch.netまでお問い合わせください。

次の項では、製品をコピー／移動／削除する方法について解説しています。

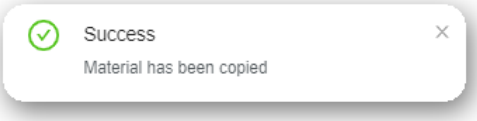
4.2.8.1 製品を別のフォルダにコピーする

製品をあるフォルダから別のフォルダにコピーする手順は、以下のとおりです。

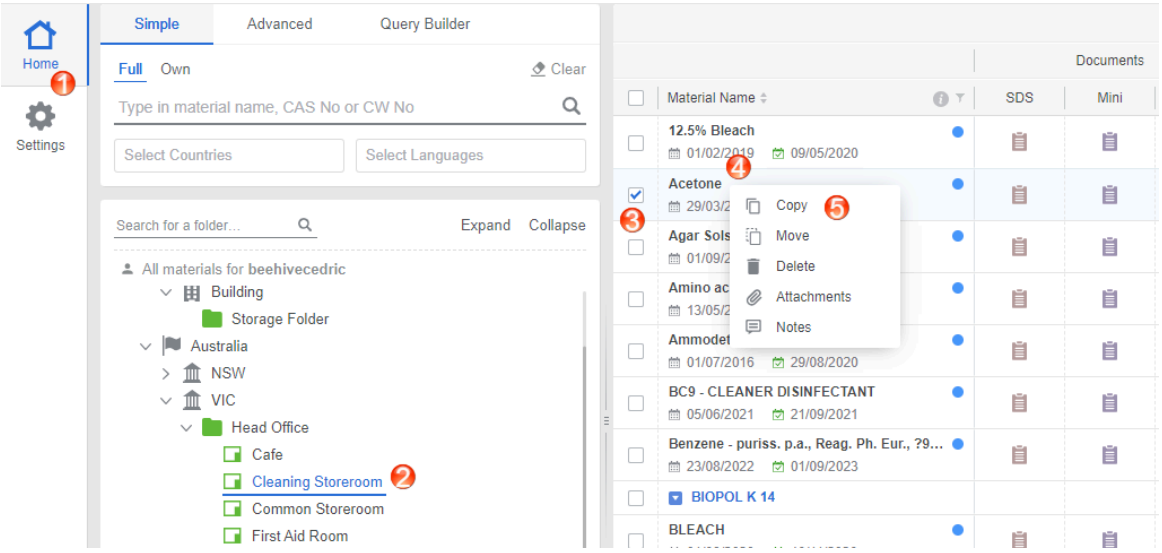
手順: 製品を別のフォルダにコピーする方法

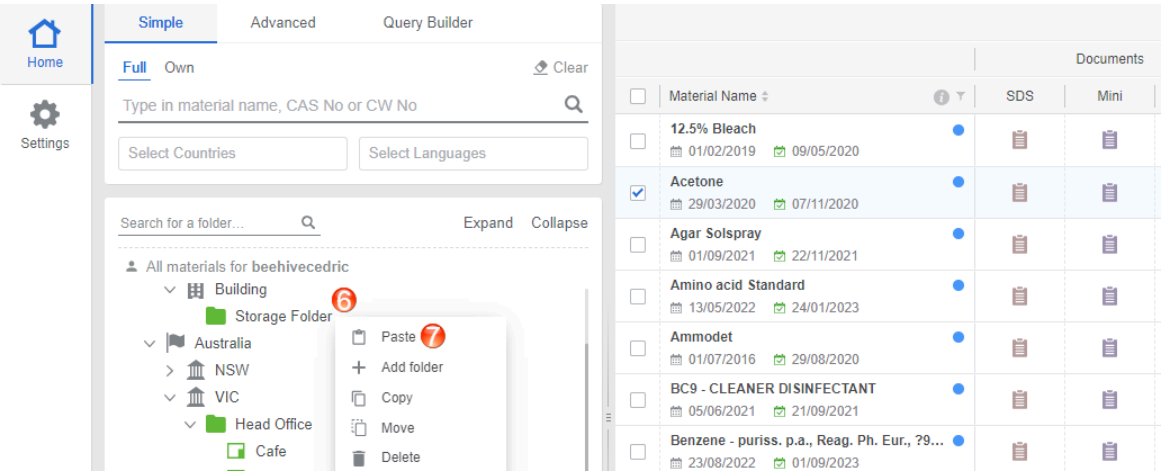
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスにチェックを入れる。
4. 製品名を右クリックする。
5. コピーを選択する。
6. コピー先のフォルダを右クリックする。
7. 貼り付けを選択する。

手順5[コピー]と7[貼り付け]の操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved





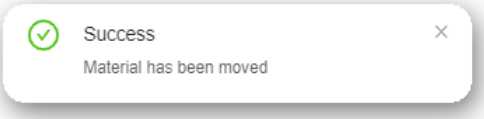
4.2.8.2 元フォルダから製品を移動する

製品を元フォルダから別のフォルダに移動する方法は、以下のとおりです。

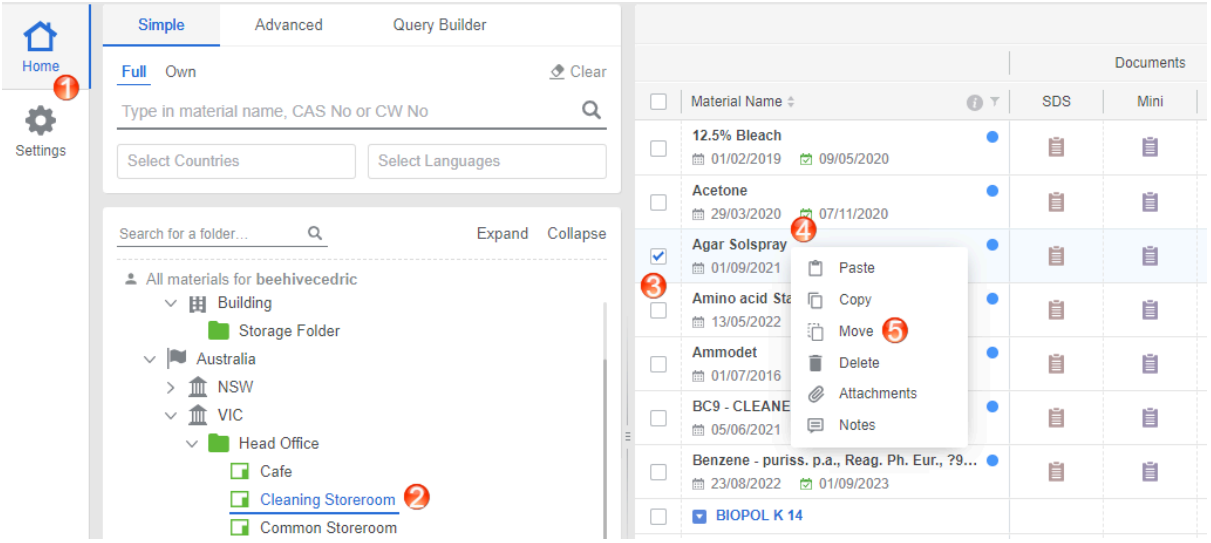
手順: 元フォルダから製品を移動する方法

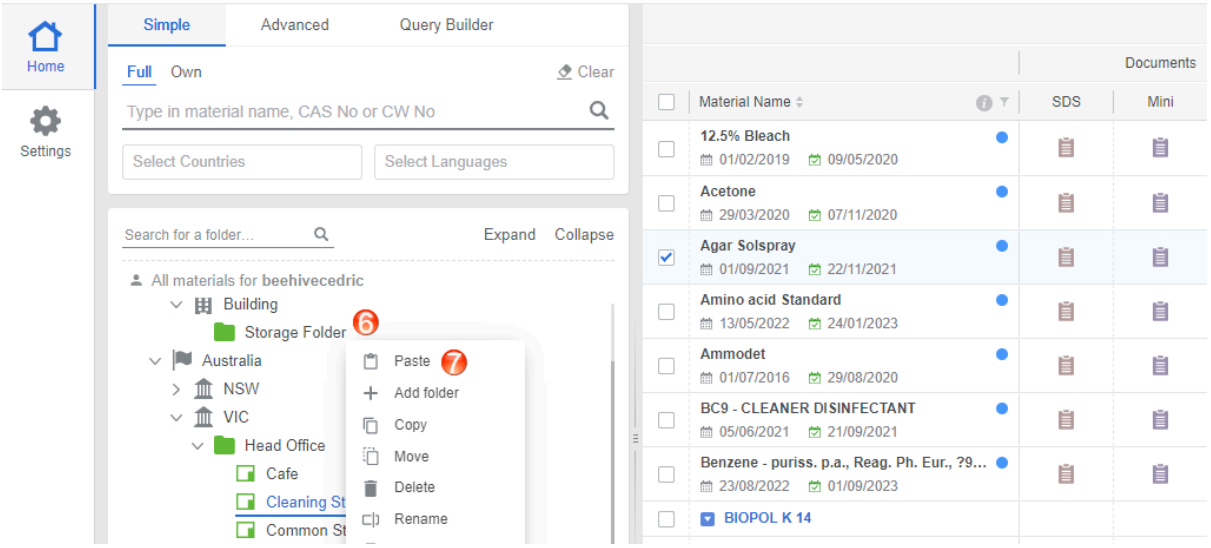
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスにチェックを入れる。
4. 製品名を右クリックする。
5. 移動を選択する。
6. 移動先のフォルダを右クリックする。
7. 貼り付けを選択する。

手順5[移動]と7[貼り付け]の操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

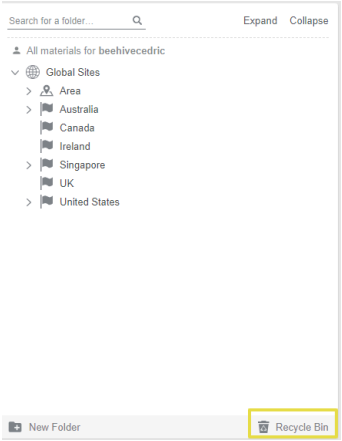




4.2.8.3 フォルダから製品を削除する

ごみ箱

通常、製品がフォルダから削除されると、フォルダパネルの右下の隅にある「ごみ箱」と呼ばれる一時的な保存場所に、製品が移動します。



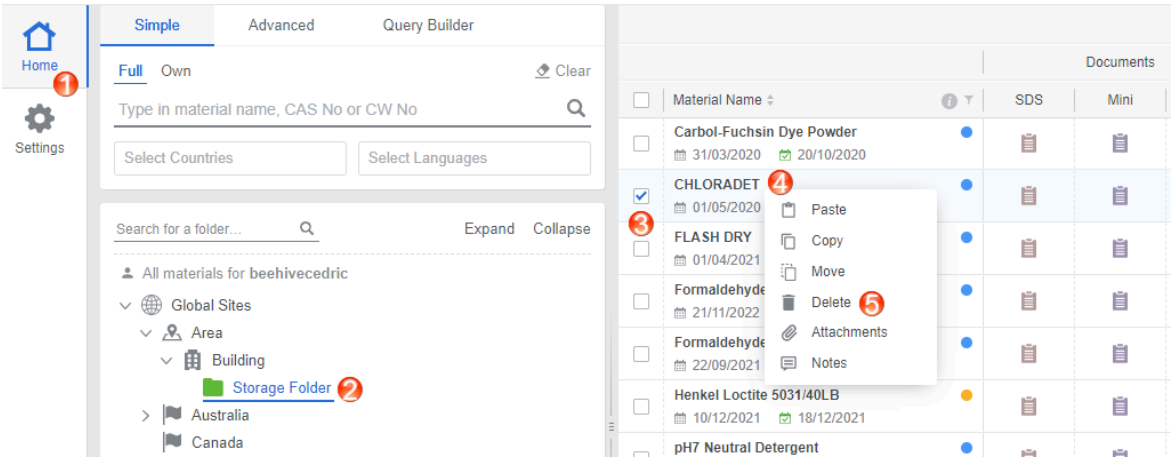
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ごみ箱には次の要素があります。

要素	概要
場所のみ表示	このチェックボックス をオンにすると、ごみ箱のテーブルに削除されたアイテムのリストが場所ごとに表示されます。
文章のみ表示	このチェックボックス をオンにすると、ごみ箱のテーブルに削除されたアイテムのリストが表示されます。
検索	この機能により、キーワードや製品名を入力し、削除されたアイテムを素早く見つけることができます。
復元 Restore	復元機能は、重要な資料やフォルダを誤って削除した場合のセーフティネットとなります。
ページ 1 2 3 > 20 / page	数多くの検索結果から特定の情報を見つける必要がある場合にご利用ください。
名称	削除されたアイテムが、文書／フォルダ名別に表示されます。
タイプ	この列には、削除されたものが「文書」または「フォルダ」の場合にアイコンが表示されます。
ベンダー	削除された文書が製品名別に表示されます（タイプ列のアイコンは「文書」となります）。
削除日	製品やフォルダが削除された日付が表示されます。
初期ロケーション	削除されたアイテムの初期ロケーションのパスが表示されます。

削除されたアイテムは、フォルダパネルの右下にあるごみ箱にアーカイブ保存されます。フォルダから製品を削除する方法は、以下のとおりです。削除された製品はごみ箱 Recycle Bin に移動します。ユーザーが誤って製品を削除した場合でも、そのアイテムを元の場所に復元するオプションが、システム上で提供されています。

手順: フォルダから製品を削除する方法

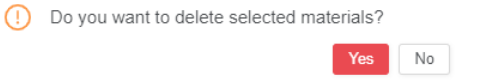


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

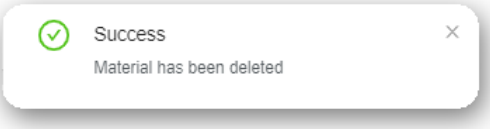
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスにチェックを入れる。
4. 製品名を右クリックする。
5. 削除を選択する。

削除された製品は、以下に示すように、フォルダパネルの右下にあるごみ箱に一時保存されます。

6. ポップアップメッセージに「はい」を選択する。

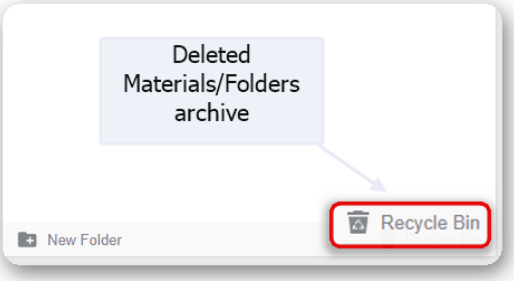


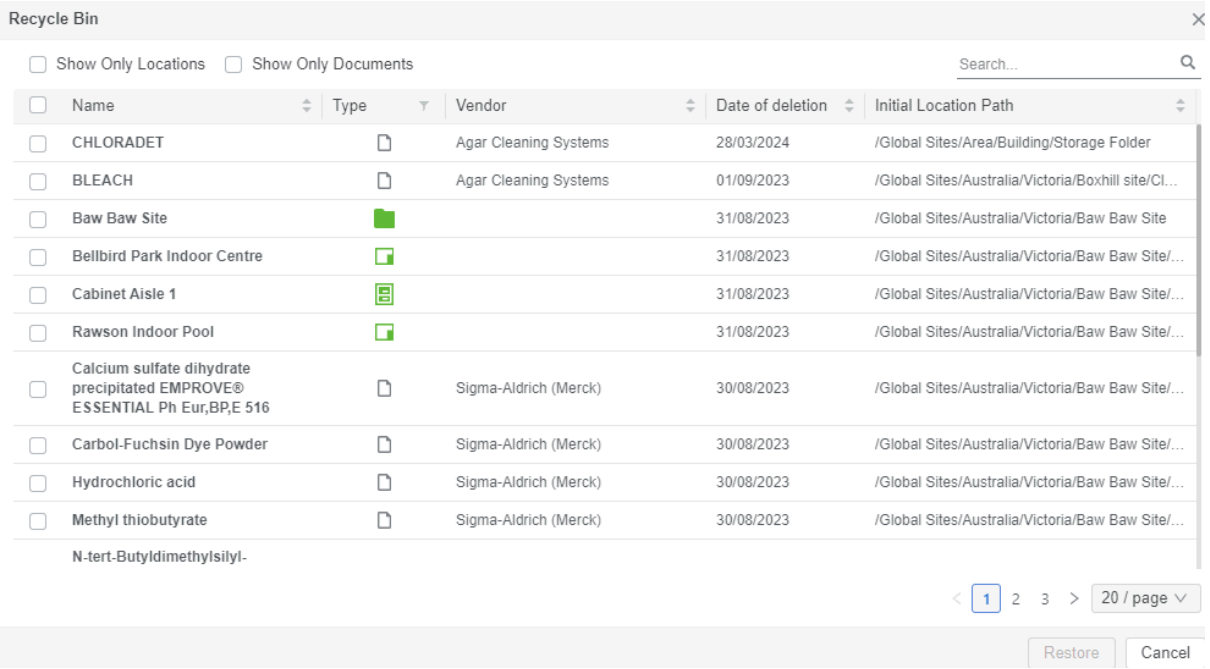
操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。



手順: ごみ箱の中身を確認する方法

1. ホームモジュールを開く
2. ゴミ箱のボタンをクリックする。





Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.2.9 製品に体積／重量を追加する

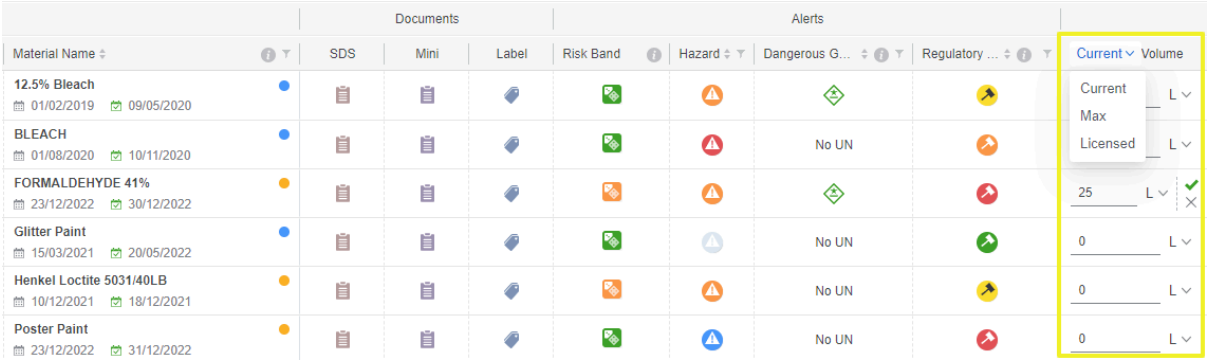
このセクションでは、以下のアクティビティについて解説しています。

- 製品に体積／重量を追加する
- 危険物の体積／重量

この章で学ぶこと

職場の危険な化学品は、通常、容器やバルクで保管されます。職業／職場の健康と安全に関する規制の遵守は、危険な化学品の安全な取り扱い、保管、廃棄を確保する上で重要な役割を果たします。たとえば、オーストラリアでは、WHS 規制により、化学物質の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) の危険クラスとカテゴリに従って、プラカードと製品の在庫量を計算することが義務付けられています。

危険な化学品の体積／重量を把握することは、安全プロトコルの遵守にとって非常に重要です。規制では、保管、輸送、廃棄に関する危険な化学品の最大許容量を規定しています。液体や気体は、リットルやガロンなどの単位で測定されることがよくあります。システムには、体積／重量の列と測定単位のオプションが用意されています。体積／重量は、「現在・最大・ライセンス」として設定できます。



測定単位は、フォルダ内の製品の大きさや量を表すために標準化されています。化学品の在庫量に関連して、システム内で使用される正式な測定単位には、主に2つのカテゴリがあります。

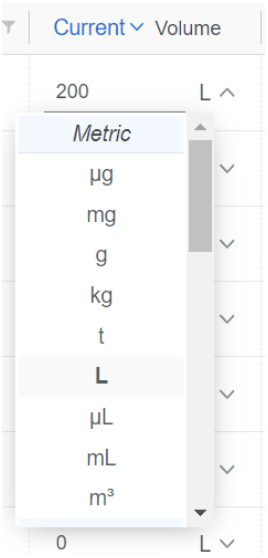
- 体積
- 重量

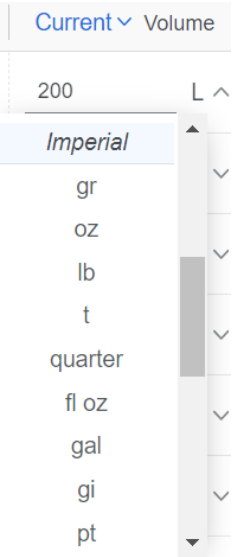
システム内で使用できるメートル法、帝国単位、米国のヤードポンド法の計測単位は以下の通りです。

メートル法		帝国単位／ヤードポンド法（米国）	
単位	記号	単位	記号

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ナノグラム	µg	グレーン	gr
ミリグラム	mg	オンス	oz
グラム	g	ポンド	lb
キログラム	kg	トン	t
トン	t	クォーター	quarter
リットル	L	液量オンス	fl oz
ナノリットル	µL	ガロン	gal
ミリリットル	mL	ジル	gi
立法メートル	m^3	パイント	pt
		クォート	qt
		立法フィート	ft^3

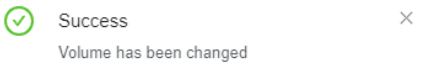




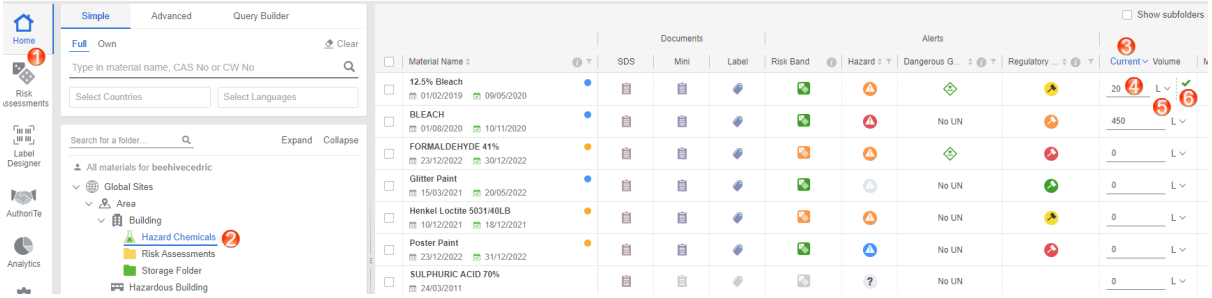
手順: 製品に体積／重量を追加する方法

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 量列上部のドロップダウン矢印をクリックし、「現在、最大もしくはライセンス」を選択する。
4. 量列のテキストボックスに製品の体積／重量の値を入力する。
5. 単位のドロップダウン矢印をクリックし、それぞれの単位記号を選択する。
6. 緑色のチェックマークをクリックし、保存する。

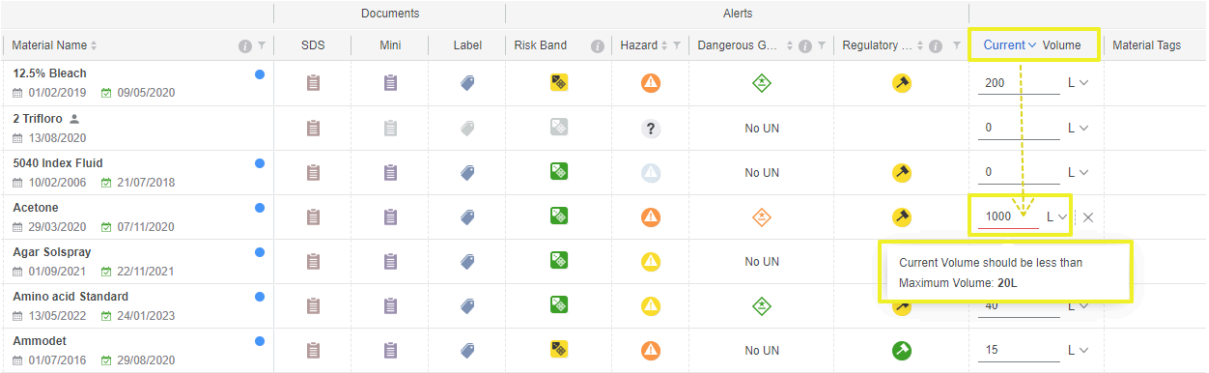
操作が成功すると、画面右上にメッセージが表示される。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



最大値を設定せずに、現在の体積／重量が最大値より低い値、または同じ値に設定すると、最大値もこの現在の量で初期設定されます。つまり、この現在の値をより大きな値に変更すると、現在の量が最大値を超えることになり保存ができなくなります。最初に最大値を設定してから、現在の量を変更することをお勧めします。



4.2.9.1 DGC2.1の量を追加する方法 (エアロゾルを除く)

ガスの場合、パッケージ（シリンダーなど）内のガスの量は、水容量（WC）に基づいています。これは、シリンダーを満たすために必要な水のリットル数を指します。ただし、ラベルには通常、保持する予定のガスの質量が示されています。ガスシリンダーの容量を確認するには、シリンダーのネックまたはフットリングにある刻印を探します。通常、刻印には「WC」マークが付いています。例を下の図に示します。

WC: water capacity of a gas cylinder (ie package)

ガスシリンダーの水容量の情報はサプライヤーから得ることもできます。規定量と比較するために、ガスの各GHSカテゴリの総量を決定する必要があります。

ガスの体積／重量を追加する前に、以下のリンクをご参考ください。
https://www.elgas.com.au/for-home/gas-cylinder-sizes/

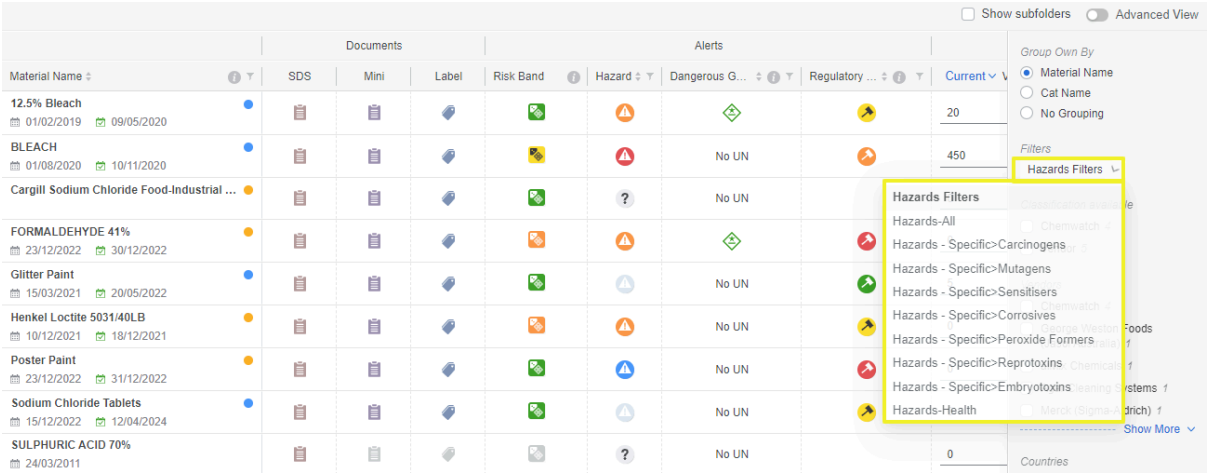
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.3 危険有害性フィルタ

このセクションでは、製品テーブルのサイドパネルにある危険有害性フィルタを利用して、危険有害性を有する製品を特定するために、自己フォルダにある化学品にフィルタをかける方法について、ご説明いたします。

- 全ての危険有害性でフィルタをかける
- 発がん性でフィルタをかける
- 混触危険性レポートでフィルタをかける
- マニフェスト量レポートでフィルタをかける
- 標識レポートでフィルタをかける
- 成分フィルタをかける

この章で学ぶこと



危険有害性を有する化学品とは、一般的にGHSの危険有害性分類基準を満たし、何らかの害を及ぼす物質、混合物または製品です。化学的な有害性を有するものは、生物や環境に悪影響を及ぼす可能性があり、吸入、皮膚接触または飲み込むことにより、人の健康に悪影響を及ぼすことがあります。このような悪影響を引き起こす化学的性質は「健康有害性」と呼ばれ、その影響は短期（急性）から長期（慢性）に及びます。一方で化学品の物理化学的性質は、即時に怪我やインフラの損傷を引き起こす可能性があり、これらは「物理的危険性」と呼ばれます。可燃性物質、腐食性物質、爆発性物質、自己反応性物質、酸化性物質などが含まれます。生態系や環境に影響を及ぼす有害性は「環境有害性」と呼ばれます。

このシステムには、管理化学品の危険有害性を特定するために、自己フォルダにフィルタを適用する機能が備わっています。さまざまなフィルタを使用して、特定の危険有害性を有する化学品を見つけたり、それらに関するレポートを生成することが可能です。

有害な化学品や危険物に関する報告義務は、各地域の法律などで定められています。遵守すべき要件の詳細なリストについては、ご自身の国の法令や規則をご確認ください。以下の表では、このシステムに搭載されている危険有害性フィルタの各オプションについて、簡単な説明を提供しています。

危険有害性フィルタの概要

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

危険有害性オプション	概要
危険有害性（全て）	あらゆる危険有害性を有する化学品を表示します。ただし、ゴールド*SDS*がない製品については、ベンダー*SDS*からデータが抽出されない限りフィルタの対象とはなりませんので、ご注意ください。
有害性別：発がん性	遺伝子に損傷を与えたり、細胞の代謝プロセスを妨害する能力により、発がん性があると見なされる化学品のみを表示します。
有害性別：腐食性	接触時に生体組織や他の物質を破壊・損傷する化学品のみを表示します。腐食性物質は、接触により化学熱傷を引き起こす可能性があります。
有害性別：胎児毒性	胎児に悪影響を及ぼす毒性化学品のみを表示します。
健康有害性	健康有害性を有する化学品のみを表示します。
環境有害性	環境有害性を有する化学品のみを表示します。
物理的危険性	物理的危険性を有する化学品のみを表示します。
危険物（全て）	あらゆる危険性を有する化学品を表示します。
危険物：腐食性	直接接触により生体組織を破壊または損傷する化学品のみを表示します。腐食性物質には、一部の酸、塩基、脱水剤、酸化剤および有機物が含まれます。
危険物：引火性	引火性を有する危険物のみを表示します。
危険物：有毒／有害	毒性または有害性を呈する危険物のみを表示します。
混触危険性	危険物の混触危険性を比較します。このレポートには、選択したフォルダに保存されている製品同士の、危険物クラスの互換性や隔離の必要性が掲載されています。

危険有害性を有する化学品とは?

作業者がばく露した際に、健康や環境に悪影響を及ぼす可能性のある化学品です。これらには、毒物、熱傷を引き起こす物質、皮膚や目に刺激を与える物質、さらには発がん性を有する可能性がある物質などが含まれます。またこれらの多くは、危険物にも分類されています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

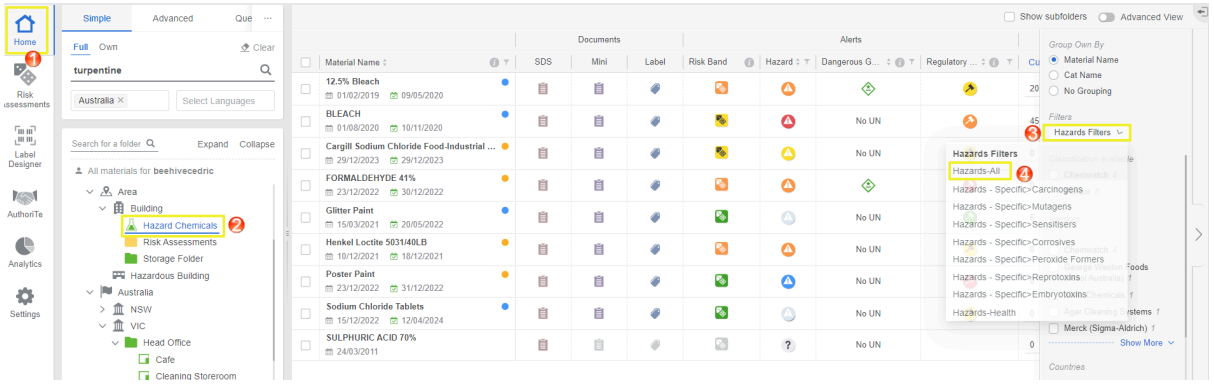
4.3.1 危険有害性（全て）で製品をフィルタにかける

製品テーブルのアドバンスモードでは、危険有害性を有する製品の全てに、危険有害性評価とHコードが表示されます。

Material Name	CAS No	Hazard	Hazard Codes	Country	Language	Vendor	Current Volume	Dangerous G...	PKG
Cargill Sodium Chloride Food-Indus... 29/12/2023 29/12/2023	Not Applicable		H315, H319, H335	AUS	EN	Chemwatch	0 L	Not Applicable	Not Applicab
12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020	Not Applicable		AUH031, H400, H314	AUS	EN	aiMix Chemicals	20 L	8	III
BLEACH 01/08/2020 10/11/2020	Not Applicable		H314, H318	AUS	EN	Agar Cleaning Systems	450 L	Not Applicable	Not Applicab
Poster Paint 23/12/2022 31/12/2022	Not Applicable		H320	AUS	EN	Chemwatch	0 L	Not Applicable	Not Applicab
Sodium Chloride Tablets 15/12/2022 12/04/2024	Not Applicable			AUS	EN	Merck (Sigma-Aldrich)	0 L	Not Applicable	Not Applicab

以下の手順では、フォルダリストから危険有害性に分類されたすべての製品について、特定の危険有害性レポートを作成する方法を説明しています。基本的に、危険有害性のフィルタリングは、選択したフォルダに製品が含まれている限り、どのフォルダレベルでも行うことができます。

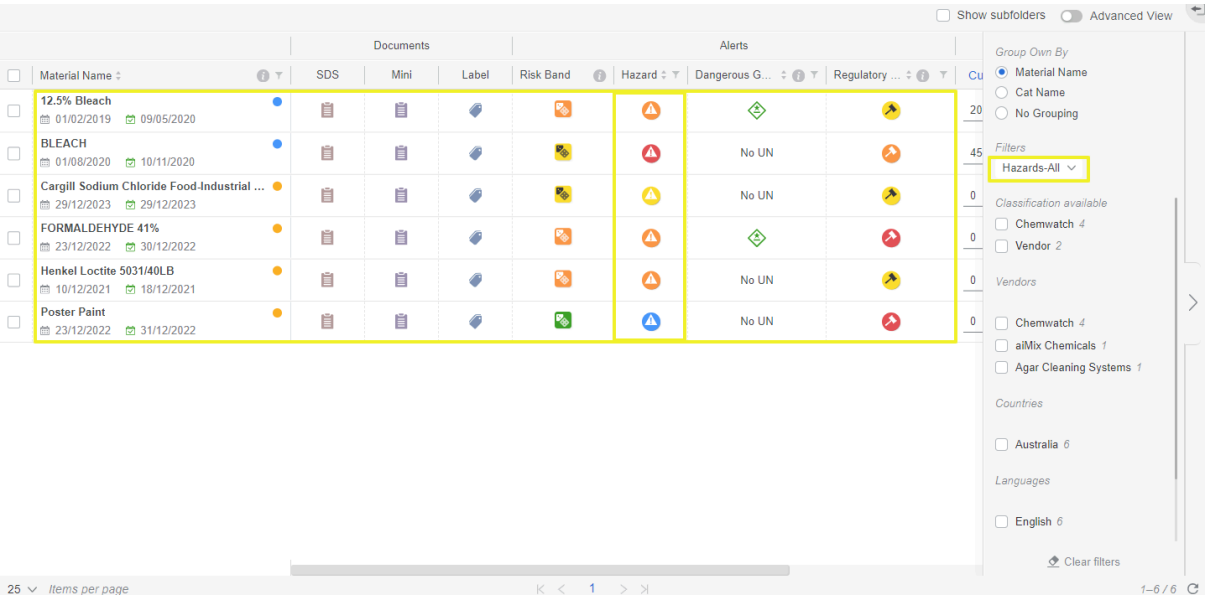
手順: 危険有害性（全て）でフィルタをかける



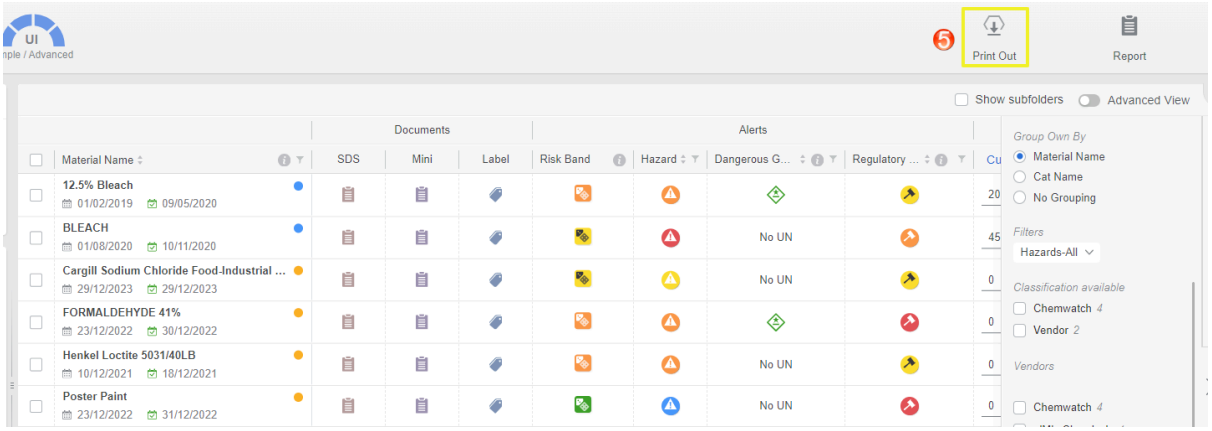
1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品テーブルを表示させる。
3. サイドパネルのにある、危険有害性フィルタの下向き三角をクリックする。
4. 危険有害性の「全て」に印を付ける。

この例では、フォルダに9種類の製品が保存されています。危険有害性（全て）でフィルタをかけると、危険有害性を有する6製品のみが製品テーブルに表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

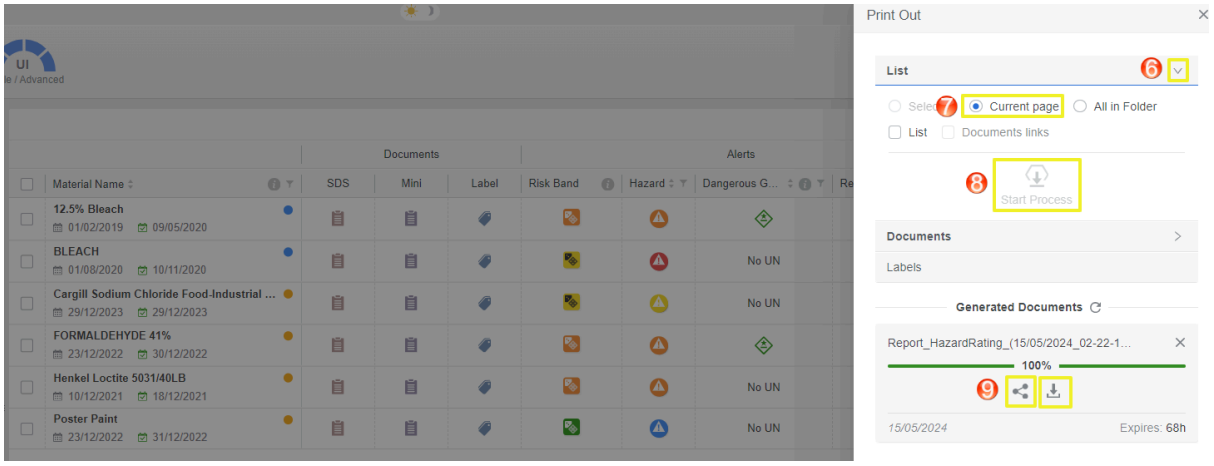


危険有害性を有する製品のみが表示されている、上の画面をご確認ください。危険有害性の欄には、ケムウォッチの危険有害性評価に基づく色分けされたアイコンが表示されています。



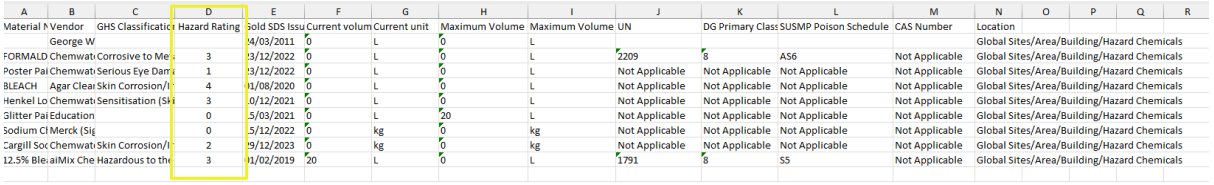
5. 印刷ボタンをクリックする。
6. リストの横の三角をクリックし、印刷範囲や対象を表示する。
7. 現在のページのラジオボタンを選択する。
8. プロセス開始をクリックすると、生成された文書のステータスバーが表示されます。
9. ステータスバーが100%に達したら、シェアやダウンロードのボタンをクリックします。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



10. レポートの保存先フォルダを選択しします。生成されたレポートのファイル名には、レポートの種類と日付けが入ります（例: Report_HazardRating_date）。

ダウンロードされたエクセルファイルでは、製品テーブルのアイコンに呼応するケムウォッチの危険有害性評価が、「Hazard Rating」欄に値として表示されます。



Material N	Vendor	GHS Classificatio	Hazard Rating	Gold SDS Issu	Current volum	Current unit	Maximum Volume	Maximum Volume	UN	DG Primary Class	SUSMP Poison Schedule	CAS Number	Location
	George W			4/03/2011	0	L	0	L					Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
FORMALD	Chemwati	Corrosive to Me	3	3/12/2022	0	L	0	L	2209	8	AS6	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
Poster Pai	Chemwati	Serious Eye Dam	1	3/12/2022	0	L	0	L	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
BLEACH	Agar Clear	Skin Corrosion/I	4	1/08/2020	0	L	0	L	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
Henkel Lo	Chemwati	Sensitisation (Ski	3	0/12/2021	0	L	0	L	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
Glitter Pai	Education		0	5/03/2021	0	L	20	L	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
Sodium Cl	Merck (Sig		0	5/12/2022	0	kg	0	kg	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
Cargill Soc	Chemwati	Skin Corrosion/I	2	9/12/2023	0	kg	0	kg	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals
12.5% Ble	aiMix Che	Hazardous to the	3	1/02/2019	20	L	0	L	1791	8	S5	Not Applicable	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals

PDFファイルを生成すると、そこでも製品テーブルのアイコンに呼応するケムウォッチの危険有害性評価が、値として表示されることにご注意ください。

4.3.2 発がん性で製品をフィルタにかける

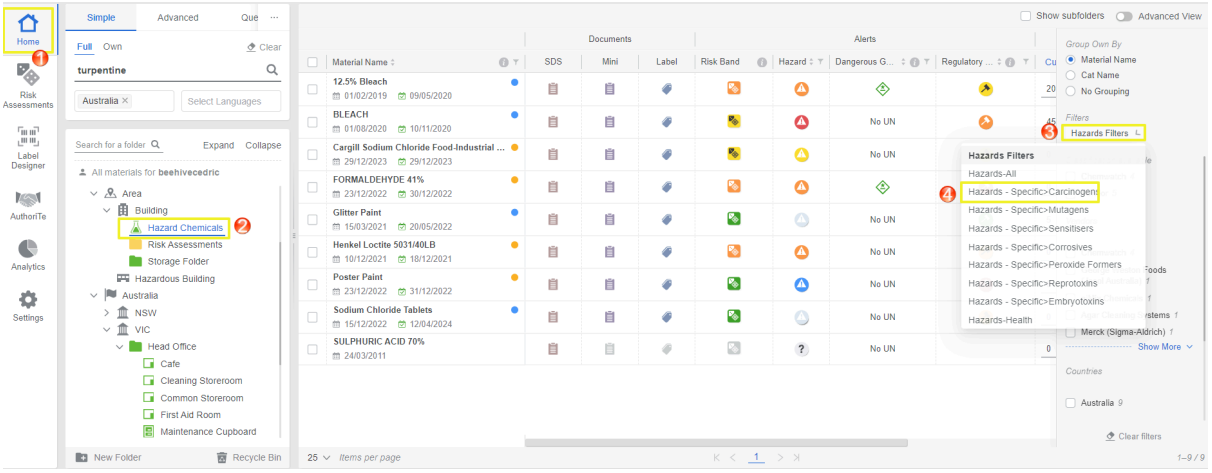
発がん性物質は、ゲノムを損傷させたり、細胞の代謝プロセスを乱すことによってがんを引き起こす可能性がある、有害物質です。発がん性に特化した有害性を有する、ご自身の管理化学品のレポートを出力する方法は、以下のとおりです。危険有害性フィルタは、製品が保存されているあらゆるフォルダでご利用いただけます。

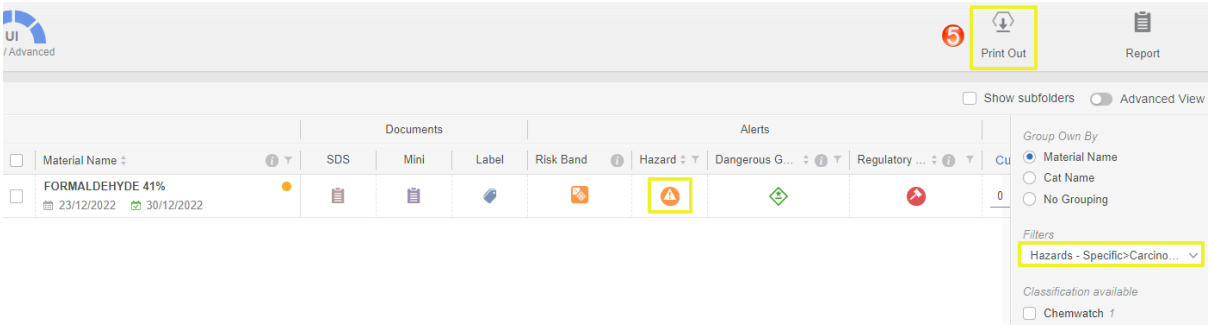
手順：有害性別（発がん性）でフィルタをかける

1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品テーブルを表示させる。
3. サイドパネルのにある、危険有害性フィルタの下向き三角をクリックする。
4. 有害性別ー発がん性物質のオプションを選択する。

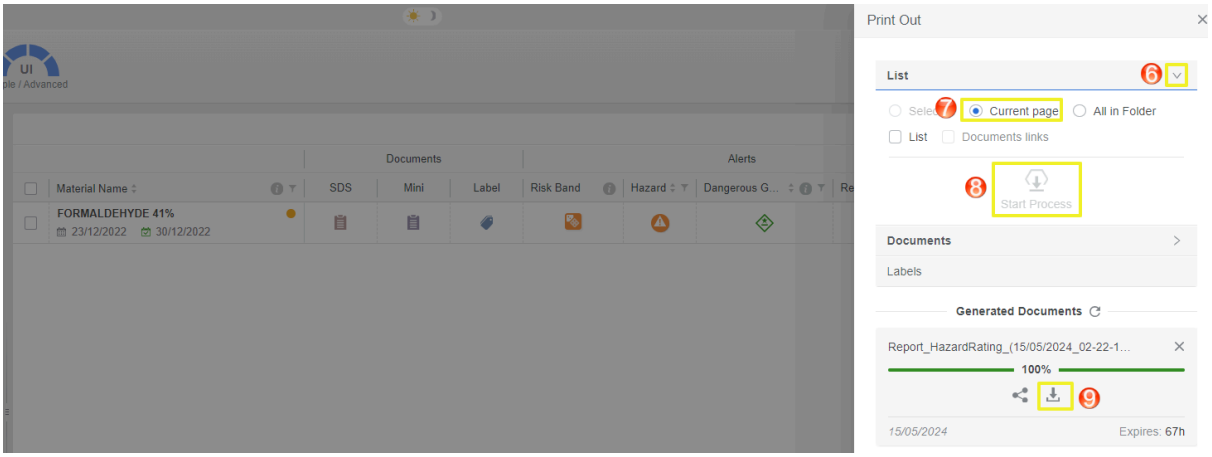
次ページの例では、フォルダに9種類の製品が保存されています。有害性別ー発がん性物質でフィルタをかけると、発がん性を有する1製品のみが製品テーブルに表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved





5. 印刷ボタンをクリックする。
6. リストの横の三角をクリックし、印刷範囲や対象を表示する。
7. 現在のページのラジオボタンを選択する。
8. プロセス開始をクリックすると、生成された文書のステータスバーが表示されます。
9. ステータスバーが100%に達したら、シェアやダウンロードのボタンをクリックする。



10. レポートの保存先フォルダを選択しします。生成されたレポートのファイル名には、レポートの種類と日付けが入ります（例: Report_HazardRating_date）。

ダウンロードしたエクセルファイルでは、GHS分類の欄に発がん性の分類が、そして製品テーブルのアイコンに呼応するケムウォッチの危険有害性評価は、「Hazard Rating」欄に値として表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	N
1	Material Name	Vendor	GHS Classification	Hazard Rating	Gold SDS Issue Dat	Current volume	Current unit	Maximum	Maximum	UN	DG Primar	SUSMP Poison Schedule	Location
2	FORMALDEHYDE 41%	Chemwatch	Corrosive to Metals Category 1|Acute Toxicity (Oral) Category 3|Acute Toxicity (Dermal) Category 3|Skin Corrosion/Irritation Category 1B|Sensitisation (Skin) Category 1|Serious Eye Damage/Eye Irritation Category 1|Acute Toxicity (Inhalation) Category 3|Carcinogenicity Category 1A|Reproductive Toxicity Category 1B|Specific Target Organ Toxicity - Single Exposure Category 2|Hazardous to the Aquatic Environment Acute Hazard Category 3	3	23/12/2022	0	L	0	L	2209	8	AS6	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals

4.3.3 混触危険性レポートで製品をフィルタにかける

危険有害性物質に関連するリスクの管理には、化学的特性や性質により混触危険性を有する化学品を特定することが含まれます。通常はSDSの第7章（取扱いおよび保管上の注意）および第10章（安定性および反応性）に、これらに関する情報が記載されています。ケムウォッチでは、企業や組織が管理化学品の混触危険性を簡単に特定できるよう、これに特価したレポートを提供しています。

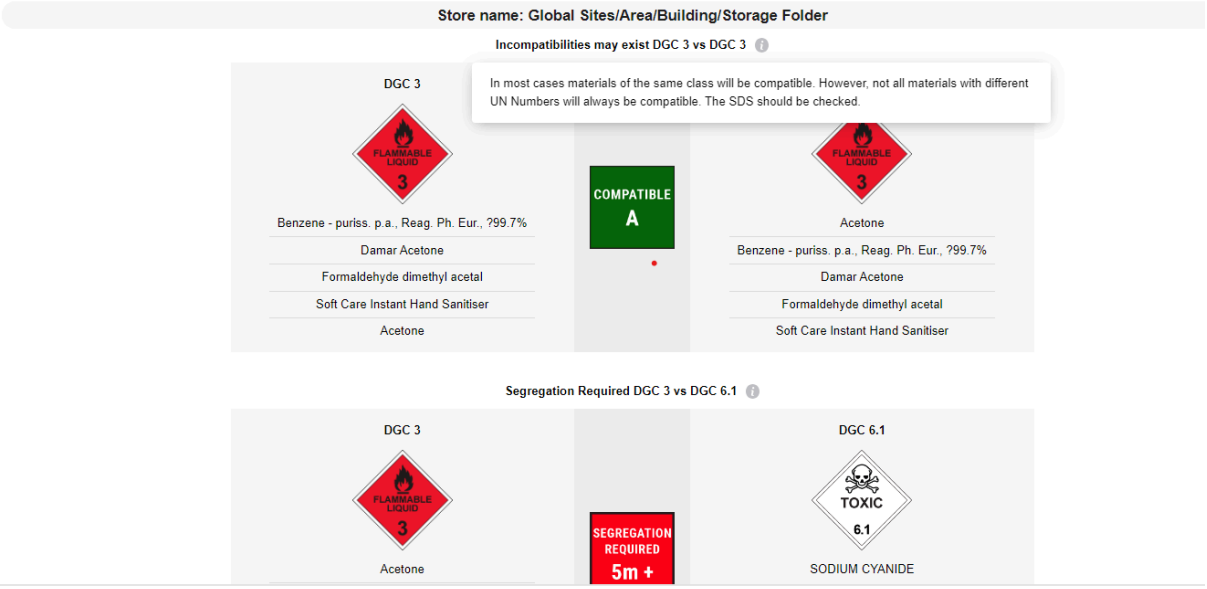
この「混触危険性レポート」では、危険物分類に基づく保管上の互換性や非互換性を提供しています。フォルダ内の製品が、同じフォルダに保存されている他の製品と照らし合わされ、危険物クラスに基づく混触危険性が算出されています。親フォルダのレポートを生成すると、それに属するサブフォルダに保存されている製品も、比較対象となります。レポートには、混触危険性を有する製品同士の隔離指示などが、アイコン を通じて表示されます。

混触危険性の程度には、以下の3つのカテゴリが使用されています。

- 混触危険性なし
- 混触危険性あり
- 隔離要

カテゴリ	概要
混触危険性なし	一般的に、危険物クラスが同じ製品同士の多くは、混触危険性を有しません。
混触危険性あり	危険物クラスが同じ製品同士の多くは混触危険性を有しますが、国連番号が異なる製品同士は、混触危険性を有する可能性もあります。保管・取扱い、安定性・反応性、廃棄に関する情報を、SDSでご確認いただくことが推奨されます。
隔離要	これらの化学品同士は、混触危険性の問題により、ある程度の距離を置き離して保管しなければなりません。このように、混触危険性を有する製品同士を物質を隔離することは、最も重要な管理手段のひとつです。化学品同士を隔離する方法には、距離を保つこと、障壁を設けること、別々の部屋や建物、外部タンクを使用することなどが含まれます。詳細な指示やガイダンスについては、SDSを参照してください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



危険有害性を有する製品同士が不適切に保管された場合、リスクが増加したり事故の影響を助長することがあるため、混触危険性は重要です。

種類	行動	使い方	注記
混触危険性レポート	フォルダ内の製品リストにフィルタをかけ、混触危険性を有する製品をリストアップする	フォルダ内の混触危険性に関するレポートを確認し、必要に応じて保管場所を調整し、保管要件を満たすことができます。	一般的に、フォルダ構造へのアクセス権を有するユーザーは、混触危険性レポートを印刷、共有、またはダウンロードし、対応を決定することができます。

隔離クラス

危険物を隔離するために、S1、S2、S3、S4、およびS5の、5種類の隔離（Segrigation）クラスが使用されています。隔離クラスの概要については、次の表をご確認ください。

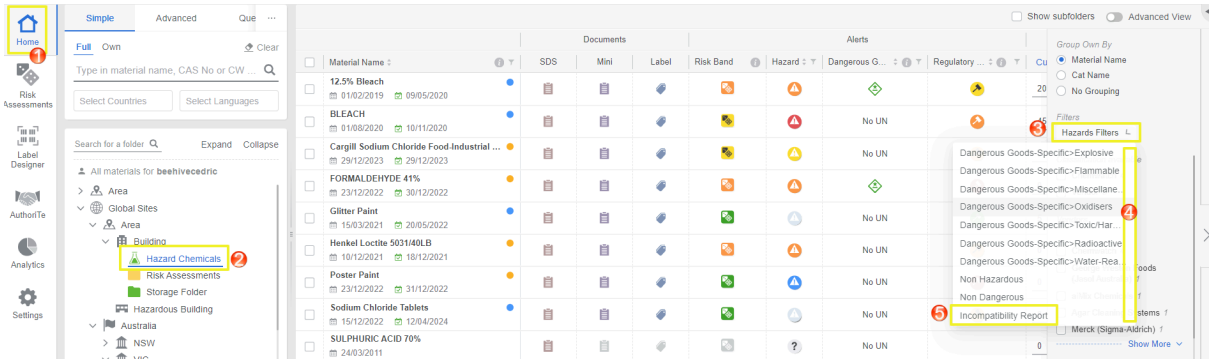
隔離クラス	隔離ガイダンス
S1	これらの危険物は、十分に換気された場所で3メートル以上離して保管してください。液体の危険物については、隔離距離を測定する際には、流出捕集エリアの端から距離を測定します。
S2	5メートル以上離して保管してください。危険物のひとつが液体である場合には、隔離距離は流出捕集エリアの端から測定します。複数の危険物が液体である場合には、種類ごとに別の流出捕集エリアを配置すること。
S3	容器等級IIIの危険物は3メートル以上、容器等級IIおよび Iの危険物、または反応性がある製品については、5メートル以上離して保管してください。両方が固体の場合には、隔離距離を最小で1メートルとしても構いません。一方が液体の場合、隔離距離は流出捕集エリアの端から測定します。
S4	隔離には、防火区画を使用することが推奨されます。有機過酸化物や高い引火性を持つクラス 4.2 の危険物については、別の独立した建物の使用を検討してください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

S5	クラス 4.3 の危険物は、水ベースの消火システムがない、別の独立した建物を使用して保管することが推奨されます。

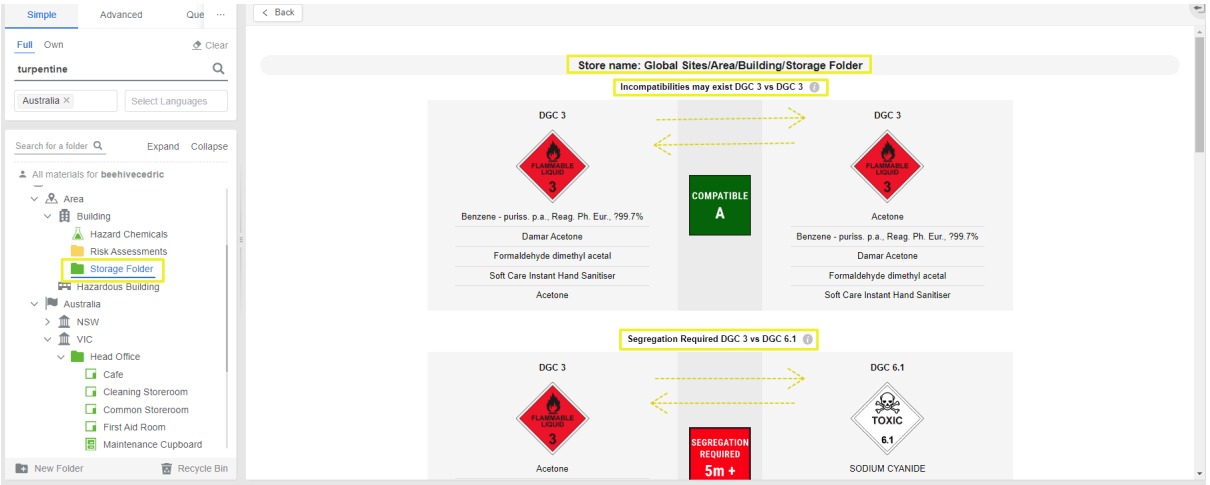
危険物の混触危険性情報に基づき、特定の危険性に関するレポートを作成する方法は、以下のとおりです。このレポートは、指定したフォルダに保存されている危険物に適用されます。

手順：混触危険性でフィルタをかける



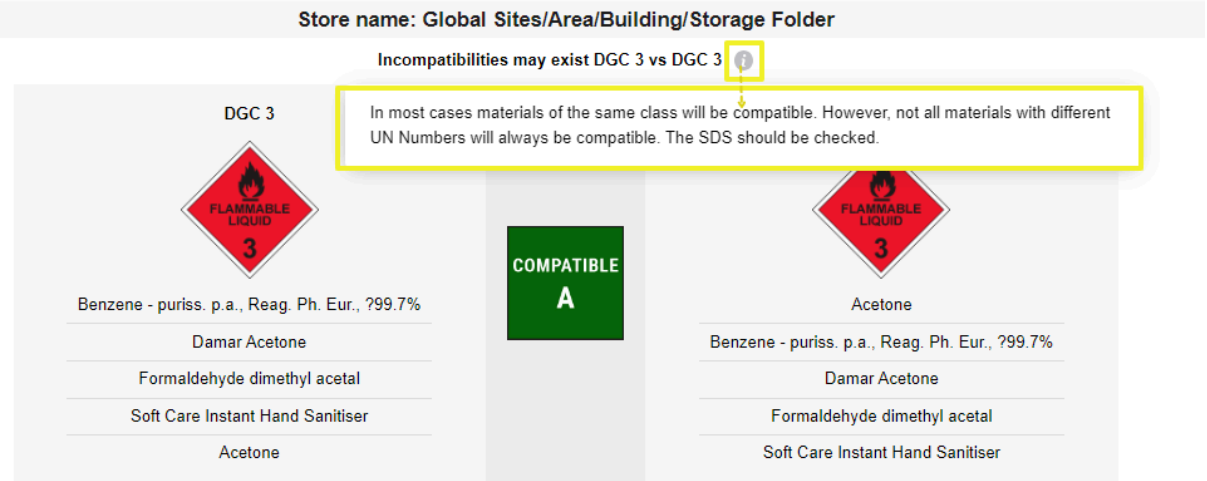
1. ホーム モジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品テーブルを表示させる。
3. 画面上部の法規制レポートのドロップダウンメニュー を開く。
4. 混触危険性レポートのオプションを選択する。

下の例では、混触危険性レポートに、選択したフォルダ内の危険物の混触危険性が表示されています。この評価の対象は、フォルダに保存されている製品のみです。



各製品は、行の右側にある製品と比較され、混触危険性がある場合には、隔離レベルがアイコンで表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



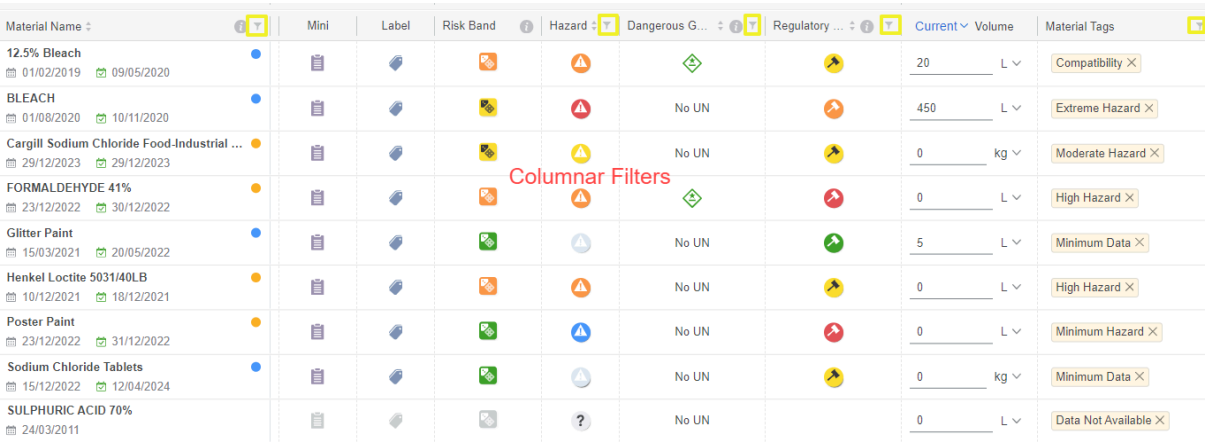
4.4 シンプルモード - 製品リストのフィルタリングと並べ替えリスト

この章では、シンプルモードの製品リスト内で製品をフィルタにかける方法を説明します。

- 製品名で製品をフィルタにかける
- 危険有害性で製品をフィルタにかける
- 危険物（容器等級）で製品をフィルタにかける
- 規制負担で製品をフィルタにかける
- 製品リストを並び替える

ホームモジュールのシンプルモードの製品リストには、特定の列ヘッダー内に複数のフィルタが含まれており、フォルダの製品リストから特定の情報を検索する際に使用できます。ユーザーは、次の方法でフィルタをかけることができます。

- 製品名
- 危険有害性のレベル
- 容器等級(PKG)
- 規制負担
- 製品タグ

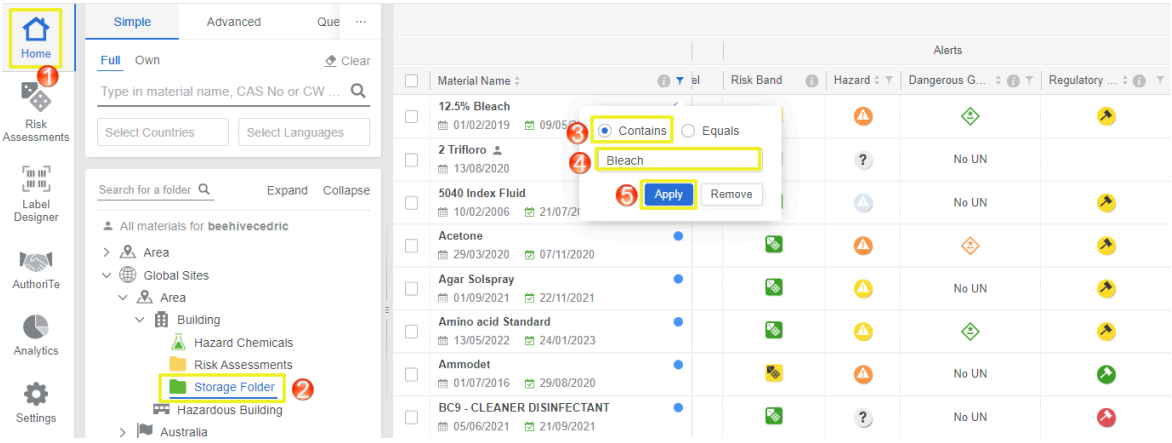


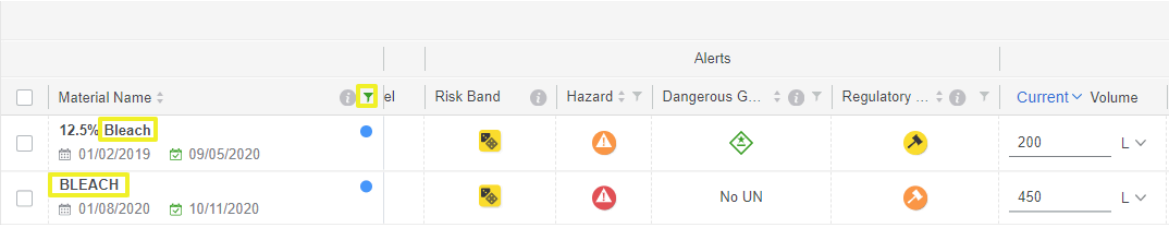
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.4.1 製品名で製品をフィルタにかける

製品名で製品リストをフィルタにかける方法は以下のとおりです。

フィルタ機能を使用していないときは、フィルタアイコンが灰色で表示されます。フィルタ機能が適用されている場合は、フィルタアイコンが緑色で表示されます。





1. ホームモジュールを開く
2. フォルダをクリックし、製品リストを表示する。
3. 列ヘッダーにある製品名のフィルタアイコン をクリックする。
4. 「指定の値を含む」もしくは「指定の値に等しい」をラジオボタンで選択する。
5. テキストボックスに、フィルタにかけたい製品名を入力する。
6. 適用ボタン Apply をクリックする。

フィルタリングされた結果には、製品リスト内で見つかった、検索用語や単語、あるいは製品名と完全に一致するすべての製品が表示される。

7. 緑色のフィルタアイコン をクリックする。
8. 削除ボタン Remove をクリックすると、フィルタがなくなり、フォルダ内の全製品が表示される。

4.4.2 危険有害性で製品をフィルタにかける

危険有害性の程度別に製品リストをフィルタにかける方法は以下のとおりです。

フィルタ機能を使用していないときは、フィルタアイコンが灰色で表示されます。フィルタ機能が適用されている場合は、フィルタアイコンが緑色で表示されます。

1. ホームモジュールを開く。

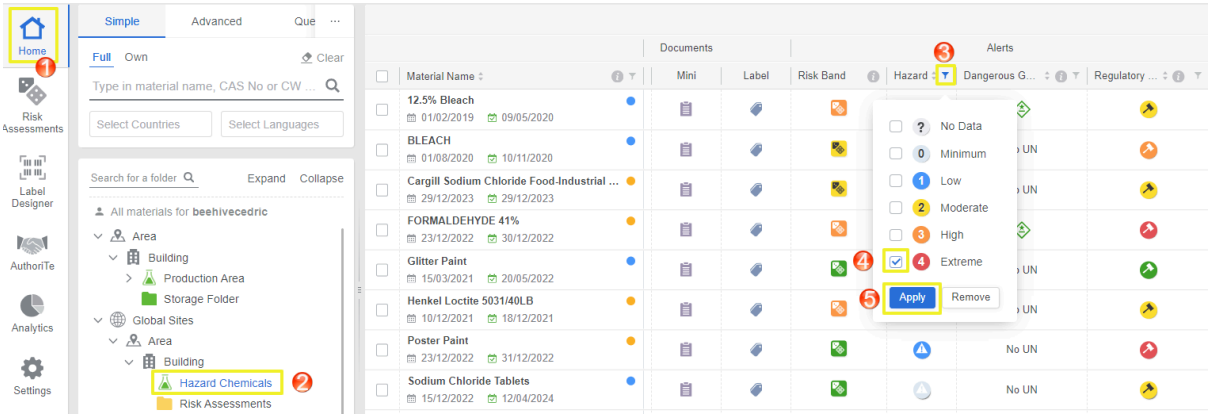
5. 適用ボタン Apply をクリックする。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

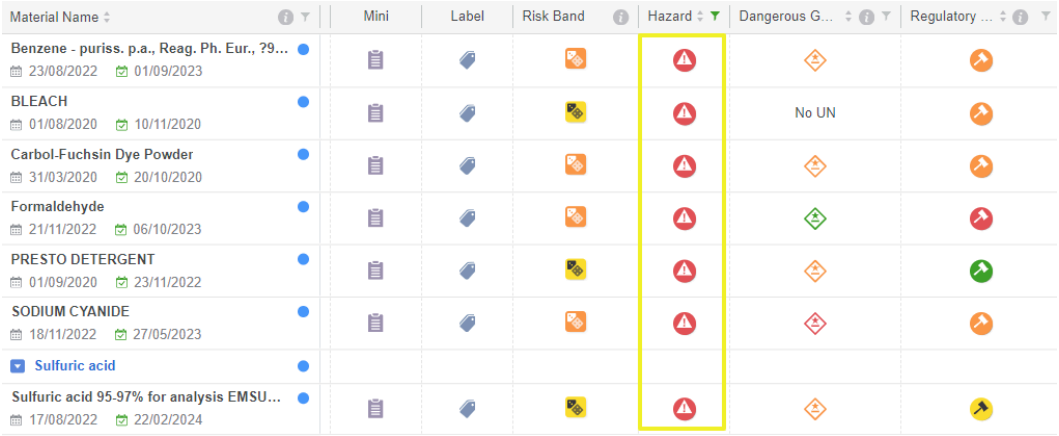
2. フォルダをクリックし、製品リストを開く。
3. 列ヘッダーにある危険有害性フィルタのアイコン をクリックする。
4. 例えば、極めて危険有害性が高い製品をフィルタにかけたい場合、危険有害性のチェックボックスで「極めて高い」を選択する。

フィルタリングされた結果には、フォルダ内の全製品から、適用したフィルタに該当する製品が全て表示される。

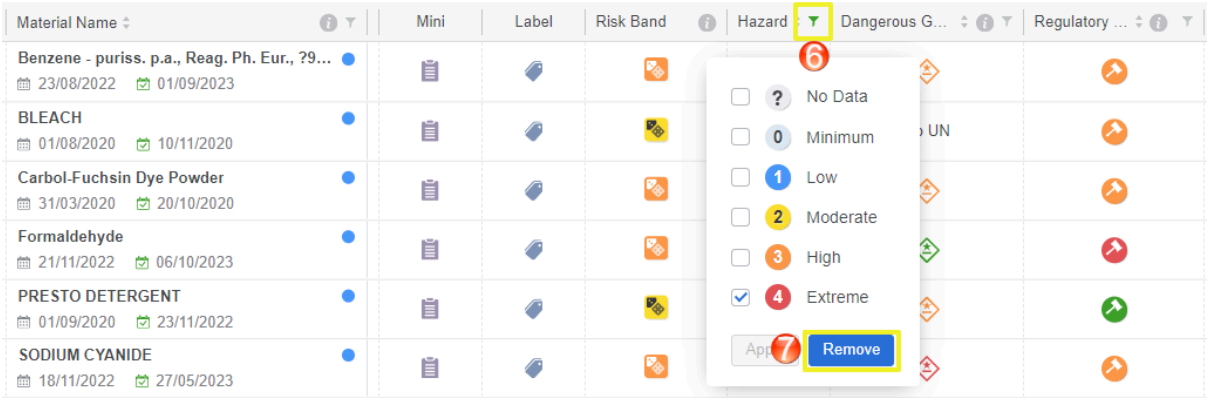
6. 緑色のフィルタアイコン をクリックする。
7. 削除ボタン Remove をクリックすると、フィルタがなくなり、フォルダ内の全製品が表示される。



フォルダ内の極めて高い危険有害性に該当する製品のみが表示されます。



フィルタ条件を削除すると、元の製品リストに戻ります。



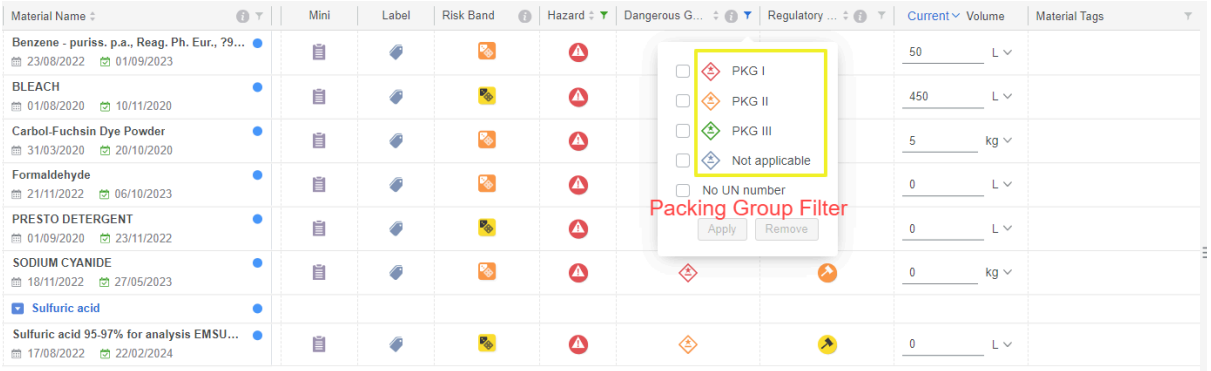
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4.4.3 危険物(PKG)で製品をフィルタにかける

次の手順では、危険物の容器等級 (PKG) 別に製品をフィルタにかける方法を説明しています。危険物輸送の容器等級では、危険物質をその危険性の程度に基づいて分類されます。主な容器等級は次の 3 つです。

- 容器等級 I
- 容器等級 II
- 容器等級 III

追加した製品リストの容器等級(PKG) によるフィルタ機能

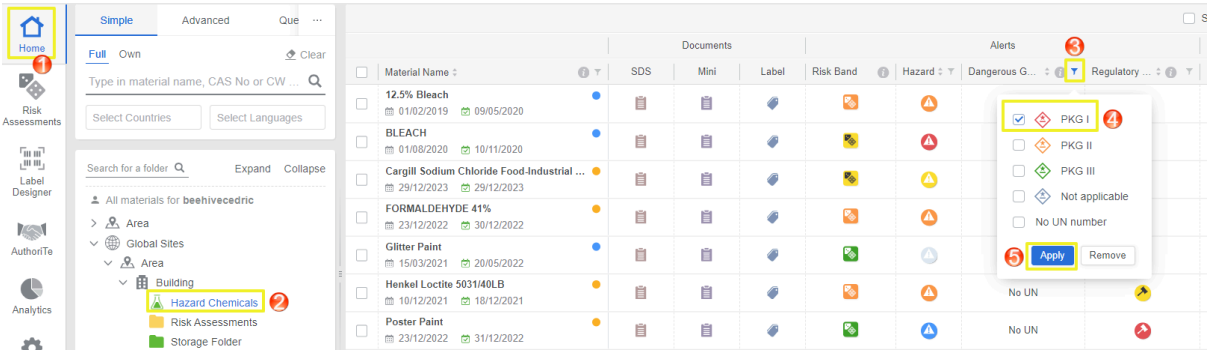


容器等級の概要

容器等級	危険度	概要	アイコン	例
PKG I	高い	最も危険なレベルで、安全性を確保するために、最も厳格な梱包基準が必要です。		非常に高い可燃性の液体、腐食性、極めて高い有毒性
PKG II	中程度	中程度の危険性を伴うレベルで、リスクを軽減するため、堅牢な梱包が必要です。		可燃性液体、中程度の毒性、中程度の腐食性
PKG III	低い	輸送中に発生しうるリスクが低いため、梱包要件は厳しくありませんが、安全性の確保が必要です。		軽度の可燃性液体、軽度の毒性、わずかな腐食性
Not Applicable	該当しない	どの容器等級にも分類されていません。		一部のクラスには容器等級がありません。(例: DGC 2、6.2、7)

以下の手順は、製品リストの危険物列のフィルタ機能を使用し、容器等級別にフォルダ内の製品をフィルタにかける方法を説明しています。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

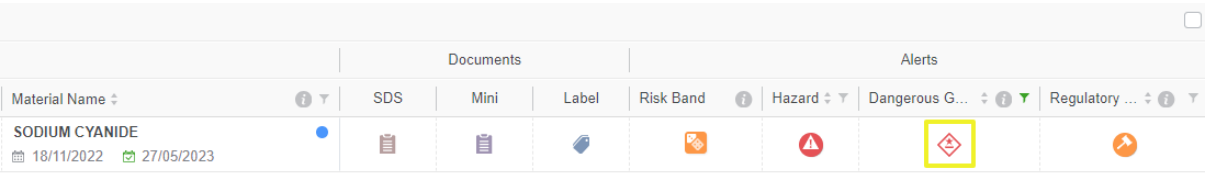


1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品リストを開く。
3. 列ヘッダーにある危険物フィルタのアイコン をクリックする。
4. チェックボックスで容器等級を選択する。
5. 適用ボタン Apply をクリックする。

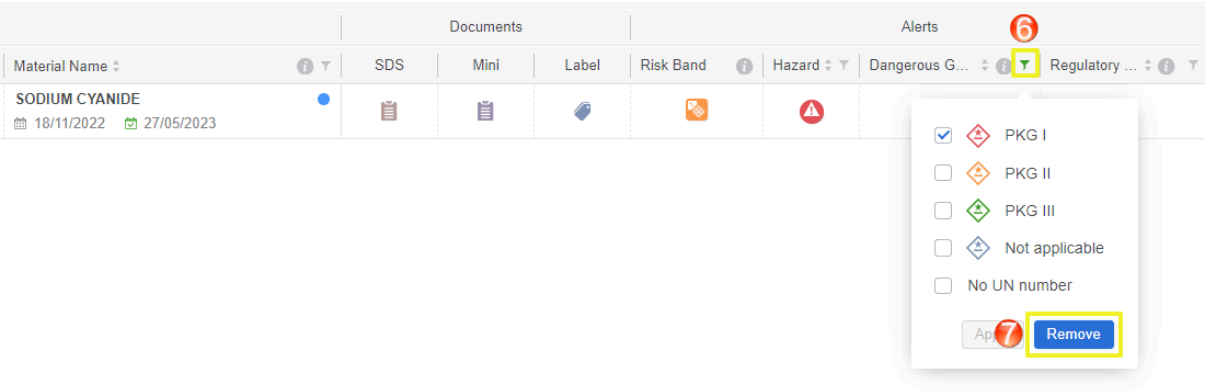
フィルタリングされた結果には、フォルダ内の全製品から、適用したフィルタに該当する製品が全て表示される。

6. 緑色のフィルタアイコン をクリックする。
7. 削除ボタン Remove をクリックすると、フィルタがなくなり、フォルダ内の全製品が表示される。

フィルタをかけたリスト



元の製品リストに戻る

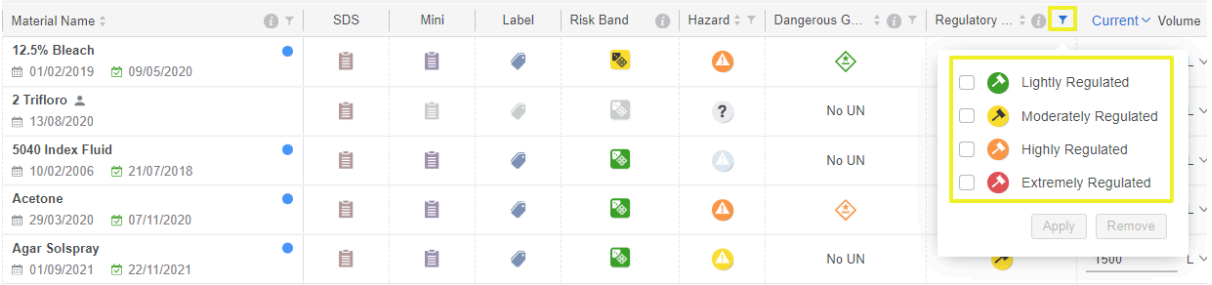


4.4.4 規制負担で製品をフィルタにかける

規制負担とは、ある製品が法規制リストにどれだけ多く記載されているかを示しており、規制の厳しさをレベルに分けて表示します。このスコアは、製品成分とその成分が各種の規制リスト（禁止リストや推奨リスト等）にどれだけ頻繁に登場するかに基づいて算出

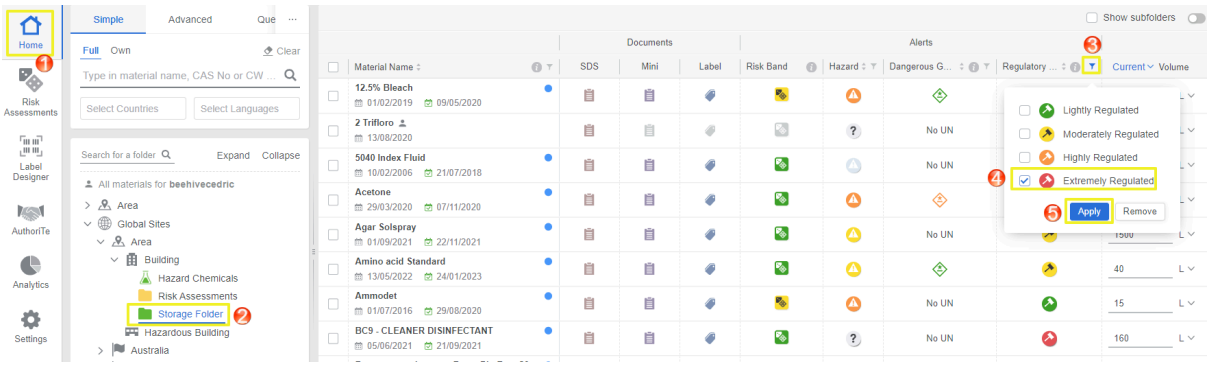
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

されます。このケムウォッチ番号（CW番号）やSDS（安全データシート）に関連する規制負担は、それぞれ異なるリスクバンドに分類されており、その重要性のレベルを示すため、色分けされた小槌のアイコンで示されます。このアイコンは、フォルダの製品リスト内で表示され、各製品の規制レベルを一目で把握できます。



規制負担のアイコン	色	規制負担のレベル
	赤	極めて厳しい
	オレンジ	厳しい
	黄色	中程度
	緑	軽度

製品リスト内の規制負担列のフィルタリング機能を使用して、規制負担のレベルごとに製品をフィルタにかける方法は以下のとおりです。



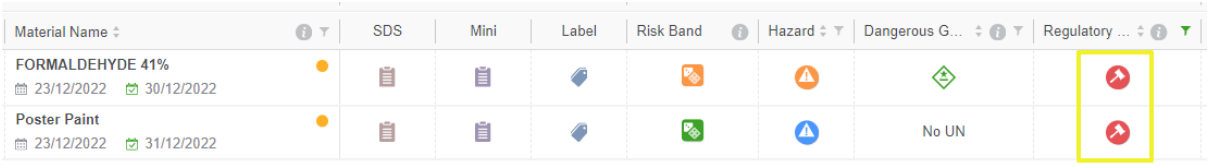
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品リストを開く。
3. 列ヘッダーにある規制負担フィルタのアイコン をクリックする。
4. 任意の色分けされた規制負担のチェックボックスをクリックする。
5. 適用ボタン Apply をクリックすると、選択した規制負担レベルで製品をフィルタにかけることができる。

フィルタリングされた結果には、フォルダ内の全製品から、適用したフィルタに該当する製品が全て表示される。

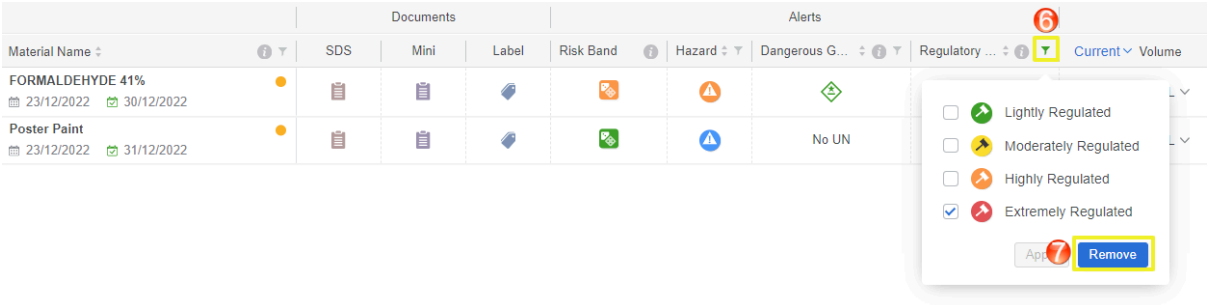
6. 緑色のフィルタアイコン をクリックする。
7. 削除ボタン Remove をクリックすると、フィルタがなくなり、フォルダ内の全製品が表示される。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

極めて厳しい規制負担のリスト



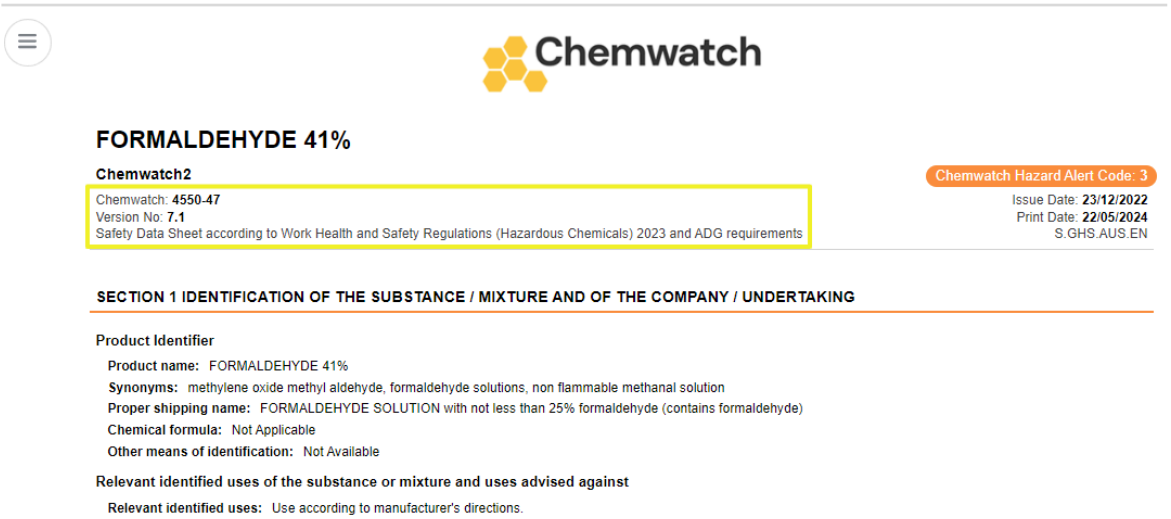
元の製品リストに戻る



この規制負担は、化学製品に対する独自の評価指標であり、その製品を取り巻く規制の程度を色分けされたアイコンで表したものです。単純な定量的指標で算出され、製品がどの程度厳しく規制されているかをユーザーが一目で把握できるよう、一つの目安として提供しております。

例えば、選択した製品「CW#4550-47」のゴールドSDSのセクション15(規制情報) には、物質または混合物の安全、健康、環境に関する規制または法律の具体的なリストが表示されます。

セクション1: 製品の識別情報



セクション15: 適用法令の情報

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

SECTION 15 REGULATORY INFORMATION

Safety, health and environmental regulations / legislation specific for the substance or mixture

formaldehyde is found on the following regulatory lists

- Australian Inventory of Industrial Chemicals (AIIC)
- Australia Standard for the Uniform Scheduling of Medicines and Poisons (SUSMP) - Schedule 2
- Australia Standard for the Uniform Scheduling of Medicines and Poisons (SUSMP) - Schedule 10 / Appendix C
- Australia Hazardous Chemical Information System (HCIS) - Hazardous Chemicals
- International Agency for Research on Cancer (IARC) - Agents Classified by the IARC Monographs - Group 1: Carcinogenic to humans
- International Agency for Research on Cancer (IARC) - Agents Classified by the IARC Monographs
- Chemical Footprint Project - Chemicals of High Concern List

methanol is found on the following regulatory lists

- Australian Inventory of Industrial Chemicals (AIIC)
- Australia Standard for the Uniform Scheduling of Medicines and Poisons (SUSMP) - Schedule 5
- Australia Standard for the Uniform Scheduling of Medicines and Poisons (SUSMP) - Schedule 6
- Australia Standard for the Uniform Scheduling of Medicines and Poisons (SUSMP) - Schedule 10 / Appendix C
- Australia Hazardous Chemical Information System (HCIS) - Hazardous Chemicals
- Chemical Footprint Project - Chemicals of High Concern List

formic acid is found on the following regulatory lists

- Australian Inventory of Industrial Chemicals (AIIC)
- Australia Standard for the Uniform Scheduling of Medicines and Poisons (SUSMP) - Schedule 5
- Australia Hazardous Chemical Information System (HCIS) - Hazardous Chemicals

water is found on the following regulatory lists

- Australian Inventory of Industrial Chemicals (AIIC)

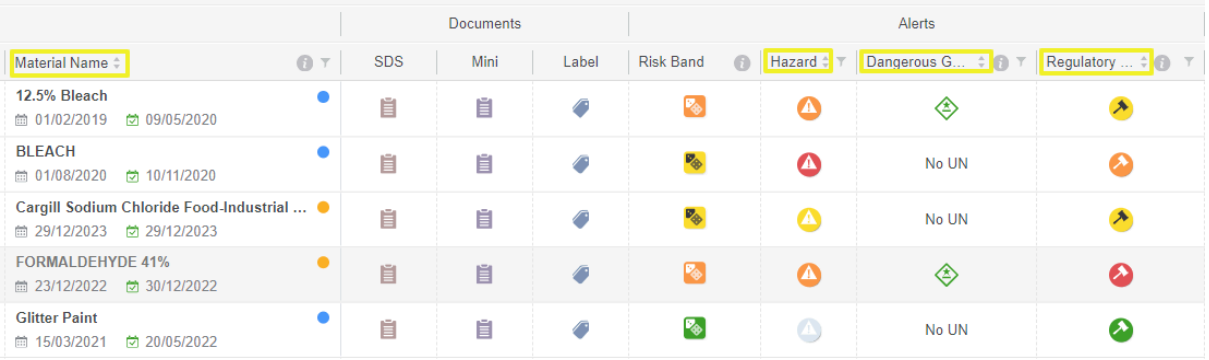
National Inventory Status

National Inventory	Status
Australia - AIIC / Australia Non-Industrial Use	Yes
Canada - DSL	Yes
Canada - NDSL	No (formaldehyde, methanol, formic acid, water)
China - IECSC	Yes
Europe - EINEC / ELINCS / NLP	Yes
Japan - ENCS	Yes

4.4.5 製品名列ヘッダーでリストを並べ替える

下記の列は昇順または降順で並べ替えることができ、製品テーブルを体系的に整理し、任意の製品を簡単に特定、参照できるようにします。

- 製品名
- 危険有害性
- 危険物
- 規制負担

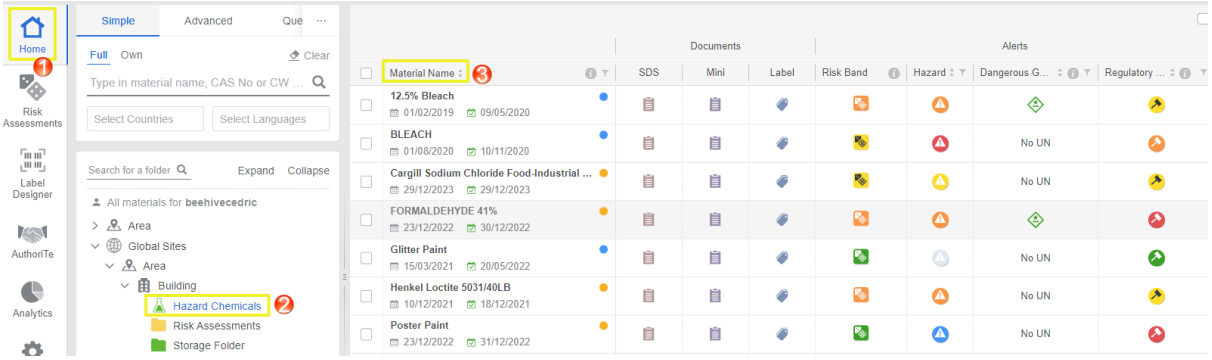


アイコン	概要
昇順	列ヘッダー名を使用し、リストを昇順で並べ替え、リスト項目を英数字順に並べます。
降順	列ヘッダー名を使用し、リストを降順で並べ替え、リスト項目を英数字順に並べます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

フォルダ内の製品テーブルを昇順または降順で並べ替える方法は下記のとおりです。

手順: 製品名から製品テーブルを並び替える



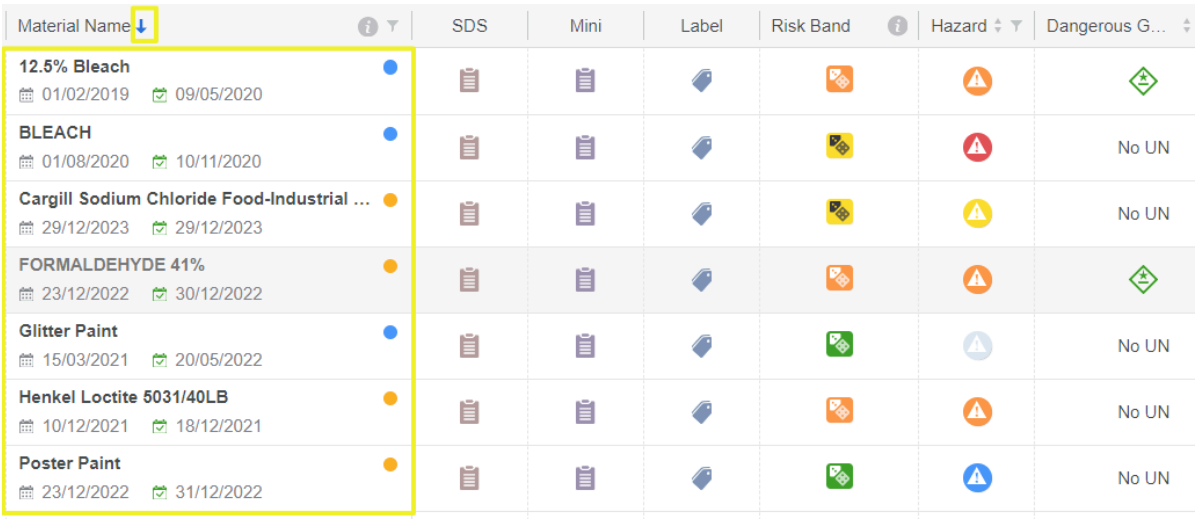
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品テーブルを開く。
3. 製品名ヘッダーの横にある矢印アイコンをクリックし、昇順または降順で並べ替える。

Material Name

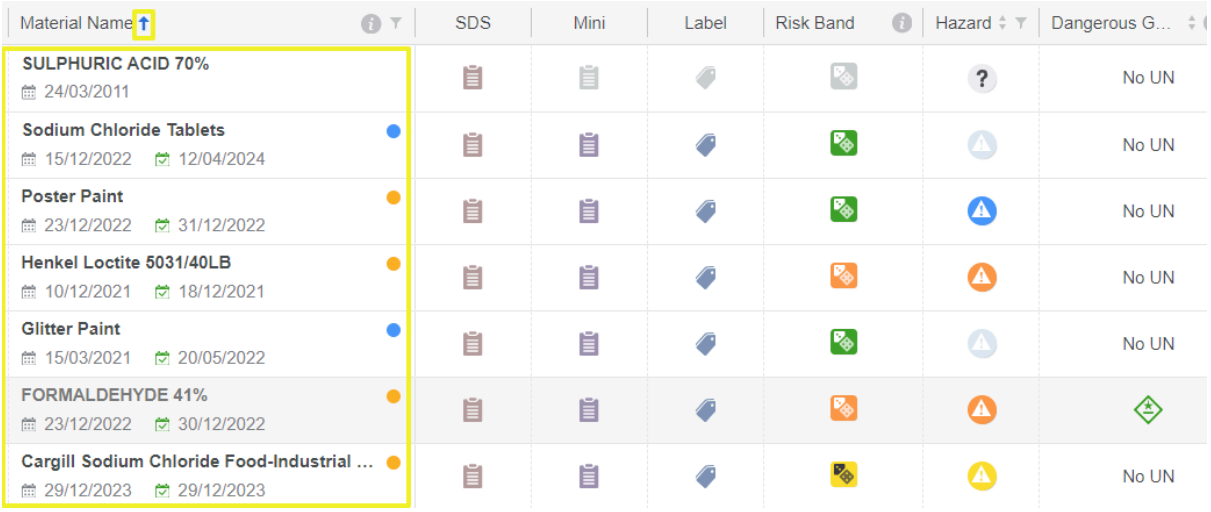
結果には、製品テーブルが英数字順に並べ替えられ表示されます。

4. 製品名ヘッダーの横にある矢印を再度クリックすると、昇順 ↑ または降順 ↓ が入れ替わる。

Material Name ↓



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



4.4.6 化学品の保存先フォルダを追跡

この章では、フォルダツリー内で化学品が保存されている場所を特定するための追跡機能について説明します。

- 化学品の保存先フォルダを追跡する
- 製品の保存先フォルダを追跡する

この章で学ぶこと

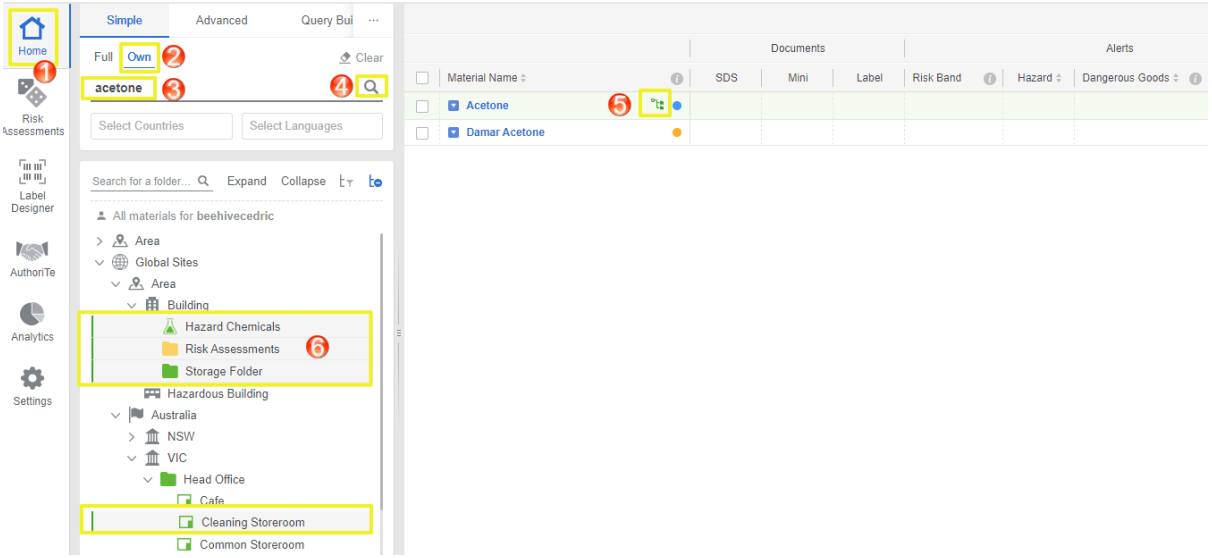
製品／化学品が追加されているフォルダの追跡機能は、現在、製品が保管されているフォルダの確認や見直しに役立ちます。追跡機能は、化学品が保管されているフォルダ全体を当システムで管理しているユーザーや担当者にとって役立ちます。このセクションでは、化学品と製品を追跡する方法をご説明します。化学品を追跡するには、追跡前にフォルダ内に製品／化学品が追加する必要があります。製品／化学品を追跡 して、フォルダ ツリー内の保管場所を特定する方法は下記のとおりです。

手順: 自己から製品SDSを検索して追跡する

1. ホームモジュールを開く。
2. 自己を選択し、検索をフォルダツリー内に指定する。
3. 検索のテキストボックスに製品名を入力する。
4. 眼鏡アイコン をクリックし、検索をかける。
5. 検索結果リストの製品名の右横にある追跡アイコンをクリックする。
6. ツリー内の識別されたフォルダをクリックすると、そのフォルダの製品リストが表示され、追跡された化学品がそのフォルダ内に存在しているかどうかを確認できる。

CW番号でグループ化しており、尚且つ同じ製品名の化学品が複数ある場合は、製品名左横の展開矢印をクリックし、追跡したい製品を選ぶ必要がある。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



化学品／製品が在庫にある場合、ツリー構造内でフォルダーが識別（強調表示）されます。追跡機能を削除するには、ツリーヘッダー内の追跡解除アイコンを使用します。

4.4.7 製品に注釈を追加する

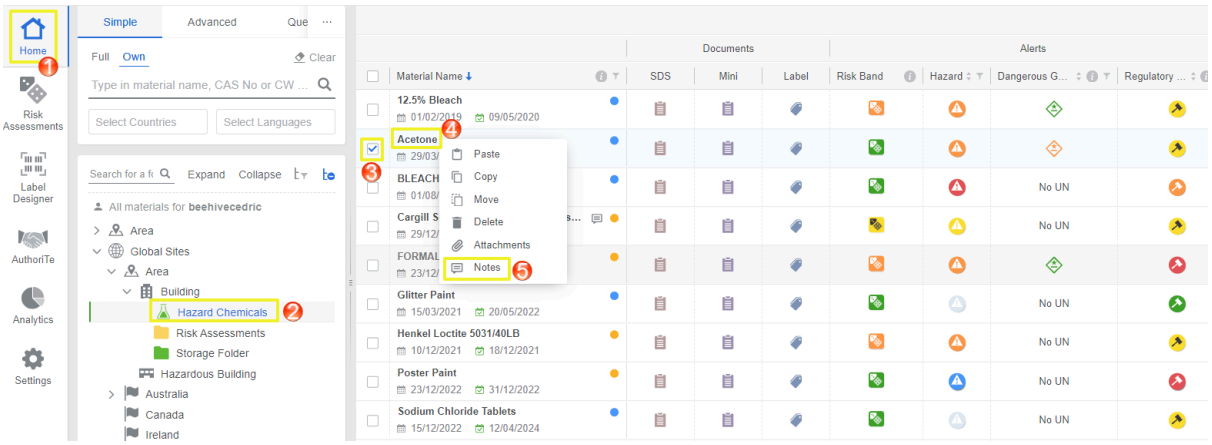
フォルダ内の化学品に一般的なメモまたはケムウォッチSDSメモを追加することができます。メモが追加されると、以下に示すように、製品名セル内の製品名の右横にメモのアイコン が表示されます。

注釈の種類	概要
一般的な注釈 General Notes	これを使用すると、化学品に関してユーザーに通知したい情報をメモとして追加できます。
ケムウォッチSDSメモ Chemwatch SDS Notes	これを使用すると、ゴールドSDS に情報を追加できます。

化学品に一般的なメモを追加する方法は下記のとおりです。

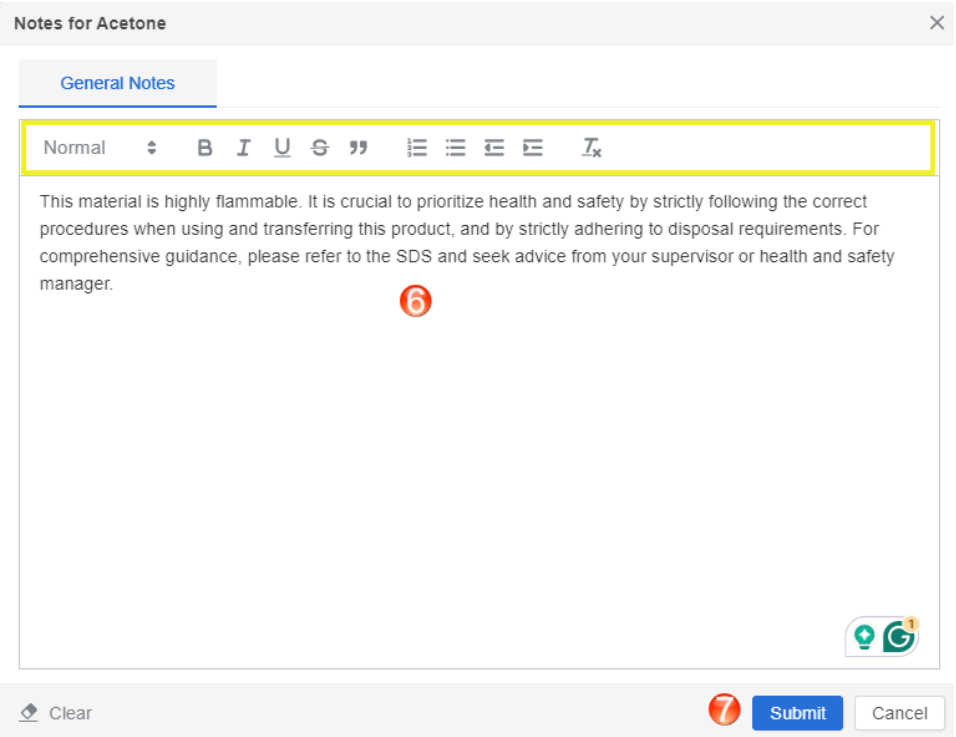
手順: 化学品にメモを追加する方法

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



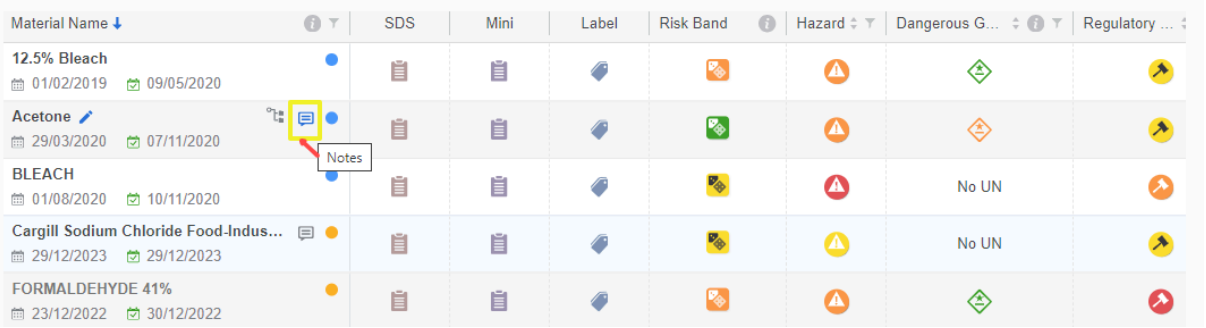
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品テーブルを表示させる。
3. 製品（横に青丸のアイコン ● がある製品）のチェックボックスを選択する。
4. 製品名を右クリックする。
5. メニューバーから「注：」を選択し、メモウィンドウを開く。
6. ウィンドウ内で情報を入力、編集してメモを追加する。
7. 送信ボタン Submit をクリックし、メモを保存する。

製品名の右横に「メモ」アイコン が表示される。

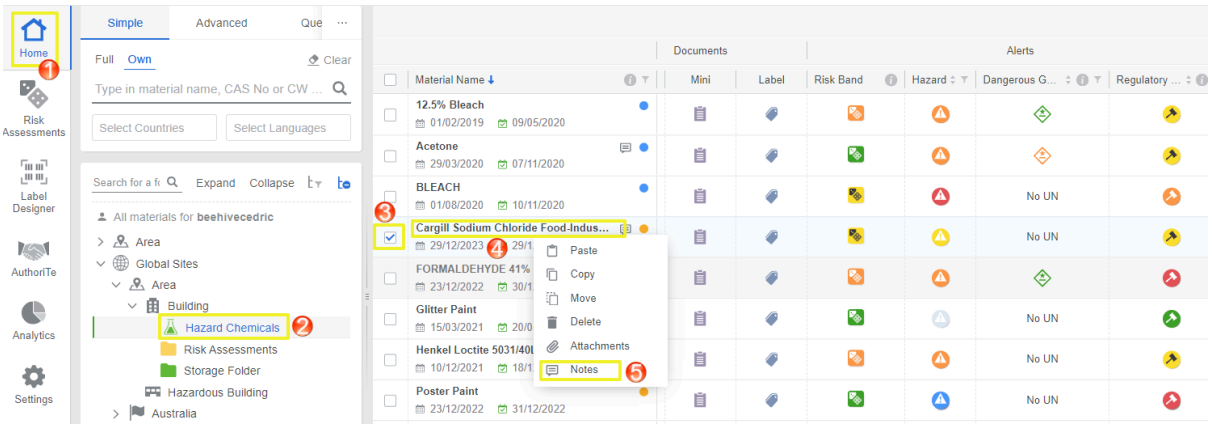


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

製品名の横にメモアイコンが表示される



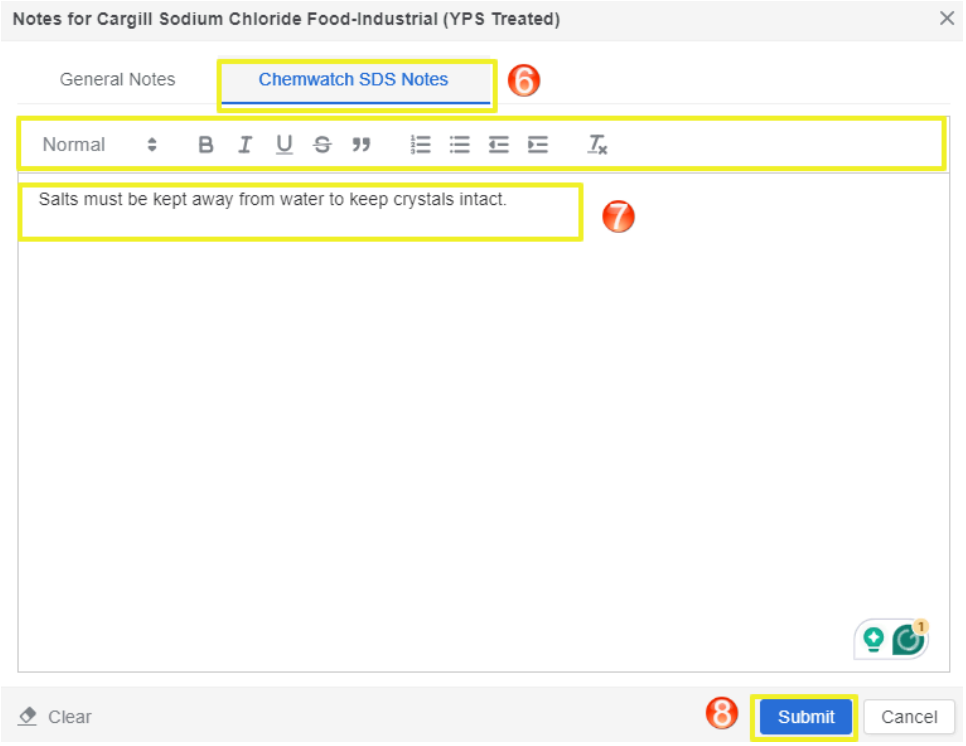
手順:ケムウォッチSDSメモを追加する



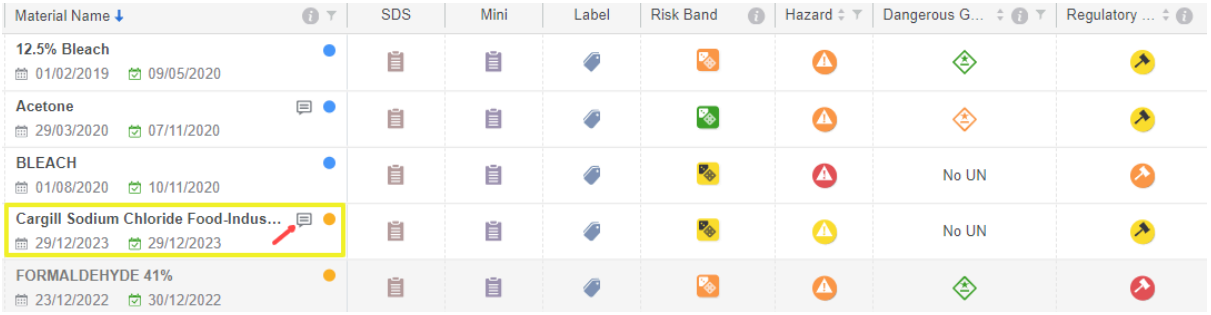
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品テーブルを表示させる。
3. 製品(橙丸のアイコン ● がある製品)のチェックボックスを選択する。
4. 製品名を右クリックする。
5. メニューバーから「注:」 を選択し、メモウィンドウを開く。
6. ケムウォッチSDSメモのタブをクリックする。
7. ウィンドウ内で情報を入力、編集してメモを追加する。
8. 送信ボタン Submit をクリックし、メモを保存する

製品名の右横に「メモ」アイコン が表示される。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



製品名の横にメモアイコンが表示される



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

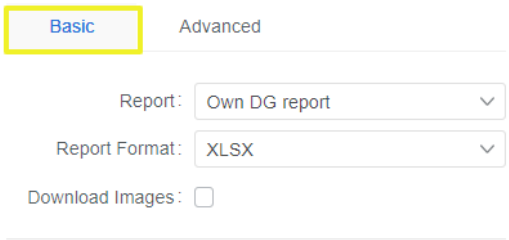
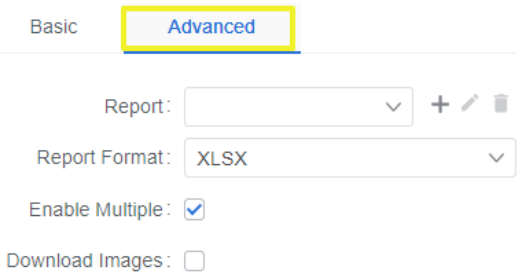
5.0 テンプレートを作成して、レポートを出力する

この章では、以下のトピックについてご説明を差し上げます。

- レポートの基本テンプレート
- ユーザー定義テンプレート
- ユーザー定義テンプレートを使用して、データを出力する
- レポートにスタイルを適用する
- メソッドビルダのクイック検索を使用して、データポイントを見つける

この章で学ぶこと

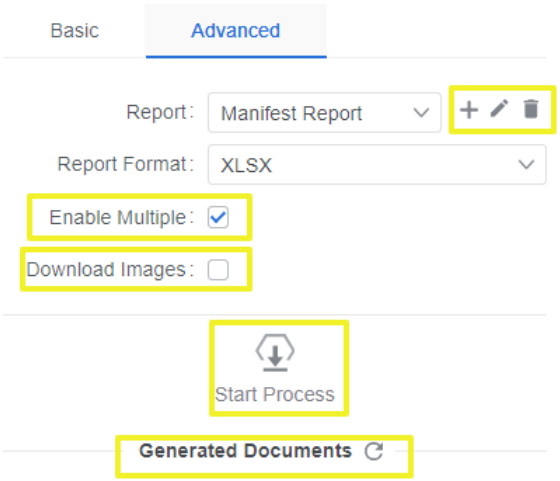
レポート生成機能では、基本モードか詳細モードで、デフォルトまたはカスタムテンプレートを使用して、データを指定した形式で出力していただけます。出力されたデータは、フィルタがけ、並べ替え、または集計などの分析にご利用いただけます。このレポート生成機能は、さまざまなファイルの形式に対応しています。

基本モード	詳細モード
基本モードには、あらかじめ定義されたテンプレートが用意されています。	詳細モードでは、ユーザーがデータポイントを選択して、独自のテンプレートを作成し、レポートを出力していただけます。
● 自己フォルダの危険物レポート ● 危険有害性評価 ● 製品 ● 自己フォルダの保管量と場所	マニフェスト関連のデータポイントには、商品名、ベンダー名、SDSの発行日、GHSの危険有害性区分、体積／重量、フォルダの場所、危険物クラスなど、さまざまな項目が含まれます。
	
ファイルの形式： ● XLSX ● XLS ● CSV ● XML ● HTML ● 書式テンプレート（XLSX）	ファイルの形式： ● XLSX ● XLS ● CSV ● XML ● HTML

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

レポート生成機能の全範囲をご利用いただくには、適切な権限が必要となります。詳細については、アカウント管理者までお問い合わせください。

詳細レポートタブ



作成したカスタムテンプレートは、詳細モードのドロップダウンリストに保存されます。後日このテンプレート名を選択し、以前指定しておいたデータポイントを使用して、異なるレポートを出力することが可能です。「複数可」にチェックを入れておくと、同じケムウォッチ番号が割り当てられた複数製品について、複数行のレコードが出力される場合があります。「画像をダウンロード」にチェックを入れると、保護具のアイコンやGHSの絵表示など、製品の分類に基づいた画像が出力されたレポートに含まれるようになります。

要素	説明	用途
レポートの追加 +	テンプレートの新規作成	ユーザー自身がデータポイントを割り当てて、指定した形式でデータを出力するための、新しいテンプレートを作成します。
編集	既存のテンプレートの編集	以前に作成したテンプレートに含まれているデータポイントの、変更、追加または削除を行います。
ゴミ箱	テンプレートの削除	必要のない既存のテンプレートを、削除します。
プロセス開始	ファイルのダウンロード	ダウンロードされたファイルはここにしばらく表示され、瞬時の印刷、共有、または外部ドライブなどへのダウンロードが可能となります。

5.1 基本テンプレートを使用して、レポートを生成する

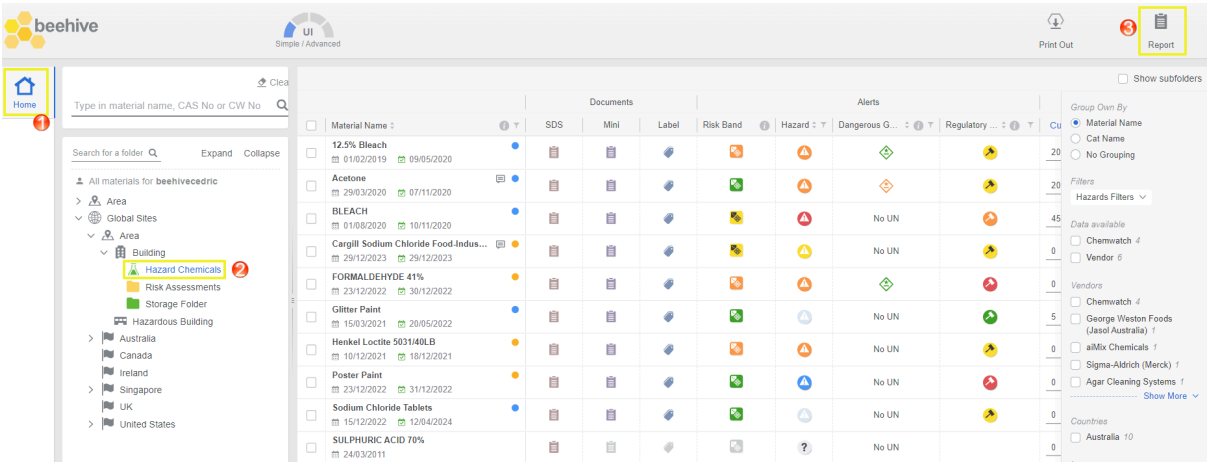
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

基本タブには、ケムウォッチが作成した、デフォルトのテンプレートが掲載されています。基本テンプレートに含まれるデータポイントについては、下の表をご確認ください。

基本テンプレート	レポートの概要	データポイント
自己危険物レポート	自己危険物レポートは、選択したフォルダに保存されている製品の在庫に基づき生成されます。	国連番号、製品名、GHS Hコード、品名、危険物クラス、Hazchem、容器等級、場所
危険有害性評価	危険有害性評価レポートは、自己フォルダに保存されている製品について、ケムウォッチの危険有害性評価に基づき生成されます。危険有害性が評価できない製品については、レポートの該当欄に「不明」と表示されます。	製品名、ベンダー、GHS分類、危険有害性評価、ゴールドSDSの発行日（最新）、現在量、現在量の単位、最大量、最大量の単位、危険物クラス、SUSMP毒物スケジュール、CAS番号、場所
製品	ご自身のフォルダに保存されている製品のリストです。	ケムウォッチ番号、製品名、製品番号、優先名、ゴールドSDS発行日（最新）
保管量／場所	ご自身のフォルダに保存されている製品の、保管量および場所のリストです。	ケムウォッチ番号、製品名、カタログ名、現在量、現在量の単位、最大量、最大量の単位、危険物クラス、Hazchem、容器等級、場所

基本テンプレートを使用してデータをエクセルのワークシートに出力する方法は、次のとおりです。この例では、在庫品が保存されているフォルダのデータを出力しています。

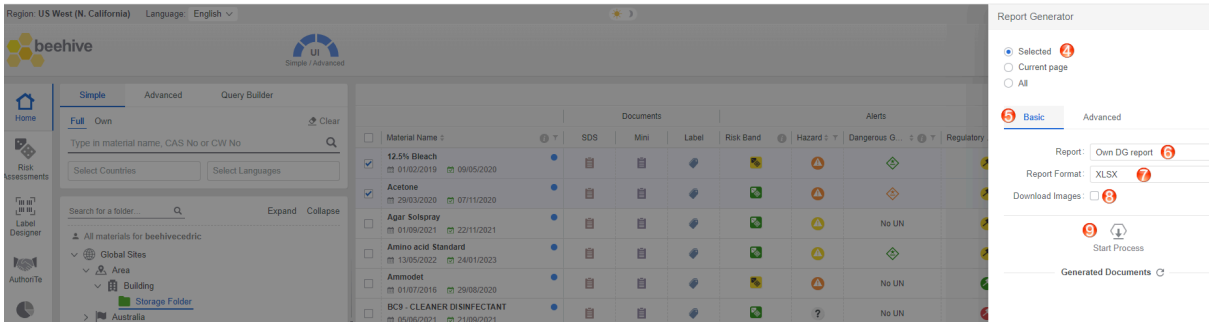
手順：基本テンプレートを使用して、レポートを生成する

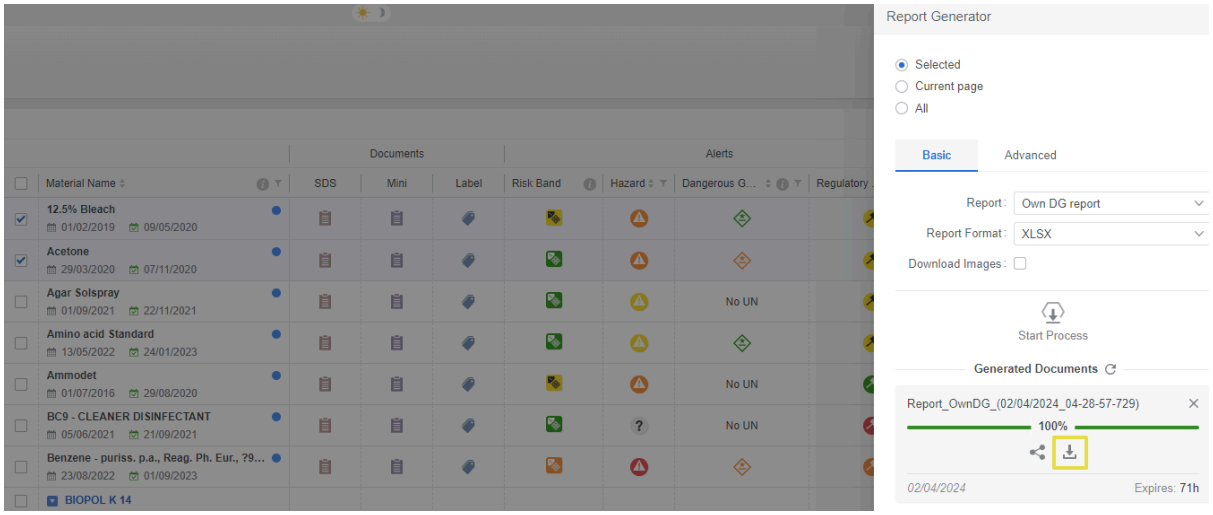


1. ホーム モジュールを開く
2. フォルダをクリックして製品を表示し、出力したい製品のチェックボックスに印を付ける
6. ドロップダウンメニューから、適切なレポート名を選択し、ファイル形式を次から選択します（**xlsx**, xls, csv, xml, html, 書式テンプレートxlsx）

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

3. 表示画面右上の、レポート生成ボタン をクリックする。
4. 選択済のラジオボタンがデフォルトで選択されていることにご注目ください。
5. 基本タブを選択する
7. オプション：画像のデータポイントを含むレポートを出力する場合には、画像をダウンロードにチェックを入れる。
8. プロセス開始 ボタンをクリックする
9. 進捗バーが100%まで進み、プロセスが完了するまで待つ
10. ダウンロードボタンをクリックする
11. ダウンロードされたファイルを保存する





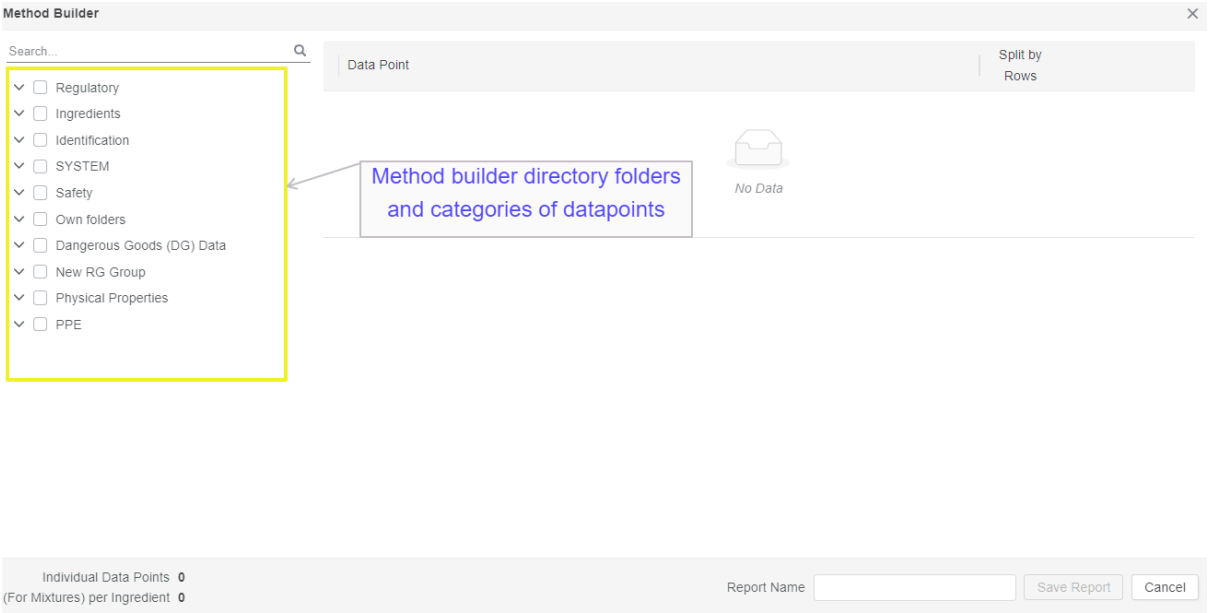
レポートを、ご自身のデバイスに保存する

5.2 詳細タブでテンプレートを作成して、レポートを出力する

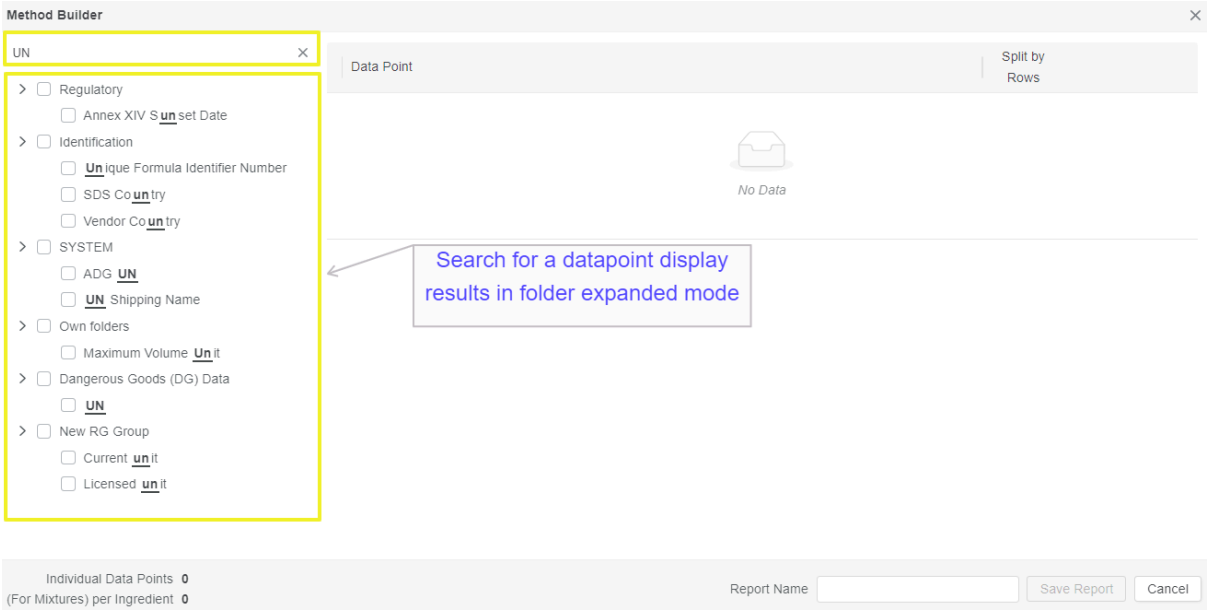
詳細タブは、適切なレポート生成機能関連の権限を持つユーザーのみのご利用が可能です。新しいユーザー定義テンプレートを作成したり、既存のテンプレートを編集してレポートを出力することができます。テンプレートは、メソッドビルダに掲載されているデータポイントを使用し

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

て作成します。メソッドビルダには、データポイントの検索機能も含まれています。ご利用いただいたデータポイントが見つかったら、それを選択し、テンプレートに追加してください。



メソッドビルダの検索機能には、2文字の検索機能が導入され、データポイントの検索が容易になりました。「UN」などの2文字以上の検索語を入力すると、その検索語を含むデータポイント名が表示されます。



マニフェスト関連のデータポイントには、以下が含まれます：

- 製品名
- 商品名
- ベンダー
- 場所
- GHS分類
- 危険物クラス

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

- サプライヤ
- 体積／重量（量）
- SDSの発行日
- 容器等級
- Hazchem
- 国連番号

その他の便利なデータポイント：

- 成分
- GHS注意喚起後
- GHS Hコード
- GHS絵表示
- GHS分類
- 付属書XIV日没日
- GHS分類（ニュージーランド）
- GHS HNOC
- 危険物クラス
- GHS危険有害性情報
- 保護具のシンボル

マニフェスト関連データポイントの概要

データポイント	概要
製品名	ケムウォッチのデータベースに登録された製品の名称。すべての製品名には、ケムウォッチ番号（CW No.）が付与されています。
ベンダー	製品の安全データシートを作成した企業。
場所	フォルダツリー内のフォルダが存在する場所を特定するための、フォルダ名と参照先。
初回SDS日付	最も古いバージョンの安全データシートに付与された日付け。
ゴールドSDS発行日（最新）	ケムウォッチが作成したゴールドSDSの最新の発行日。
現在量	容器やバルクコンテナに保管された化学品の現在の量。
現在量の単位	現在量に適用される単位（メートル法、帝国単位、帝国（米国）単位）
ライセンス量	現場に保管することが許可された化学品の量。
最大量	製品の最大保管量。最大量を現在量より少なくすることはできません。
最大量の単位	最大量に適用される単位（メートル法、帝国単位、帝国（米国）単位）
危険物クラス	最も優先される、危険物の等級。輸送などの際に使用されます。
容器等級	危険物の輸送や保管において、化学品が呈する危険の程度。IかIIかIIIのいずれかに分類されます。

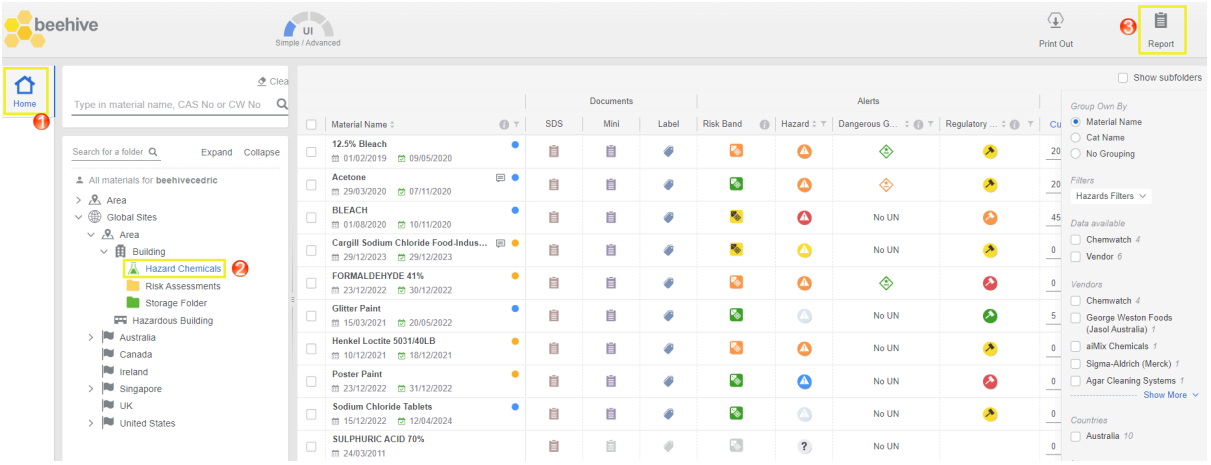
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

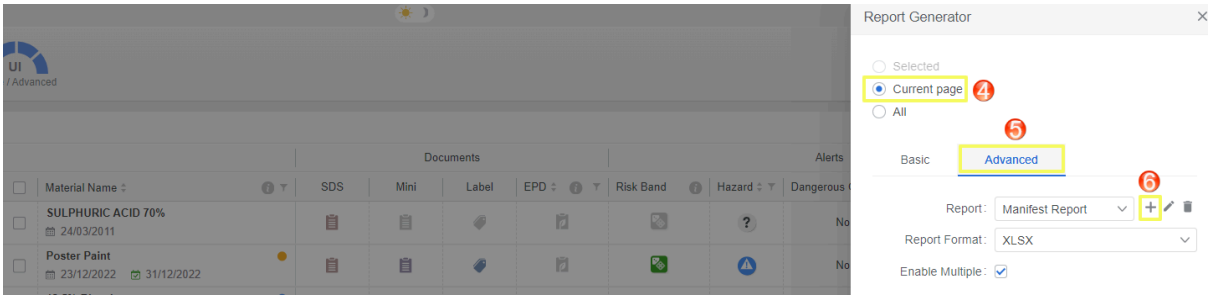
5.2.1 テンプレートを作成して、データを生成する

ご自身のフォルダからマニフェスト関連データをエクセルファイルに出力するための、テンプレートを作成する方法は、以下のとおりです。この例では、以下のデータポイントを使用しています。

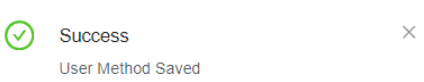
- 製品名
- ベンダー
- GHS分類
- 現在量
- SDSの発行日
- 場所
- 危険物クラス
- 容器等級
- Hazchem
- 国連番号

手順：アドバンスモードでテンプレートを作成し、レポートを出力する





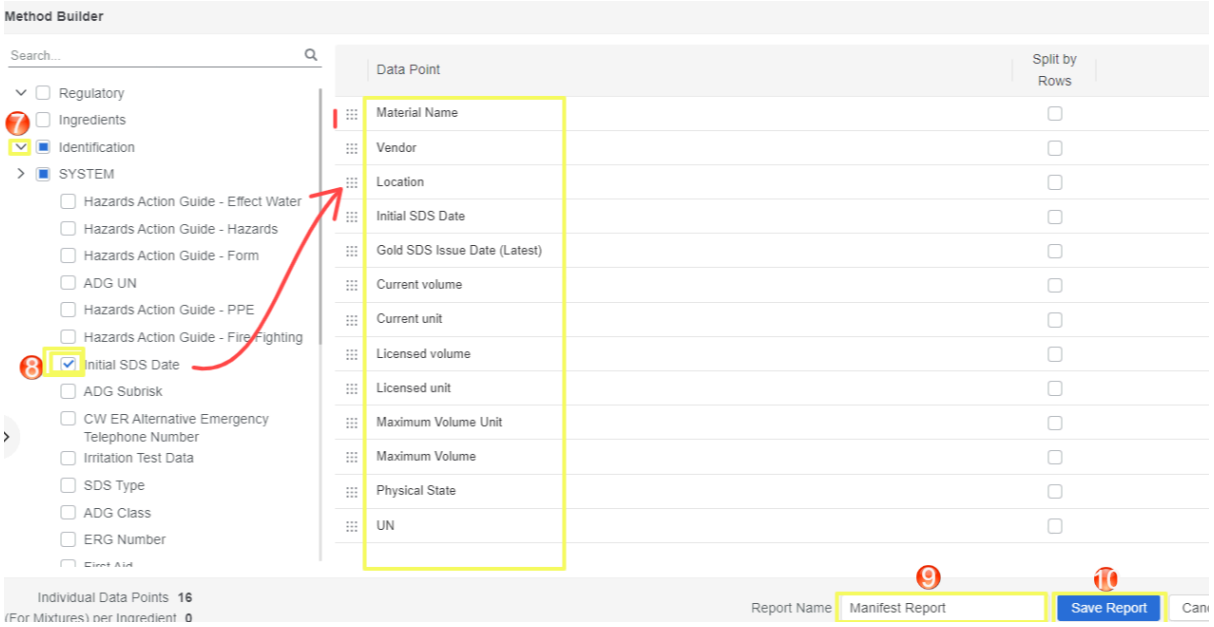
1. ホーム モジュールを開く
2. フォルダをクリックして製品を表示し、出力したい製品のチェックボックスに印を付ける
3. 表示画面右上の、レポート生成ボタン をクリックする
4. 選択済のラジオボタンがデフォルトで選択されていることにご注目ください。現在のページか全てを選ぶか、出力したい製
8. 使用したいデータポイントのチェックボックスに印をつける
9. レポート名の欄に、レポートの名称を入力する
10. レポートの保存 Save Report をクリックすると、画面の右上に、保存が完了したことをお知らせするメッセージが表示されます

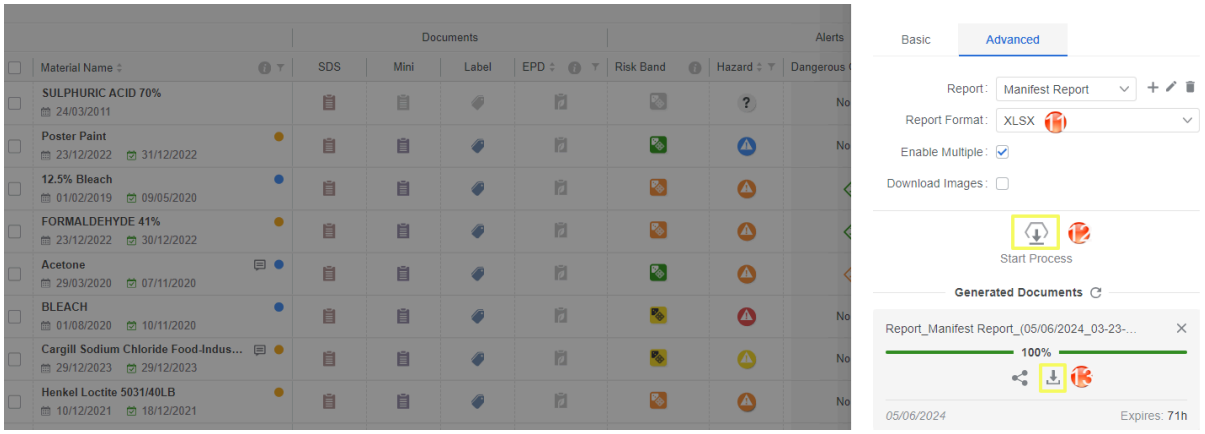


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

品が既に選択されている場合には選択済に印をつけます

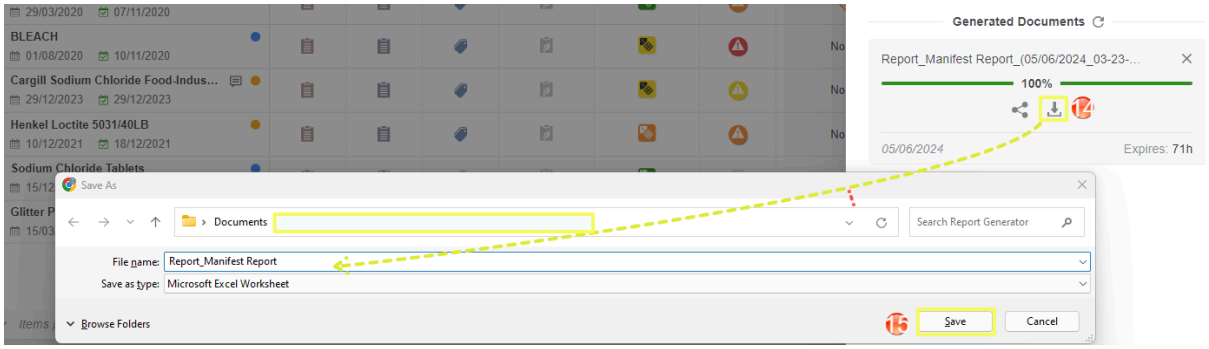
5. 詳細タブをクリックします
6. 追加 ＋ をクリックして、データポイントを選択するためのメソッドビルダを開きます。
7. メソッドビルダの下向きの矢印 ∨ をクリックし、詳細を表示する
11. ドロップダウンメニューから、適切なファイルの形式を選択する（xlsx）
12. プロセス開始 ボタンをクリックする
13. 進捗バーが100%まで進み、プロセスが完了するまで待つ
14. ダウンロードボタンをクリックする
15. ダウンロードされたファイルを保存する
16. ダウンロードされたファイルを開き、データを確認する





レポートをご自身のデバイスに保存する

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



ダウンロードされたレポートの例

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
Material Name	Vendor	Location	Initial SDS Date	Gold SDS Issue Date (Latest)	Current vo	Current unit	Licensed v	Maximum	Maximum	Physical State	UN	DG Primary Class
SULPHURIC ACID 70%	George Weston Foods (Jasol Australia)	Global Sites/		24/03/2011	25	L	0	L	0			
Poster Paint	Chemwatch	Global Sites/	14/04/2014	23/12/2022	5	L	0	L	0	Liquid	Not Applicable	Not Applicable
12.5% Bleach	aiMix Chemicals	Global Sites/	09/05/2020	01/02/2019	20	L	0	L	0	Liquid	1791	8
FORMALDEHYDE 41%	Chemwatch	Global Sites/	28/03/2004	23/12/2022	8	L	0	L	0	Liquid	2209	8
Acetone	Sigma-Aldrich (Merck)	Global Sites/	07/11/2020	29/03/2020	20	L	0	L	20	Liquid	1090	3
BLEACH	Agar Cleaning Systems	Global Sites/	10/11/2020	01/08/2020	10	L	0	L	0	Liquid	Not Applicable	Not Applicable
Cargill Sodium Chloride Food-	Chemwatch	Global Sites/	19/12/2023	29/12/2023	15	kg	0	kg	0	Solid	Not Applicable	Not Applicable
Henkel Loctite 5031/40LB	Chemwatch	Global Sites/	01/11/2009	10/12/2021	15	L	0	L	0	Liquid	Not Applicable	Not Applicable
Sodium Chloride Tablets	Merck (Sigma-Aldrich)	Global Sites/	12/04/2024	15/12/2022	5	kg	0	kg	0	Solid	Not Applicable	Not Applicable
Glitter Paint	Educational Colours (Reeves)	Global Sites/	20/05/2022	15/03/2021	6	L	0	L	20	Liquid	Not Applicable	Not Applicable

5.2.2 画像が入ったレポートを出力する

レポート生成機能の詳細タブには、絵表示などの画像を含むレポートを作成するオプションも用意されています。詳細タブでユーザー定義テンプレートを作成するには、メソッドビルダでデータポイントを指定してください。

<u>危険有害性を表す一般的なシンボル</u>

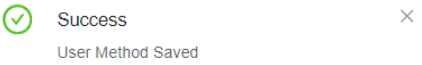
GHSの絵表示	危険物のダイヤモンド	保護具のシンボル

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

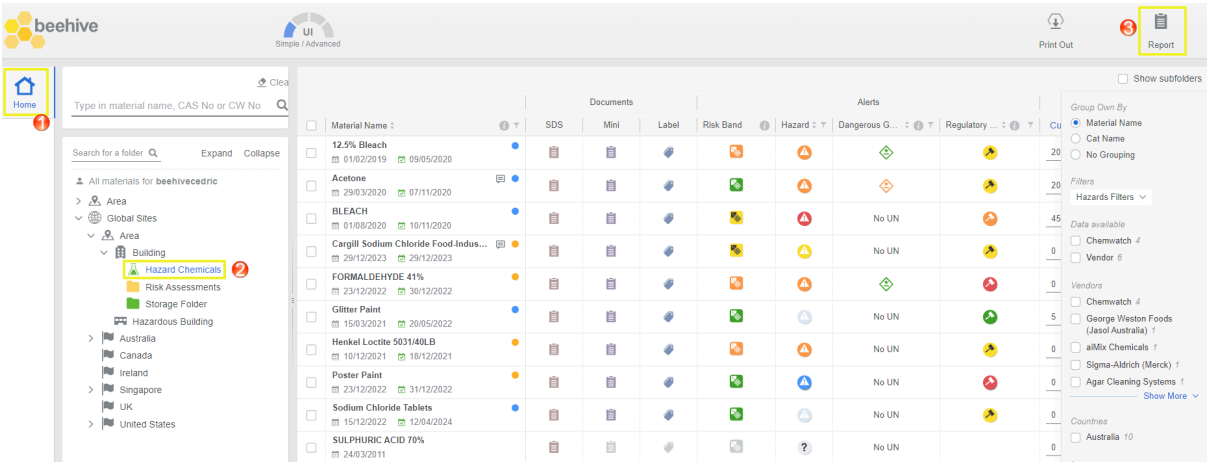
画像のデータポイントを含む製品のレポートを生成する方法は、以下のとおりです。

手順：カスタムテンプレートを使用して、画像を含むレポートを作成する

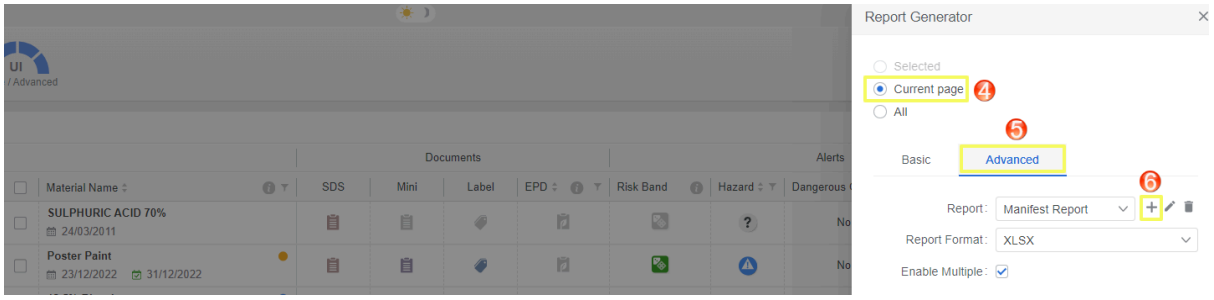
1. ホーム モジュールを開く
2. フォルダをクリックして製品を表示し、出力したい製品のチェックボックスに印を付ける
3. 表示画面右上の、レポート生成ボタン をクリックする
4. 選択済のラジオボタンがデフォルトで選択されていることにご注目ください。現在のページか全てを選ぶか、出力したい製品が既に選択されている場合には選択済に印をつけます
5. 詳細タブをクリックします
6. 追加 ＋ をクリックして、データポイントを選択するためのメソッドビルダを開きます。
7. メソッドビルダの下向きの矢印 ⌄ をクリックし、詳細を表示する
8. 使用したいデータポイント（例：製品名、GHSの絵表示、保護具のシンボル、危険物ダイアモンドなど）のチェックボックスに印をつける
9. レポート名の欄に、レポートの名称を入力する
10. レポートの保存 Save Report をクリックすると、画面の右上に、保存が完了したことをお知らせするメッセージが表示されます

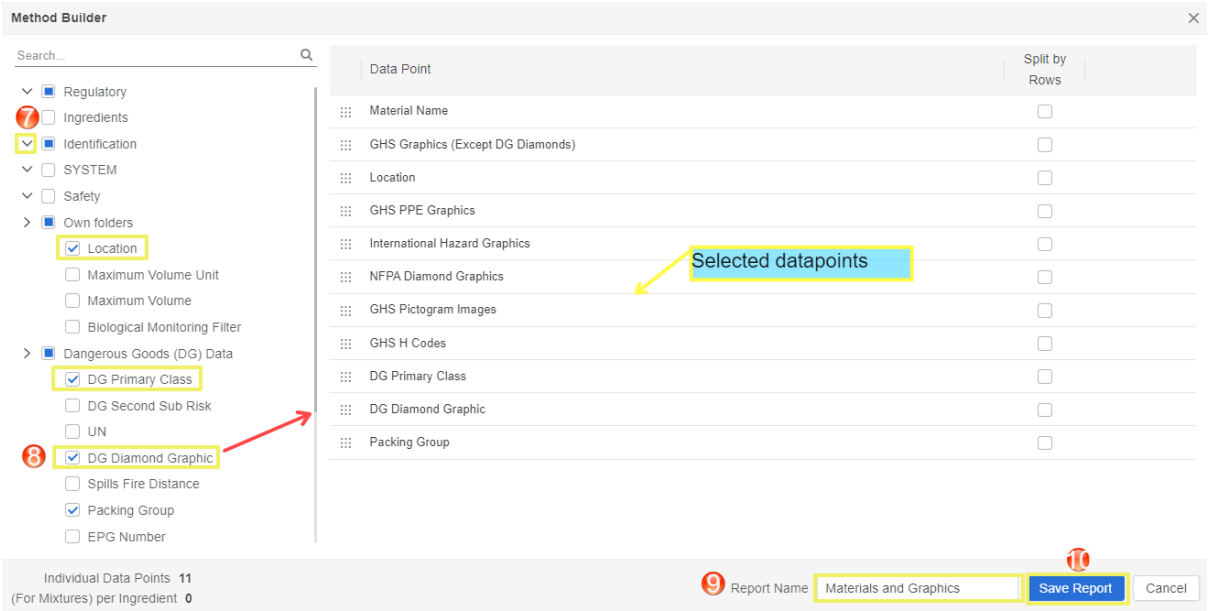


11. ドロップダウンメニューから、適切なファイルの形式を選択する（xlsx）
12. 画像をダウンロードのチェックボックスに印をつける
13. プロセス開始 ボタンをクリックする
14. 進捗バーが100%まで進み、プロセスが完了するまで待つ
15. ダウンロードボタンをクリックする
16. ダウンロードされたファイルを保存する
17. ダウンロードされたファイルを開き、データを確認する

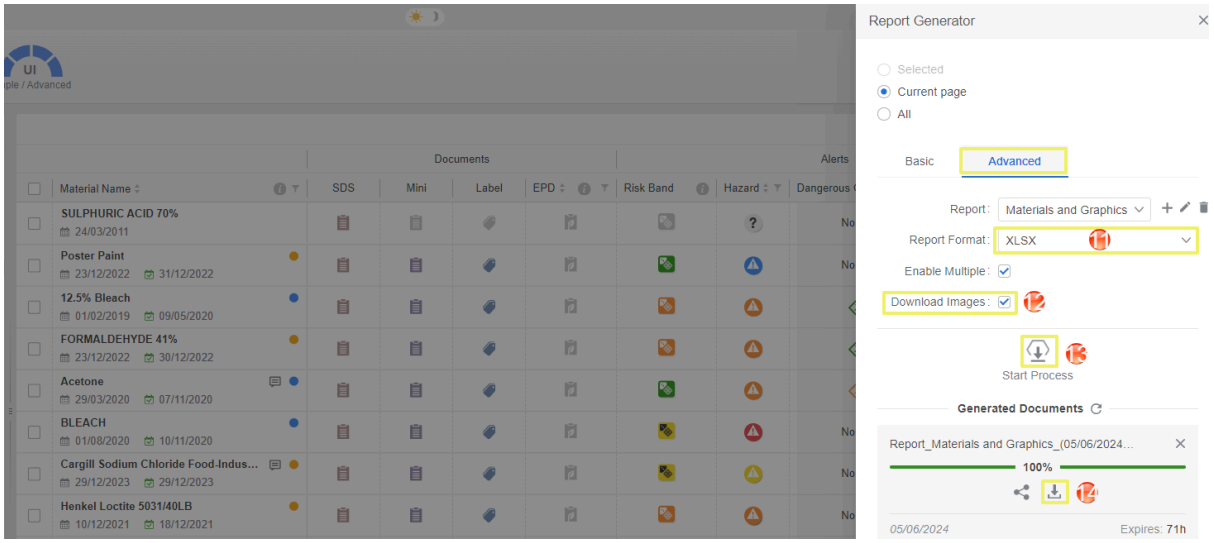


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

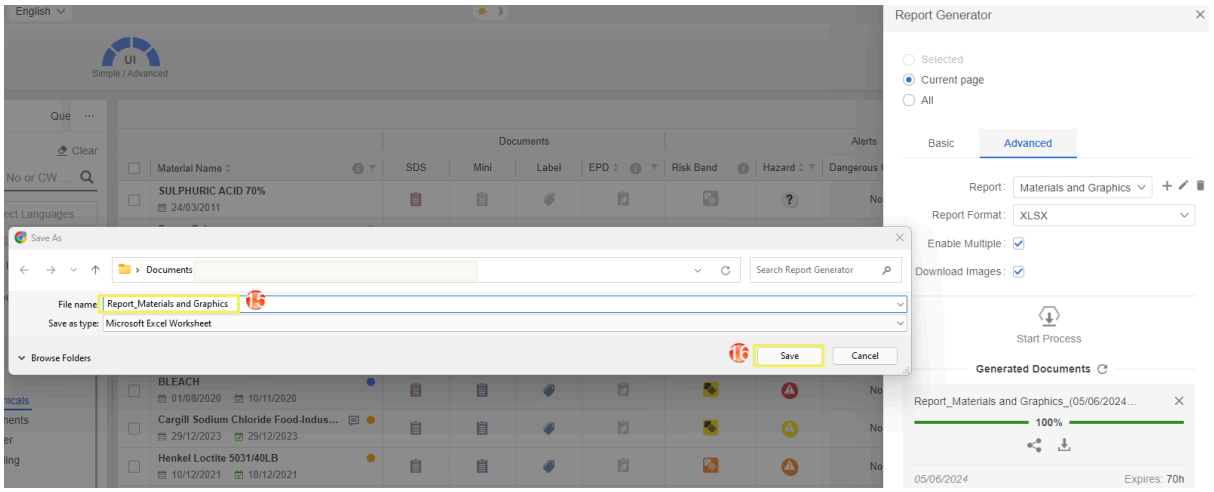




Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



ご自身のコンピューターに、レポートを保存する



ダウンロードしたレポートの例

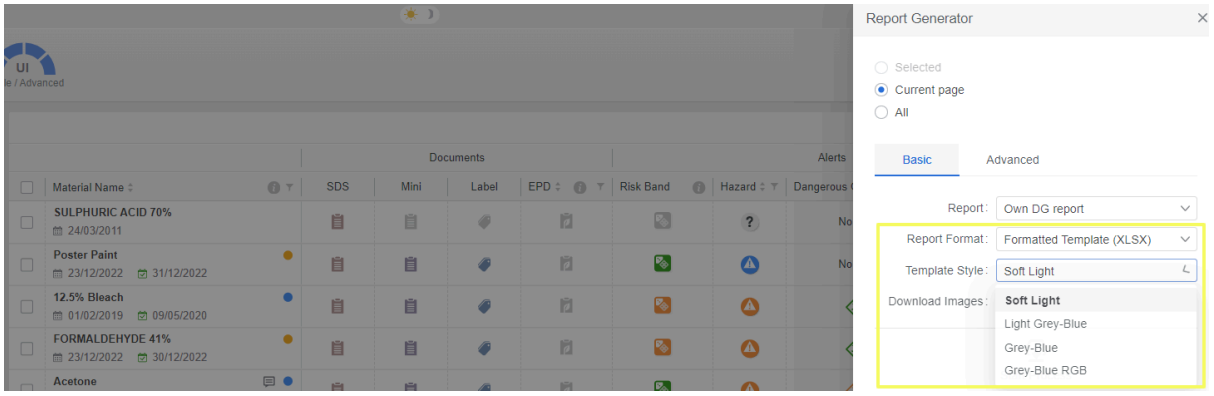
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Material Name	Location	NFPA Diamond	GHS PPE Graphics	GHS Pictogram Images	GHS H Codes	DG Primary Class	Packing Group
2	12.5% Bleach	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals				AUH031|H400|H314	8	III
3	FORMALDEHYDE 41%	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals				H290|H301|H311|H314|H317|H318|H331|H350|H360D|H371|H402	8	III
4	Acetone	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals				H225|H336|H319	3	II
5	BLEACH	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals				H314|H318	Not Applicable	Not Applicable
6	Cargill Sodium Chloride Food	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals				H315|H319|H335	Not Applicable	Not Applicable
7	Henkel Loctite 5031/40LB	Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals				H317|H341|H360FD|H373|H412	Not Applicable	Not Applicable

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

5.3 生成したレポートに、スタイルを適用する

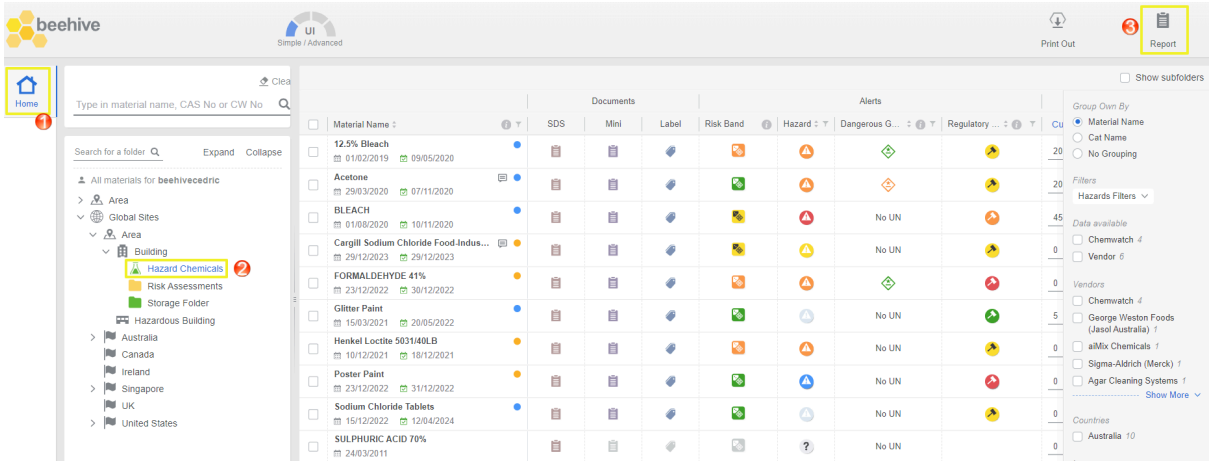
さまざまなスタイルの書式テンプレートが、xslx形式で用意されています。ご利用可能なスタイルの種類は、以下のとおりです。

- ソフト（明）
- ライトグレー／青
- グレー／青
- グレー／青 RGB



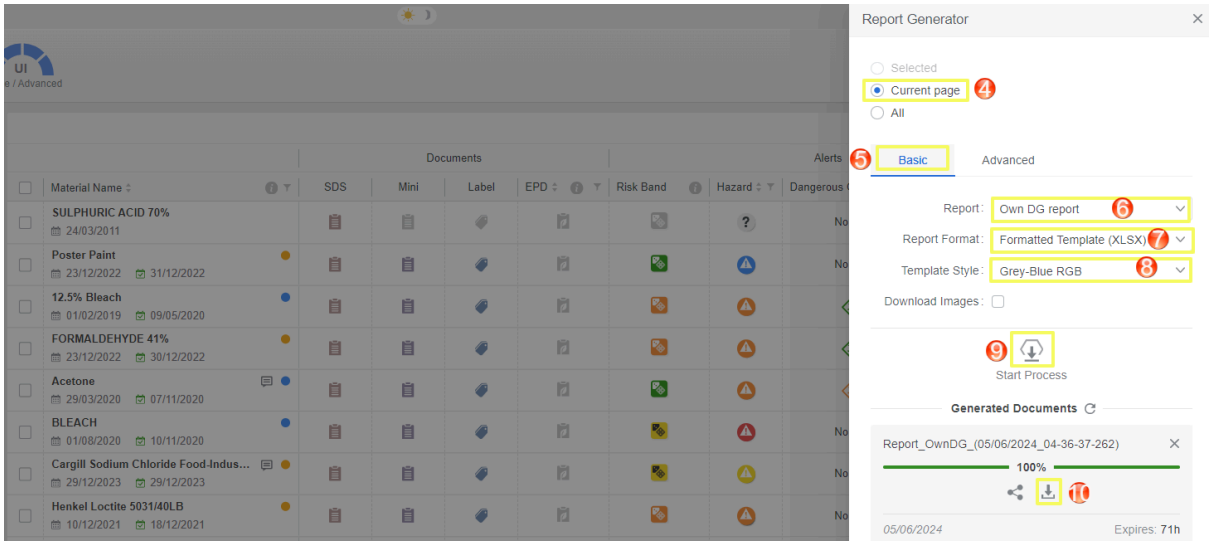
これらの色分け表示されたスタイルは、書式が設定されたシートとして提供されています。基本モードにて、データをスタイルが適用されたエクセルシートに出力する方法は、以下のとおりです。この例では、既存の化学品の在庫が保存されているフォルダから、データを出力しています。

手順：基本モードで、スタイルが適用されたエクセルシートにデータを出力する

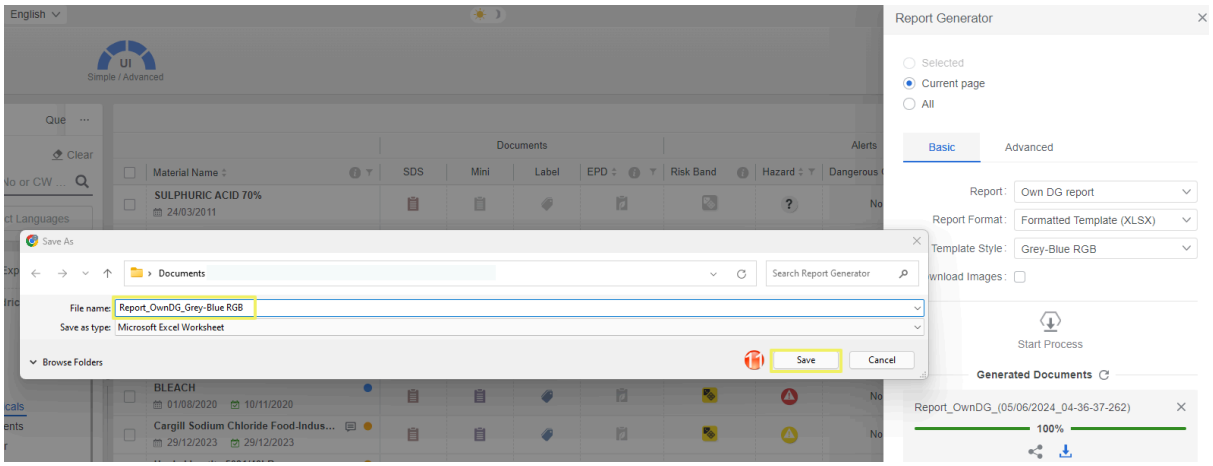


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

1. ホーム モジュールを開きます
2. フォルダーの場所をクリックして製品を一覧表示し、関心のある製品のチェックボックスを選択します
3. ユーザーインターフェイスの右上にあるレポート生成機能アイコン をクリックします
4. リストグリッド上で選択した製品に基づいてレポートを生成するデフォルトオプションが選択済であることに注意してください。現在のページに基づいてデータを生成するには、現在のページを選択します。
5. 基本タブを選択します。
6. テンプレートのドロップダウンリストからレポート名を選択します（例：Own DG report）
7. レポート様式のドロップダウン矢印をクリックし、**Formatted Templete XLSX**を選択します
8. テンプレートスタイルのドロップダウン矢印をクリックし、灰青色**RGB**を選択します
9. プロセス開始 をクリックします。ダウンロードプロセスが進行バーで100%に到達するまで待ちます
10. ダウンロード をクリックします
11. ダウンロードしたファイルを保存します



レポートをご自身のデバイスに保存する



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

グレー／青 RGBでダウンロードした場合：

A	B	C	D	E	F	G
MANIFEST DG GOLD REPORT						
Location: Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals						
				GOLD		
UN NUMBER	MATERIAL NAME	GHS H CODES GOLD	SHIPPING NAME	DG PRIMARY CLASS	HAZCHEM	PACKING GROUP
Not Applicable	Poster Paint	H320	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
1791	12.5% Bleach	AUH031|H400|H314	HYPOCHLORITE SOLUTION	8	2X	III
2209	FORMALDEHYDE 41%	H290|H301|H311|H314|H317|H318|H331|H350|H360D|H371|H402	FORMALDEHYDE SOLUTION with not less than 25% formaldehyde (contains formaldehyde)	8	•2X	III
1090	Acetone	H225|H336|H319	ACETONE	3	*2YE	II
Not Applicable	BLEACH	H314|H318	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable

ライトグレー／青でダウンロードした場合：

A	B	C	D	E	F	G
MANIFEST DG GOLD REPORT						
Location: Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals						
				GOLD		
UN Number	Material Name	GHS H Codes GOLD	Shipping Name	DG Primary Class	Hazchem	Packing Group
1791	12.5% Bleach	AUH031|H400|H314	HYPOCHLORITE SOLUTION	8	2X	III
2209	FORMALDEHYDE 41%	H290|H301|H311|H314|H317|H318|H331|H350|H360D|H371|H402	FORMALDEHYDE SOLUTION with not less than 25% formaldehyde (contains formaldehyde)	8	•2X	III
1090	Acetone	H225|H336|H319	ACETONE	3	*2YE	II
Not Applicable	BLEACH	H314|H318	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable

ソフト（明）でダウンロードした場合：

A	B	C	D	E	F	G
MANIFEST DG GOLD REPORT						
Location: Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals						
				GOLD		
UN NUMBER	MATERIAL NAME	GHS H CODES GOLD	SHIPPING NAME	DG PRIMARY CLASS	HAZCHEM	PACKING GROUP
Not Applicable	Poster Paint	H320	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
1791	12.5% Bleach	AUH031|H400|H314	HYPOCHLORITE SOLUTION	8	2X	III
2209	FORMALDEHYDE 41%	H290|H301|H311|H314|H317|H318|H331|H350|H360D|H371|H402	FORMALDEHYDE SOLUTION with not less than 25% formaldehyde (contains formaldehyde)	8	•2X	III
1090	Acetone	H225|H336|H319	ACETONE	3	*2YE	II
Not Applicable	BLEACH	H314|H318	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable

グレー／青でダウンロードした場合：

A	B	C	D	E	F	G
MANIFEST DG GOLD REPORT						
Location: Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals						
				GOLD		
UN NUMBER	MATERIAL NAME	GHS H CODES GOLD	SHIPPING NAME	DG PRIMARY CLASS	HAZCHEM	PACKING GROUP
Not Applicable	Poster Paint	H320	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
1791	12.5% Bleach	AUH031|H400|H314	HYPOCHLORITE SOLUTION	8	2X	III
2209	FORMALDEHYDE 41%	H290|H301|H311|H314|H317|H318|H331|H350|H360D|H371|H402	FORMALDEHYDE SOLUTION with not less than 25% formaldehyde (contains formaldehyde)	8	•2X	III
1090	Acetone	H225|H336|H319	ACETONE	3	*2YE	II
Not Applicable	BLEACH	H314|H318	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

6.0 リスクアセスメント

この章では以下について説明します。

- リスクアセスメントモードとその特徴
- 製品のリスク評価
- 製品に対するタスクの割り当て
- リスクアセスメントパラメータの設定
- リスクを最小限に抑えるための管理手段の適用
- 個人用保護具
- リスク評価の保存
- リスク評価された製品の承認
- リスクアセスメントレポートの作成

この章で学ぶこと

リスク評価は、化学物質による健康や環境への潜在的な危険性を評価するための体系的なプロセスであり、危険性の特定、暴露頻度の評価、リスクの特性評価、そしてリスクを最小限に抑えるための適切な手段を講じることを目的としています。

リスクアセスメントのコントロールバンディング

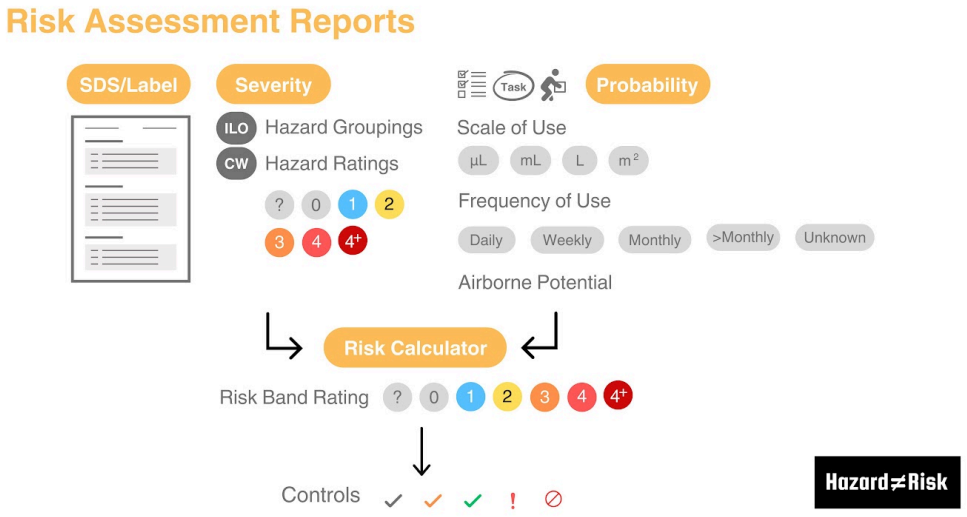
リスクアセスメントモジュールは、ILO（国際労働機関）モデルに基づくコントロールバンディング手法を使用しています。コントロールバンディングは、化学物質の物理的および化学的特性に基づいてそれらをグループ化し、取り扱いや使用方法に応じた管理手段を決定する評価手法です。

リスクアセスメントのプロセスは、危険性の特定と分類から始まり、リスクを排除または制御するための適切な方法を決定します。リスクの程度に影響を与える要因には、次のようなものがあります。

- 人がどの程度の量で危険物に暴露されるか？
- 吸入、皮膚接触、摂取など、どのように暴露されるか？
- 特定の条件下での暴露に対する影響の重大さはどれほどか？

SDS（安全データシート）の危険区分情報は、事前定義されたハザードグループに基づいて化学物質にバンドを割り当てるために使用されます。ケムウォッチモデルの5x5マトリックスがリスク評価に使用され、化学物質の危険度を計算し、適切な管理手段が提供されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



リスク評価設定は、リスク評価計算の重要な部分であり、デフォルトのケムウォッチモデルまたはユーザー定義のマトリックスとして計算モデルを決定することから始まります。

- ケムウォッチILO 5x5マトリックスモデル（デフォルト）
- ユーザー定義のマトリックスモデル（カスタム）

ケムウォッチ**ILO 5x5**マトリックスモデル

ケムウォッチILO　5x5マトリックスモデル（ILOリスク評価モデル）を使用して、ハザードグループに基づいて危険を特定し、リスク評価条件を考慮して危険化学物質のリスクバンドを計算し、リスクを最小限に抑えるための適切な管理策を提供します。ケムウォッチモデルはデフォルトのリスク評価マトリックスです。リスクレベル（バンド）は5段階あり、それぞれが特定の色コードと管理タイプに対応しています。また、リスクアセスメント期間はデフォルトで5年間に設定されています。

Level	Risk	Color	Icon Color	Control
0	なし	灰色	0	適応されない
1	低	青	1	不要
2	中	黄色	2	全体喚起
3	高	オレンジ	3	局所排気装置／フュームフード
4	かなり高い	赤	4	封じ込め
4+	非常に高い	クリムソン	4+	専門家の指示を仰ぐ

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

リスクマトリックスは、危険の可能性、暴露の頻度、および結果の重大度を決定します。

ILO Risk Band Matrix

Risk of Exposure	GHS Hazard Rating	4+	4	3	2	1	0
		Extreme	High	Moderate	Low	Minimum	None
5	Very High	4+	4+	4+	4	3	0
4	High	4+	4+	4	3	2	0
3	Moderate	4+	4	3	2	2	0
2	Low	4	3	2	2	1	0
1	Minimum	3	2	1	1	1	0

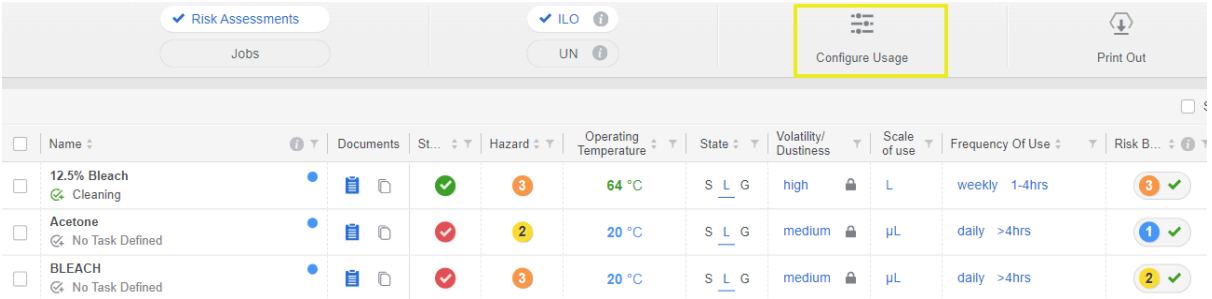
非有害化学物質はリスクをもたらさないため、制御は適用されず、バンドはデフォルトでゼロの灰色アイコンになります。リスク マトリックスのカスタマイズが必要な場合は、ドメイン管理者に詳細を問い合わせてください。

Hazard≠Risk

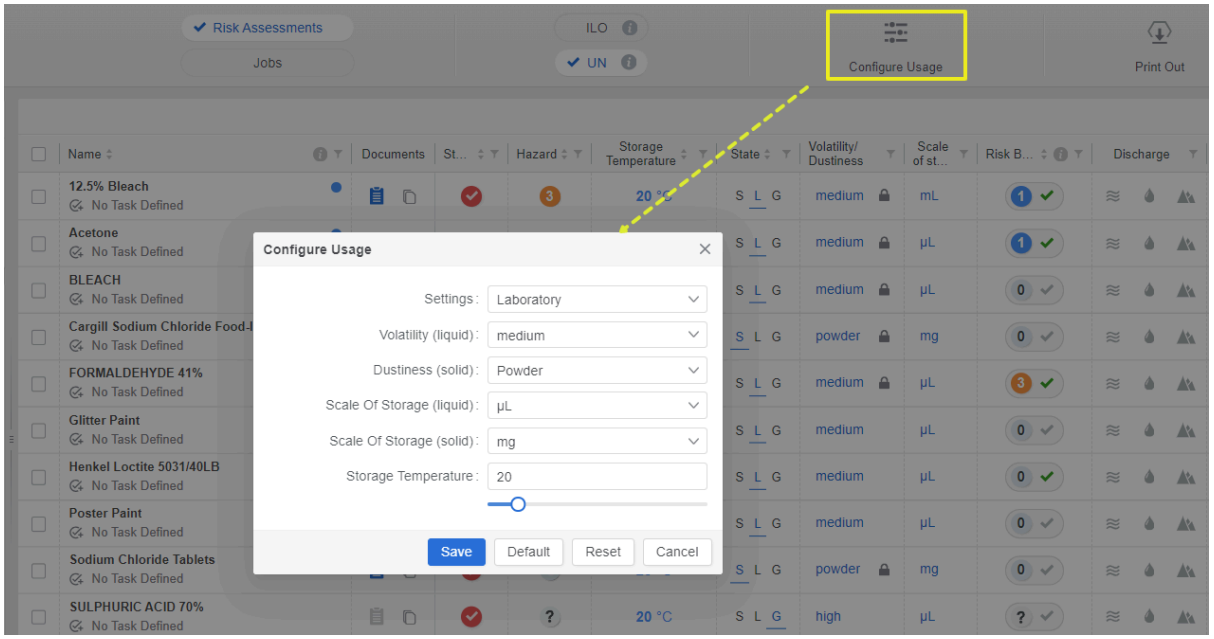
ハザードとリスクは同じ意味ではありません

ハザードとリスクの違いは、ハザードが潜在的な損害、害、または健康への悪影響をもたらす可能性のあるあらゆる要因であるのに対し、リスクは危険にさらされた場合に人が損害を受けたり健康への悪影響を受けたりする可能性や確率であるという点です。

危険には、機械や有害な化学物質などの職場にある物が含まれることがあります。一方、リスクアセスメントは危険の特定から始まり、危険を排除または制御するための適切な方法を決定することを目的としています。リスクアセスメントモジュールは、危険の特定、危険のグループ化、使用規模、使用頻度、およびデフォルトの管理策に基づいて、化学物質の危険度評価とリスクバンドを表示します。また、設定に従ってデフォルトのシステムリスク評価計算を行います。しかし、ユーザーはユーザーインターフェイスのダッシュボードツールバーの設定を通じて、リスクアセスメントパラメータの使用をその場で構成することもできます。



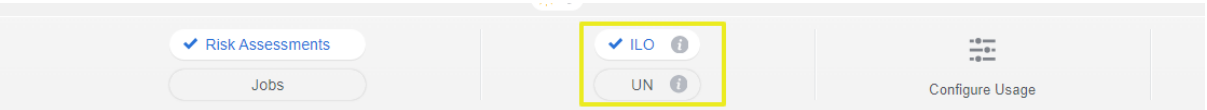
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



リスクアセスメントモード

リスクアセスメントモジュールは、使用または保管に基づいてリスク評価を実行できる2つのモードを提供します。

- 使用
- 保管



これらのモードは次のタブでアクティベートすることができます。

Risk Assessment Type	Mode	Description	What is the tab used for?
ILO	健康	ILO（国際労働機関）はコントロールバンディングというリスクアセスメントモデルを開発しました。これは、英国のHSE（労働衛生安全庁）が開発した"COSHH Essentials"として知られるモデルに基づいています。両機関とも、化学物質の危険性を決定するためにGHSを採用しています。国または地域のバリエーションとして、ヨーロッパと中国ではCLP、オーストラリアではHSISが存在します。	このタブは、化学品の使用（健康）を元にリスクアセスメントを行う際に使用されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Risk Assessment Type	Mode	Description	What is the tab used for?
✔ UN	保管	国連の危険物コードは、陸上での危険物の保管を規制するために開発されました。類似のシステムが航空（AITA）や水上（IMDG）でも採用されています。各国や管轄地域ではローカルなバリエーションが存在します（例：オーストラリアではADG、アメリカではDOT、ヨーロッパ全域ではADR）。	このタブは、化学品の保管を元にリスクアセスメントを行う際に使用されます。

リスクアセスメントの行い方

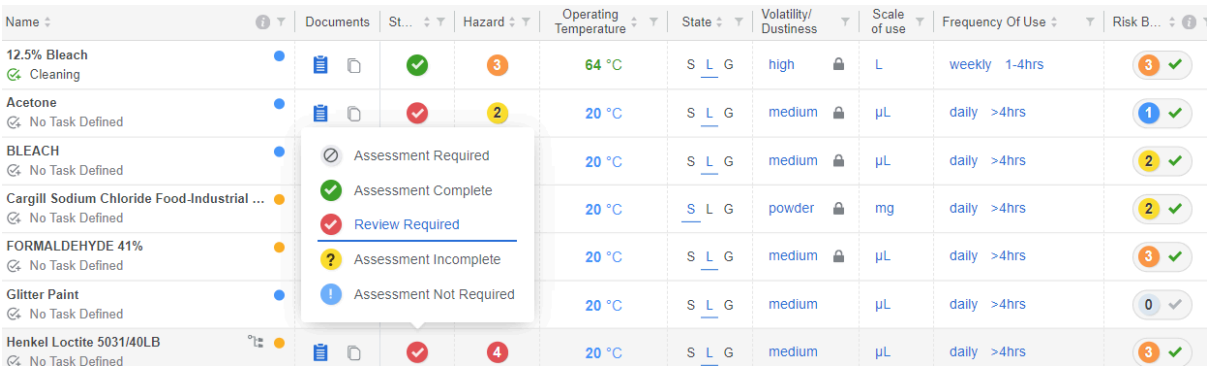
化学物質のリスクアセスメントは30秒で完了することができます。リスクアセスメントが完了すると、活動はリスク評価報告書、作業報告書、コントロールアプローチシートの作成にまで拡大することがあります。化学物質のリスクアセスメントに関わる主な活動は、以下のフローチャートに示されています。

リスクアセスメントの状態

リスク評価モジュールには4つのステータスがあります。

- 評価完了
- 見直しが必要
- 評価未完了
- 評価が必要

これらのステータスは、フォルダ内の各化学物質に対するリスクアセスメントプロセスの段階を反映しています。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Status	Icon	Description
要アセスメント		リスクアセスメントのレビューが必要でない限り、任意のフォルダ内の製品にはこのデフォルトのステータスが割り当てられます。新しい製品がフォルダに追加されると、自動的に「評価が必要」ステータスが設定されます。すでにリスクアセスメントが行われた製品をソースフォルダから同じフォルダまたは別のフォルダにコピーしても、このステータスが適用されます。
アセスメント完了		既知の危険性を持つ製品（ケムウォッチによる分類が利用可能）がリスクアセスメントされた場合、そのリスクアセスメントは完了として表示されます。
要レビュー		リスクアセスメントのために設定された期間（デフォルトでは最大5年）が経過した場合、または化学物質に影響を与える法規制の変更があった場合、リスクアセスメントのステータスは自動的に「要レビュー」に変更されます。
アセスメント未完了		何らかの理由でリスクアセスメントが完了していない、またはプロセスが最終化されておらず、リスクアセスメントが保存されていない場合、リスクアセスメントのステータスは「アセスメント未完了」に設定されます。したがって、リスクアセスメントを完了して保存し、ステータスを「アセスメント完了」に設定することが非常に重要です。
アセスメント不要		このステータスは、リスクアセスメントを全く必要としない製品、または危険度評価とリスクバンド評価が0で、アイコンで指定された製品に適用されます 0 。このステータスは、リスクアセスメントの基準に含まれていないDGC7およびDGC9に分類される製品にも割り当てることができます。

リスクアセスメントとユーザー属性

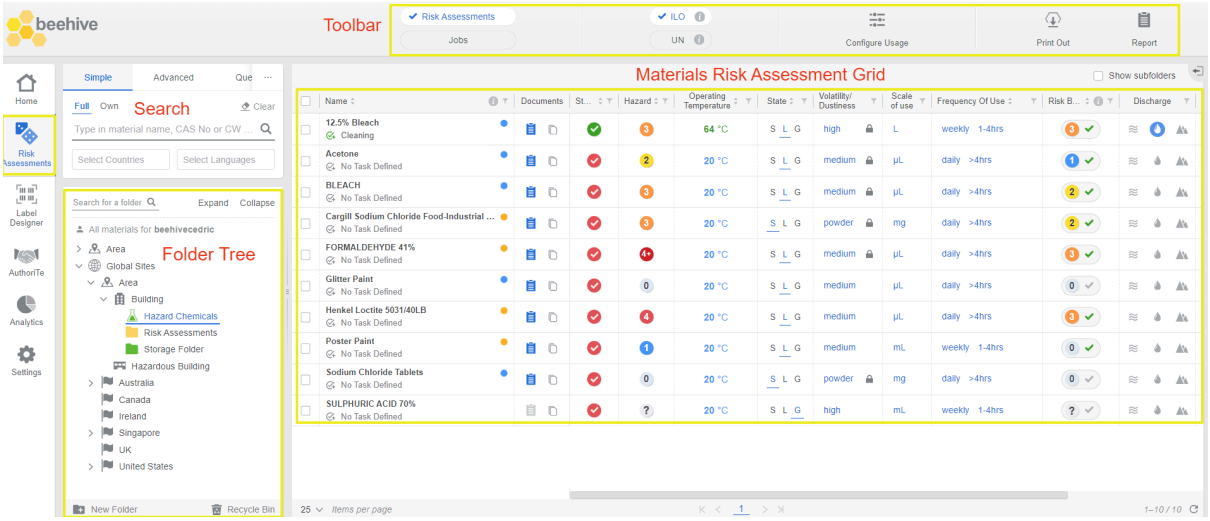
承認	記述	ユーザーインターフェースと属性	リスク評価
読む	閲覧権限を持つユーザーは、フォルダ内の製品の在庫を閲覧できますが、読み書き権限が付与されない限り、リスクアセスメントを編集することはできません。	ユーザーはフォルダの内容にアクセスできますが、フォルダやリスクアセスメントされた製品を追加、コピー、移動、または削除することはできません。	閲覧のみ
編集	編集権限を持つユーザーは、製品のリスクアセスメントを行い、製品をコピー、移動、削除し、レポートを生成することができます。	読み書き権限を持つユーザーは、フォルダの内容にアクセスし、製品の編集やリスクアセスメントを実行し、リスクアセスメント報告書を生成し、ジョブを作成および承認し、ジョブ報告書を出力することができます。	閲覧、編集可能

ユーザーに該当するリスク評価の許可または権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせくださ

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

い。

次のサブトピックでは、リスクアセスメントを実施し、リスクアセスメント報告書を生成する手順について説明します。

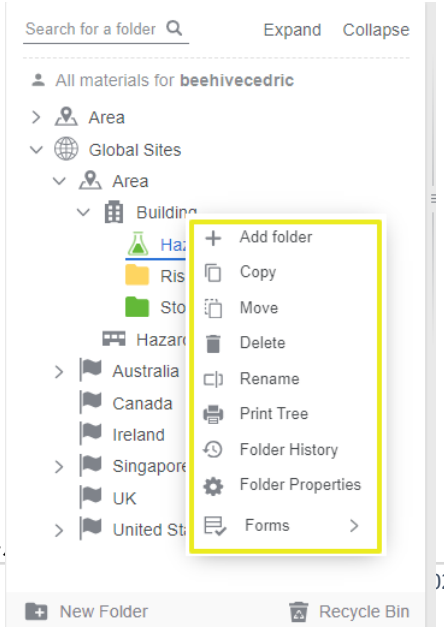


リスクアセスメントを実施する前に、このモジュールで利用可能な機能と特徴について詳しく見てみましょう。

- フォルダツリー
- 化学品在庫
- リスクアセスメントツールバー
- 製品グリッド

フォルダーツリー

フォルダ構造を作成する主な目的は、職場内のすべてのサイトや化学物質の保管場所に基づいた、"カスタムライブラリ"のフォルダを持つことです。



このカスタム　ライブラリには、次のように指定された各フォルダに製品とSDSの在庫が含まれます。

エリア
セクション
化学物質が保管されている場所

フォルダインベントリは、リスクアセスメントモジュールでも更新できます。フォルダツリーの右クリック機能には、情報を管理または表示するための特定の属性を含むコンテキストメニューが含まれています。

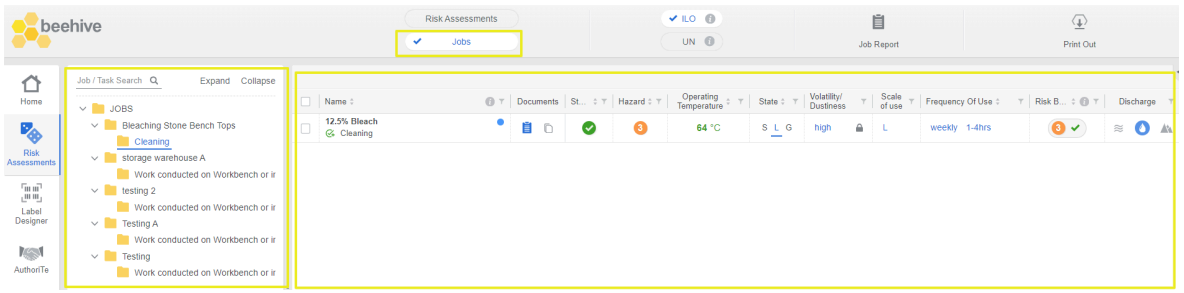
024 by Chemwatch. All Rights Reserved

詳細については、このガイドのフォルダプロパティのセクションを参照してください。

リスクアセスメントツールバー

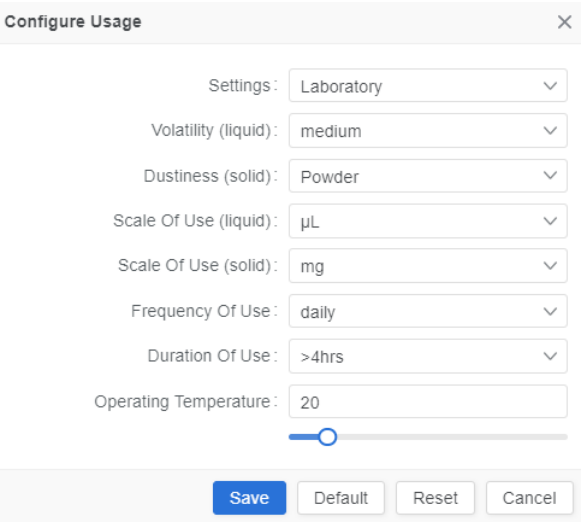
リスクアセスメントツールバーは、特定の機能を使用してユーザーがさまざまなアクションを実行できるようにします。

- リスクアセスメントとジョブの間でモードを切り替える
- リスクアセスメントのタイプをILO（健康）とUN（保管）の間で切り替える
- 使用設定を構成して、リスクアセスメントの設定を即座に適用する
- 印刷 – リスクアセスメント文書を印刷、共有、またはダウンロードする
- レポート生成機能のデータポイントを使用してデータをエクスポートする

要素	リスクアセスメントの特徴について
ジョブ ✔ Jobs	リスクアセスメントのジョブは、労働者の安全な作業環境を確保するために、特定の環境、産業、またはプロセス内での危険に関連する潜在的なリスクを分析することを含みます。このモードでは、文書化と報告がリスクを特定し、その深刻度、発生の可能性、曝露、評価結果、および安全手順の実施、エンジニアリングコントロール、管理的コントロール、または個人用保護具の提供を含むコントロール戦略を明確にするための重要な原則となります。 組織で使用される化学物質は、場所やジョブを表すフォルダにグループ化することができます。ジョブは一連のタスクとして定義され、常に組織によって定義されます。ジョブに関連するリスクは、タスクに関連するリスクと必ずしも同じではありません。このジョブ機能は、ジョブ名や実行されたタスクの数によって化学物質をグループ化します。最悪の結果をもたらすタスクが、全体的なジョブ評価を決定します。
	
	デフォルトのケムウォッチ設定のリスクアセスメントパラメータにアクセスするか、以下の作業環境のリストからオプションを選択してください。

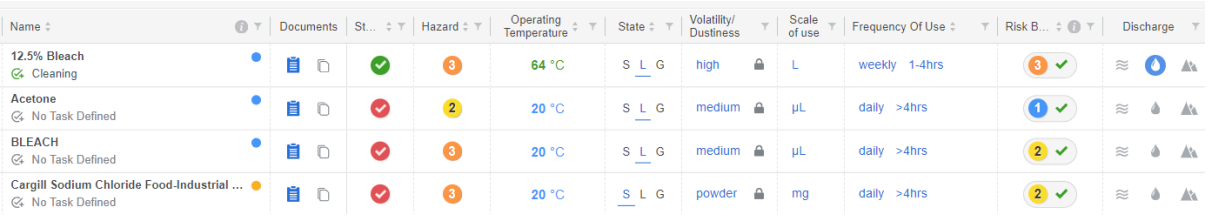
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

要素	リスクアセスメントの特徴について
使用環境設定	● 実験室 ● Laboratory Administrator ● Industrial Occupancy ● High-hazard ● High-hazard Detached ● Assembly ● Educational ● Industrial ● Business ● Residencial ● Mercantile ● 保管 ● ユーザー設定 これらのリスクアセスメント環境設定は、揮発性、粉じん性、液体または固体の使用規模、使用頻度、使用期間、および動作温度のデフォルトパラメータを決定します。



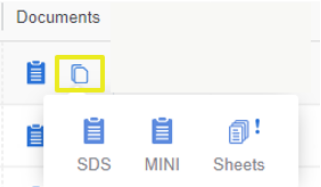
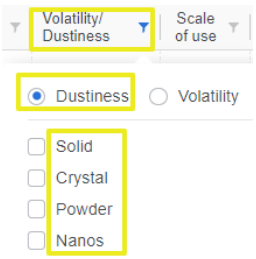
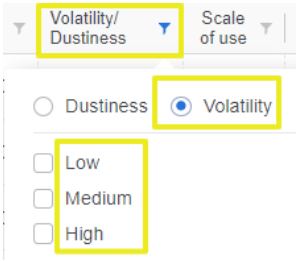
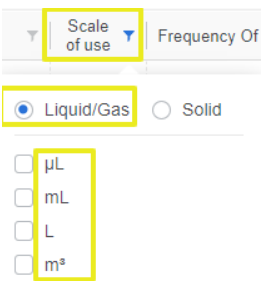
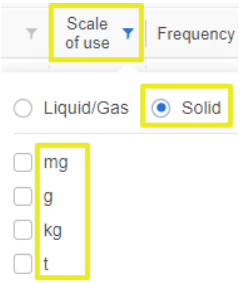
製品グリッドの化学品在庫

これは、リスクアセスメントモジュールでリスクアセスメントを実施するためにフォルダの場所に追加された製品のリストです。同じ製品はホームモジュールでもアクセスできます。これらの製品は、ケムウォッチモデル（5x5マトリックス）のリスクアセスメント設定に基づくデフォルト属性として、それぞれのパラメータとともにリスクアセスメントの製品グリッドで表示されます。

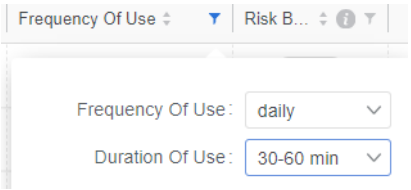
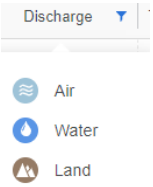


Component	Risk Assessment Toolbar Feature Description
	文書アイコン でリスクアセスメントレポートを読み込みます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Component	Risk Assessment Toolbar Feature Description
文書	 この文書アイコン はベンダーSDS、ミニSDS、管理、ガイダンスシートの閲覧の選択肢を提示します。
使用温度^{0}C	使用温度の範囲は-50^{0}Cから450^{0}Cの間です。
状態 S L G	これは、材料のSDS物理特性データに基づく化学物質のデフォルトの物理的状態です。 ● 固体、S ● 液体、L ● 気体、G
揮発度／粉じん度	揮発性とは、物質が蒸発する傾向を指します。粉じん度は、特に産業や職業関連の環境や設定で、粉じんが生成されて空気中に放出されることを意味し、健康、安全、および環境にリスクをもたらす可能性があります。例えば、揮発性有機化合物（VOC）は、特定の液体や固体から空気中に蒸発し、健康や環境へのリスクを引き起こす可能性があります。  
使用量	これは製品または物質の量の範囲または大きさを示します。これは、化学物質のフォルダ位置に特定された職場で使用または保管されている化学物質の量です。測定単位は物質の物理的性質（液体/気体または固体）に依存します。  
使用頻度	これは、化学物質または物質の使用頻度と使用時間を決定します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Component	Risk Assessment Toolbar Feature Description
	使用頻度：毎日、毎週、毎月、月よりも長い間隔、未知 使用時間：30分未満、30～60分、1～4時間、4時間以上、未知 
排出	化学物質の放出は、空気、水、または陸地を通じて行われる可能性があります。放出基準に応じて、システムは参照用のコントロールアプローチシートやガイダンスドキュメントを生成します。 

リスクアセスメントプロセスの流れ

リスクアセスメントモジュール内の化学物質は、デフォルト設定のルールに基づき、危険分類基準によって自動的に計算されます。以下の図は、化学物質のリスクアセスメントを完了するためのリスクアセスメントプロセスフローを示しています。

リスクアセスメントレポート

報告書には以下のセクションが含まれます：

- 化学品名、物理的状態、およびリスクアセスメントの特性
- 成分、組成、およびOEL（職業性曝露限界値）
- ケムウォッチ危険度評価（可燃性、毒性、身体接触、反応性、慢性）
- 危険有害性情報
- 潜在的にリスクのある人々（声明）
- 個人用保護具（PPE）のグラフィカル情報
- 緊急時のグラフィカル情報
- 健康被害のグラフィカル情報
- GHSピクトグラムと危険物ダイヤモンド（DGダイヤモンド）
- 予防措置ステートメント（予防と対応）
- ジョブの承認情報と署名

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

Location: Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals

Risk assessment for: Cleaning / Job name: Bleaching Stone Bench Tops

HEALTH RISK ASSESSMENT REPORT

12.5% Bleach *liquid*

THE HAZARD 3 High | THE RISK 3 High

Controls Adopted
Control: Seek Specialist Advice Training required
Respiratory Protection Factor: 40

Health Surveillance: —

INGREDIENTS	CAS NO	%	8HR OEL	15 MIN OEL
sodium hypochlorite	7681-52-9	13	—	—
sodium hydroxide	1310-73-2	<1	—	—
water	7732-18-5	Balance	—	—

Warning - Dangerous in contact with skin and/or eyes

Chemwatch Hazard Ratings

	Min	Max
Flammability	0	
Toxicity	0	
Body Contact	3	
Reactivity	0	
Chronic	0	

0 = Minimum
1 = Low
2 = Moderate
3 = High
4 = Extreme

PERSONAL PROTECTIVE EQUIPMENT

Training required | Overalls | Short Gloves | Goggles | Boots | Specialist advice

EMERGENCY

Water

HEALTH HAZARDS

Burns | Severe Burns | Very toxic: Aquatic

FIRST AID

Hazard statement(s):

- Contact with acid liberates toxic gas.
- Very toxic to aquatic life.
- Causes severe skin burns and eye damage.

Persons Potentially At Risk are:

- Those with respiratory complaints (such as asthma), skin conditions (such as dermatitis) and eye conditions

For making the best use of the controls, please follow the checklist below

- Wash your hands before and after eating, drinking or using the lavatory
- Do not use solvents to clean your skin
- Clear up spills immediately. For liquids, contain or absorb spills with granules or mats. For solids and dust, use vacuum cleaning or wet mopping. Dispose of spills safely
- Use, maintain and store any PPE provided in accordance with instructions
- Look for signs of leaks, wear or damage of any equipment used. If you find any problems, tell your supervisor. Don't carry on working if you think there is a problem

Precautionary statement(s): Prevention

- Avoid release to the environment.
- Do not breathe mist/vapours/spray.
- Wash all exposed external body areas thoroughly after handling.
- Wear protective gloves, protective clothing, eye protection and face protection.

Precautionary statement(s): Response

- Collect spillage.
- IF SWALLOWED: Rinse mouth. Do NOT induce vomiting.
- IF ON SKIN (or hair): Take off immediately all contaminated clothing. Rinse skin with water [or shower].
- IF INHALED: Remove person to fresh air and keep comfortable for breathing.
- IF IN EYES: Rinse cautiously with water for several minutes. Remove contact lenses, if present and easy to do. Continue rinsing.
- Immediately call a POISON CENTER/doctor/...
- Wash contaminated clothing before reuse.

この1ページのサマリー報告書には、リスクアセスメントされた化学物質のセクションが含まれています。

リスクアセスメントレポートセクション	内容
化学品名とリスクアセスメントの特徴	この報告書のこのセクションでは、化学物質の名称、物理的状態、危険度評価、リスク評価、採用された管理策、および呼吸器係数を記録します。
材料	このセクションには、成分、CAS番号、各成分の組成割合、および該当する場合はそれぞれの職業性曝露限界値が含まれています。
ケムウォッチのハザード評価	ケムウォッチの危険度評価は、化学物質が危険分類に基づく分類データを持つ場合、デフォルトで提供されます。これらの評価は0から4+の範囲であり、危険分類データが抽出されていない化学物質には疑問符が割り当てら

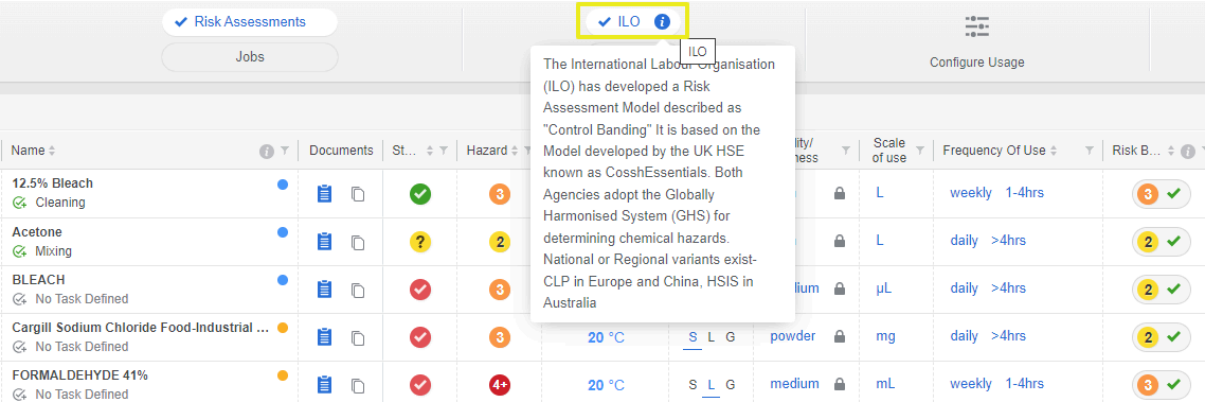
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

リスクアセスメントレポートセクション	内容
	れます。
ハザードの状態	危険有害性情報（ハザードステートメント）は、GHSの危険分類に基づいてまとめられます。危険有害性情報は、文字「H」とそれに続く3桁の数字でコード化されており、これは危険分類基準に従った危険度評価ステートメントを表します。
潜在的にリスクのある人	潜在的にリスクのある人のセクションでは、特定の危険から特にリスクを受けやすい可能性のある人口統計や医療条件を持つ人々を特定します。化学物質が複数の基準を満たす場合、危険コードやカテゴリーに基づいて、これらはコントロールウィンドウにリストされ、最終報告書に生成されます。
個人保護具	このセクションでは、リスク計算に従った選択された/推奨される個人用保護具（PPE）を提供します。
緊急	このセクションでは、適用される緊急時の要件に関するグラフィックを提供します。
健康ハザード	このセクションでは、健康被害のグラフィックを表示します。
応急措置	応急処置のグラフィックは、休息、目の洗浄、身体の洗浄など、緊急時のフォローアップ行動に必要な情報を提示します。
GHSピクトグラムとDGダイヤモンド	GHS分類カテゴリーおよび危険物（DG）分類に基づく化学物質のGHS分類の危険ピクトグラム。
予防措置ステートメント（予防と対応）	予防フレーズは、危険クラスとカテゴリーに割り当てられた化学物質の悪影響を最小限に抑えるか防止するために取るべき措置を説明します。各予防措置ステートメントには、文字Pで始まり、その後に3桁の数字が続く予防措置コードが指定されています。
ジョブの承認情報と署名	対応フレーズは、危険クラスとカテゴリーに割り当てられた化学物質の悪影響を最小限に抑えるか防止するために取るべき措置を説明します。各予防措置ステートメントには、文字Pで始まり、3桁の数字が続く予防措置コードが指定されています。
承認フォームフィールド（ジョブ）	このセクションの挿入物は、リスクアセスメントが評価者および監督者によって署名され、主要なリスクアセスメント報告書の一部としてジョブ報告書を生成する必要がある場合に、承認フォームのフィールドを記入することに依存します。

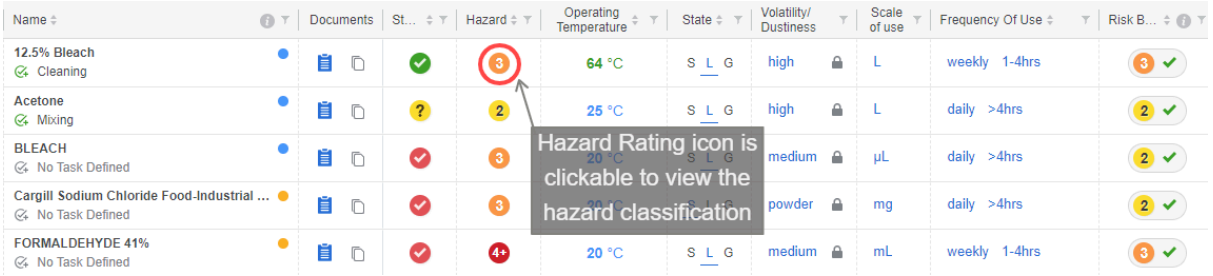
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

6.1 健康リスクアセスメントを実行する

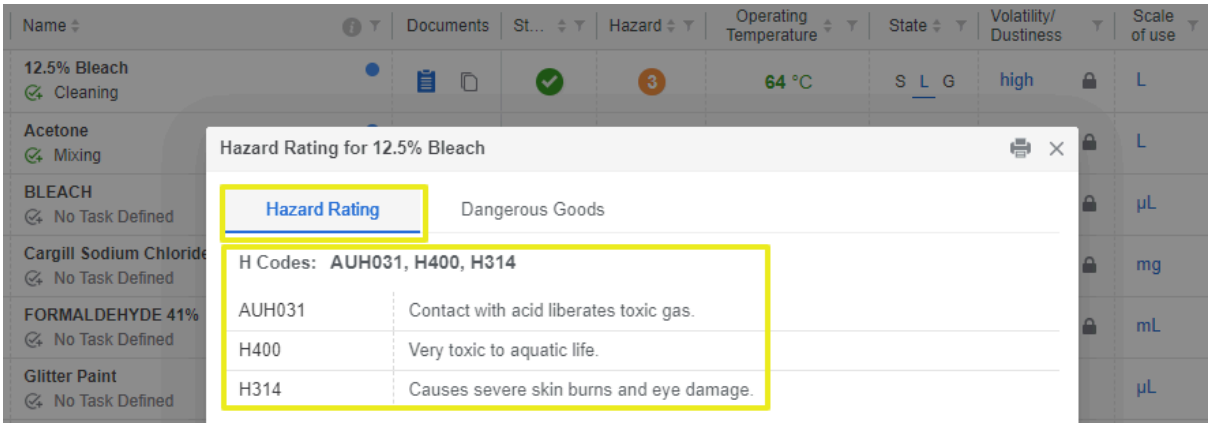
以下の手順は、ILOモード ✔ ILO を使用して、物理的状態が液体の化学物質に対する健康リスクアセスメントを実施する方法を示しています。



グリッド内の化学物質のデフォルトの危険度評価アイコンにより、ユーザーはその化学物質の危険分類に従った危険有害性情報と危険コードを閲覧することができます。

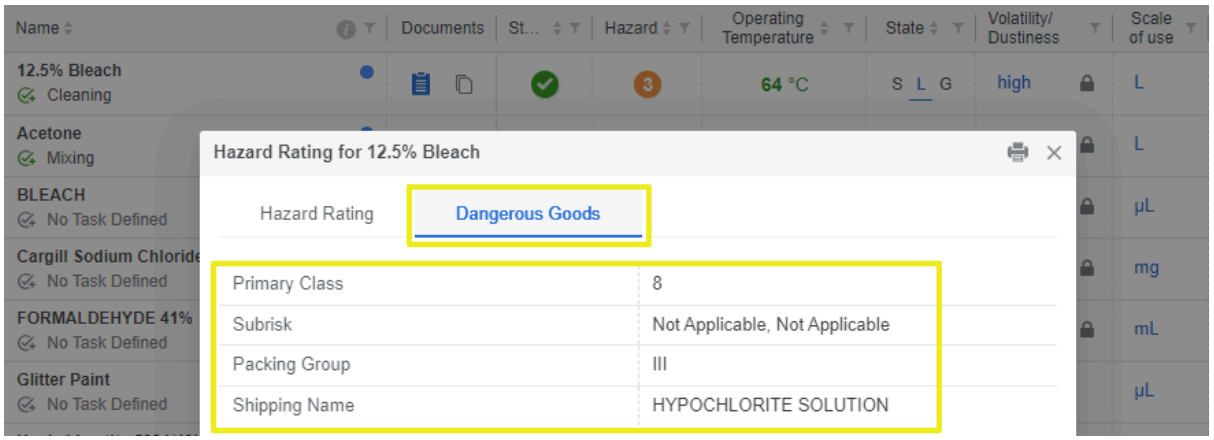


分類ステートメントの危険度評価タブ

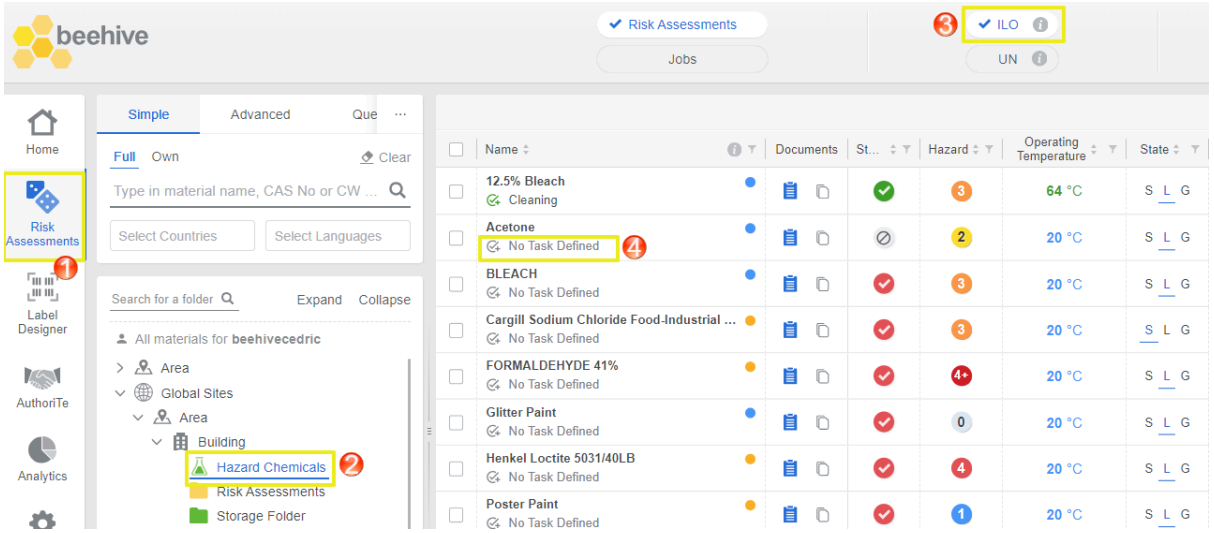


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

危険物分類タブ

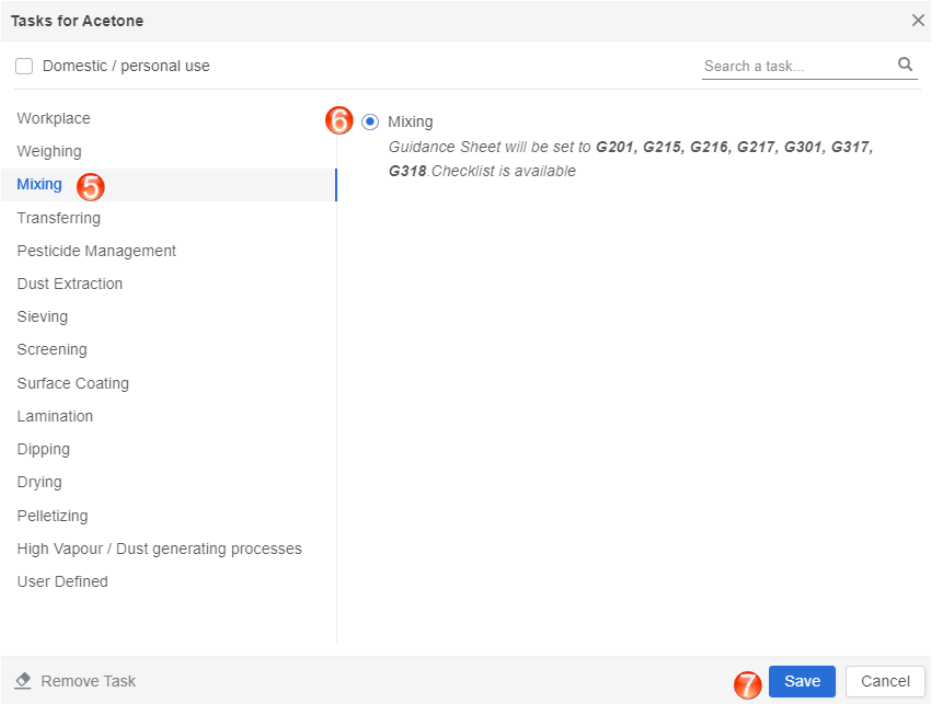


手順: 物理的状態が液体である化学物質の健康リスク評価の実施



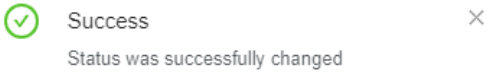
1. リスクアセスメントモジュール を開く。
2. フォルダーの場所をクリックして製品をリストアップする。
3. ツールバーの中央上部にあるILO ILO モードボタンをクリックする。
4. 材料名の下にあるタスクアイコン を選択する。
5. タスクリストから特定のタスク名を選択する。
6. タスク名のラジオボタン を選択し、ガイダンスシートのチェックリストに適用する。
7. 保存ボタン Save をクリック。タスク名が材料名の下に表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

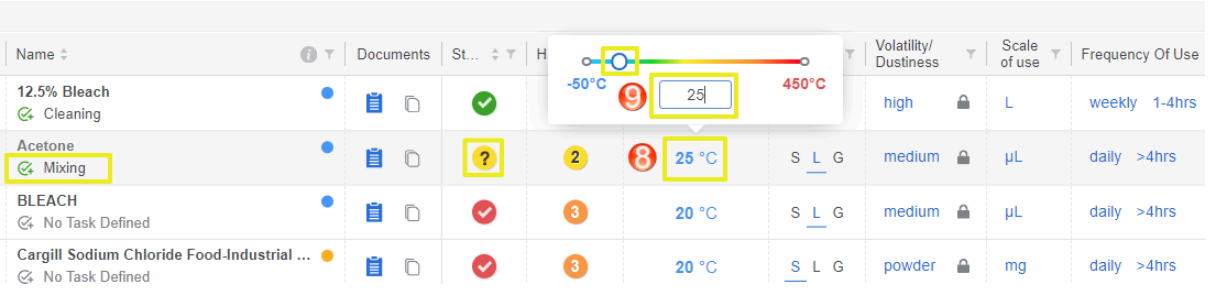


8. 温度値にカーソルを合わせる。
9. 温度のテキストフィールドをクリックし、該当する値を入力する。
10. 使用単位スケールをクリックし、適切な単位を選択する。
11. 材料の使用頻度を選択し、リストから該当する頻度（日常、週単位、月単位、月以上、または不明）を適用。
12. 使用頻度の時間範囲を設定（不明、4時間以上、1-4時間、30-60分、30分未満）。
13. リスクバンド評価アイコン ! を選択し、リスクバンド適用制御ウィンドウを開く。この製品には制御が必要であることを示すリスクバンド感嘆符アイコンに注意。
14. この例では、4 リスク評価が「高」です。制御を適用してリスクを最小限に抑える評価スイッチアイコンを選択 4 Containment 。
15. 必要に応じて、トレーニングが必要なスイッチを選択する。
16. チェックリストを使用して、最適な制御項目を確認し、必要に応じて追加する。
17. リスク評価の制御に適用されたデフォルトのPPEを確認する。必要に応じて、PPEの推奨事項にチェックボックスを付ける。
18. 保存ボタン Save をクリックする。操作の成功を確認するメッセージが表示されます。

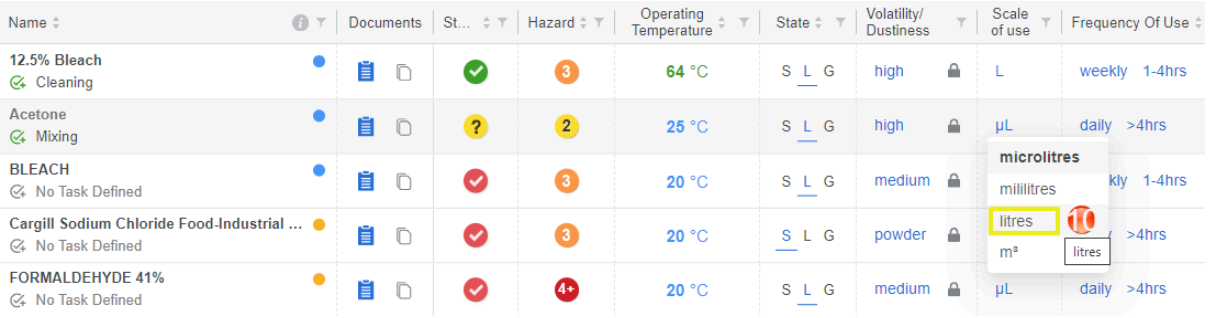
19. リスクアセスメントの状態が不完全な状態でレンダーされた場合、カーソルを製品のクエスチョンマーク ? に合わせてください。
20. リスクアセスメントを終了する場合、アセスメント完了アイコン をクリックしてください。



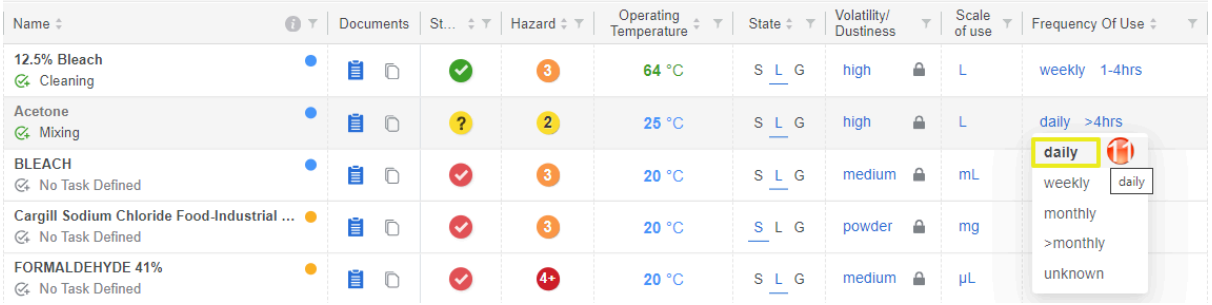
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



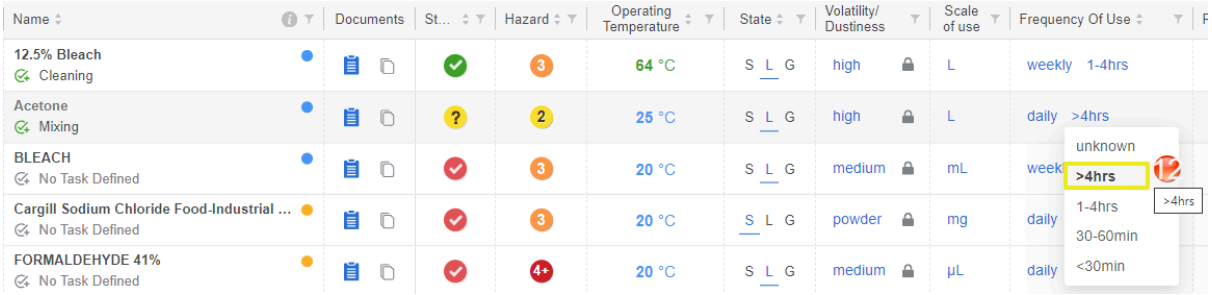
使用規模　マイクロ、ミリ、リットル、立法メートル



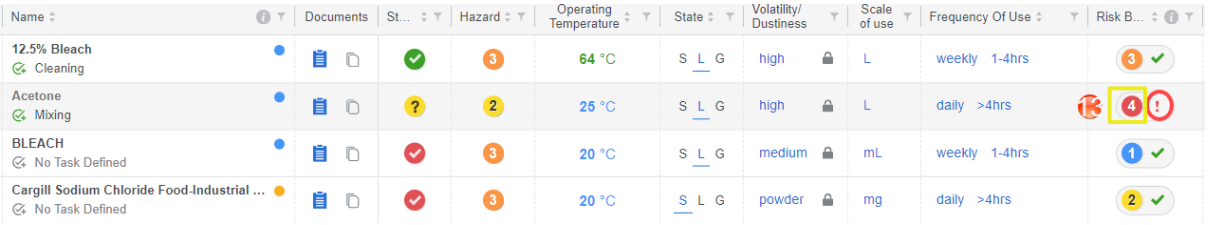
使用頻度 – 日次／月次／不明



使用頻度 – 時間, 4時間以上、1－4時間、30－60分、30分未満

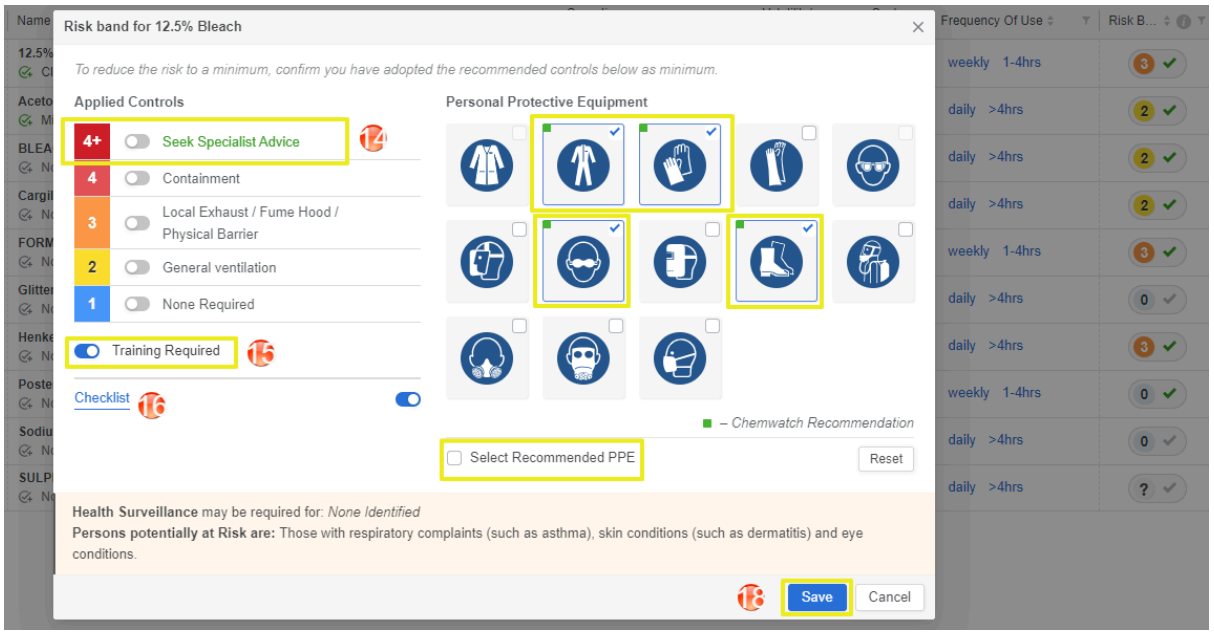


リスクバンドと必要とされるコントロール

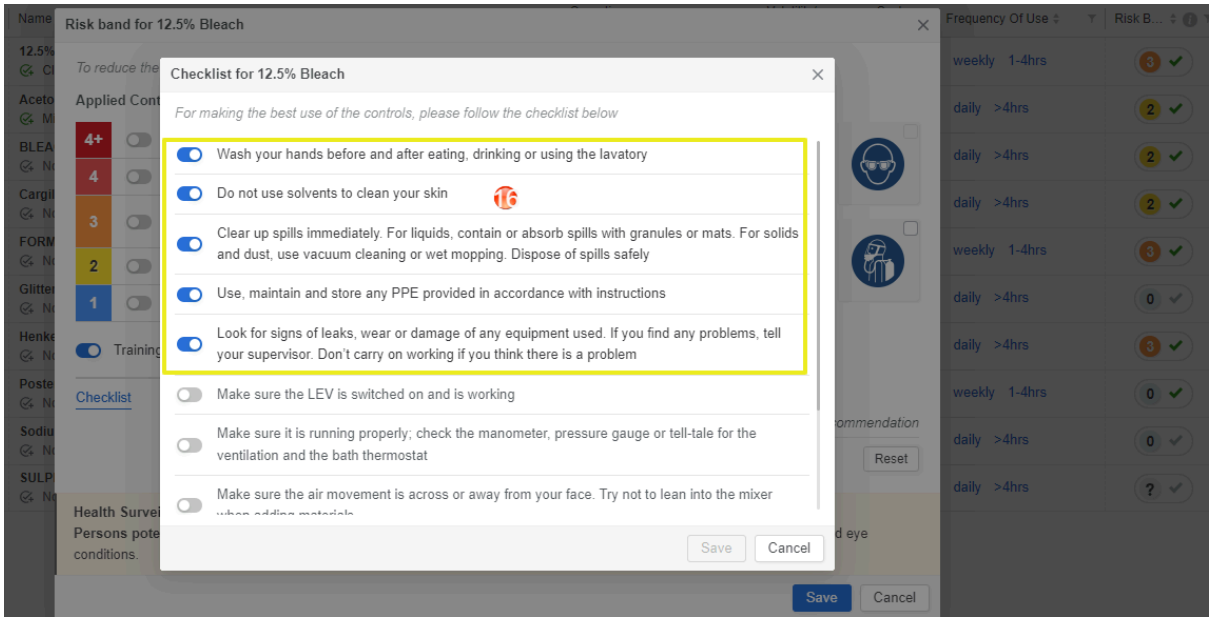


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

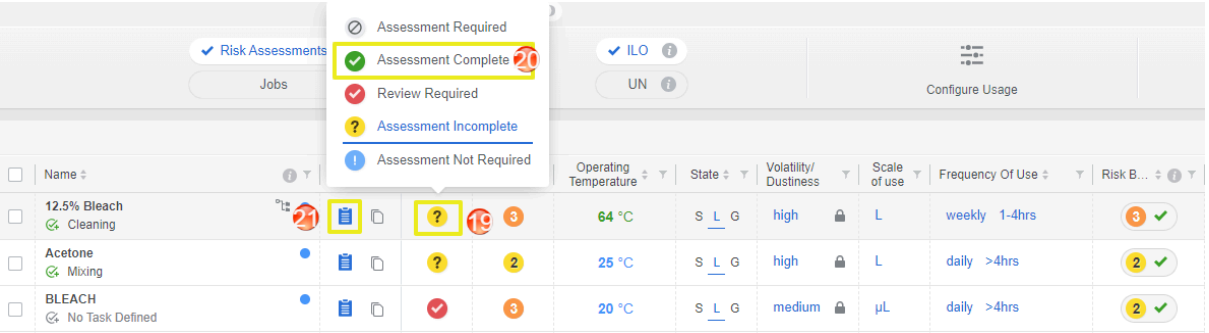
リスクバンド評価とコントロール



コントロールを最大限に活用するためのチェックリスト

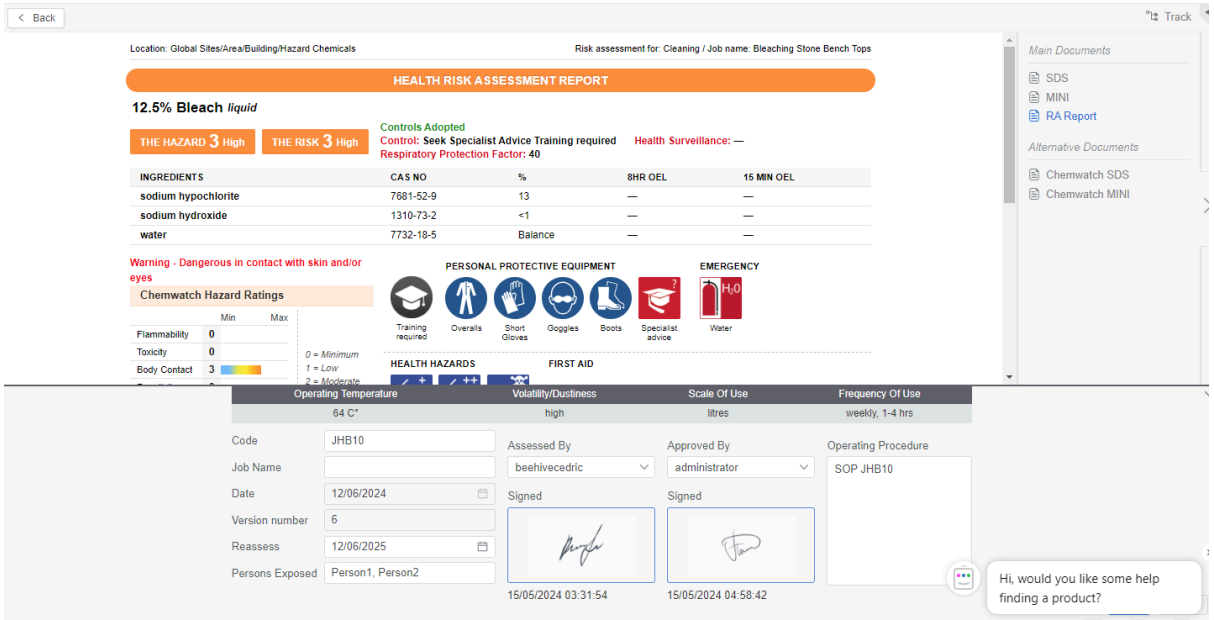


リスクアセスメントを完了し、リスク評価レポートを生成する



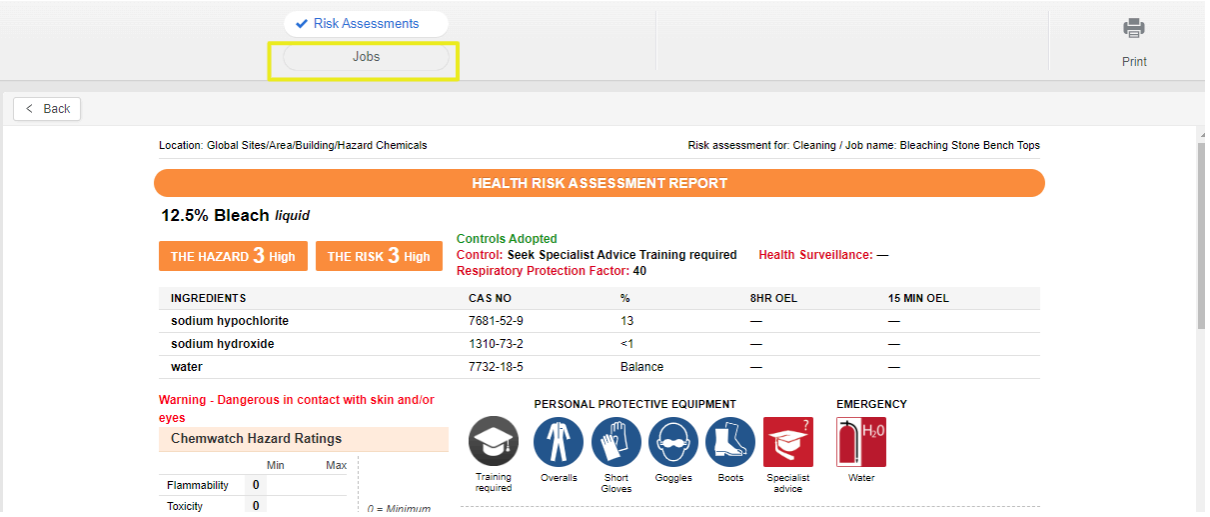
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

健康リスクアセスメントレポート



6.1.1 リスクアセスメントの承認

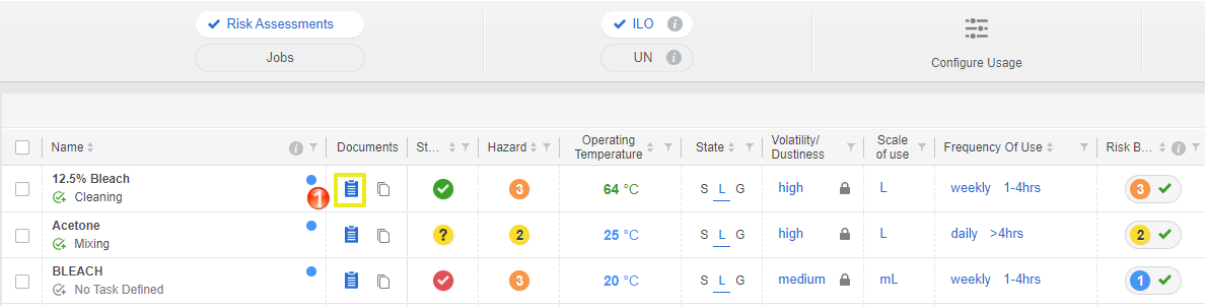
リスクアセスメントの承認プロセスには、通常、リスクの特定、手順のレビュー、制御手法、個人用保護具のモニタリングと評価、および報告が含まれます。システムでは、リスクアセスメントを署名して承認を取得できるほか、リスクアセスメント報告書をメールで送信して承認を依頼できます。



以下の手順では、評価する側としてリスクアセスメントを承認する方法を説明します。前述のリスク評価された化学物質に基づいて進めます。

ステップ: リスクアセスメントのレポートの生成

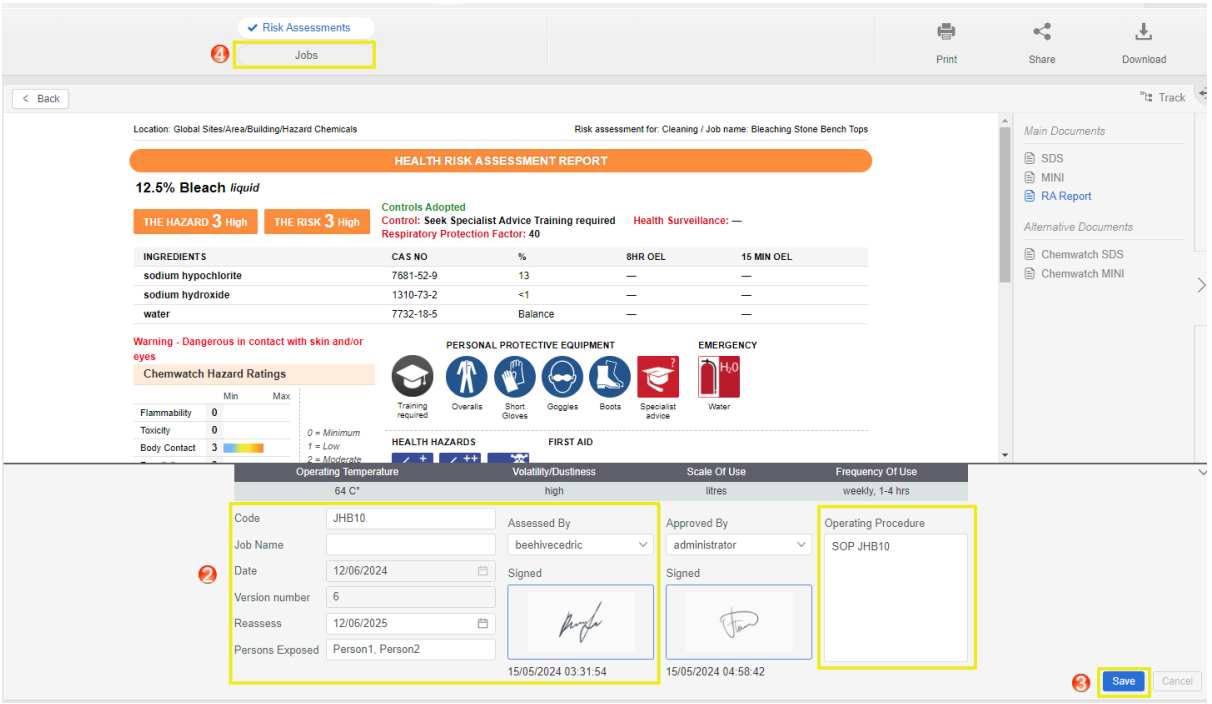
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



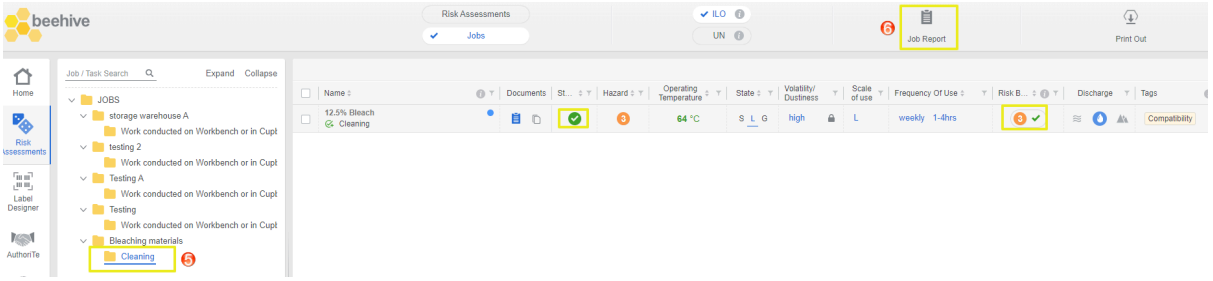
1. リスクアセスメントレポートアイコン を クリックする。
2. ジョブコード、アセスメント日、再評価日、曝露される人物、アセスメント担当者のフィールドを入力し、ソフト署名と操作手順をアップロードする（任意）。
3. 保存ボタン Save をクリックする。成功メッセージが表示される。
4. リスクの上にあるジョブボタンをクリックする。ジョブのタスク名がリスクアセスメント報告書の右上に適用されていることを確認する。
5. フォルダーパネルからジョブタスク名を選択する。
6. リスクアセスメントツールバーの右側にあるジョブレポートボタンをクリックする。

7. ジョブのPPE手順、作業手順、制御手順を入力する。
8. 保存ボタン Save をクリックし、ジョブレポートを保存する。成功というメッセージが表示される。

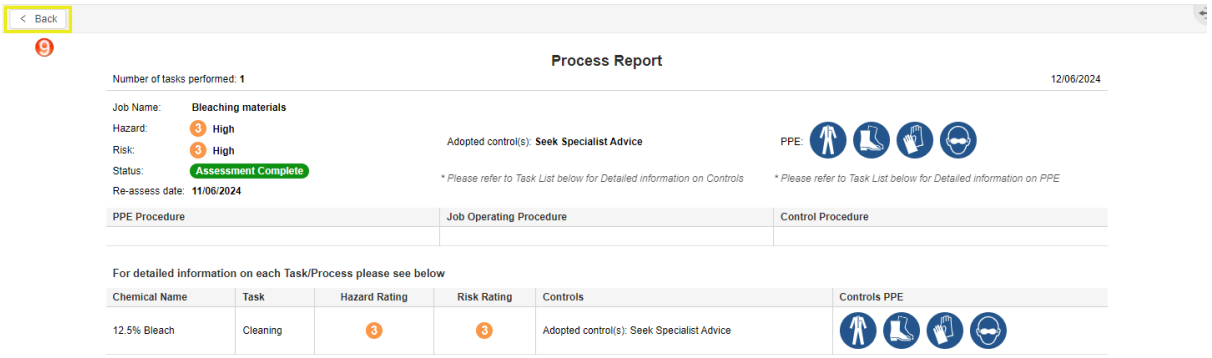
9. レポートの左上にある戻るボタンをクリックし、ジョブモードに戻る。
10. リスクアセスメントボタンをクリックし、リスクアセスメントのページに戻る。

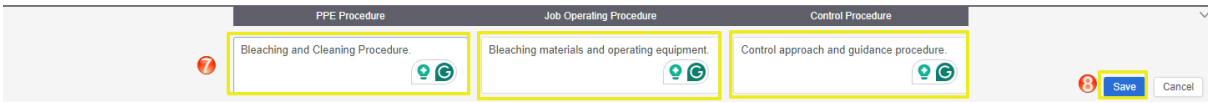


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

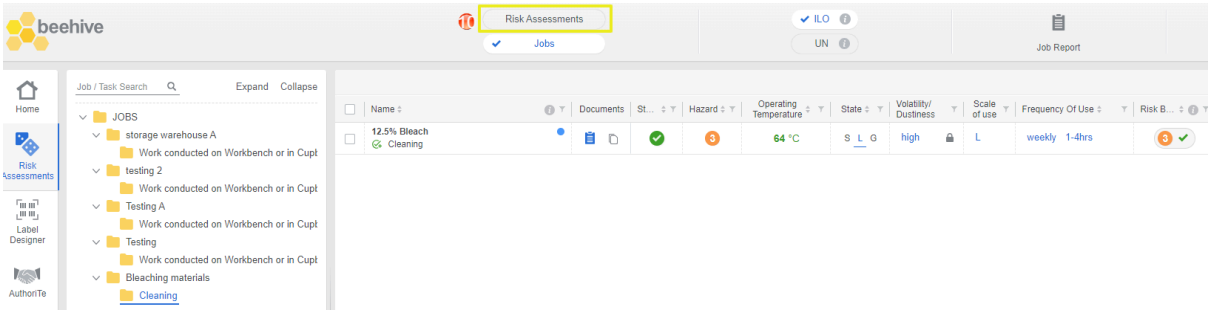


ジョブレポート





リスクアセスメントのページを開く

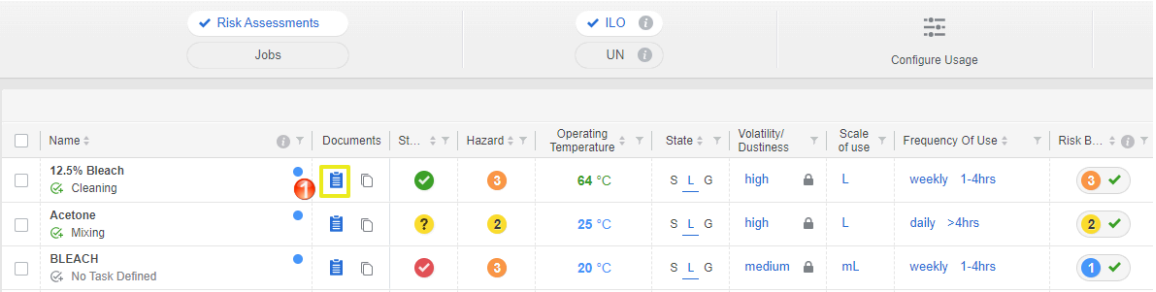


6.1.2 リスクアセスメントレポートを印刷する

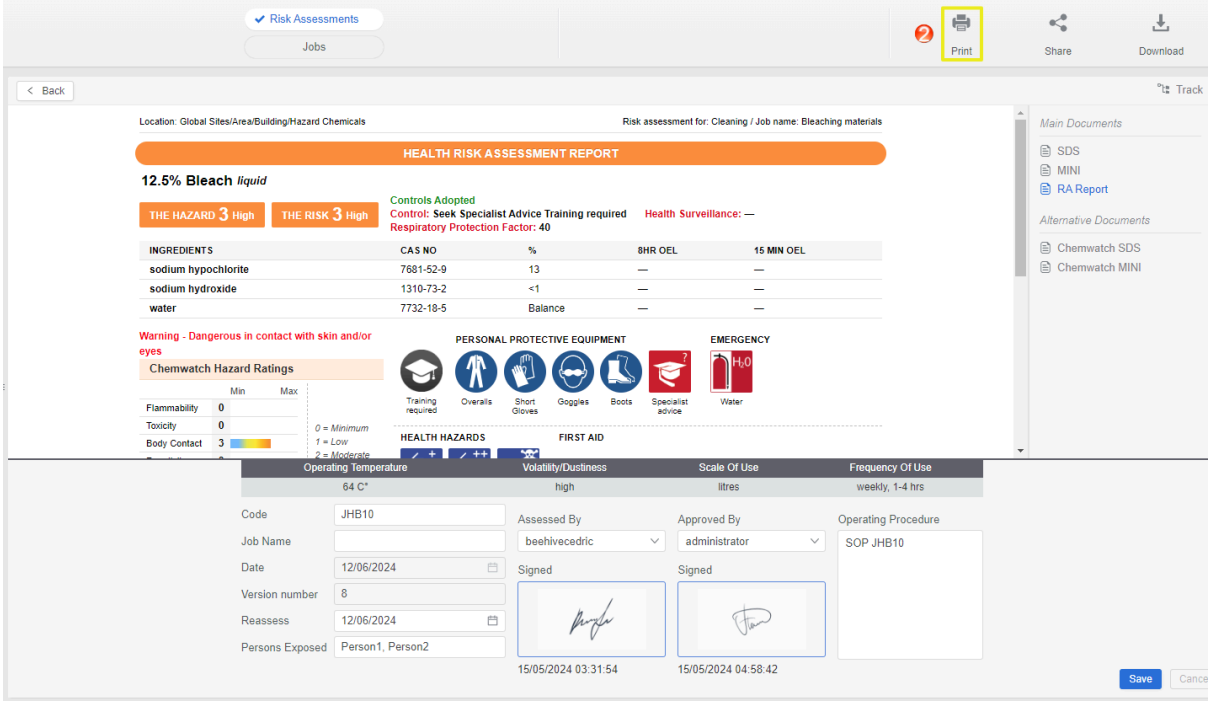
リスクアセスメントレポートの印刷の仕方について解説します。

ステップ：リスクアセスメントレポートを印刷する

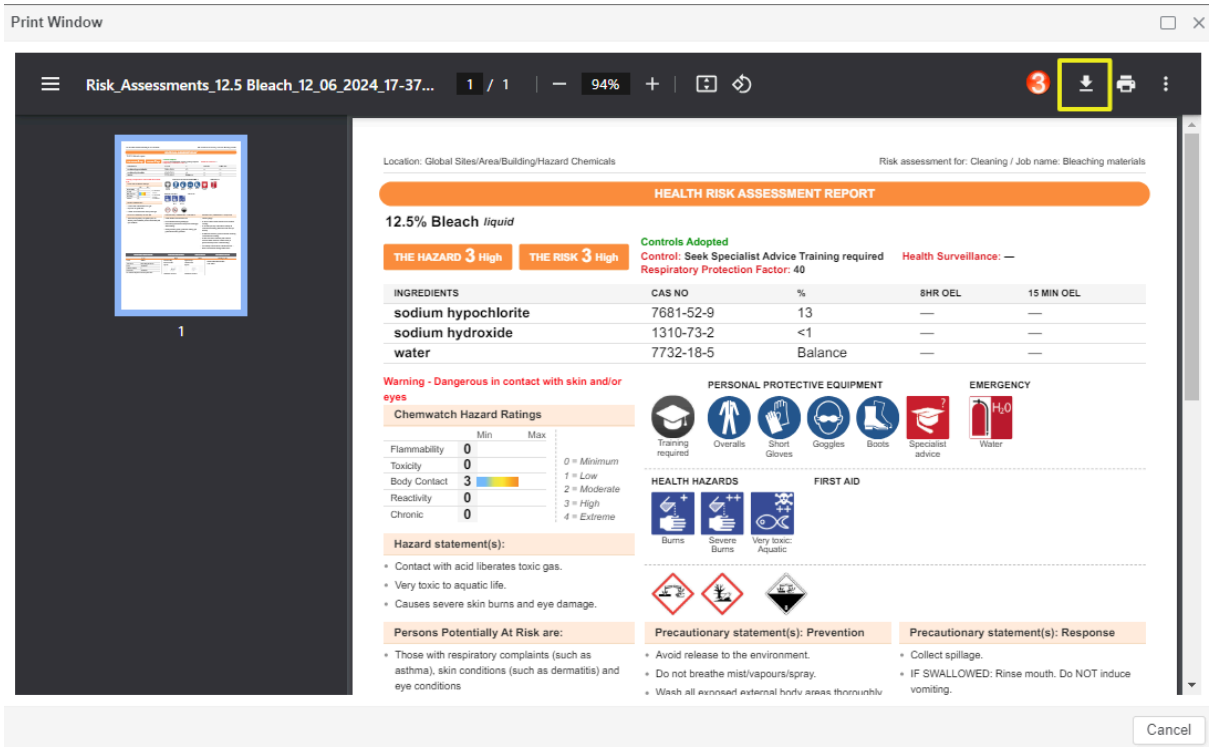
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



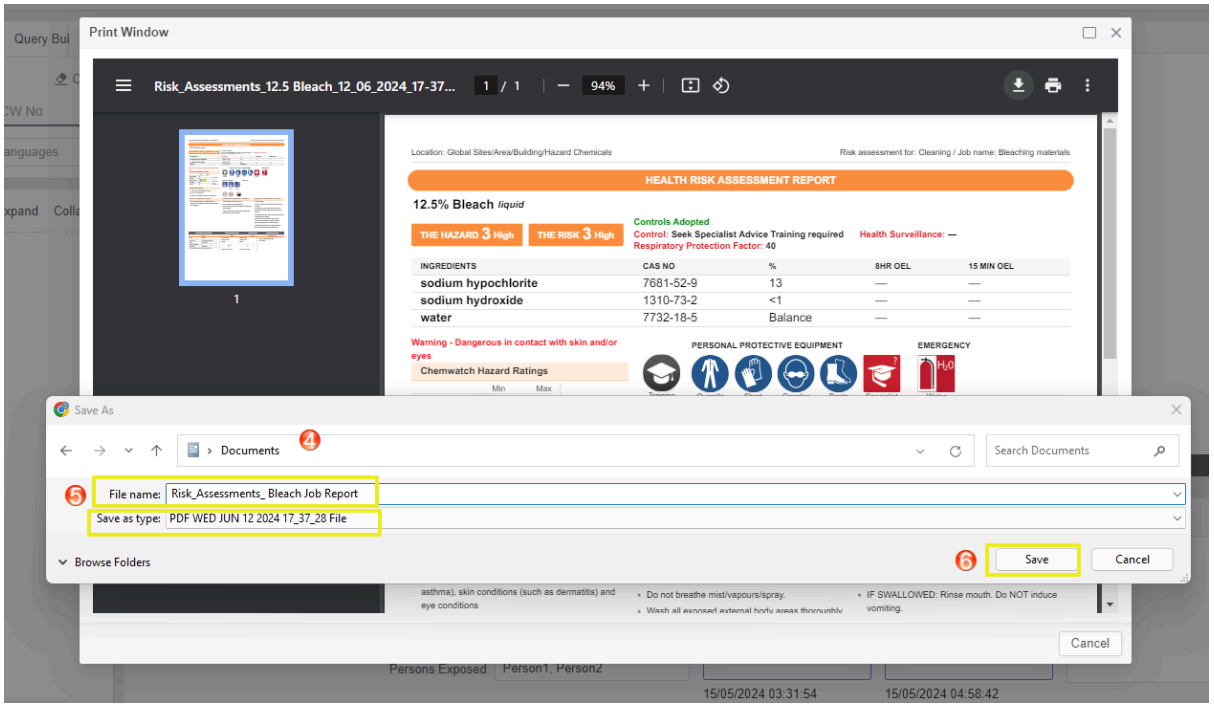
1. 化学品名のカラムにあるリスクアセスメントレポートのアイコン をクリックする。
2. ユーザーインターフェースの右側にある印刷ボタン をクリックする。
3. ダウンロード（保存）または印刷するために、アクロバットリーダーを使用する。
4. レポートの保存先を選択する。
5. ダイアログボックスのファイルネームを入力する。
6. 指定したフォルダにリスクアセスメントレポートを表示するために、レポート名をクリックする。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

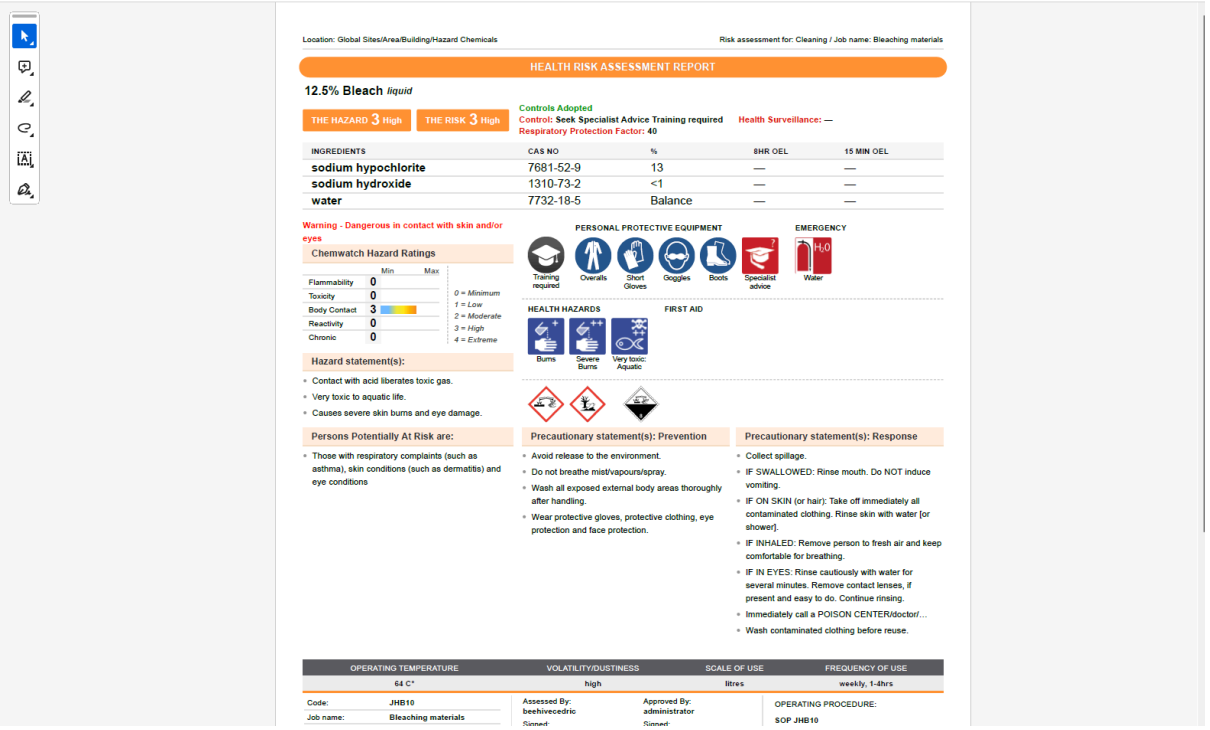


フォルダにファイルを保存する



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

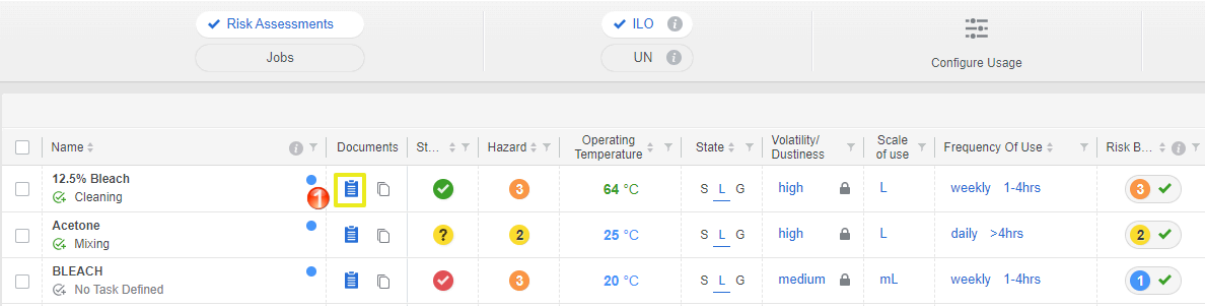
健康リスクアセスメントレポートをダウンロードする



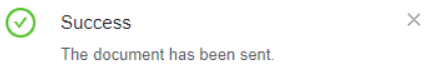
6.1.3 リスクアセスメントレポートの共有（メール）

以下の手順は、リスクアセスメントレポートを共有（メール送信）する方法を示します。

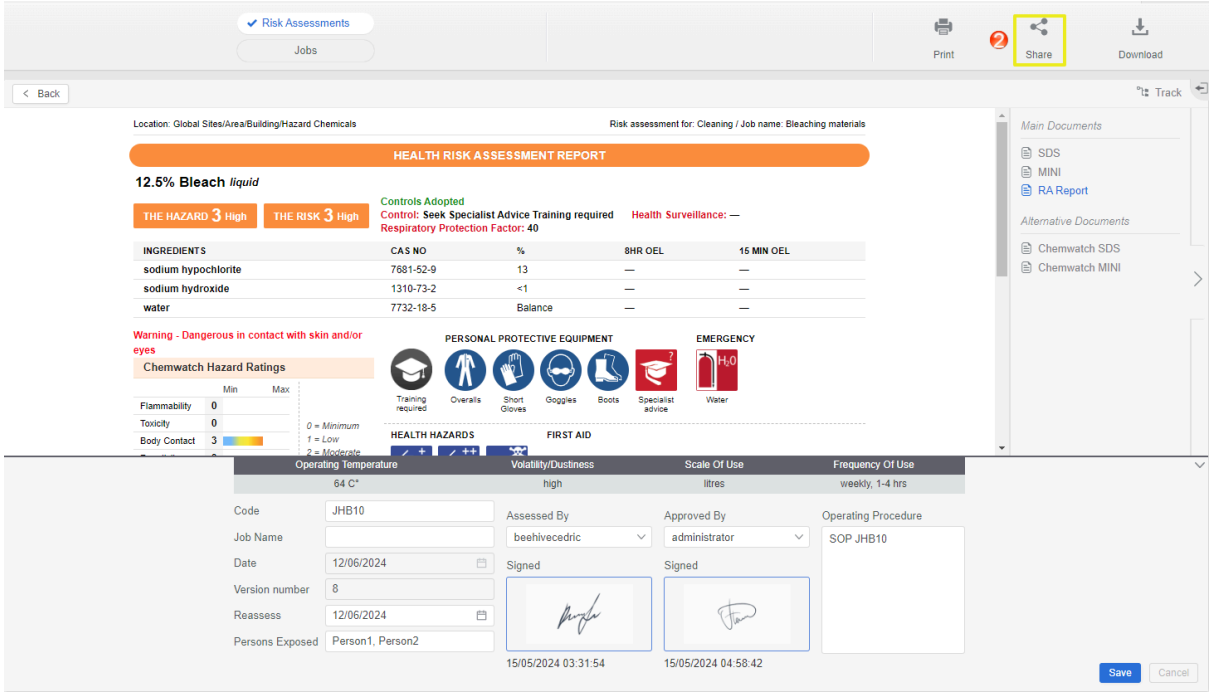
ステップ：リスクアセスメントレポートを共有（メール送信）



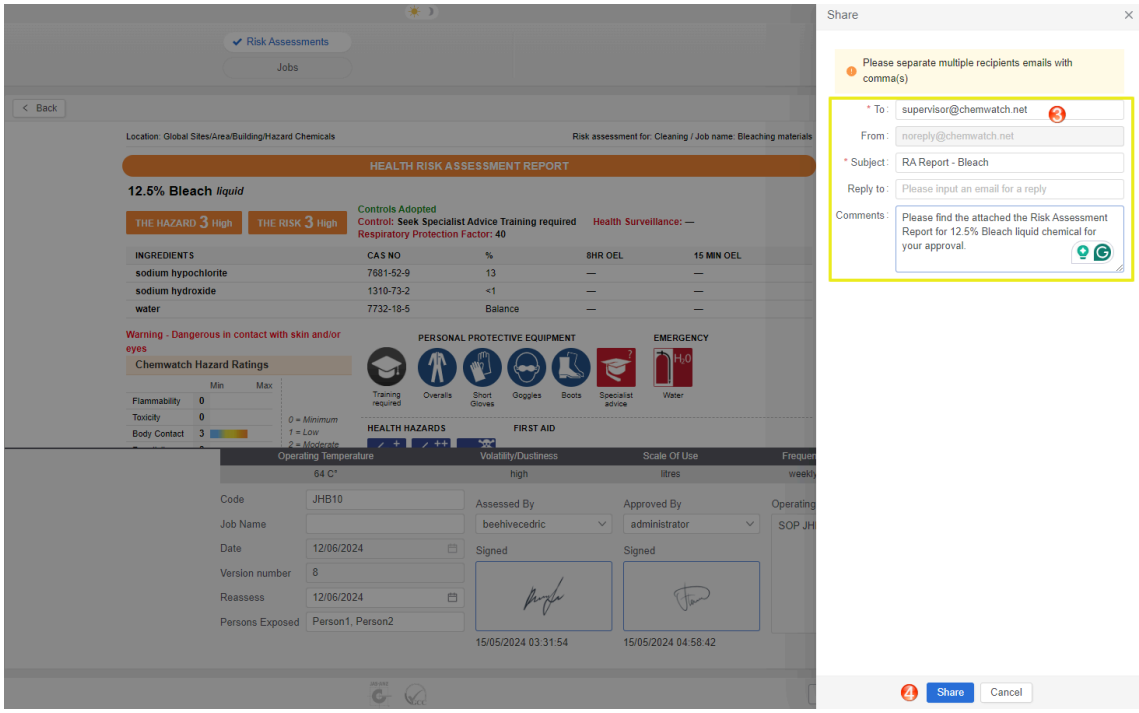
1. 化学物質名の列にあるリスクアセスメントレポートアイコン をクリックします。
2. ユーザーインターフェースの右上にある共有ボタンをクリックします。
3. 共有フィールドに、受信者のメールアドレス、件名、およびコメントを入力します。
4. 「共有」ボタンをクリックして、レポートをメールで送信します。成功のメッセージが表示されます。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



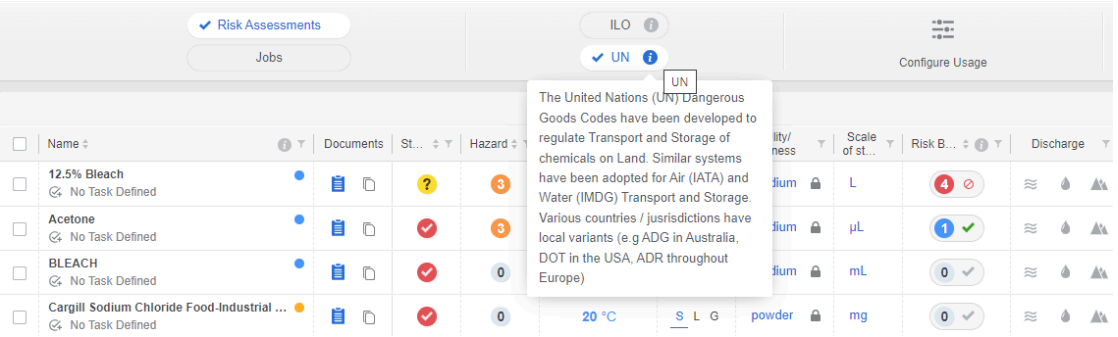
Eメールにレポートを添付して共有するためには、情報を入力してください



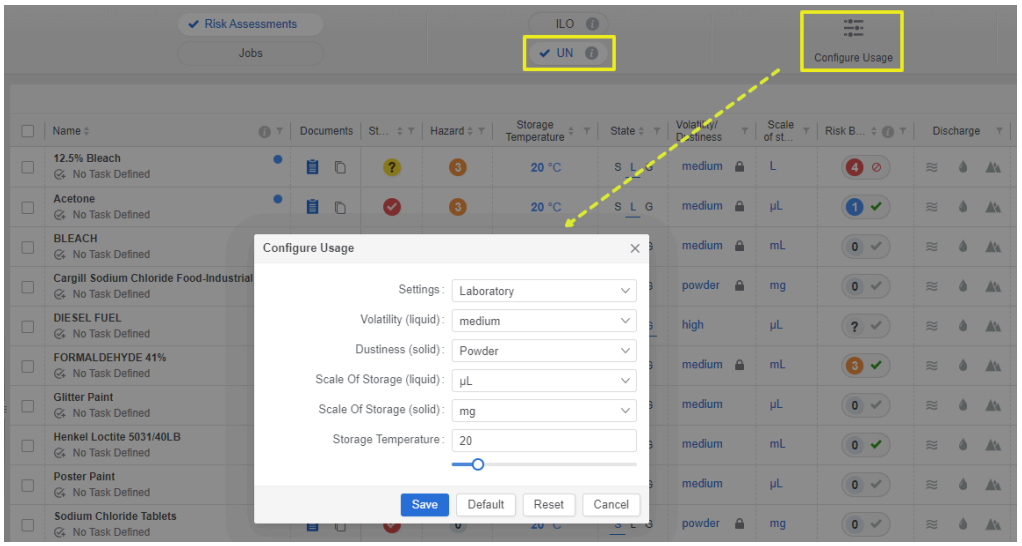
6.2 危険物のリスクアセスメントの実行

UNタブでは、危険物のリスクアセスメントを行うことができます。リスクアセスメントモジュール内の化学物質は、危険物分類基準に基づいて自動的に計算されます。DG（危険物）包装グループはデフォルトで適切なレベルの制御を提供し、化学物質に設定されたリスクアセスメントのパラメータを考慮してリスクバンドを計算します。

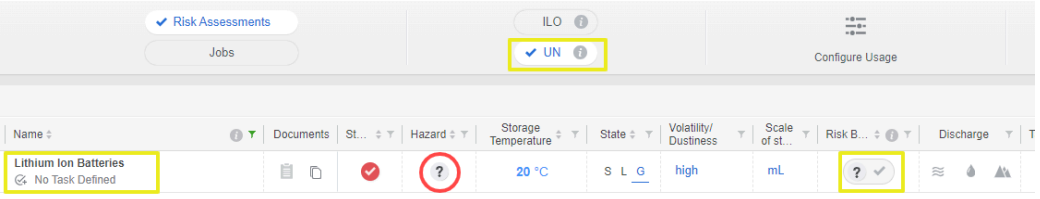
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



このモードの使用設定はデフォルトでケムウォッチ5x5マトリックス（ILOモデル）に設定されています。

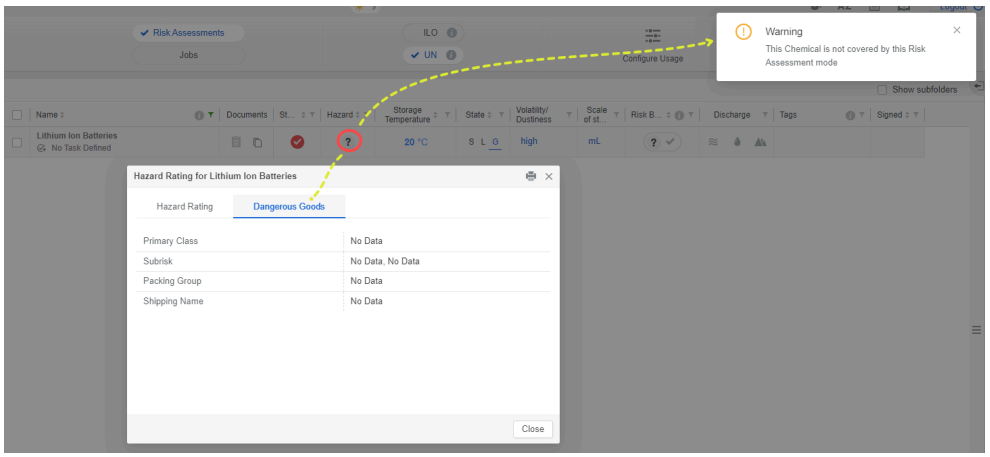


すべての危険物クラスが制御バンディングリスクアセスメントモジュールでカバーされているわけではなく、ケムウォッチのロジックでは危険物クラス7（放射性物質）および危険物クラス9（その他の有害物）は対応していません。これらの化学物質は、危険およびリスクバンドの列に「？」アイコンが表示されます。このアイコンは、一般的に分類データが抽出されていない化学物質も示しています。



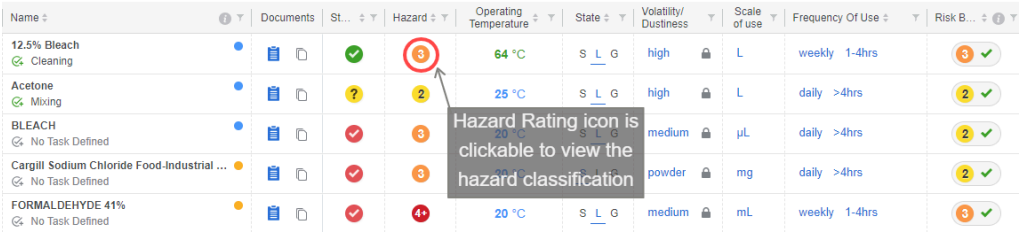
「？」アイコンが表示された化学物質をクリックすると、危険およびDG（危険物）分類の概要ウィンドウが表示され、ユーザーインターフェースの右上に警告メッセージが表示されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

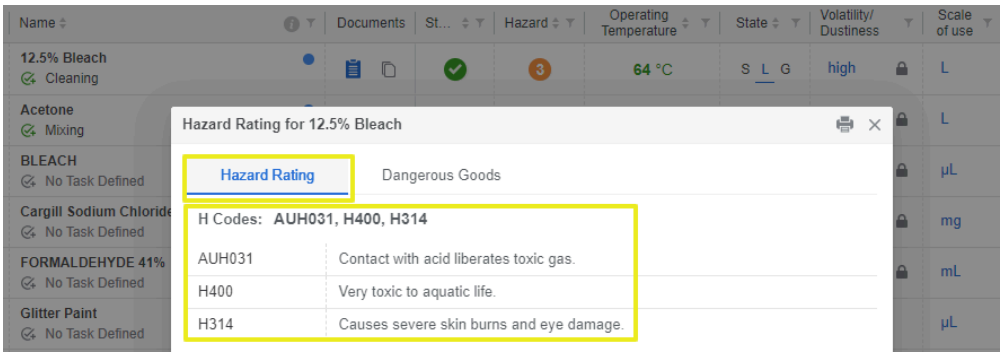


危険物の量はリスクのレベルに影響します。一般的に、化学物質の量が多いほど、リスクが発生する可能性が高くなります。

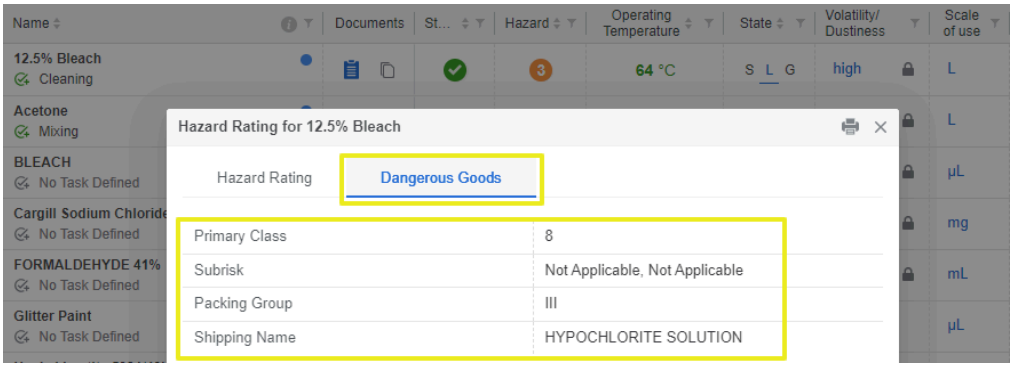
グリッド内の化学物質のデフォルトの危険評価アイコンでは、化学物質の危険ステートメントと危険コードを、化学物質の分類に基づいて表示できます。



分類に基づくハザード評価タブ



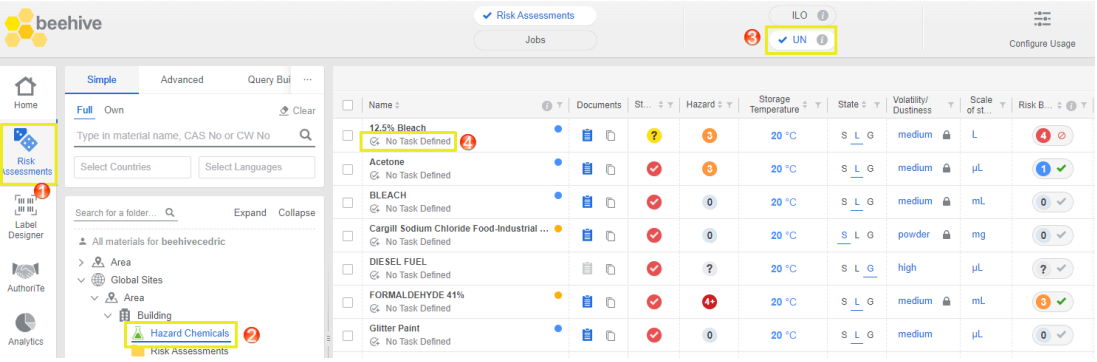
分類の危険物タブ



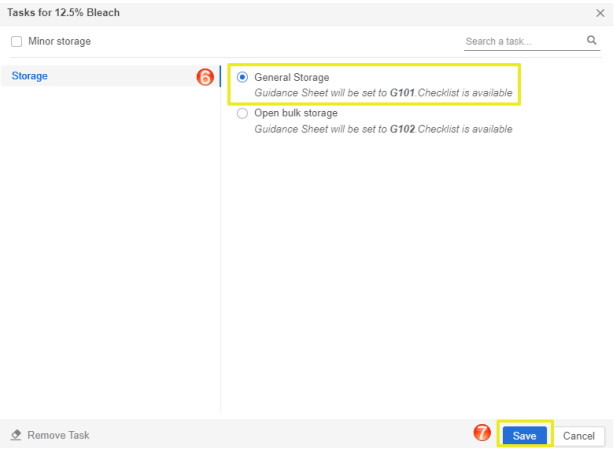
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

以下の手順は、保管（**UN**）に基づいた化学物質のリスクアセスメントを実行する方法を示します。

ステップ：危険物のリスクアセスメントの実行



1. リスクアセスメントモジュールを開く .
2. フォルダの場所をクリックして、製品一覧を表示します。
3. ツールバーの中央上部にあるUN モードボタンをクリックする。
4. 化学物質名の下にあるタスク アイコンを選択する。
5. タスクのリストから特定のタスク名を選択する。
6. タスク名のラジオボタン を選択して、該当するガイダンスシートのチェックリストに適用する。
7. 保存ボタン Save をクリック。タスク名が化学物質名の下に表示されます。



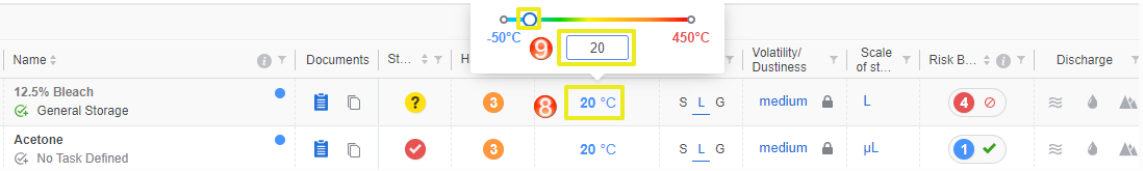
8. 温度値にマウスポインタを重ねる。
9. 温度テキストフィールドをクリックして、該当する値を入力する。
10. 保管規模をクリックして、適切な規模を選択する。
11. リスクバンドアイコンを選択して、リスクバンド適用制御ウィンドウを開く。制御が一致しない場合は、このようなアイコン が表示されます。リスクバンドはデフォルトで自動的に計算されます。
14. チェックリストリンクをクリックして、制御の最適使用に関するリストを開き、リスクを最小化するための適切な制御を選択するか、スイッチをオンにしてすべての推奨チェックリスト項目を自動的に選択する 。
15. リスクアセスメント制御に適用されたケムウォッチ推奨**PPE**（個人保護具）を確認します。該当する場合は、推奨されるPPEのチェックボックスを選択します。
16. コメントセクションにコメントを追加します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

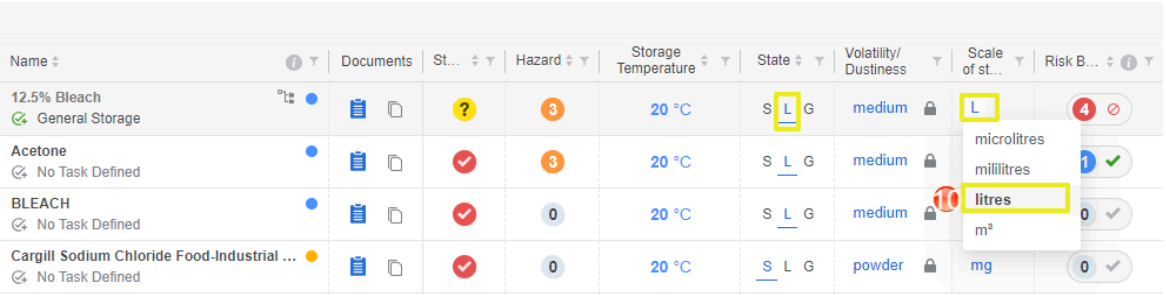
12. この例では、リスク評価が高い 4 とされています。危険物の保管に関して、危険が考慮されているかどうかを確認します。該当する技術的または管理的な制御を、スイッチをオンにして選択します。
13. コンプライアンスチェックが完了していることを確認するために、該当するはい/いいえスイッチ をオンにする。リスクアセスメントの開始日と終了日を設定する。

17. 保存 Save をクリックする。成功のメッセージが表示されます。
18. リスクアセスメントのステータスは未完了 ? と表示されます。 ? アイコンにマウスポインタを重ねます。
19. アセスメント完了 をクリックして、リスクアセスメントを最終化します。成功のメッセージが表示されます。

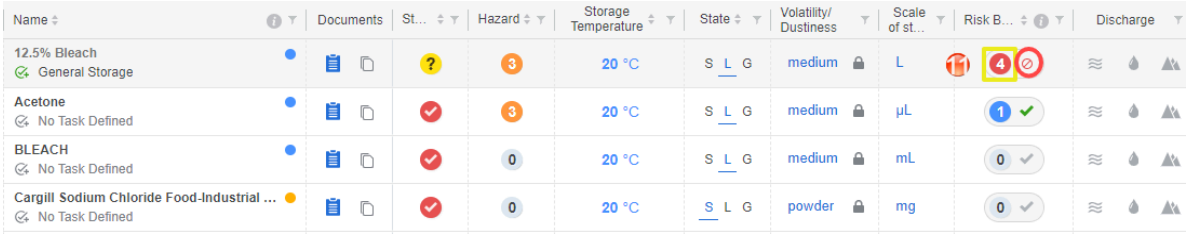
Success
Status was successfully changed



在庫量のスケールを選択

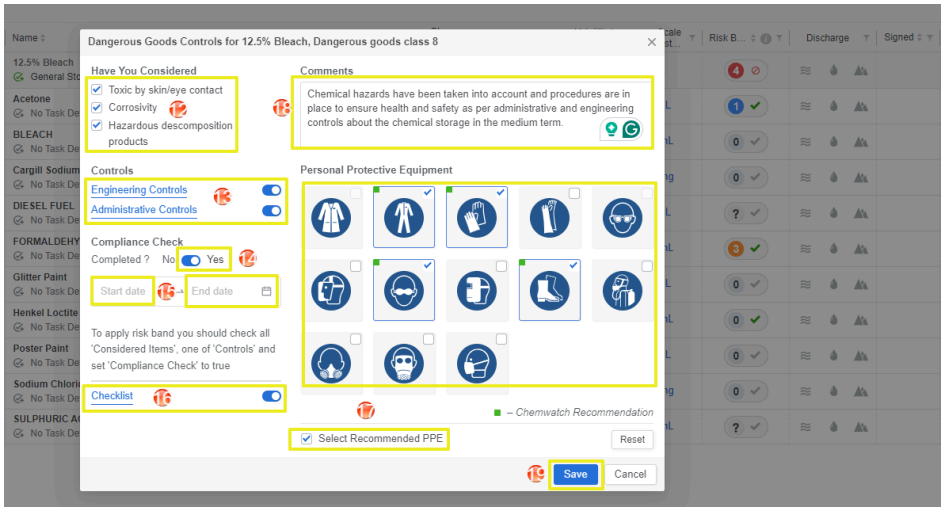


リスクバンド評価と必要とされるコントロール

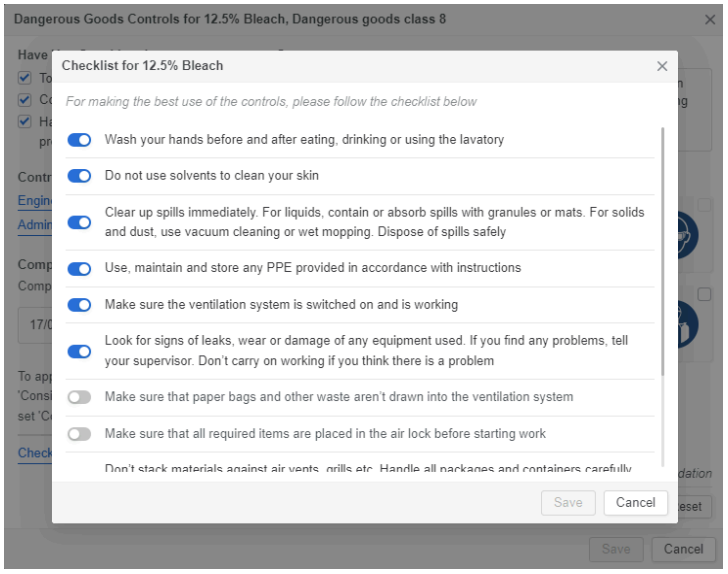


リスクバンド評価とコントロール

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

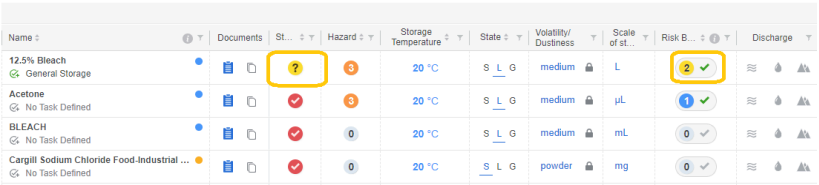


危険物チェックリスト



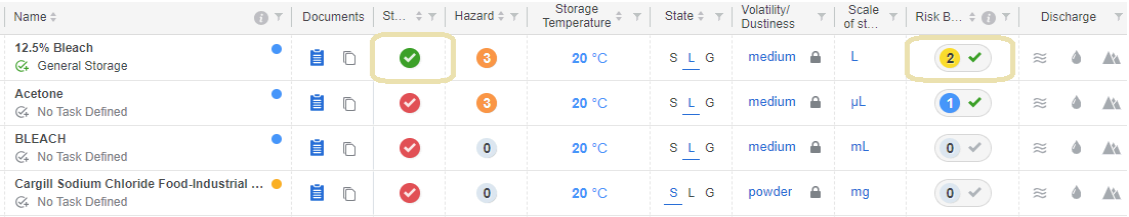
採択されたコントロール

保存した後にコントロールが採択された時、緑のチェックマーク がリスクバンドカラムに表示されます。計算されたリスクバンドは下記のように反映されます。

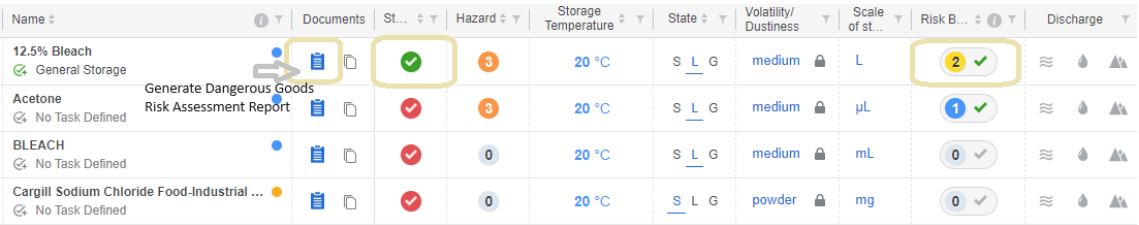


リスクアセスメントを完了した後、ステータスは"リスクアセスメント完了" になります。

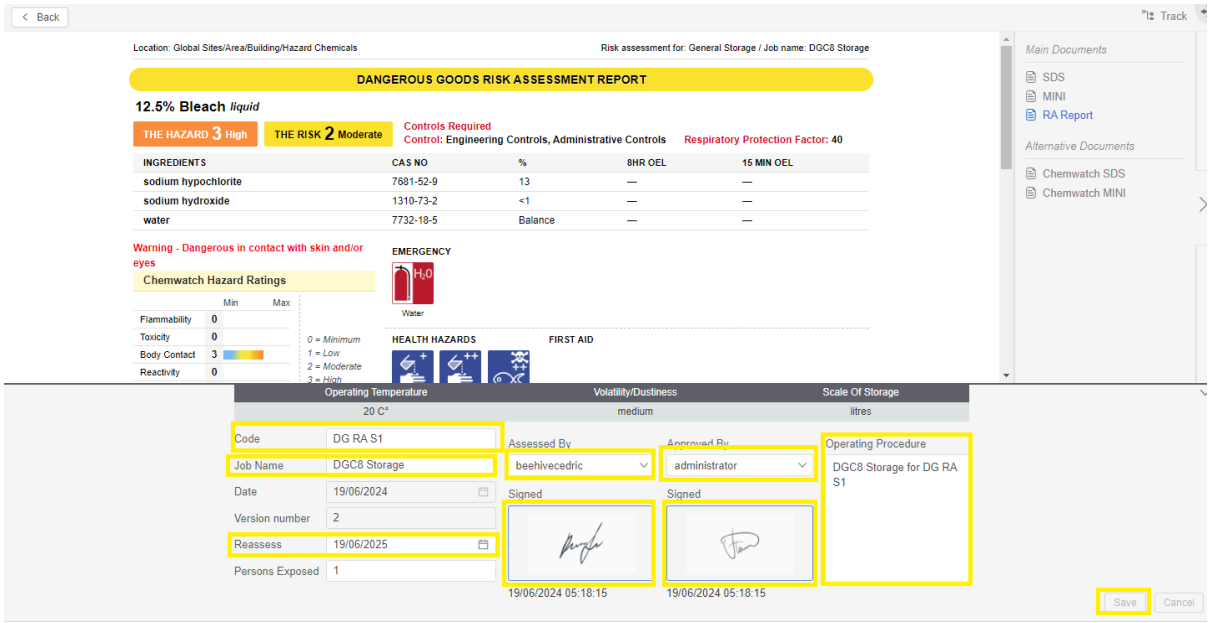
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



危険物のリスクアセスメントレポートを作成するためのステップは以下の通りです。



20. 化学物質名カラムの文書アイコン をクリックし、危険物リスクアセスメントレポートを開く。
21. ジョブコード、アセスメント日、ばく露される人、アセスメントを行う人を入力し、手書きのサインと手続書（任意）をアップロードする。
22. 保存ボタン Save をクリックする。成功というメッセージが表示される。



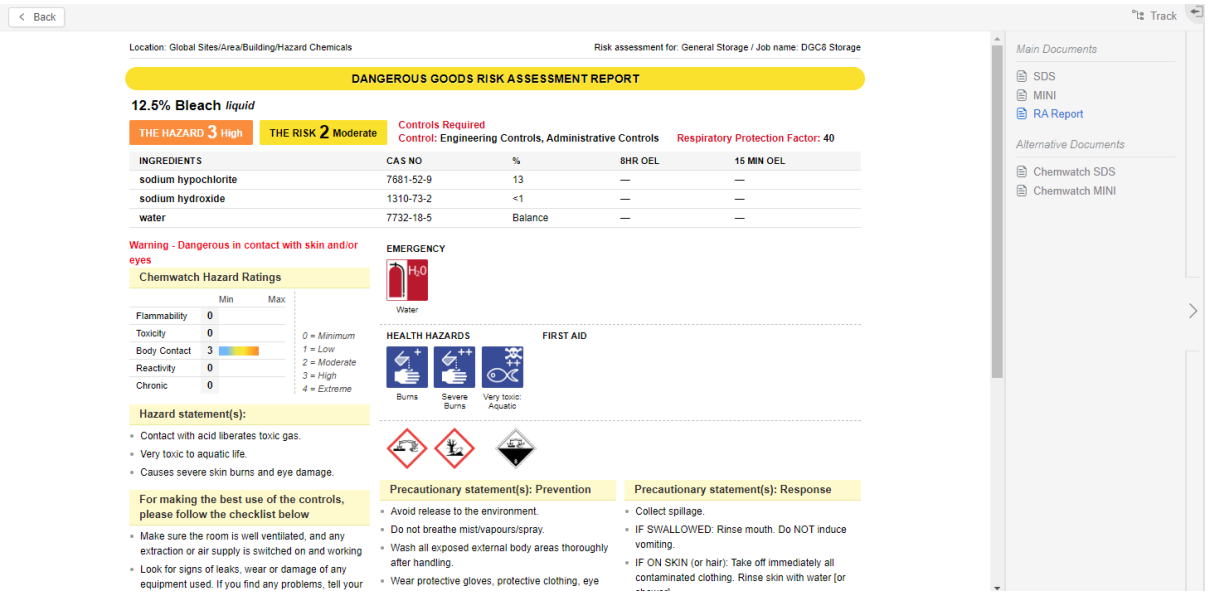
危険物リスクアセスメントレポート

危険物リスクアセスメントレポートは、リスクアセスメントのリスクバンドの色分けがヘッダーに表示された1ページのレポートです。このレポートには次のセクションが含まれています：

- 化学物質の識別

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

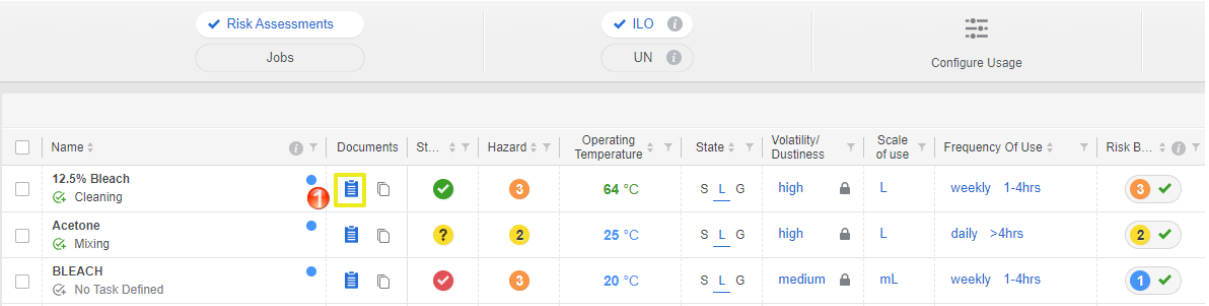
- 危険評価
- 危険ステートメント
- 採用された制御
- 個人保護具（PPE）
- 応急処置
- リスクを受ける可能性のある人物
- 予防措置ステートメント
- 緊急時のグラフィックス
- GHSおよびDGのグラフィックス
- 承認フォーム



6.2.1 危険物リスクアセスメントレポートの印刷手順

危険物リスクアセスメントレポートの印刷の仕方を次に示します。

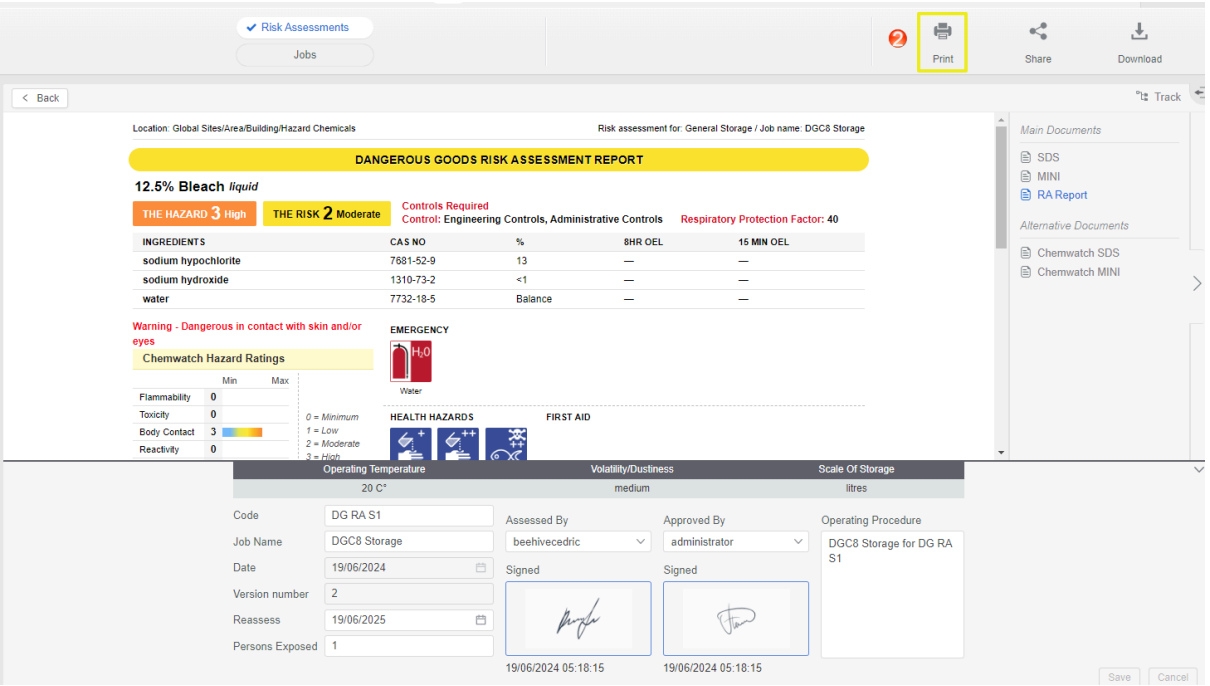
ステップ：リスクアセスメントレポートの印刷



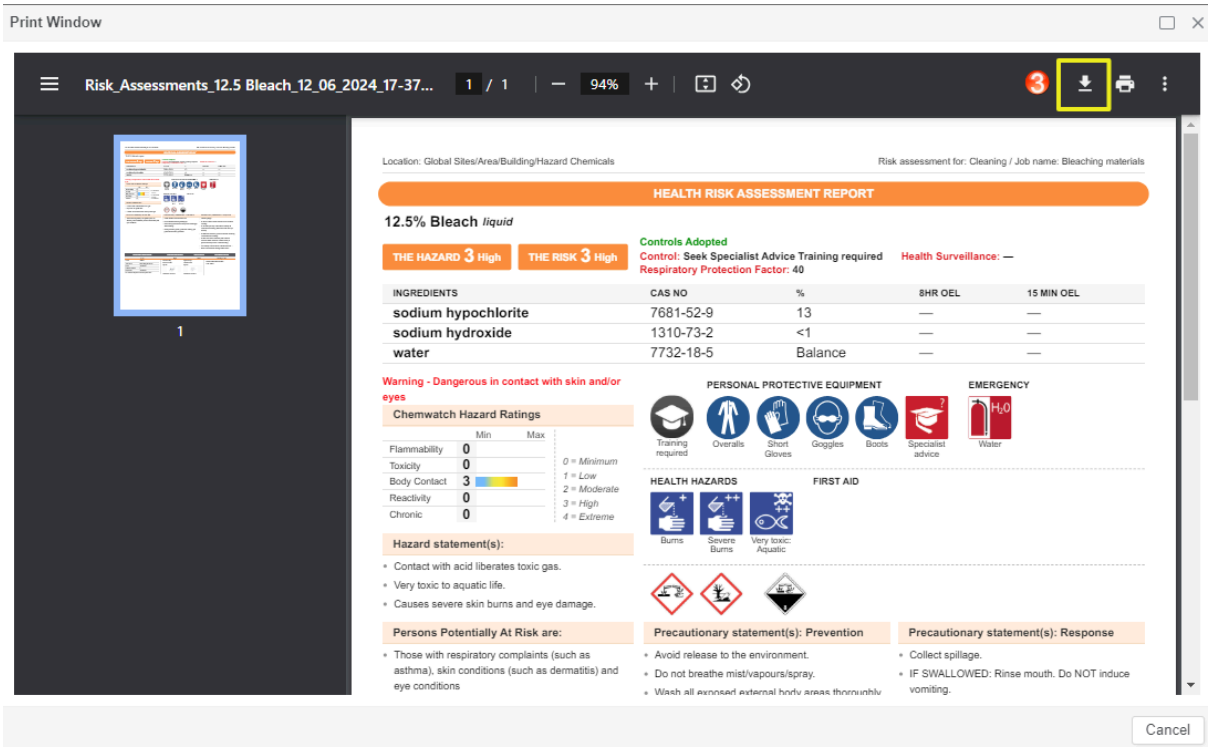
1. 化学物質名の列にあるリスクアセスメントレポートアイコン をクリック する。
4. 保存先フォルダを選択し、ファイル名を入力する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

2. ユーザーインターフェースの右上にある印刷 ボタンをクリックする。
3. Acrobat Readerを使用して、レポートをダウンロード（保存）または印刷する。
5. フォルダの場所からレポート名をクリックして、リスクアセスメントレポートを表示する。

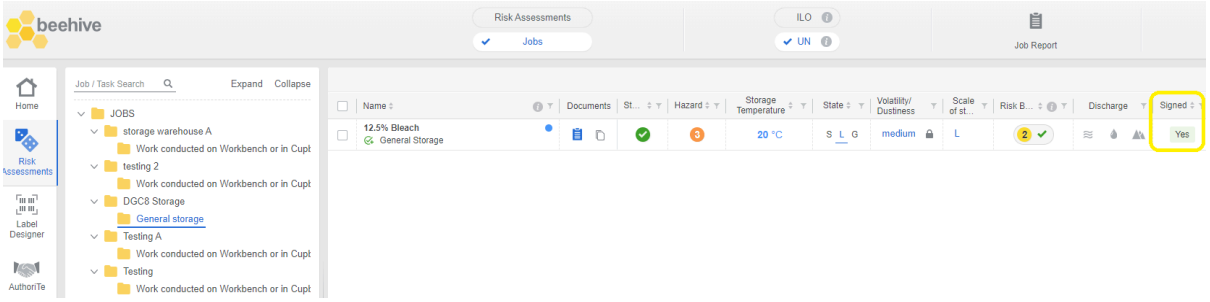


PDFフォーマットでダウンロードしたファイルと保存したレポート

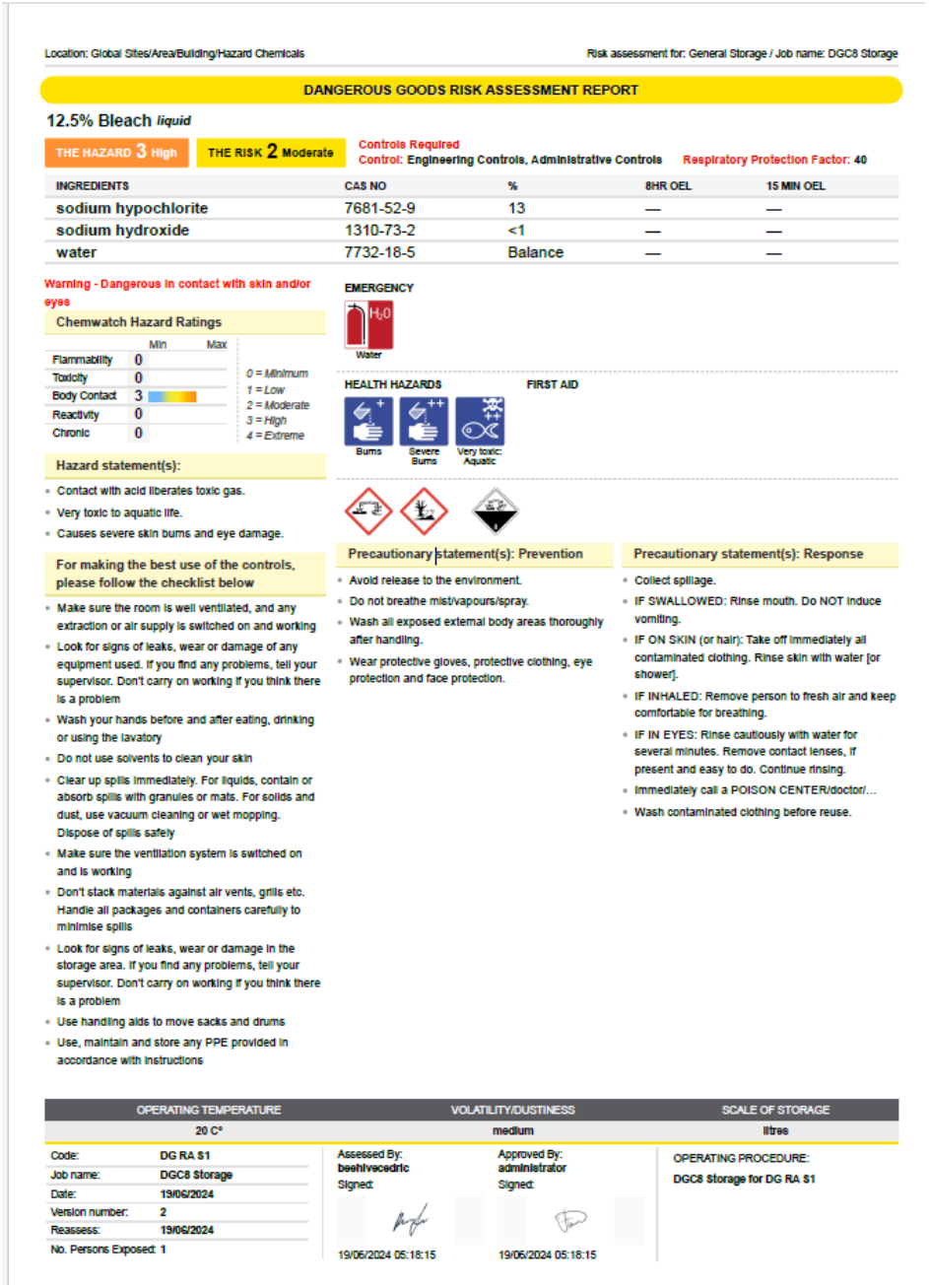


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

リスクアセスメント資料グリッドでは、承認フォームに記入され、署名されている場合は署名済み列に「はい」のテキストが反映され、承認フォームが空の場合は「空白」のセルが表示されます。



ダウンロードされたリスク評価レポート – 評価者と承認者によって承認されました。



Location: Global Sites/Area/Building/Hazard Chemicals

Risk assessment for: General Storage / Job name: DGC8 Storage

DANGEROUS GOODS RISK ASSESSMENT REPORT

12.5% Bleach *liquid*

THE HAZARD 3 High | THE RISK 2 Moderate | Controls Required | Control: Engineering Controls, Administrative Controls | Respiratory Protection Factor: 40

INGREDIENTS	CAS NO	%	8HR OEL	15 MIN OEL
sodium hypochlorite	7681-52-9	13	—	—
sodium hydroxide	1310-73-2	<1	—	—
water	7732-18-5	Balance	—	—

Warning - Dangerous in contact with skin and/or eyes

Chemwatch Hazard Ratings

	Min	Max
Flammability	0	
Toxicity	0	
Body Contact	3	
Reactivity	0	
Chronic	0	

0 = Minimum
1 = Low
2 = Moderate
3 = High
4 = Extreme

EMERGENCY

Water

HEALTH HAZARDS: Burns, Severe Burns, Very toxic: Aquatic

FIRST AID

Hazard statement(s):

- Contact with acid liberates toxic gas.
- Very toxic to aquatic life.
- Causes severe skin burns and eye damage.

For making the best use of the controls, please follow the checklist below

- Make sure the room is well ventilated, and any extraction or air supply is switched on and working
- Look for signs of leaks, wear or damage of any equipment used. If you find any problems, tell your supervisor. Don't carry on working if you think there is a problem
- Wash your hands before and after eating, drinking or using the lavatory
- Do not use solvents to clean your skin
- Clear up spills immediately. For liquids, contain or absorb spills with granules or mats. For solids and dust, use vacuum cleaning or wet mopping. Dispose of spills safely
- Make sure the ventilation system is switched on and is working
- Don't stack materials against air vents, grills etc. Handle all packages and containers carefully to minimise spills
- Look for signs of leaks, wear or damage in the storage area. If you find any problems, tell your supervisor. Don't carry on working if you think there is a problem
- Use handling aids to move sacks and drums
- Use, maintain and store any PPE provided in accordance with instructions

Precautionary statement(s): Prevention

- Avoid release to the environment.
- Do not breathe mist/vapours/spray.
- Wash all exposed external body areas thoroughly after handling.
- Wear protective gloves, protective clothing, eye protection and face protection.

Precautionary statement(s): Response

- Collect spillage.
- IF SWALLOWED: Rinse mouth. Do NOT induce vomiting.
- IF ON SKIN (or hair): Take off immediately all contaminated clothing. Rinse skin with water [or shower].
- IF INHALED: Remove person to fresh air and keep comfortable for breathing.
- IF IN EYES: Rinse cautiously with water for several minutes. Remove contact lenses, if present and easy to do. Continue rinsing.
- Immediately call a POISON CENTER/doctor/...
- Wash contaminated clothing before reuse.

OPERATING TEMPERATURE	VOLATILITY/DUSTINESS	SCALE OF STORAGE
20 C°	medium	litres

Code:	DG RA S1
Job name:	DGC8 Storage
Date:	19/06/2024
Version number:	2
Reassess:	19/06/2024
No. Persons Exposed: 1	

Assessed By: beehivecedric
Signed:
19/06/2024 05:18:15

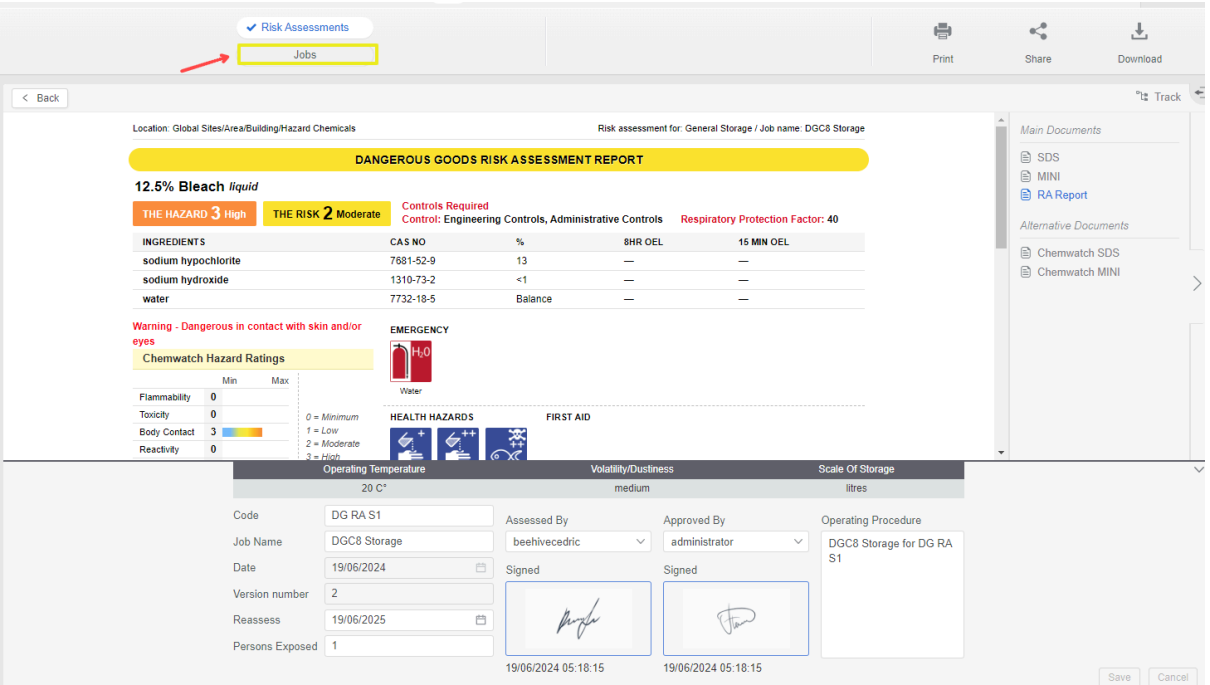
Approved By: administrator
Signed:
19/06/2024 05:18:15

OPERATING PROCEDURE:
DGC8 Storage for DG RA S1

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

6.2.2 リスクアセスメントのジョブを生成する

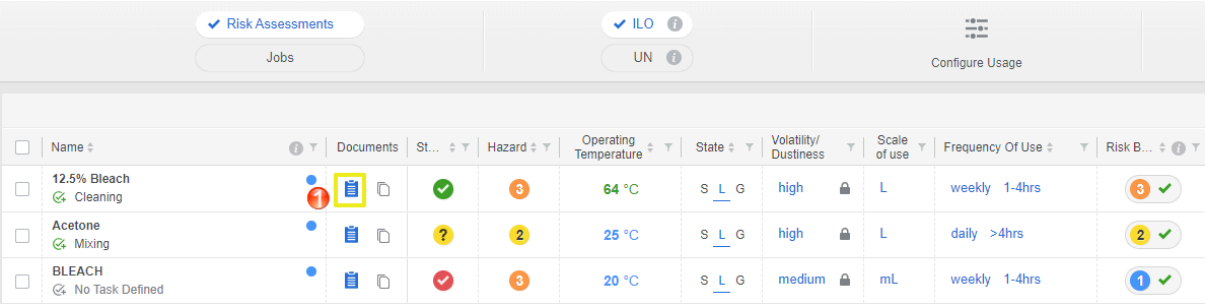
リスクアセスメントジョブレポートは、ジョブの強力な要約であり、ジョブに関連する作業タスクの詳細が含まれます。リスクアセスメントは、作業安全または作業ハザード分析と混同されることが多く、主な違いは作業範囲です。一般的に、リスクアセスメントは職場全体のハザードを評価するために使用され、一般的にはリスクマトリックスを使用してそれぞれのハザードとコントロールに優先順位を付けます。このプロセスでは、通常、ジョブを調べて小さなタスクに分割し、各タスクの潜在的なハザードを特定して、それらのハザードを管理し、潜在的なリスクを軽減するための予防措置とコントロールを決定します。システムでこのような作業タスクを処理するために、リスク評価モジュールにはジョブと呼ばれる補助モードが含まれています。



リスクアセスメントモジュールを使用すると、ユーザーはソフト署名を適用し、リスクアセスメントレポートを共有 (メール) するだけで、リスクアセスメントを承認し、監督者または安全衛生管理者の承認を得ることができます。次に、承認者はソフト署名を使用してリスク評価を承認します。次の手順では、承認フォームを使用して評価者としてリスクアセスメントを承認する方法を示します。

ステップ：リスクアセスメントの承認を生成する

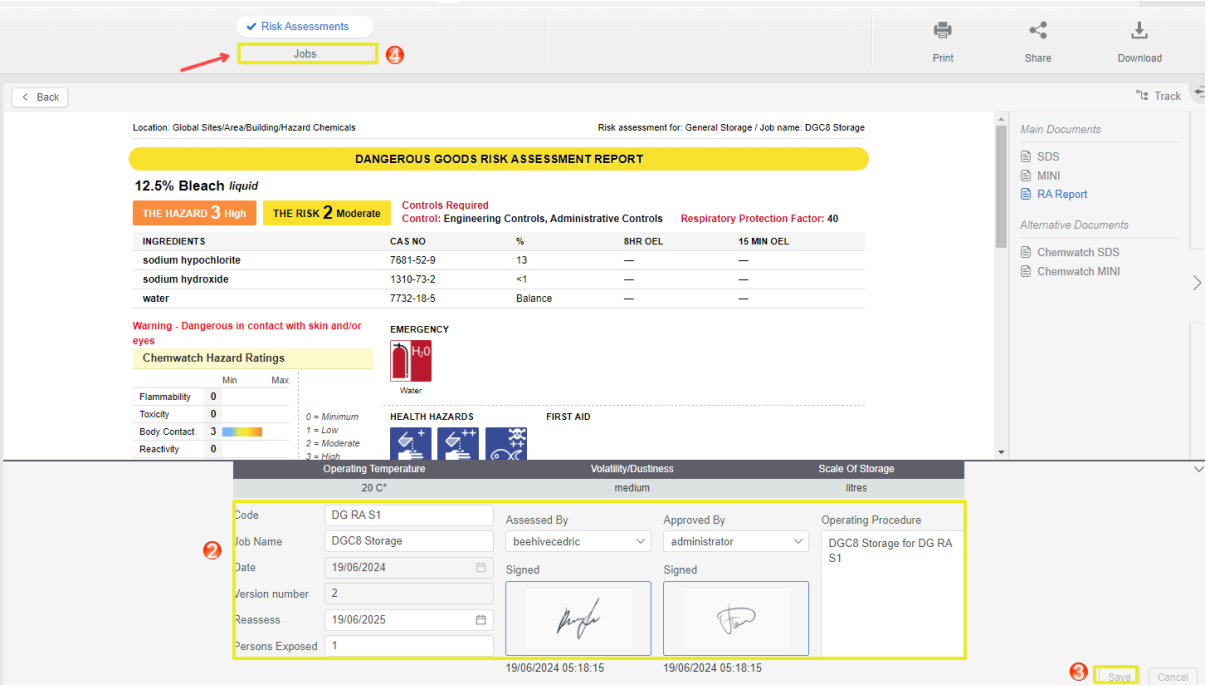
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



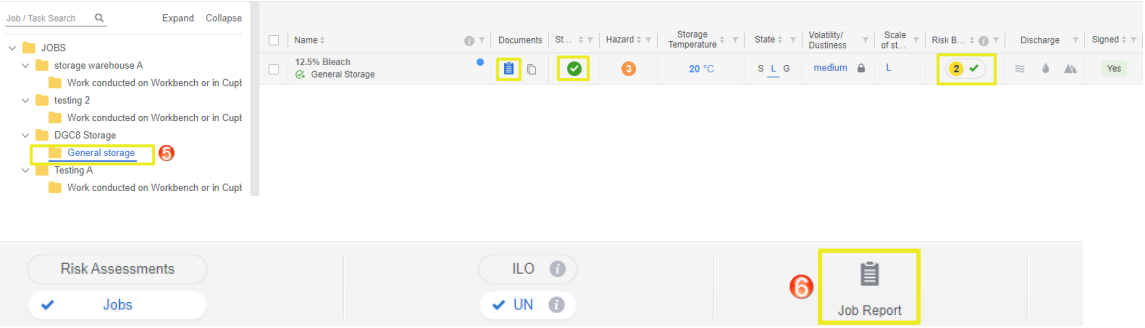
1. 化学物質名の列にあるリスクアセスメントレポート アイコンをクリックする。
2. ジョブコード、アセスメント日、再アセスメント日、曝露される人物、アセスメント担当者のフィールドを入力し、ソフトサインと手順書（任意）をアップロードする。
3. 保存ボタン Save をクリックする。成功のメッセージが表示される。
4. リスクアセスメントのツールバーの中央上部にあるジョブボタンをクリックする。ジョブのタスク名がリスクアセスメントレポートの右上に表示されていることに注意する。

5. フォルダパネルからジョブタスク名を選択する。
6. リスクアセスメントツールバーの右側にあるジョブレポートボタンをクリックする。
7. PPE手順、ジョブ運用手順、ジョブの制御手順を入力する。
8. 保存ボタン Save をクリックしてジョブレポートを保存する。成功のメッセージが表示される。

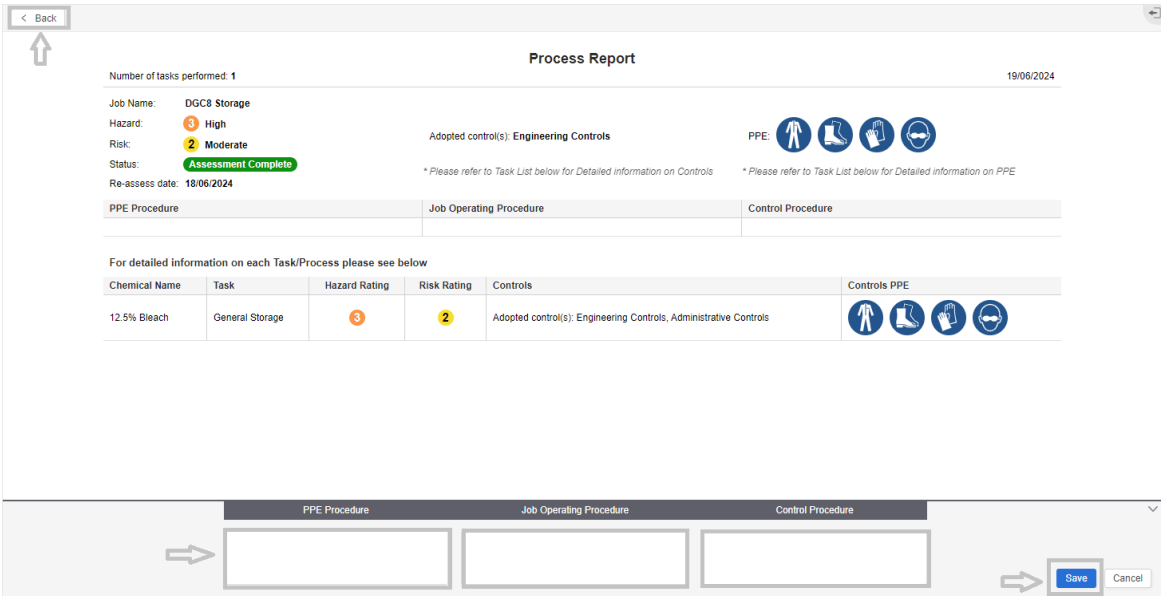
9. レポートの左上にある戻るボタンをクリックしてジョブモードに戻る。
10. ツールバーにあるリスクアセスメントボタンをクリックして、メインのリスクアセスメントページに戻る。



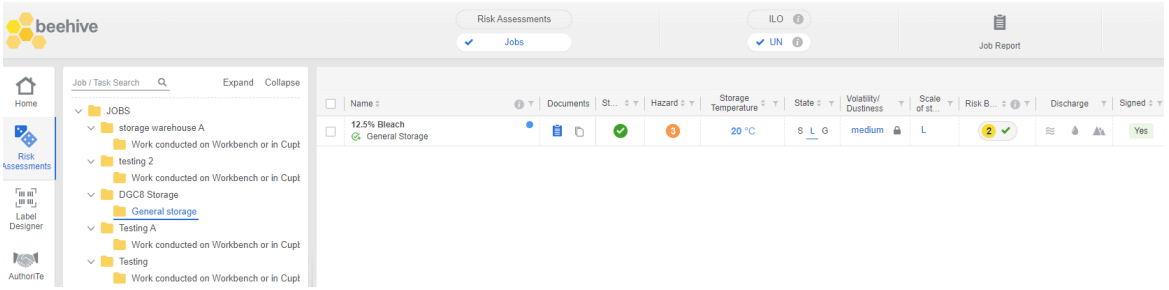
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



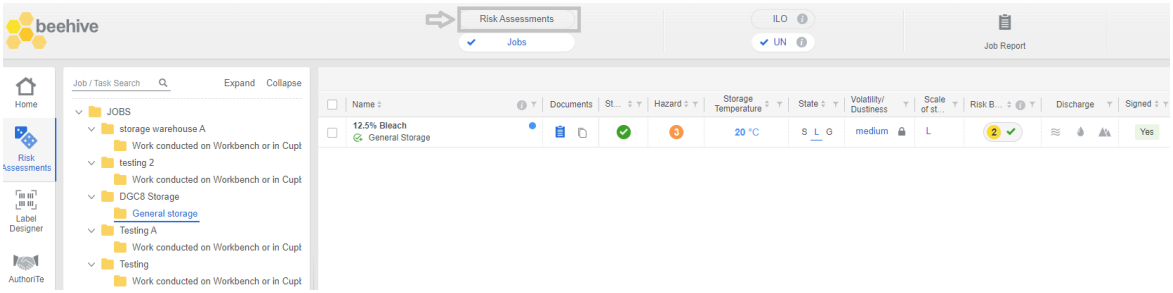
ジョブレポート



ジョブリスクアセスメントのページを開く



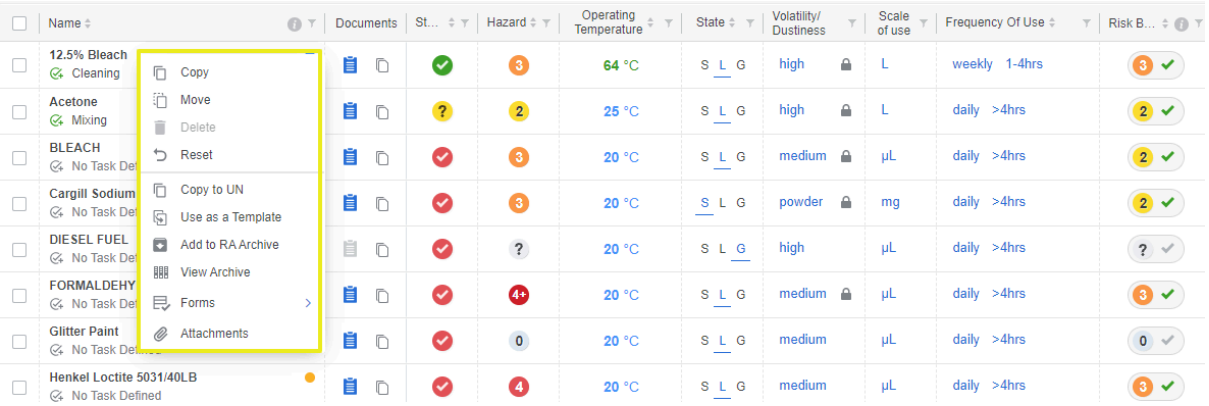
メインのリスクアセスメントモジュールページに戻るには、以下に示すように、上部のツールバーにある リスクアセスメントボタンをクリックします。



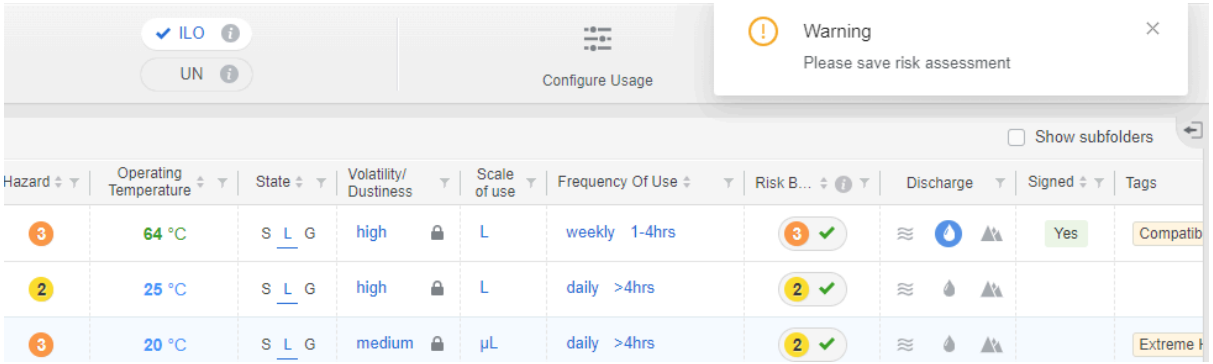
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

6.3 リスクアセスメントグリッドの化学物質名に対する右クリック機能

右クリック機能では、リスクアセスメントモジュール内の各物質に対して特定のタスクを実行することができます。リスクアセスメントが完了（保存）されている場合にのみアクティブになります。



リスクアセスメントが保存または完了していない場合、ユーザーインターフェースの右上に警告メッセージが表示されます。



ILO/UN モードでリスクアセスメントを行う際の右クリック メニューについて

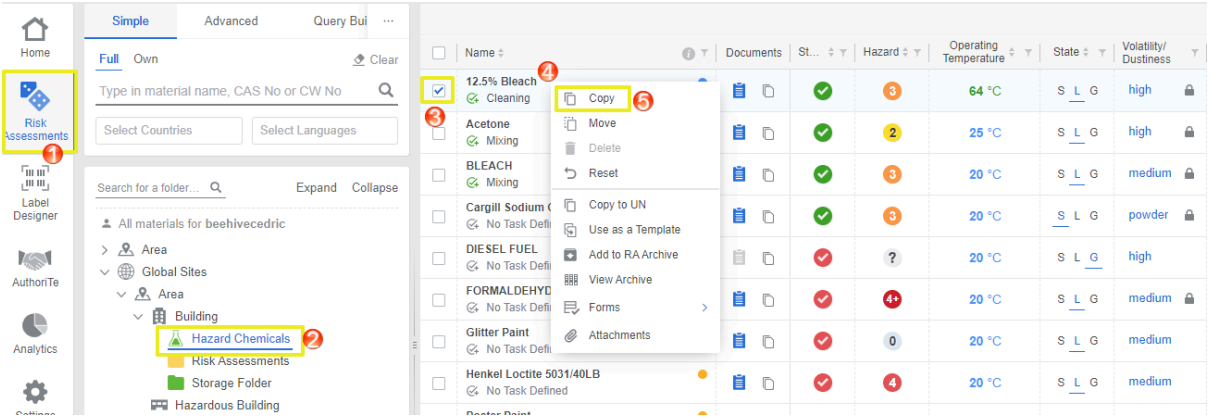
メニューオプション	説明
コピー	単一または複数のリスクアセスメント文書を別のフォルダーにコピーします。既存のドキュメントの同一のコピーを、宛先フォルダー内の既存のレコードにコピーすることはできません。 Warning Such document exists already in this folder. Identical copies are not allowed.
移動	単一または複数の製品を別のフォルダに移動します。リスク評価済みの製品は、完了したすべてのリスク評価パラメーターと共に移動されます。既存の記録に同一の書類のコピーを移動することはできません。
リセット	リスク評価を「評価が必要」にリセットします。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

メニューオプション	説明
UNにコピー	リスク評価済みの製品をパラメーターと共にUN（危険物）モードにコピーします。コピーされたリスク評価済みの製品は「評価未完了」のステータスとなりますのでご注意ください。
テンプレートとして使用	テンプレートとして使用するためのクローンを作成します。
添付	添付ファイル（書類）を追加します。
RAアーカイブに追加	リスクアセスメントをアーカイブリポジトリに保存し、後で取得できるようにします。アーカイブされたリスクアセスメントの書類はPDF形式で保存され、アーカイブパネルから印刷することができます。
アーカイブを閲覧する	アーカイブされたリスクアセスメントを表示します。
フォームス	既に作成された化学品のリスクアセスメントフォームに入力します。フォームはフォームビルダーモジュールを使用して作成されます。

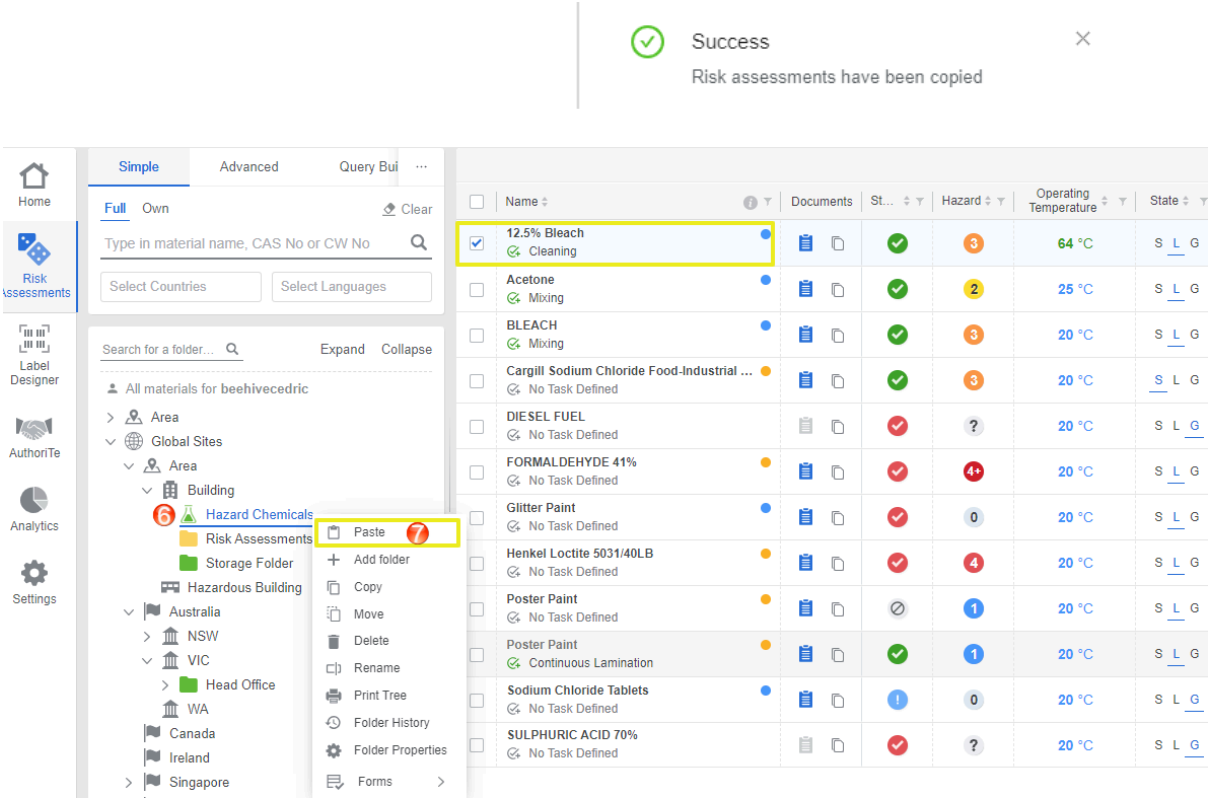
6.3.1 リスクアセスメントを別のフォルダにコピーする

次に、別のフォルダにリスクアセスメントをした化学物質をコピーする方法について示します。
ステップ：同じフォルダ内にリスクアセスメントをコピーする

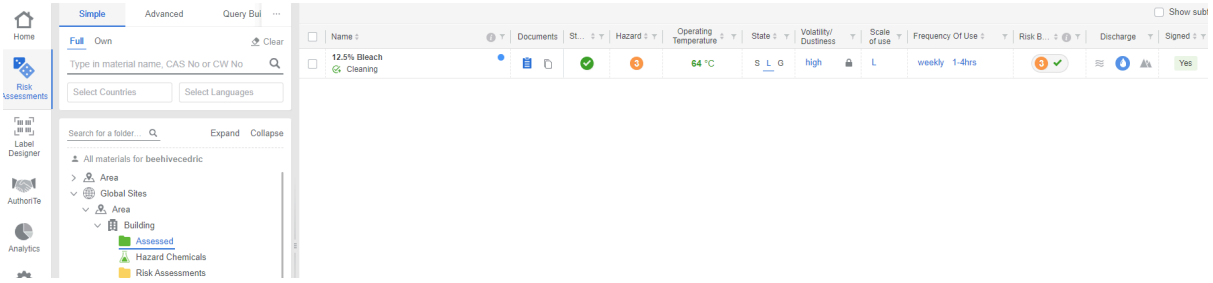


1. リスクアセスメントモジュールボタンをクリックする。
2. フォルダを開いて、製品のインベントリを一覧表示する。
3. コピーしたい化学物質の名前の横にあるチェックボックスを選択する。
4. リスクアセスメントモード（ILOまたはUN）を確認し、化学物質名のチェックボックスを右クリックする。
5. コピーを選択する。
6. 資料を移動させたいフォルダを右クリックする。貼り付けを選択する。成功のメッセージが表示される。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



保存したいフォルダにコピーされたリスクアセスメント済みの資料が表示されます

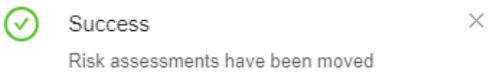


6.3.2 リスクアセスメントを別のフォルダに移動する

リスクアセスメントを別のフォルダーに移動すると、リスクアセスメントされた化学物質とそのすべてのパラメータが選択したフォルダーに移動されます。次の手順は、単一のリスクアセスメントを別のフォルダーに移動する方法を示しています。

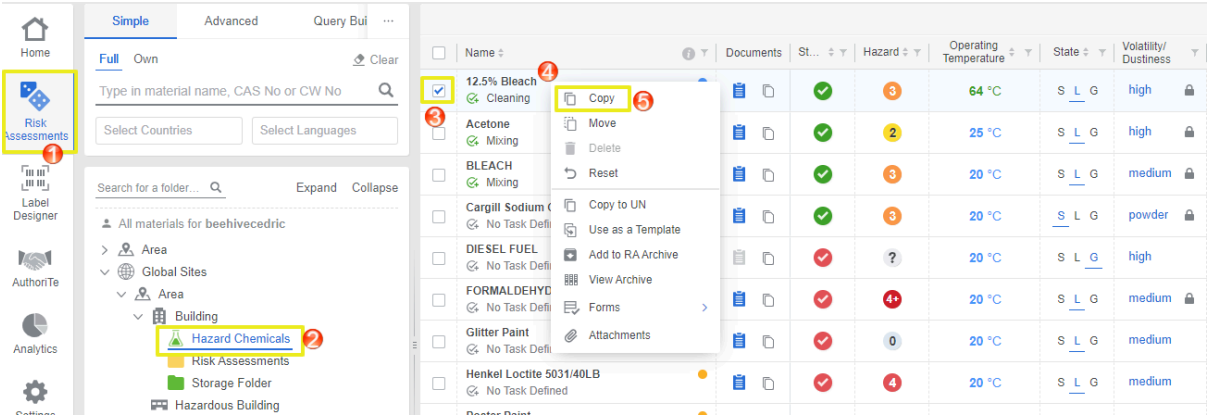
ステップ：リスクアセスメントを別のフォルダに移動する

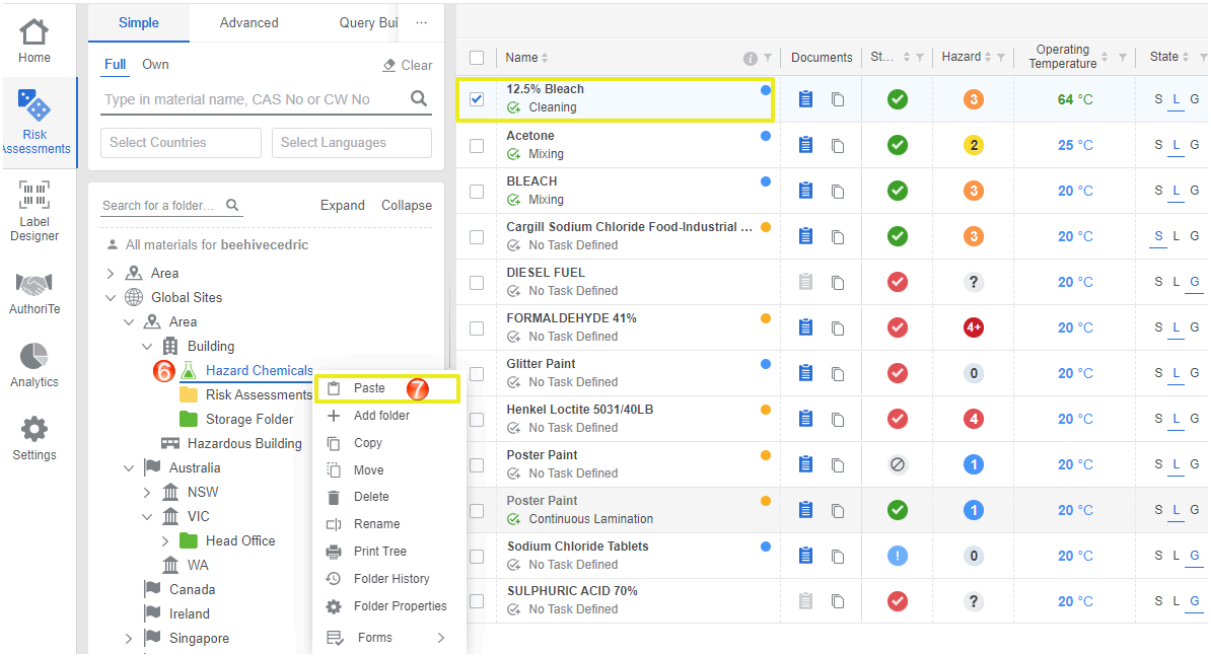
1. リスクアセスメントモジュールボタンをクリックする。
2. フォルダを開いて、製品のインベントリを一覧表示する。
3. 移動したい化学物質の名前の横にあるチェックボックスを選択する。
5. 移動を選択する。
6. 別のフォルダを右クリックする。もし、化学物質がすでにそのフォルダに存在している場合は、この操作は無効となります。
7. 貼り付けを選択する。成功メッセージが表示されます。



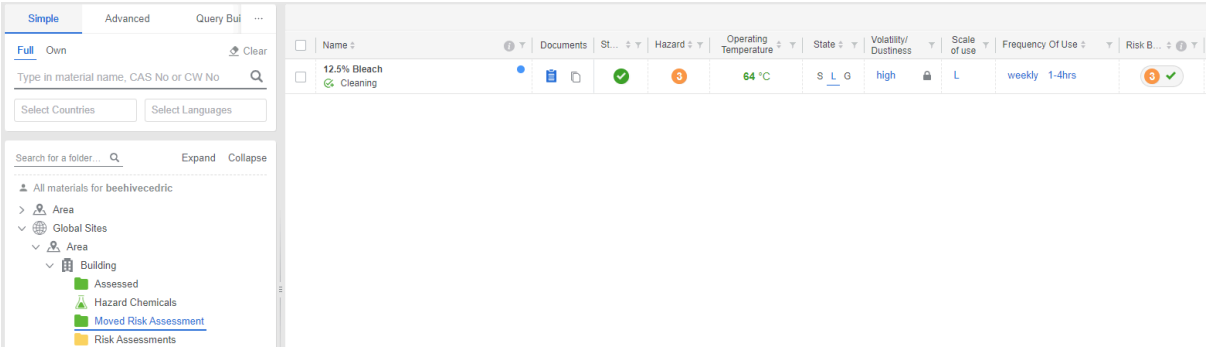
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4. リスクアセスメントモード（ILOまたはUN）を確認し、化学物質名のチェックボックスを右クリックする。





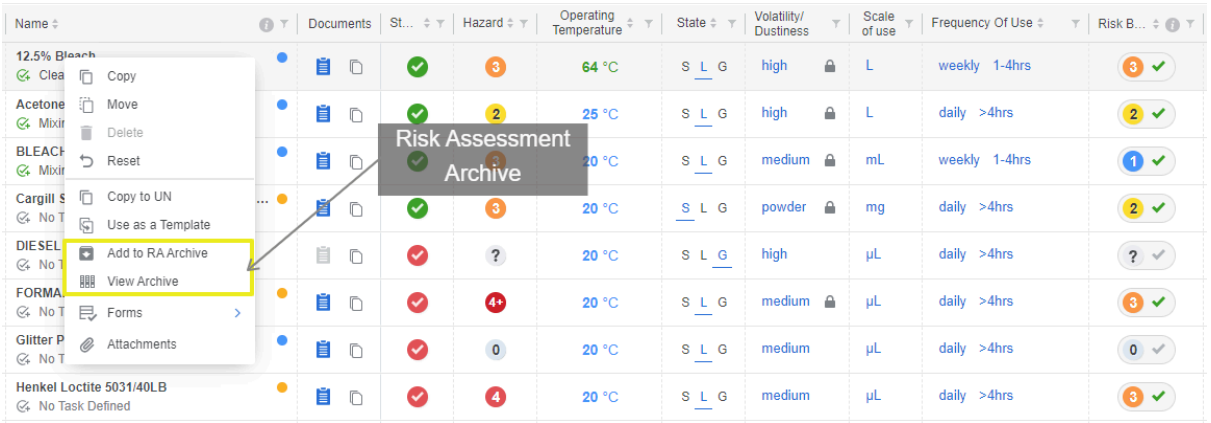
移動先のフォルダに移動されたリスクアセスメント済み資料が表示されます



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

6.3.3 リスクアセスメント資料をアーカイブする

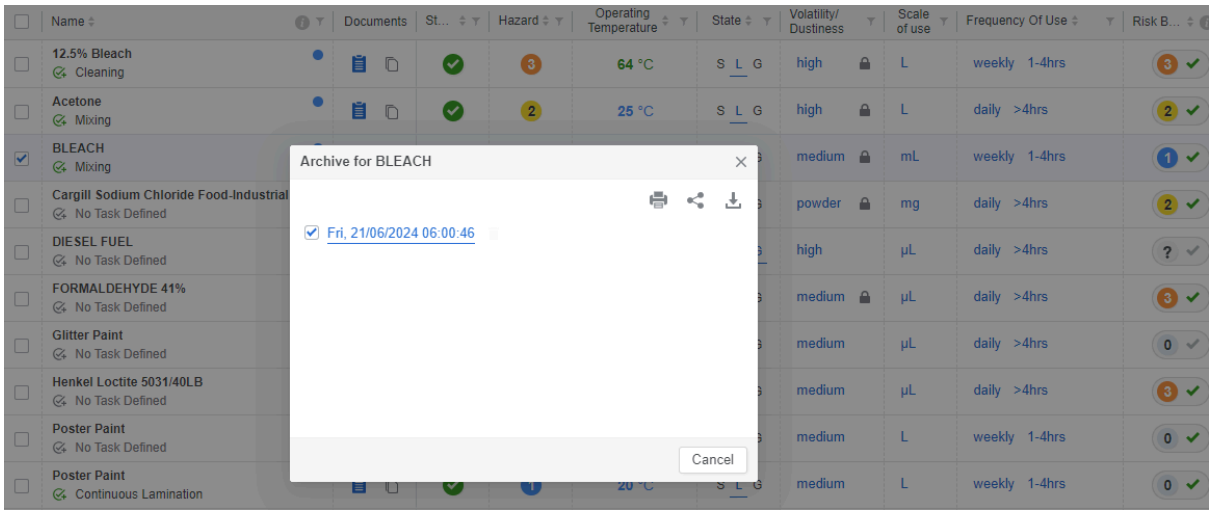
リスクアセスメントモジュールのアーカイブ機能では、リスクアセスメント資料のデジタルアーカイブレコードを作成して、リスクアセスメントレポートをより整理された状態で管理することができます。アーカイブ機能を使用して、リスク評価された化学物質をアーカイブに追加し、すべてのアーカイブされた記録を閲覧することができます。



システムは、化学物質名に基づいてアーカイブを作成し、記録またはファイル名は次のパラメータを使用して登録されます：

- 曜日
- 化学物質のアーカイブ記録が作成された日付
- 記録が作成された時間

アーカイブされたリスクアセスメントレコード（レポート）は、取得して印刷、共有、またはダウンロードすることができます。



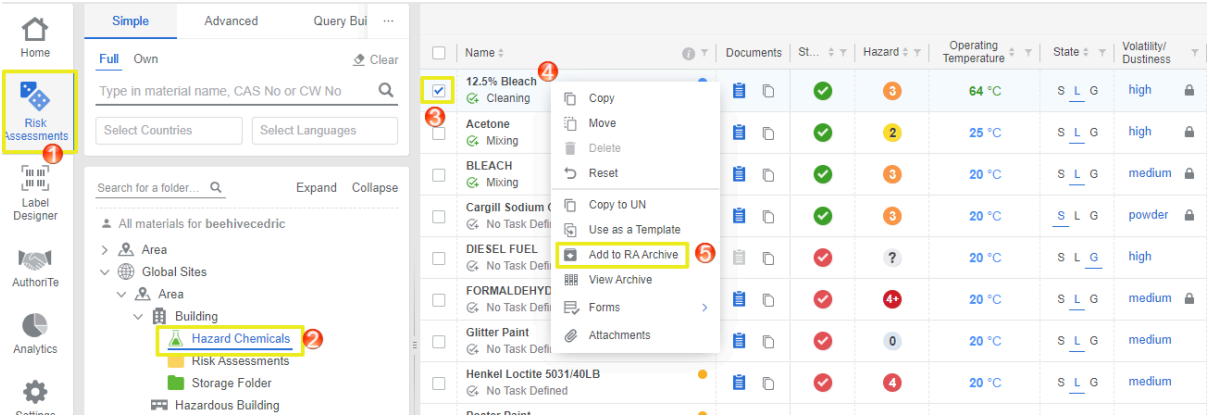
ユーザーがリスクアセスメントのアーカイブを管理するために必要な権限

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

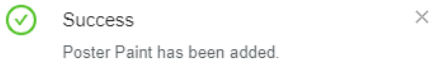
- ILOモードへのアクセス
- UNモードへのアクセス
- リスクアセスメントアーカイブの管理
- リスクアセスメントアーカイブの閲覧

以下の手順では、リスクアセスメントが行われた化学物質のレポートファイルをアーカイブ記録として追加する方法を示します。

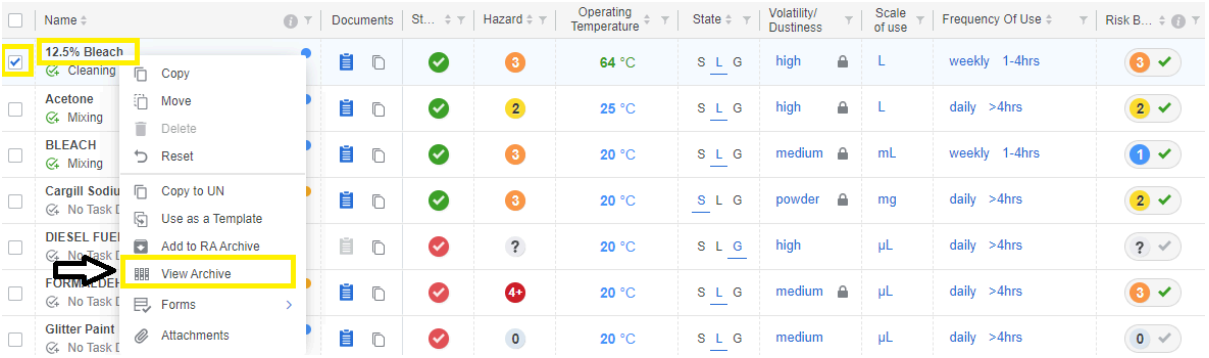
ステップ：リスクアセスメントをアーカイブする



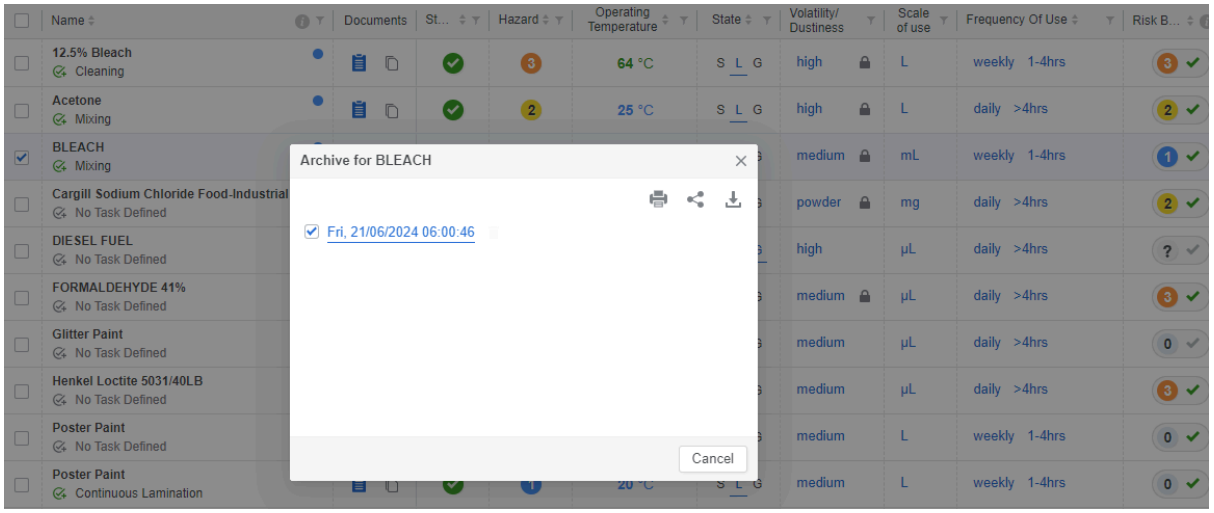
1. リスクアセスメントモジュールボタンをクリックする。
2. フォルダの場所を開いて、材料在庫を一覧表示する。
3. リスクアセスメントが行われた化学物質名のチェックボックスを選択する。
4. 化学物質名を右クリックする。リスクアセスメントモード（ILOまたはUN）を確認することを忘れないようにする。
5. リスクアセスメントアーカイブに追加を選択する。化学物質のリスクアセスメントがアーカイブに追加される。操作が成功したことを示すメッセージが表示される。



6. 化学物質名を右クリックする。
7. アーカイブの表示オプションを選択し、アーカイブウィンドウを開く。
8. 化学物質のアーカイブされたレポートを表示するためにアーカイブファイル名をクリックする。
9. アーカイブウィンドウ内の「印刷」「共有」「ダウンロード」機能を使用してレポートを生成する。



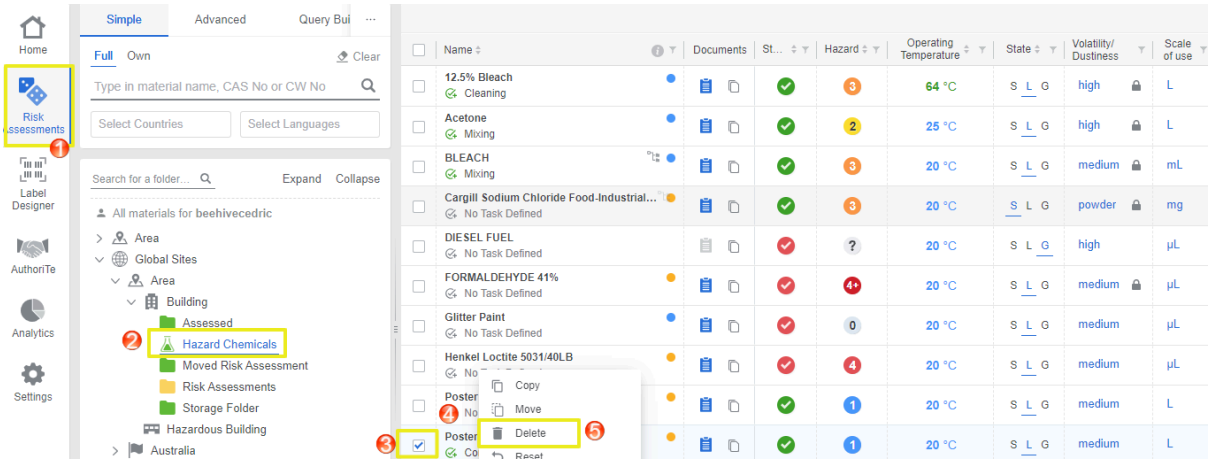
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



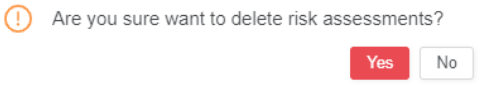
6.3.4 リスクアセスメントを削除する

化学物質のリスクアセスメントを削除しても、フォルダの場所から材料は削除されませんが、ゴールド SDS に基づくリスクアセスメントは削除されます。

ステップ：化学品のリスクアセスメントを削除する

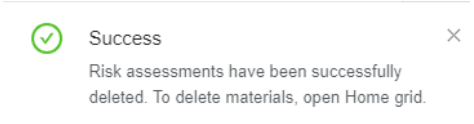


1. リスクアセスメントモジュールボタンをクリックする。
2. フォルダの場所を開き、製品在庫を一覧表示する。
3. コピーする製品名のリスクアセスメントの横にあるチェックボックスを選択する。
5. 削除を選択する。化学物質のリスク評価がアーカイブに追加されました。[はい] オプションを選択して確認するメッセージが表示されます。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

4. 製品名を右クリックする。リスクアセスメントモード（ILOまたはUN）を確認する。

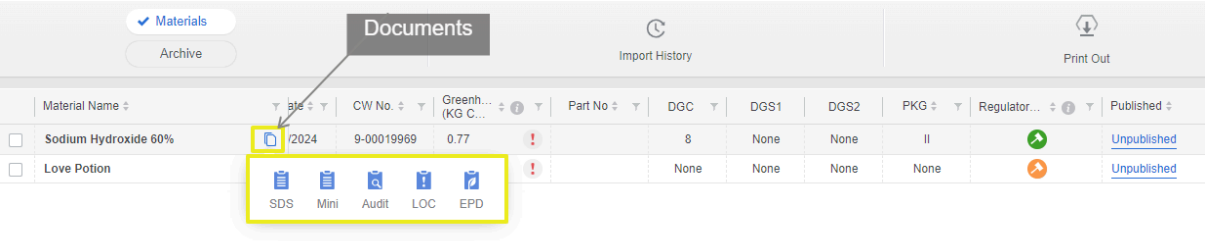


7.0 混合物を入力する

この章では、主にCREDO　（Classfy）モジュールを用いた製品の化学組成の入力の仕方やレポートの生成の仕方について説明します。

- 混合物、化学的な投入物や特徴を特定する
- メーカー情報
- 材料、含有率%、物理特性
- ハザード分類のレビュー
- ハザード分類を抽出する
- 危険物分類データ
- 自動で危険物分類情報を提唱
- 混合物を入力し、文書を作成する

混合物の作成は、2つ以上の物質や化学物質を組み合わせて、独自の特性を持つ特定の製品を作り出すプロセスです。CREDOは分類モジュールであり、ユーザーが製品の成分から混合物を作成し、それを分類し、さまざまな文書を生成できる機能を提供します。



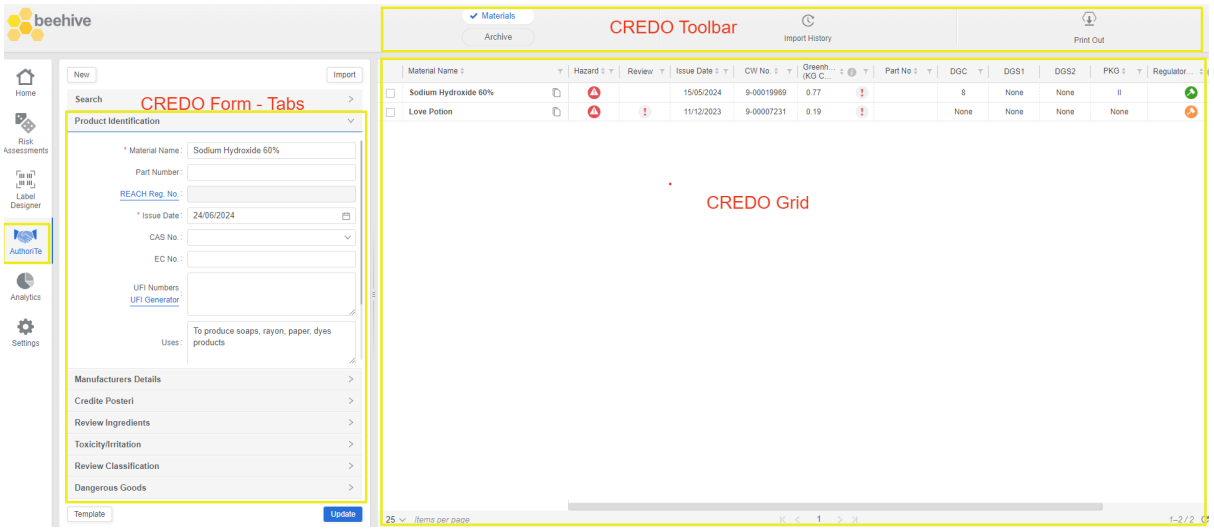
Document	Icon	Description
SDS		安全データシート。16章からなる。
ミニ		カラーで1ページにまとまったコンパクトなSDS。
Audit		製品混合物の分類根拠および要因。
LOC		懸念物質：ハザードの特定、材料、CAS番号を特定。
EPD		環境製品宣言レポート。

このモジュールには、入力された成分に基づいて混合物に必要な情報を入力するためのタブ付きフォームが含まれています。このフォームの各セクションに入力された情報は、成分に基

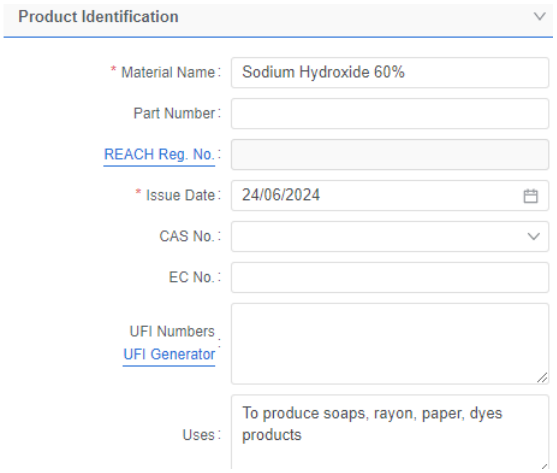
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

づいて混合物の危険性分類を計算するために使用されます。混合物の作成には、複数の成分とそれぞれの化学的割合（%）が含まれます。Credoフォームには、次のタブが含まれています：

- 製品識別
- 製造者の詳細
- Credite Posteri（物理的特性）
- 成分の確認
- 毒性/刺激
- 分類の確認
- 危険物



化学品情報タブ

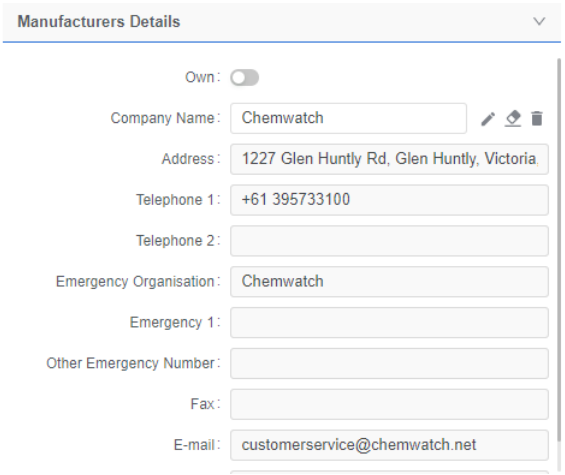


データポイント	説明	特記事項
このタブでは、製品混合物を識別するためのユーザー入力オプションを提供します。なお、一部のデータポイント（発行日、用途、同義語など）はデータベースからデフォルトで自動入力されます。		
製品名	混合物の名前	製品の名前。この欄は必須

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

データポイント	説明	特記事項
製品番号	その混合物に割り当てられた製品番号	任意
REACH登録番号 No	欧州連合における化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則	REACH登録番号は純粋な化学物質の場合、この欄に入力する必要があります（任意）。欧州GHS SDSのセクション1で確認できます。内部使用のために混合物を作成する場合、必要ないか、利用できないことがあります。
発行日	発行した日	この欄は必須
CAS番号	化学物質抄録番号	純粋な化学物質にのみ適用。製品が純粋な化学物質であるがCAS番号が存在しない場合は、「利用不可」と入力。
EC番号	欧州評議会が物質に割り当てた番号	EC番号はSDSのセクション1に記載されています。純粋な化学物質にのみ適用されます。
UFI番号 UFI生成	固有の配合識別子（UFI）は、欧州経済領域で適用される UFIジェネレーター – UFI番号を生成	これは、危険な混合物を含む製品の義務的な報告に使用される16文字のコードです。データが見つからない場合は、このフィールドを空白のままにしてください。
推奨用途／使用上の制限	製品の用途を定義	これは、混合物の用途や目的を入力するためのテキストフィールドです。
REACH用途	REACH規制に基づく用途	ヨーロッパに適用されます。フィールドをクリックしてREACH用途ウィンドウとカテゴリのドロップダウンを開き、使用が推奨されない場合は赤いシンボルをクリックして選択します。
同義語	製品の別名または商標名、製品番号など	混合物に適用される同義語を入力してください（任意）。フィールドは空白のままにすることができます。

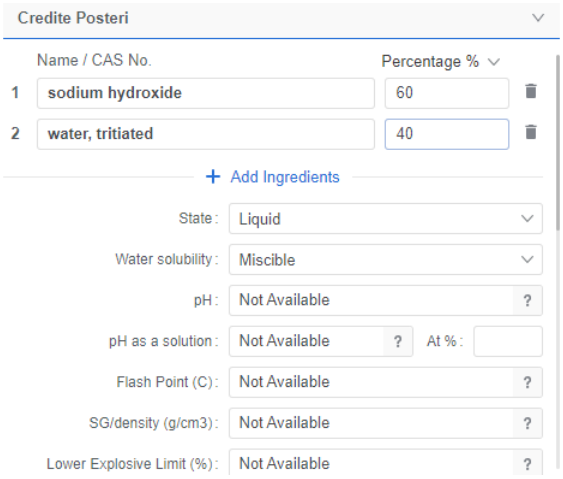
メーカー情報タブ



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

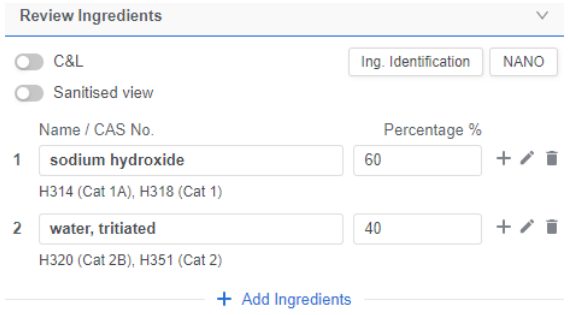
データポイント	説明	特記事項
このタブでは、製造者（ベンダー）の詳細を入力できます。ベンダーは自社の住所である場合もあります。		
会社名など	自社の名称と詳細情報。「追加」ボタンを使用して、自社の製造者情報を追加してください。	組織名と製品が製造されている場所の詳細を入力してください。この情報はSDSに表示されます。

Credite Posteriタブ



データポイント	説明	特記事項
このタブでは、混合物の成分および物理的特性のデータを入力できます。		
名称／CAS番号と含有率	成分フィールド	混合物の成分と、それぞれの成分の割合（%）を各行に入力してください。
物理特性	混合物の状態、水溶解性、外観、その他のデータポイント（既知または利用可能な場合）	すべての物理的特性データが利用できるとは限りません。情報がないフィールドは無視してください。

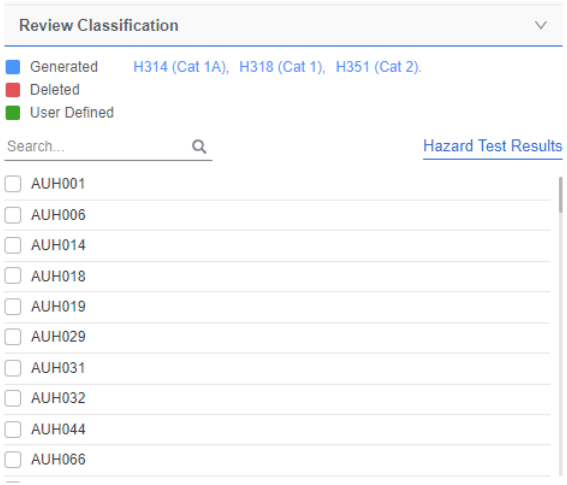
成分レビュータブ



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

データポイント	説明	特記事項
このタブでは、*GHS*（デフォルト設定）またはデータが利用可能な場合は*EU*向けの*C&L*分類を使用して、混合物の計算に必要なデータを入力できます。成分の組成を非表示にし、成分と%の範囲を非表示にするか、スイッチをオン または オフ にして自動的に成分非表示を使用します。		
C&L	欧州分類およびラベリングインベントリ	混合物の分類はC&Lインベントリを使用して計算できます。欧州分類およびラベリングを表示するにはスイッチをオンにしてください。物質の分類が存在する場合、最も一般的な分類が表示されます。
成分非表示設定	成分非表示または自動非表示設定	混合物の成分と割合の正確な配合を非表示にします。

分類レビュータブ



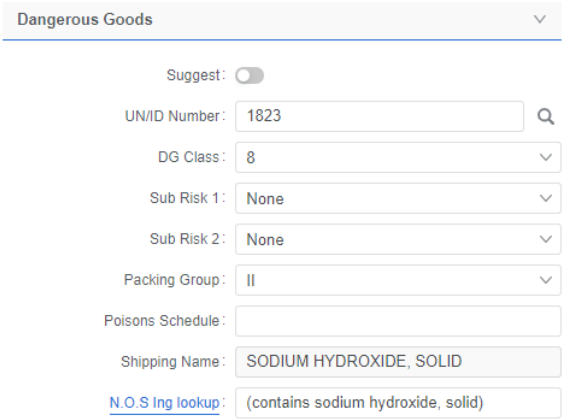
データポイント	説明	特記事項
このタブでは、混合物の分類計算に使用するデータを入力し、成分の組成を非表示にするなどの操作が可能です。		
生成	混合物の成分に基づいて生成されたGHS分類コード	各ハザード／リスクコードの横にあるチェックボックスを使用して分類コードを確認します。
削除	このオプションを選択すると、削除された分類コードが表示されます	削除オプションを選択して、混合物の削除されたリスク／ハザード分類コードを表示します。
ユーザー設定	ユーザーが選択した分類コード	ユーザーが選択した分類を表示します。
危険有害性試験結果	危険有害性試験ウィンドウが表示され、危険有害性分類の種類、Hコード、	それぞれのHコードを入力し、各ハザードカテゴリーにテスト名を入力します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

	試験名を入力できます。デフォルトで識別された危険有害性は、対応するチェックボックス ☑ の行項目にマークされます.	

危険物タブ

データポイント	説明	特記事項
	このタブでは、危険物の分類が可能な場合、混合物のデータを入力できます。	
国連/識別番号	主要な成分の国連番号を素早く検索します	主要な成分に対して国連番号を割り当てます。
危険物クラス	危険物クラス	主要な成分に対してドロップダウンリストから危険物クラスを割り当てます。
サブリスク 1, 2	危険物サブリスク 1, 2	輸送規則に従って、危険物サブリスク1および2を割り当てます。
容器等級	梱包指示に従った危険物の容器等級	ドロップダウンリストから危険物の容器等級を割り当てます。
毒物リスト	医薬品や毒物を管理するオーストラリアの分類システムに基づく毒物スケジュール	主要な成分に対して毒物スケジュールを割り当て、混合物を毒物として識別できるようにします。
品名	危険物分類に関連する発送名	主要な成分が危険物に分類される場合、その成分に基づいて発送名を割り当てます。
N.O.S Ing lookup	混合物の適切な発送名へのリンク	このリンクを使用して、さまざまな有害成分を含む可能性のある混合物の適切な発送名を、国連リスト内の該当する名称から検索します。



7.1 混合物の分類

以下の手順は、混合物を作成し、ドキュメントを生成する方法を説明します。混合物の分類を生成するためには、基本的な情報が必要です。作業例では、異なる化学組成と割合を持つ少

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

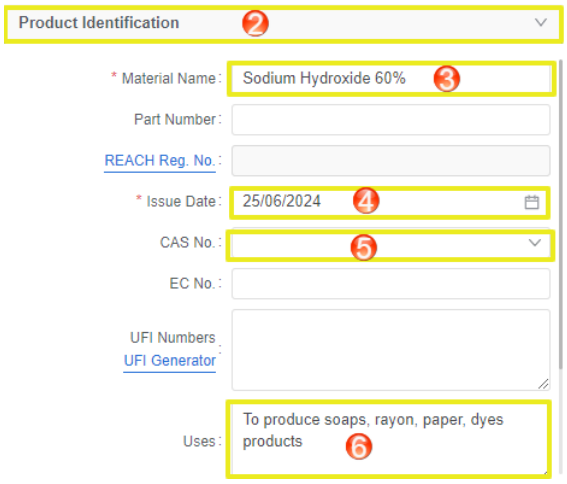
なくとも2つの成分を使用しています。

ステップ：混合物の分類とドキュメントの生成

製品識別情報

1. CREDOモジュールボタンをクリックします 。
2. 化学品情報タブを開きます 。
3. 製品名の欄に製品の名前を入力します。このフィールドは必須項目です。
4. カレンダーから発行日を選択します 。
5. 必要に応じてCAS番号を選択し、CAS番号フィールドに入力します。CAS番号がない場合は、「データ無し」または「無し」を選択します。
6. 「推奨用途」に製品の用途を入力します。

Product Identification Details Form

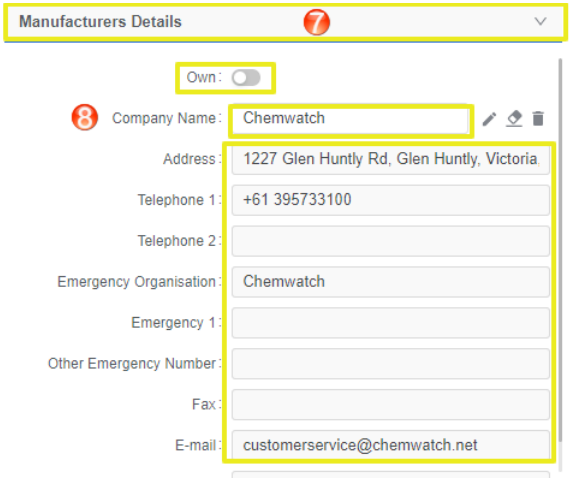


メーカー情報の詳細

7. メーカー情報のタブをクリックし、入力画面を開きます。
8. 「自己」 を使用して、会社名、住所、電話番号、緊急連絡先、メールアドレスなどの自社の情報を追加するか、ペンアイコンを使用して既存の情報を編集します。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

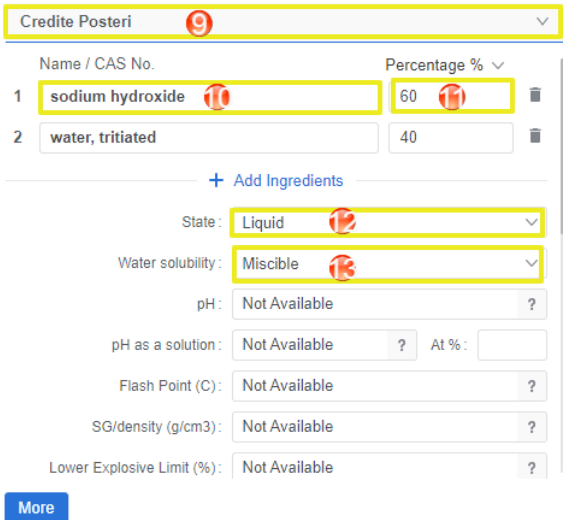
Manufacturers Details Form

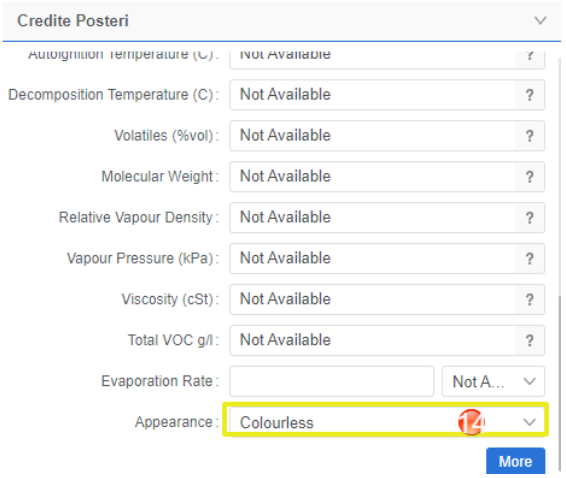


Credite Posteri 詳細（物理的特性）

9. **Credite Posteri**タブを開きます。
10. 名称**/CAS**番号欄に成分1および成分2を入力してデータベースを検索し、自動補完された結果から成分名を選択します。
11. 含有率 **(%)**欄に正確な成分の割合または濃度を入力します。
12. ドロップダウン矢印を使用して、固体、
13. 液体、気体など、混合物の物理状態を設定します。
14. 必要に応じて、水溶性を設定します。ドロップダウン矢印を使用して、混合物に適切なオプションを選択します。
15. ドロップダウンリストから混合物の外観（例：無色）を選択します。その他 More ボタンを使用して追加の物理特性を入力します。

Credit Posteri (Physical Properties)



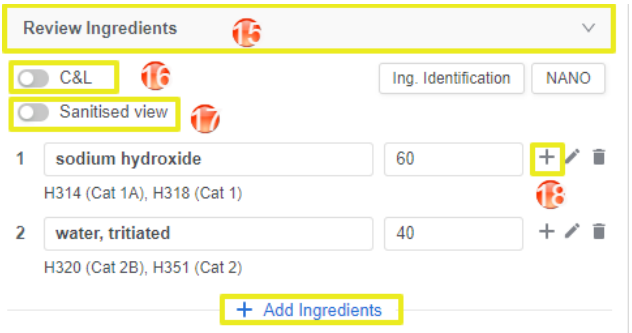


成分レビュー

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

16. 成分レビュータブをクリックして開きます。
17. EU分類を表示したい場合はC&Lスイッチを使用します。
18. 成分名や濃度を表示させたくない場合は成分非表示をオンにします。
19. 追加アイコンをクリックしてさらに詳細を入力します。
20. 水溶解度についての情報を選択します。ドロップダウン矢印を使用して、混合物に適したオプションを選択します。
21. ドロップダウンリストから混合物の外観（例：無色）を選択します。「その他」ボタンを使用して追加の物理特性を入力します。

Review Ingredients



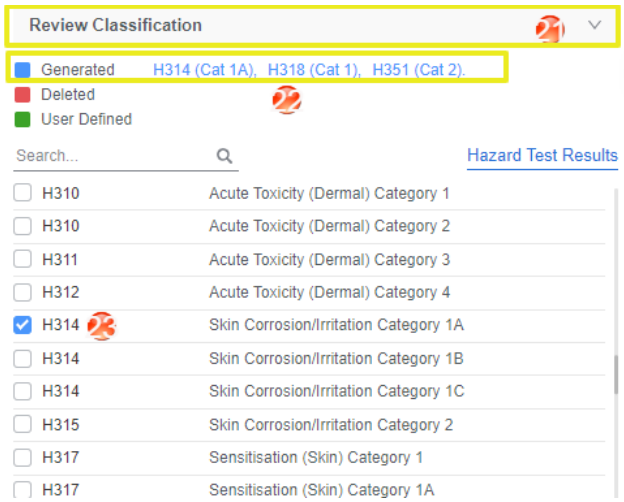
分類レビュー

22. 分類レビュータブをクリックして開きます。
23. 成分とそれぞれの濃度/割合に基づいて生成されたGHS危険有害性コードを確認します。危険有害性コードはデフォルトでチェックボックス ☑ にマークされています。

オプション: 必要に応じて、ユーザー定義のチェックボックスを選択して、追加の危険有害性コードを追加できます。

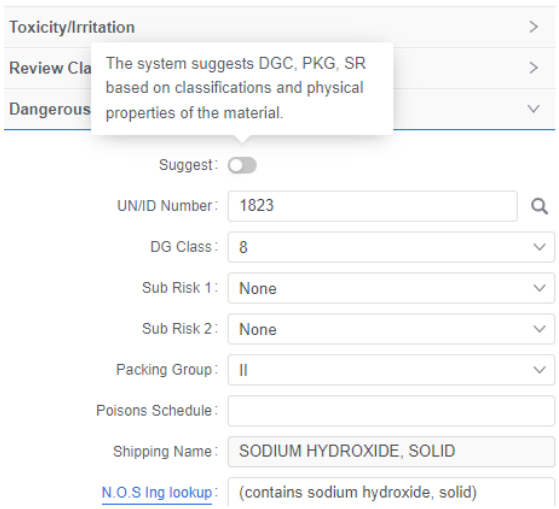
24. オプション: 選択を解除すると、その危険有害性コードは選択されなくなり、削除された項目として表示されます。

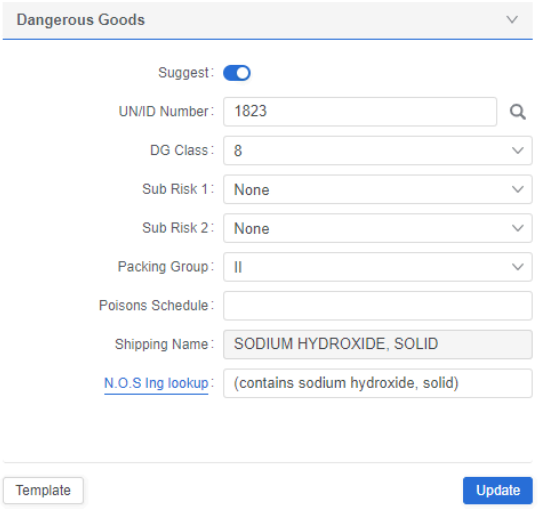
分類レビュー



危険物

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved





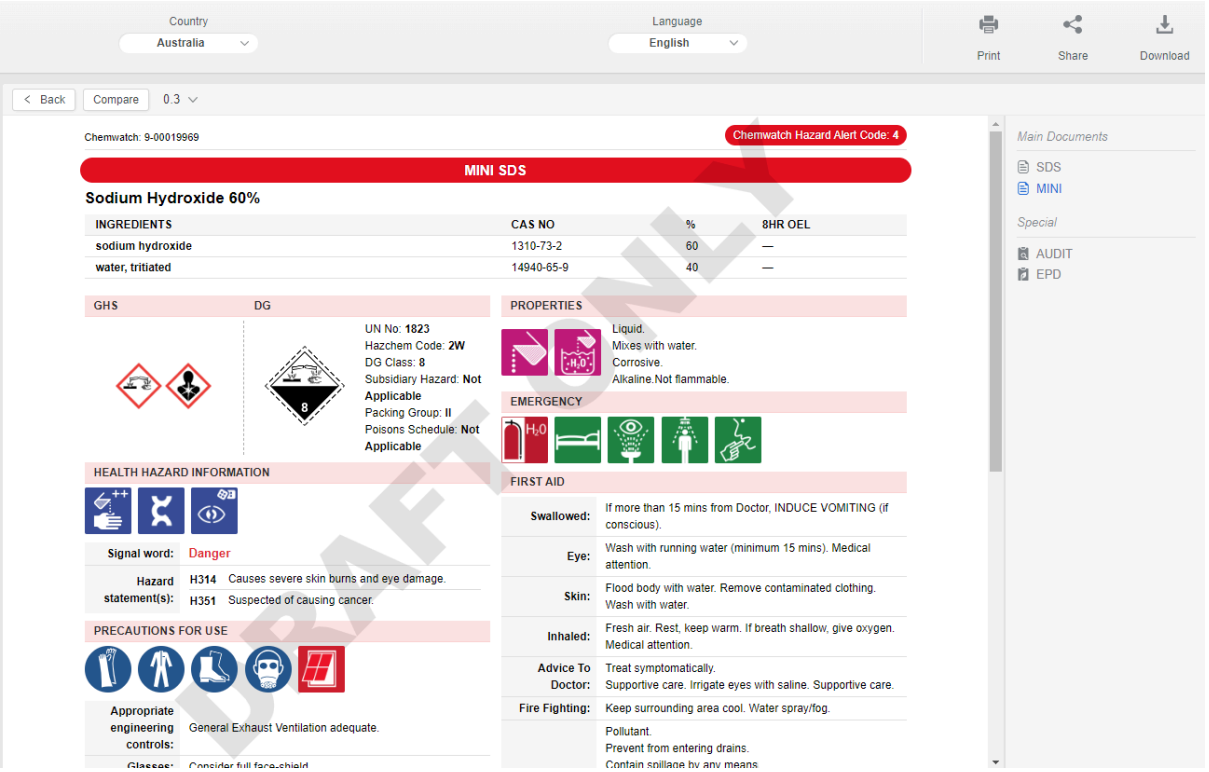
1. 危険物のタブをクリックして開く。
2. 主成分のUN番号、DGクラス（危険物クラス）、容器等級を入力します。

オプション: 提案スイッチをオンにすると、システムが危険物クラス、容器等級、サブリスク、および物理的特性を自動提案します。国連番号、危険物クラス、容器等級、および発送名が自動的にフォームの対応する分類フィールドに入力されます。該当する場合は、毒物スケジュール番号を入力します。

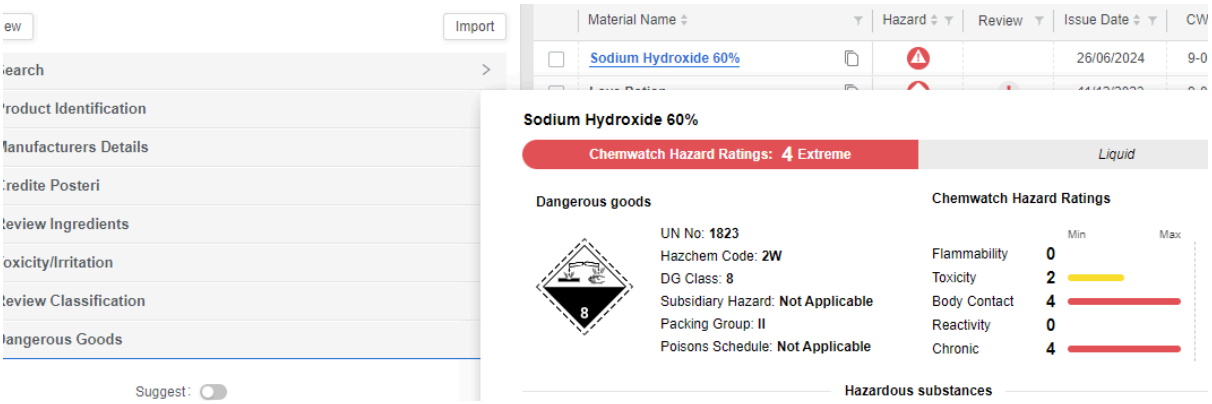
3. 送信ボタンを選択して混合物を作成します。操作が成功したことを示すメッセージが表示されます。STOT選択画面で、関連する標的臓器を毒性カテゴリや曝露経路（経口、経皮、吸入）に基づいて選択するかスキップします。
4. 右側のパネルにあるミニSDS、監査レポートまたはEPDをクリックして、それぞれのドキュメントを生成します。
5. ツールバーの送信ボタンを使用して、外部発行または内部発行のオプションを選択します。内部発行を選択すると、混合物は自分のインベントリに保存されます。

N.O.S. Ing lookupには、混合物に含まれる成分に関連する情報が自動的に入力されます。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



生成された混合物に関する重要な点は、成分とその割合の計算、および危険物クラスに基づいて極めて危険な物質として分類された場合は、危険有害性アイコンの色分けで示されます。

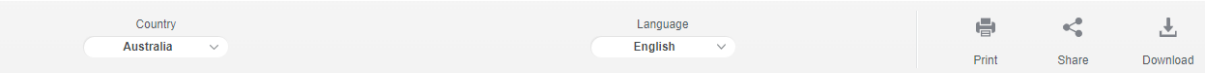


7.2 その他のCredo機能

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

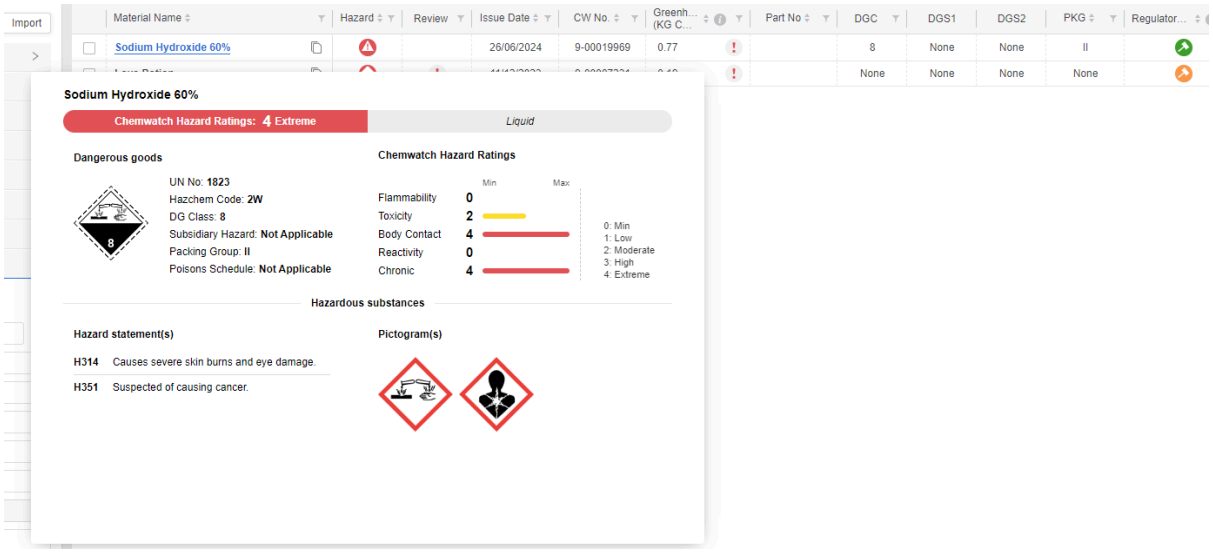
Credoツールバー

Credoツールバーを使用して、国や言語を変更したり、ドキュメントを印刷、共有、またはダウンロードすることができます。



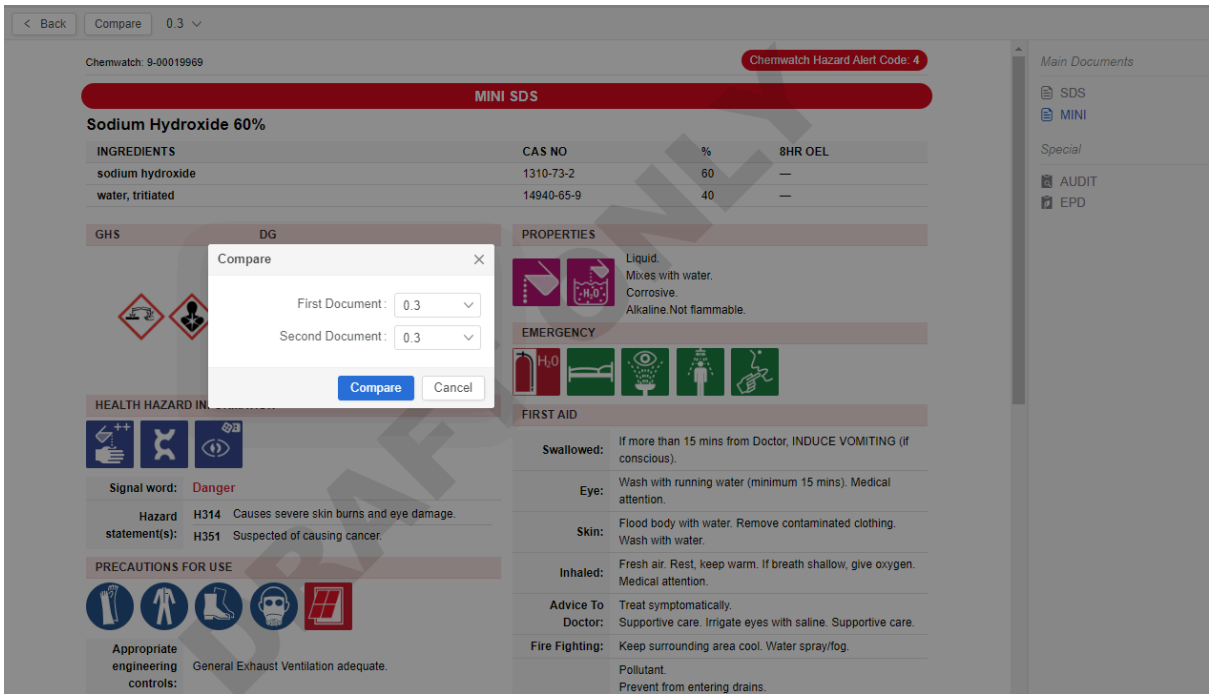
危険有害性(H)コードおよび危険物クラス情報の表示

危険アイコンを選択して、混合物の危険概要を表示します。



文書バージョン比較機能

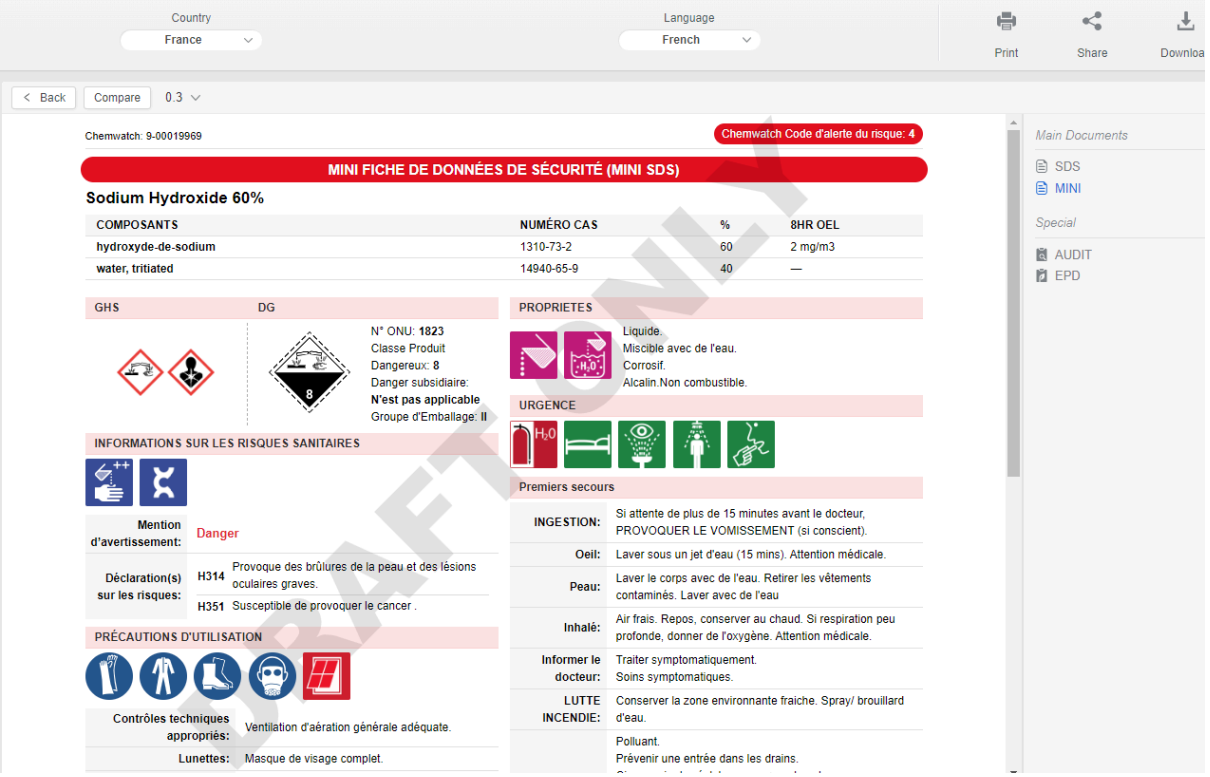
比較ボタンを選択して、最初と2番目の文書のどこが修正されたのかを確認します。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

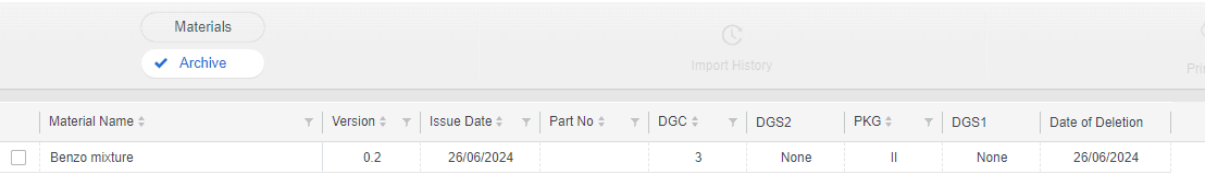
Mini SDSの他言語表示

国のドロップダウンメニューを選択して、リストから特定の国を選択します。国は、その国に対応する言語に直接リンクされていることに注意してください（例：フランス語のミニSDS）。



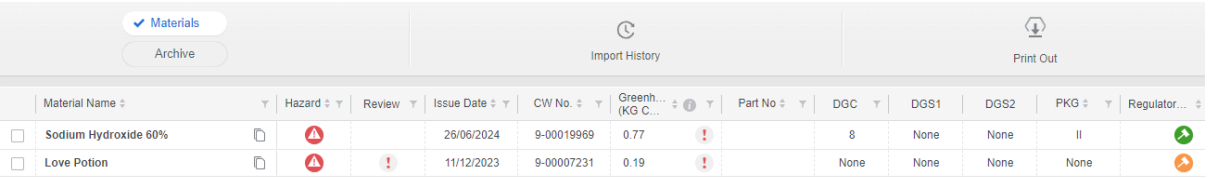
アーカイブされた製品

ツールバーのアーカイブボタンを選択して、CREDOモジュールから削除または移動された製品を表示します。



ツールバーの製品ボタン

ツールバーの製品ボタンを選択して、現在の製品名のグリッドビューに戻ります。



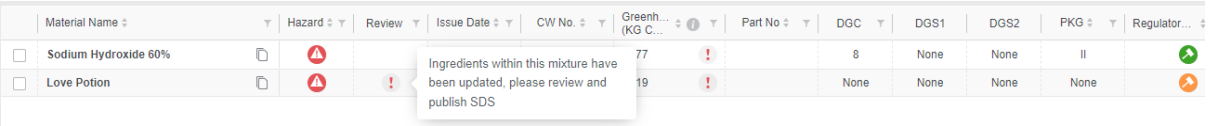
印刷、共有、ダウンロード

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ドキュメントやレポートを表示中に、ツールバーの印刷、共有、またはダウンロードオプションを使用してレポートを生成します。

生成された混合物の感嘆符

グリッドには、混合物や成分の更新に関連する情報を確認するための感嘆符アイコンが表示されることがあります（これにより、混合物の危険有害性評価が影響を受ける可能性があります）。



8.0 優先名と製造番号

この章では、製品に対して優先名や部品番号を作成し、割り当てられた製造番号や優先名称を反映したレポートを生成する方法について説明します

- 優先名の作成
- 優先名での検索
- 優先名の編集
- 製品番号の作成
- 製品番号での検索

優先名とは、データベース内で検索しやすくするために製品に作成・割り当てられる名称のことです。優先名は、厳密にユーザーやドメインに依存します。

化学物質の命名に使用されるIUPACシステムでは、アルファベットと数字が混在する長くて複雑な名称が含まれることがあり、特定の製品名を検索してSDSを見つけるのが難しい場合があります。製品の識別は、システム内での製品番号の使用にまで拡張されて

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

います。一般的な工業製品には、SDSの検索を容易にするために製品番号が割り当てられることがあります。

製品番号は、特定の製品を迅速かつ簡単に見つけるための便利な手段であり、インベントリ内で特定のSDSを探す際に役立ちます。システムには、次の2種類の製品番号があります。

- ベンダー製品番号
- ユーザー製品番号r

- 製品番号は、ベンダー依存またはユーザー依存のものとしても扱われることに注意してください。ベンダー依存の製品番号は、その製品のベンダーSDSに記載されているメーカーによって提供された番号であり、その製品SDSにのみ適用されます。ユーザー依存の製品番号は、ケムウォッチシステム内でユーザーによって別の識別方法として割り当てられる番号です。

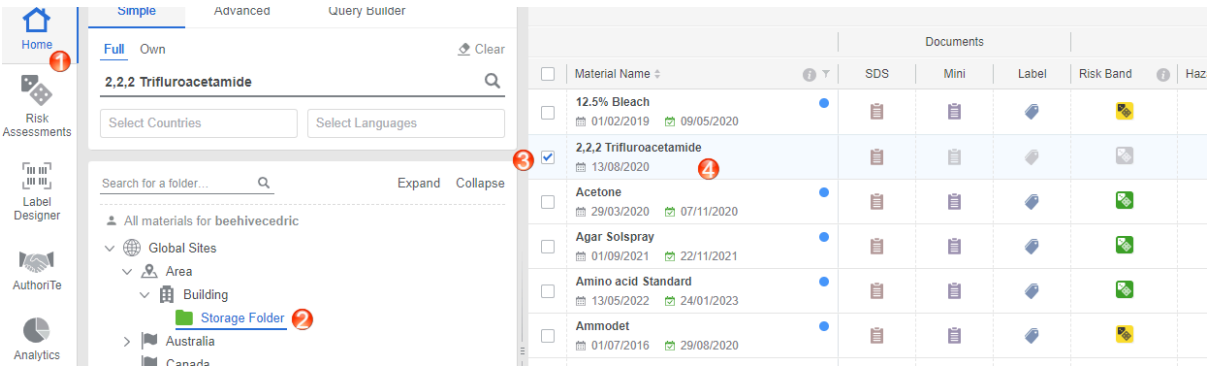
優先名や製品番号の作成には、組織や企業内のシステム管理者によって決定されるユーザー権限が必要です。一部のユーザーには、優先名や製品番号の表示や、割り当てられた名称や番号での検索のみが許可されており、それらを削除または編集する権限が与えられていない場合もあります。

- 優先名や製品番号に関する権限が不明な場合は、システム管理者に連絡するか、helpdesk@chemwatch.net までメールでサポートを依頼してください。

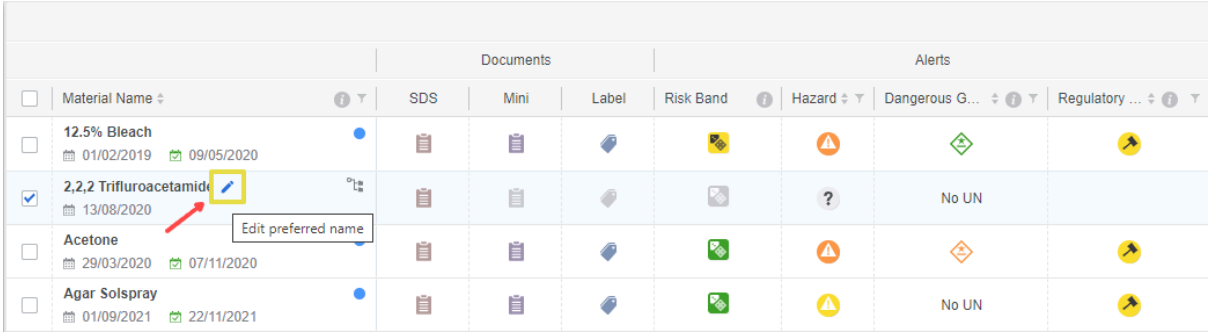
8.1 優先名の作成

優先名を管理する権限を持つユーザーは、新しい優先名を作成したり、既存の優先名を編集することができます。以下の手順は、製品に対して優先名を作成する方法を示しています。

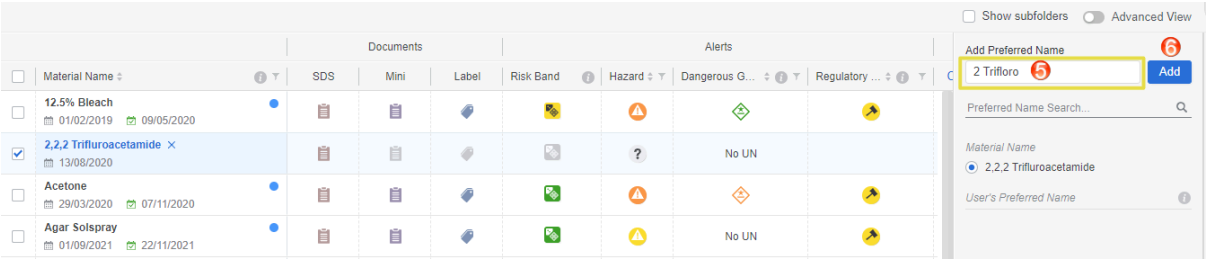
ステップ: 製品に優先名を作成する方法



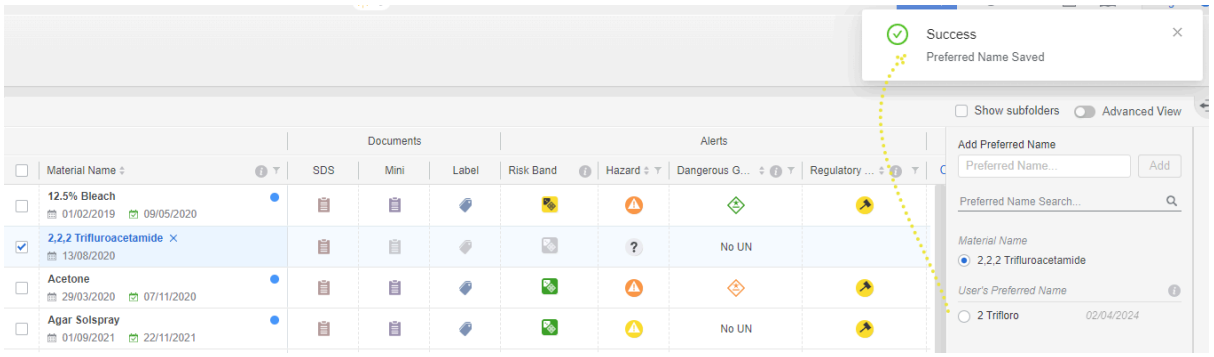
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



1. ホームモジュール を開く。
2. フォルダの場所をクリックして製品の一覧を表示する。
3. 製品のチェックボックスをクリックする。
4. 製品名の横にある優先名編集アイコン にマウスポインタを移動し、クリックする。
5. 優先名追加テキストフィールドに優先名を入力する。
6. 追加ボタンをクリックする。
7. チェックアイコン をクリックして記録を保存 する。

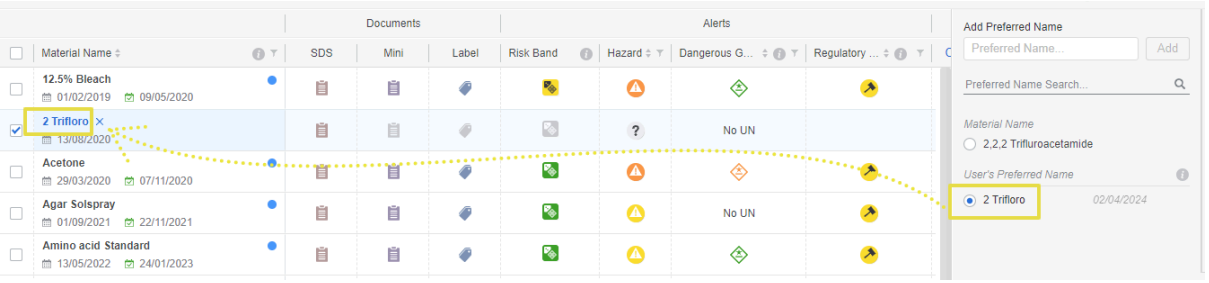


優先名が追加されたことを示す文章が表示されます。



優先名は製品名カラムのグリッド内に表示されます。

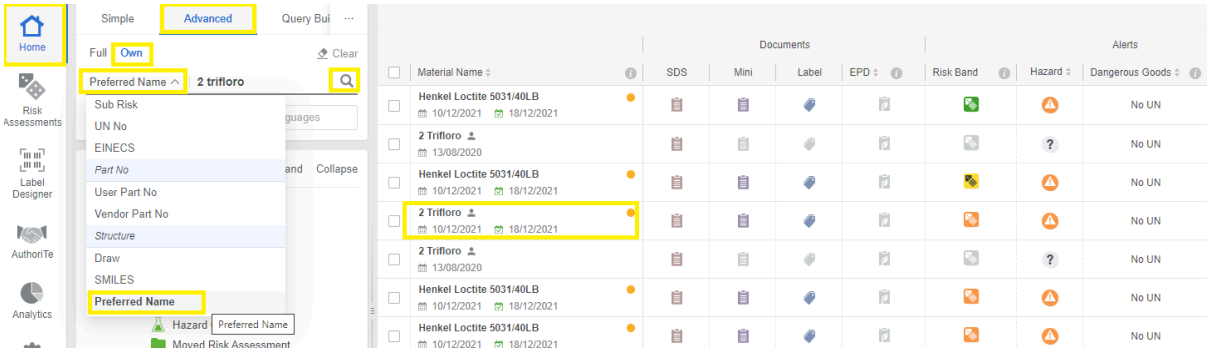
Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



8.2 優先名で製品を検索する

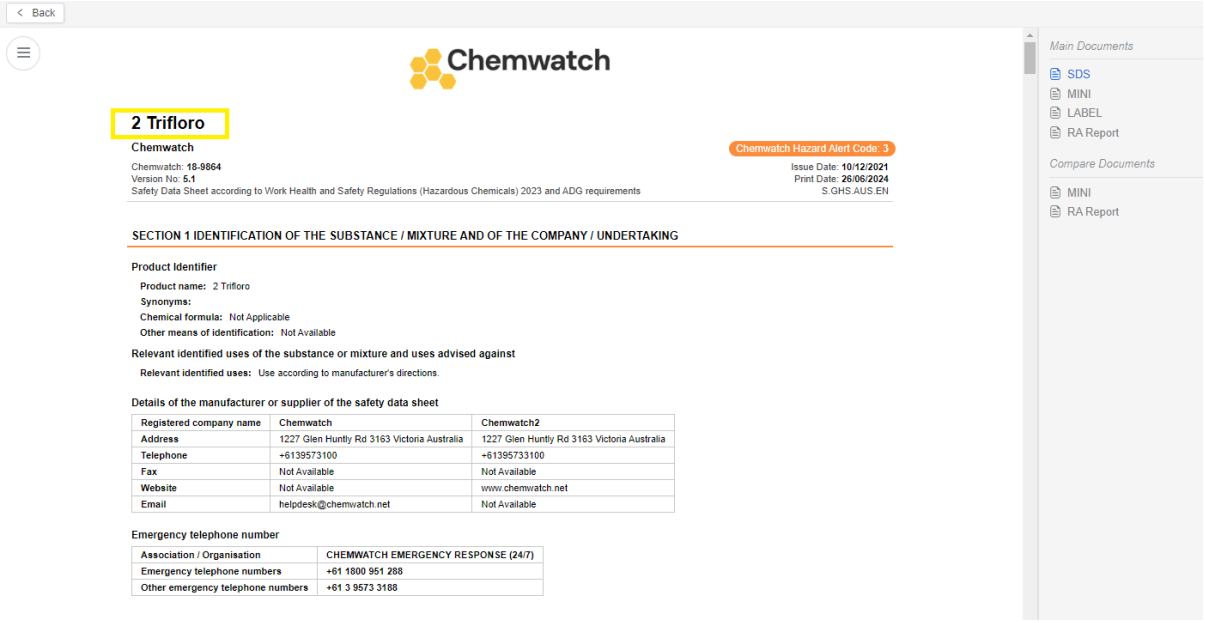
このセクションでは、優先名を使って製品を簡単に検索する方法を説明します。

ステップ: 自分のインベントリから優先名で製品を検索する方法



1. ホームモジュール を開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 検索パスを指定するために自己を選択する。
4. 名前のドロップダウン矢印をクリックする。
5. メニューから「優先名」を選択する。
6. 検索テキストフィールドに優先名を入力する。
7. 検索アイコン をクリックして検索を実行する。
8. 検索結果リストから優先名を選択してSDSを表示する。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved



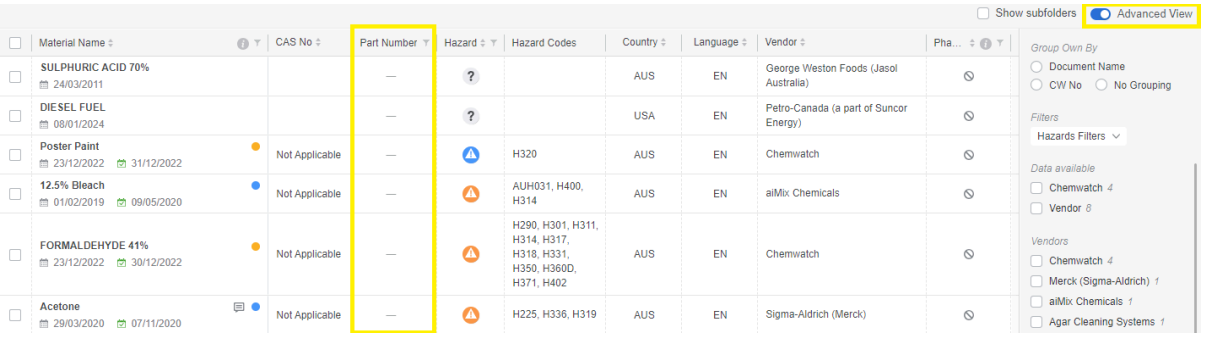
8.3 製品番号の作成

製品番号とは、ケムウォッチシステム内で製品を識別するために使用される番号である。製品番号を使用すると、製品番号による高度な検索を行うことで、製品を迅速に見つけることができる。製品番号には、次の2種類がある。

- ユーザー製品番号
- ベンダー製品番号

ユーザー製品番号は、ユーザーによって割り当てられる製品番号で、この番号はユーザーゴールドSDSまたはベンダーSDSにリンクすることができる。
ベンダー製品番号は、ベンダーSDSに記載された製造業者によって提供されたデフォルトの番号であり、これはユーザーが変更できない製品IDまたはコードである。

製品番号は、詳細ビューグリッド内の「製品番号」列に表示される。

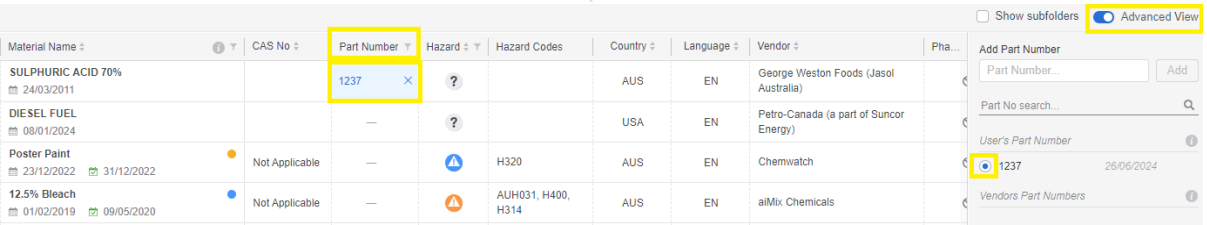


Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

1. ホームモジュール を開く。
2. フォルダ名をクリックする。
3. グリッドビューがシンプルビューにデフォルト設定されている場合は、ウィンドウの右上にある「詳細ビュー」スイッチを選択する。
4. 製品名の行にある製品番号セルにマウスポインタを移動し、編集アイコン を選択する。製品番号が存在しない場合、製品番号セルにはダッシュ — が表示されることに注意する。
5. サイドパネルにある製品番号追加テキストフィールドを選択し、製品番号を入力する。
6. 追加ボタン Add をクリックする。操作が成功したことを示すメッセージが表示される。

Success
Part No has been saved

7. ユーザーの製品番号に対応するラジオボタンを選択する。



Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

付録

SDSの概要構成

SDSの作成に関する包括的な構造要件は、SDS準備の実務規範に記載されています。

セクション（章）	見出し
1. 化学品及び会社情報	● 製品に関する情報 ● その他の部品特定手段 ● 化学物質の推奨用途および使用上の制限 ● 供給業者の名前、住所、電話番号 ● 緊急電話番号
2. 危険有害性のようやく	● 化学物質又は混合物の分類 ● ラベル要素 ● 注意書き
3. 組成及び成分情報	● 化学物質 ● CAS番号とその他の情報 ● 化学組成
4. 応急措置	● 必要な応急措置の説明 ● ばく露による症状 ● 医療対応および特別な治療
5. 火災時の措置	● 適切な消火剤 ● 化学物質によって引き起こされる特定の危険 ● 消防士のための特別な保護装備および注意事項
6. 漏出時の措置	● 個人の注意事項、保護具、および緊急時の対応 ● 環境への注意事項 ● 封じ込めおよび清掃の方法と必要なもの
7. 取扱い及び保管上の注意	● 安全な取り扱いのための注意事項 ● 安全な保管条件、ならびに適合しない物質
8. ばく露防止及び保護措置	● 管理基準 – 暴露基準、生物学的モニタリング ● 適切なばく露制御 ● 個人保護具（PPE）
9. 物理的及び化学的性質	● 外観 ● 臭い ● 臭いのしきい値 ● pH ● 融点/凝固点 ● 沸点および沸騰範囲 ● 引火点 ● 蒸発率 ● 可燃性 ● 上限/下限可燃性または爆発限界

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

	• 蒸気圧 • 蒸気密度 • 比重 • 溶解度 • 分配係数: n-オクタノール/水 • 自然発火温度 • 分解温度 • 粘度 • 比熱値 • 粒子サイズ • 揮発性有機化合物の含有量 • 揮発性の割合 (%) • 飽和蒸気濃度 • 目に見えない可燃性蒸気およびガスの放出
追加のパラメータ	• 形状およびアスペクト比 • 結晶性 • 塵性 • 表面積 • 凝集または凝集度 • イオン化（酸化還元電位） • 生物耐久性または生物持続性
10. 安定性及び反応性	• 反応性 • 化学的安定性 • 避けるべき条件 • 不適合物質および起こり得る危険な反応 • 危険な分解生成物
11. 毒性情報	• 暴露経路に関する情報 • 暴露に関連する症状 • 毒性の数値的測定 • 暴露による即時、遅発性および慢性の健康影響 • 暴露レベル • 相互作用の影響 • データの限界
12. 環境影響情報	• 生態毒性 • 持続性および分解性 • 生物蓄積性 • 土壌中の移動性 • その他の悪影響
13. 廃棄上の注意	• 安全な取り扱いおよび廃棄方法 • 汚染された包装の廃棄 • 環境規制
14. 郵送上の注意	• 国連番号（UN番号） • 正式輸送名称 • 輸送上の危険区分

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

	● 容器等級 ● 環境への危険性 ● 輸送時の特別な注意事項 ● Hazchemコード
15. 適用法令	● 該当製品に特有の安全性、健康、および環境規制 ● 毒物スケジュール番号
16. その他の情報	● 作成日またはレビュー日 ● 使用される主要な略語または頭字語

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

GHSピクトグラムおよび危険物（DG）ダイヤモンド

9つの危険有害性ピクトグラムは、物理的、健康、または環境に対する危険を表しています。慢性的な健康被害には、発がん性物質、生殖毒性物質、変異原、特定標的臓器毒性物質、吸引性有害物質が含まれます。以下は、WHS危険ピクトグラムとADGダイヤモンドの比較表です。

危険有害性ピクトグラムおよびADG

危険有害性ピクトグラム	GHSハザード	危険物クラスピクトグラム	危険物クラス
爆弾の爆発	爆発物 自己反応性物質 有機過酸化物		爆発物
炎	可燃性物質 自己反応性物質 自然発火性物質 自己加熱物質 水と接触すると可燃性ガスを発生 有機過酸化物		可燃性（液体、固体、気体） 自然発火性、 可燃性ガスを放出 有機過酸化物
円上の炎	酸化剤		酸化剤 酸化ガス
ガスボンベ	高圧ガス		無毒不燃性ガス、可燃性ガス、酸化性ガス、有毒ガス

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

 どくろ	急性毒性		急性毒性 急性毒性ガス
 感嘆符	急性毒性 皮膚刺激物 眼刺激物 皮膚感作物質	該当なし	
 健康有害性	発がん性物質 呼吸感作物質 生殖毒性物質 標的臓器毒性物質 生殖細胞変異原	該当なし	
 腐食性	眼腐食性 皮膚腐食性 金属腐食性		腐食性金属
 環境	水生環境有害性 職場の危険有害性化学物質要件の範囲には含まれていない		環境ハザード
該当する危険有害性ピクトグラムなし			その他の危険物

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

職場の有害化学物質要件の範囲外		感染性
職場の有害化学物質要件の範囲外		放射性

NFPAダイヤモンド

NFPA 704 diamond

NFPAダイヤモンドとカラーコード

四つの区分は通常、色分けされており、青は健康危険性、赤は引火性、黄は化学反応性を示し、白は特別な危険に対するコードを含んでいます。健康、引火性、反応性はそれぞれ、0(危険なし)から4(重大な危険)のスケールで評価されます。詳しい情報については、http://www.nfpa.org/ をご参照ください。

ゴールドSDSの第2章には、該当する場合、適用可能なNFPAダイヤモンドが描かれます。なお、このダイヤモンドやグラフィックがSDSに表示されるためには、SDS設定パネルで該当の項目にチェックを入れる必要があります。

健康(青)		引火性(赤)	
0	健康に対する危険性はなく、特別な予防策は不要で、通常の可燃性物質(水など)以上の危険はありません。	0	通常の火災条件下では燃えない物質(例:二酸化炭素)。本質的に非可燃性の物質(例:コンクリート、石、砂)。
1	接触により刺激を引き起こすが、わずかな残留的な影響しか与えません(例:アセトン)。	1	燃焼や着火にはかなりの加熱が必要な物質(例:鉱油)。
2	強いまたは継続的な暴露で一時的な無能力化や、残留的な影響を引き起こす可能性があります(例:ジエチルエーテル)。	2	着火には中程度の加熱が必要な物質(例:ディーゼル燃料)。加熱を必要とせずに着火することが可能な細かく分散した固体が含まれます。引火点は38°Cから93°Cの間です。
3	短時間の暴露で深刻な一時的な影響や中程度の残留的な影響を与える可能性があります(例:塩素)。	3	ほとんどの周囲温度条件下で引火可能な液体や固体(例:ガソリン)。引火点が23°C未満で、沸点が38°C以上の液体、または引火点が23°Cから38°Cの間にある液体。
4	非常に短時間の暴露で死に至るか、重大な残留的な影響を与える可能性があります(例:シアン化水素、ホスフィン、一酸化炭素、サリン)。	4	常温・常圧下で急速に気化し、空気中に容易に拡散して燃焼する物質(例:アセチレン、ジエチル亜鉛)。自己発火性物質を含み、引火点は23°C(73°F)未満です。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

特別（白）		不安定性／反応性（黄）	
*NFPA 704*規格に従い、白の「特別注意」領域には以下のシンボルが含まれることがあります。		0	通常の火災曝露条件下でも安定し、水と反応しません（例：ヘリウム）。
OX	酸化剤（例：過塩素酸カリウム、硝酸アンモニウム、過酸化水素）。	1	通常は安定しているが、高温高圧下では不安定になることがあります（例：プロピレン）。
₩	水と危険な反応をする物質（例：セシウム、ナトリウム、硫酸）。	2	高温高圧下で激しい化学変化を起こし、水と激しく反応するか、水と爆発性混合物を形成することがあります（例：白リン、カリウム、ナトリウム）。
SA	単純窒息性ガス。特定のガスに限定（例：窒素、ヘリウム、アルゴン、キセノン）[2]。	3	強い刺激源が必要で、加熱や衝撃によって爆発的な分解が起こる可能性があります（例：硝酸アンモニウム、三フッ化塩素）。
		4	常温常圧で容易に爆発や爆発的分解を引き起こす物質（例：ニトログリセリン, 爆発塩素アジ化物、二酸化塩素）。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

ケムウォッチのEラーニング

ケムウォッチは、ソフトウェアアプリケーションについてより深く学べるトレーニングライブラリを、学習サイトを通じて提供しています。提供されたリンクを使用して、Eラーニングのクイックスタートガイド、商品、翻訳、コースにアクセスしてください。

QUICK START GUIDE	PRODUCTS	TRANSLATIONS	COURSES
A collection of short videos to get you started.	Complete training presentations for the Chemwatch applications.	Translated training modules in multiple languages.	Accredited and non-accredited courses in chemicals management and safety

詳しくはこちらから: https://chemwatch.training/bh-home/

トレーニング

ケムウォッチは、当社アプリケーションに関するトレーニングを提供しています。詳細については、training@chemwatch.netまでお問い合わせください。

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved

それは ハザード
ではなく リスク です!

ケムウォッチ　オーストラリア本社
1227 Glen Huntly Road
Glen Huntly
Victoria 3613

Telephone: +61 3 9573 3100
Facsimile: +61 3 9572 4777
Email: info@chemwatch.net
Website: www.chemwatch.net

Copyright©2024 by Chemwatch. All Rights Reserved